

令和 2 年度

# 植物防疫年報

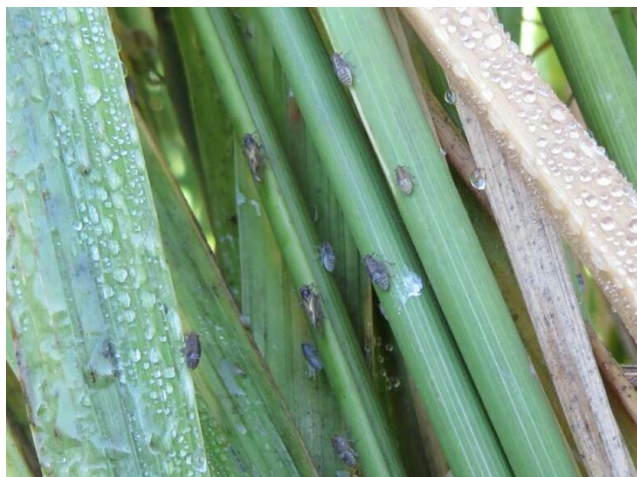
三重県病虫害防除所



## 三重県内で発生がみられた病害虫

### トビイロウンカ

(病害虫防除技術情報第 8 号、  
令和 2 年 9 月 15 日発表)



### スクミリンゴガイ

(病害虫防除技術情報第 1, 10 号、  
令和 2 年 4 月 20 日、10 月 30 日発表)



### クモヘリカメムシ

(病害虫発生予察注意報第 2, 3 号、  
令和 2 年 7 月 8 日、8 月 20 日発表)



### ミナミアオカメムシ

(病害虫発生予察注意報第 2, 3 号、  
令和 2 年 7 月 8 日、8 月 20 日発表(水稲)、  
病害虫防除技術情報第 9 号、  
令和 2 年 9 月 18 日発表)(ダイズ)



# 目 次

I	病虫害防除所の組織と業務	1
1.	病虫害防除所の業務内容	1
2.	病虫害防除所の組織図	1
II	病虫害防除員の設置及び活動状況	4
1.	病虫害防除員の配置	4
2.	病虫害防除員の活動状況	5
III	病虫害発生予察に関する業務	6
1.	病虫害発生予察の対象作物及び有害動植物	6
(1)	指定有害動植物名	6
(2)	指定外有害動植物名	7
2.	病虫害発生予察の調査圃場	8
(1)	県予察圃場	8
(2)	予察灯・トラップ	8
(3)	その他の調査圃場	8
(4)	ミバエ類等侵入警戒調査圃場	11
(5)	火傷病侵入警戒調査圃場	11
(6)	調査地点図	12
3.	作物別の病虫害発生状況	13
(1)	水稲	13
(2)	麦類	17
(3)	大豆	18
(4)	果樹	20
(5)	茶	25
(6)	野菜	27
(7)	全作物一覧	28
4.	病虫害の発生面積と防除面積	33
5.	発行された予察情報	35
(1)	発生予察情報の一覧	35
(2)	予報	36
(3)	注意報	85
(4)	技術情報	86
IV	事業関係の試験成績	90
1.	診断対策	90
(1)	灰色かび病の薬剤感受性検定	90
(2)	ミカンハダニの薬剤感受性検定	93

V	農薬の指導に関する業務	95
1.	農薬危害防止対策	95
	(1) 農薬危害防止運動の実施	95
	(2) 農薬安全使用講習会の開催状況	95
	(3) ゴルフ場の調査点検実施状況	96
	(4) ゴルフ場におけるコガネムシ類発生状況	97
2.	無人航空機による空中散布の実施状況	100
VI	各種データ	101
1.	トラップ等データ	101
	(1) 予察灯	101
	(2) フェロモントラップ	114
	(3) ウメ輪紋ウイルス (PPV) に関する調査	117
	(4) キウイフルーツかいよう病 Psa3 系統に関する調査	117
	(5) ミバエ類等侵入警戒調査	118
	(6) 火傷病侵入警戒調査	119
2.	巡回等データ	120
	(1) 水稲	120
	(2) 麦類	131
	(3) 大豆	132
	(4) 果樹	134
	(5) 茶	159
	(6) 野菜	167
3.	気象データ	183
	(1) 気象概況	183
	(2) 旬別気象表	184
	(3) 気象グラフ	185

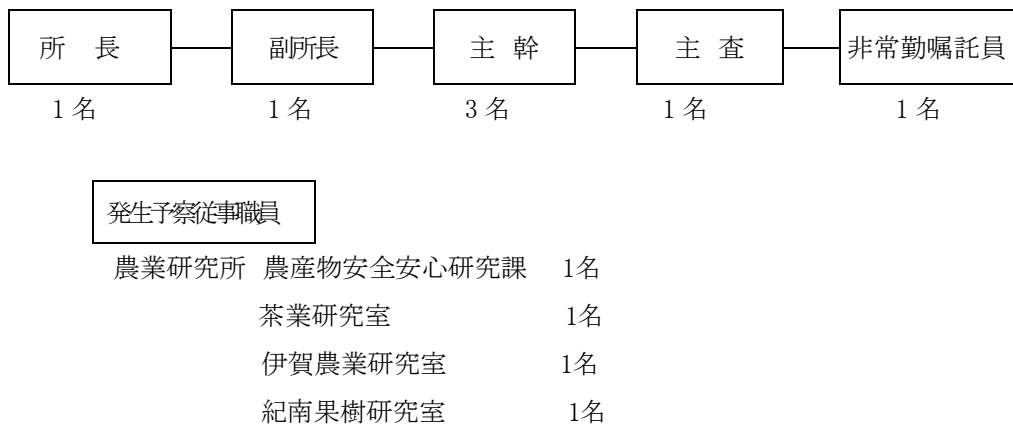
# I 病虫害防除所の組織と業務

## 1. 病虫害防除所の業務内容

植物防疫法関係	発生予察業務	病虫害発生事業に関すること 病虫害発生予察情報の発行に関すること
	防除指導業務	病虫害防除の企画・調査・指導に関すること 病虫害防除員に関すること 航空防除に関すること
農薬取締法関係	農薬安全対策業務	農薬適正使用啓発・登録情報に関すること 農薬使用者・取扱者の指導・取締に関すること ゴルフ場の農薬安全使用指導等に関すること 農薬管理指導士に関すること

## 2. 病虫害防除所の組織図

### (1) 事務の体制



## (2) 発生予察の体制

所外からの情報 → 病虫害防除所

### ア. 調査依頼

発生予察従事職員

・農業研究所 4人

病虫害防除員

・市町 29人

・共済 7人

・広域 7人

予察灯調査委託

・県予察灯 2人

### ア. 調査・研究

・県予察圃場

・地区予察圃場

・巡回調査圃場

・侵入警戒調査圃場

### イ. 検討

・所内検討会

・三重県病虫害

発生予察警報

発令検討会等

### イ. 情報検討

病虫害発生予察情報会議

・農産園芸課

・病虫害防除所

・中央・地域農業改良普及センター

・農業研究所

・農業共済組合・その他関係機関

### ウ. 情報交換

植物防疫関係諸会議

・農林水産省関連

・日本植物防疫協会(JPP)関連

### 予察用の主な機器類 ( )は導入年度

・予察灯 6台(H16、21、22、23、24、28)

・人工気象器 1台(H7)

・定温恒温器 1台(H30)

・光学顕微鏡 1台(S61)

・実体顕微鏡 1台(S61、R2)

・乾燥器 1台(S61)

→ 情報の発信

### ア. 情報提供先等

	県内					県外	
	農業者	防除員	農業団体	市町	県機関	国機関	他県
予報	AD E	AB	AB	A	A	A C	C
技術情報	E	AB	AB	A	A	A C	C
報告						A C	

### イ. 情報の内容

予報:発生予報、注意報、警報、特殊報

技術情報:防除に関する情報

報告:現況報告、年次報告

### ウ. 発信の方法

A:eメール、ファックス

B:郵送、運搬

C:JPP-NET(植物防疫情報総合ネットワーク)および発生予察集計プログラム(農林水産省)

D:報道機関(農産園芸課・病虫害防除所)

E:ホームページ





## Ⅱ 病虫害防除員の設置及び活動状況

### 1. 病虫害防除員の配置

#### (1) 配置状況(所属別地域別配置人数)

地区	市町	農業共済組合等	広域	合計
桑名	4	1	1	6
四日市鈴鹿	6	1	1	8
津	1	1	1	3
松阪	4	1	1	6
伊勢志摩	7	1	1	9
伊賀	2	1	1	4
紀州	5	1	1	7
合計	29	7	7	43

#### (2) 病虫害防除員所属

##### ①市町関係(29名)

市町名	所属	市町名	所属
桑名市	農林水産課	伊勢市	農林水産課
いなべ市	農林課	玉城町	産業振興課
木曾岬町	産業課	南伊勢町	水産農林課
東員町	産業課	大紀町	農林課
四日市市	農水振興課	度会町	産業振興課
菰野町	観光産業課	鳥羽市	農水商工課
朝日町	産業建設課	志摩市	農林課
川越町	産業建設課	伊賀市	農林振興課
鈴鹿市	農林水産課	名張市	農林資源室
亀山市	産業振興課	尾鷲市	水産農林課
津市	農林水産政策課	紀北町	農林水産課
松阪市	農水振興課	熊野市	農業振興課
明和町	農水商工課	御浜町	農林水産課
多気町	農林商工課	紀宝町	産業建設課
大台町	産業課		

##### ②農業共済組合(7名)

組合名
三重県農業共済組合 桑員支所
三重県農業共済組合 三泗鈴亀支所
三重県農業共済組合 津支所
三重県農業共済組合 松阪飯多支所
三重県農業共済組合 伊勢地域支所
三重県農業共済組合 伊賀名張支所
三重県農業共済組合 東紀州支所

### ③広域関係(7名)

担当地域名	氏名
桑員地域	水谷 重一
鈴亀地域	平野 三男
津市地域	鈴木 功
松阪飯多地域	小林 雅彦
伊勢地域	福井 敏
伊賀地域	松尾 眞澄
東紀州地域	菊山 竜二

## 2. 病虫害防除員の活動状況

### (1) 主な活動内容

#### ①防除指導

水稻等の共同・空中防除の打ち合わせや薬剤散布に必要な応じて立ち会い、適切な広報活動及び防除指導を行った。また、病虫害防除所から発表された予報・注意報等の病虫害発生予察情報の広報を適宜行った。

#### ②病虫害発生状況調査

管内の巡回調査を行い、水稻、麦、大豆、野菜等の病虫害発生状況の把握に努めた。また、広域病虫害防除員は担当地域の巡回調査で農家に対して聞き取り調査を行った。

#### ③農薬安全使用指導

広報誌への掲載等を通じて農薬の適正使用の啓発に努めた。

#### ④関係機関との打ち合わせ

共同防除、空中防除、防除暦作成等のため、JAや農業共済、農業改良普及センター等と適宜連携を図った。

#### ⑤講習会・協議会

病虫害防除所が主催した植物防疫技術研修会等に参加し、最新の技術と情報の収集に努めた。

### (2) 活動実績

(一人当たり平均、単位:時間)

防除指導	病虫害発生状況調査	農薬安全使用指導	関係機関との打ち合わせ	講習会協議会	その他	合計
11.5	27.0	0.9	4.5	7.3	3.0	54.1

### Ⅲ 病害虫発生予察に関する業務

#### 1. 病害虫発生予察の対象作物及び有害動植物

(1) 指定有害動植物名(植物防疫法 22 条) (延 108 種)

区分	作物名	対象病害虫名
普通作物	イネ	いもち病、紋枯病、稲こうじ病、縞葉枯病、ばか苗病、もみ枯細菌病、斑点米カメムシ類(アカスジカスミカメ、アカヒゲホソミドリカスミカメ、イネカメムシ、クモヘリカメムシ、トゲシラホシカメムシ、ホソハリカメムシ、ミナミアオカメムシ)、イネミズゾウムシ、ツマグロヨコバイ、セジロウンカ、トビイロウンカ、ヒメトビウンカ、ニカメイガ、コブノメイガ、フタオビコヤガ
	コムギ	うどんこ病、赤かび病
	ダイズ	アブラムシ類、ハスモンヨトウ、吸蜜性カメムシ類(アオクサカメムシ、イチモンジカメムシ、プチヒゲカメムシ、ホソヘリカメムシ、ミナミアオカメムシ)
果樹	カンキツ	そうか病、黒点病、かいよう病、ハダニ類(ミカンハダニ)、カメムシ類(チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ)、アブラムシ類(ミカンクロアブラムシ、ユキヤナギアブラムシ、ワタアブラムシ)
	カキ	炭疽病、カキノヘタムシガ、ハマキムシ類(チャハマキ、チャノコカクモンハマキ)、カメムシ類(チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ)、アザミウマ類(カキクダアザミウマ)、カイガラムシ類(クワコナカイガラムシ)
	ナシ	黒星病、シンクイムシ類(ナシヒメシンクイ)、ハマキムシ類(チャハマキ、チャノコカクモンハマキ)、ハダニ類(カンザワハダニ、ナミハダニ)、カメムシ類(チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ)、アブラムシ類(ナシノアブラムシ、ナシミドリオオアブラムシ、モモアカアブラムシ)
	ブドウ	べと病、晩腐病
茶	チャ	炭疽病、ハダニ類(カンザワハダニ)、ハマキムシ類(チャハマキ、チャノコカクモンハマキ)、チャノホソガ
野菜	トマト	疫病、灰色かび病、葉かび病、アブラムシ類(モモアカアブラムシ、ワタアブラムシ)、ハスモンヨトウ、コナジラミ類(オンシツコナジラミ、タバココナジラミ)、オオタバコガ
	ハクサイ	アブラムシ類(モモアカアブラムシ、ニセダイコンアブラムシ)、コナガ、ハスモンヨトウ、ヨトウガ、オオタバコガ
	キャベツ	黒腐病、菌核病、コナガ、アブラムシ類(モモアカアブラムシ、ニセダイコンアブラムシ、ダイコンアブラムシ)、ハスモンヨトウ、ヨトウガ、オオタバコガ
	ネギ	さび病、黒斑病、べと病、アブラムシ類(ネギアブラムシ)、アザミウマ類(ネギアザミウマ)、シロイチモジヨトウ、ハスモンヨトウ
	イチゴ	灰色かび病、うどんこ病、炭疽病、アブラムシ類(ワタアブラムシ)、ハスモンヨトウ、アザミウマ類、ハダニ類(カンザワハダニ、ナミハダニ)、オオタバコガ

(2) 指定外有害動植物名(植物防疫法第 31 条) (延 65 種)

区 分	作物名	対 象 病 害 虫 名
普通作物	イ ネ	白葉枯病、苗立枯病、萎縮病、イネドロオイムシ、イネクロカメムシ、イチモンジセセリ、アワヨトウ、イナゴ類、イネシンガレセンチュウ、スクミリンゴカイ、イネゾウムシ、ササキリ類
	コ ム ギ	さび病、縞萎縮病、黒穂病、黒節病、ムギアカタマバエ、アブラムシ類
	ダ イ ズ	紫斑病、コガネムシ類(マメコガネ、ヒメコガネ、ドウガネブイブイ)、シロイチモジマダラメイガ
果 樹	カンキツ	褐色腐敗病、ヤノネカイガラムシ、チャノキイロアザミウマ、ミカンハモグリガ、アカマルカイガラムシ、ハマキムシ類(チャハマキ、チャノコカクモンハマキ)
	カ キ	うどんこ病
	ナ シ	赤星病、うどんこ病
	ブ ド ウ	黒とう病、チャノキイロアザミウマ、ハダニ類
	ウ メ	黒星病、かいよう病、アブラムシ類、ウメシロカイガラムシ
茶	チ ヤ	もち病、輪斑病、チャノミドリヒメヨコバイ、チャノキイロアザミウマ、ツマグロアオカスミカメ、クロシロカイガラムシ、ヨモギエダシヤク
野 菜	ト マ ト	黄化葉巻病、ハモグリバエ類、すすかび病、タバコガ類(オオタバコガを除く)
	ハクサイ	軟腐病、白斑病、べと病、モンシロチョウ、タバコガ類(オオタバコガを除く)
	キャベツ	根こぶ病、モンシロチョウ、タバコガ類(オオタバコガを除く)
	ネ ギ	黒斑病、ネギハモグリバエ、ネギコガ、ヨトウムシ類
	イ チ ゴ	萎黄病、コナジラミ類

## 2. 病虫害発生予察の調査圃場

農作物の栽培地帯における病虫害の発生及び被害を的確に予想し、その地帯の防除作業の実施に寄与するために、県予察圃場、地区予察圃場、巡回調査圃場、侵入調査圃場を設置し、調査を実施する。

### (1) 県予察圃場 (3 地点 7 圃場)

作目	設置場所	設置数	備考
イネ	農業研究所	1	コシヒカリ
カンキツ	紀南果樹研究室	1	紀南果樹研究課担当
チャ	茶業・花植木研究室	1	茶業研究課担当
秋冬ハクサイ	農業研究所	1	
冬キャベツ、春キャベツ	〃	2	
ネギ	〃	1	

### (2) 予察灯・トラップ (8 地点 22 箇所)

作目	設置場所	設置数	備考
予察灯	農業研究所	2	イネ、畑作物
	紀南果樹研究室	1	カンキツ
	伊賀農業研究室	1	イネ
	紀北町島原	1	イネ
	御浜町上野	1	イネ
フェロモントラップ	農業研究所	13	ニカメイガ(水田)、ハスモンヨトウ(畑)、コナガ(畑)、ネギコガ(畑)、チャノコカクモンハマキ(ナシ園)、チャハマキ(ナシ園)、ナシヒメシンクイ(ナシ園)、シロイチモジヨトウ(畑)、オオタバコガ(畑)、チャバネアオカメムシ、ヒメコガネ、マメコガネ、ドウガネブイブイ
	林業研究所	2	チャバネアオカメムシ(場内・山林内)
	多気町矢田	1	チャバネアオカメムシ
	伊勢市小俣町相合	1	シロイチモンジヨトウ

### (3) その他の調査圃場 (地区予察圃場 41 地点 41 圃場、巡回圃場 140 地点 368 圃場) 地点数は重複有り

県予察圃場の他に、地区予察圃場と巡回調査圃場で調査を行っている。

地区予察圃場は、農作物の中心地帯に農作物の種類ごとに設置した。この圃場における調査は、その地帯における病虫害の発生状況を把握するとともに、病虫害の発生に関与する各種の条件がどのように影響したかを検討する資料を得るために行なう。

巡回調査圃場は、病虫害の発生が類似した地点ごとに任意に抽出した圃場、あるいは地帯区分せずに系統抽出等によって抽出した圃場について定量的観察を行うとともに、管内を巡回して定性的観察を行うために設置する。以下の表中で、地区予察圃場の地名は太字で示してある。

- ① イネ 59 地点 236 圃場(地区予察圃場 19 地点 19 圃場=19 地点各 1 圃場、巡回調査圃場 59 地点 217 圃場=40 地点各 4 圃場+地区予察圃場 19 地点併置の各 3 圃場)

地区	設置場所
桑名	いなべ市北勢町阿下喜 いなべ市市大安町高柳、いなべ市藤原町川合、桑名市坂井、桑名市多度町小山、桑名市長島町平方、東員町瀬古泉、木曾岬町小林
四日市鈴鹿	菟野町竹成、亀山市山下町、四日市市下海老町、鈴鹿市矢橋町、鈴鹿市御菌町 四日市市高角町、四日市市山田町、四日市市水沢野田町、四日市市茂福、亀山市太森町、鈴鹿市石薬師町、鈴鹿市津賀町
津	津市安濃町草生、津市安東町、津市一志町井生 津市芸濃町北神山、津市雲出本郷町、津市大里窪田町、津市美里町家所、津市戸木町、津市白山町川口
松阪	松阪市美濃田町、多気町兄国、明和町坂本 松阪市嬉野下之庄町、松阪市藤之木町、松阪市清水町、松阪市西黒部町、多気町朝柄、明和町明星
伊勢志摩	伊勢市円座町、玉城町蚊野、志摩市磯部町下之郷 伊勢市上地町、伊勢市西豊浜町、伊勢市楠部町、伊勢市小俣町相合、度会町牧戸、鳥羽市松尾町、南伊勢町泉
伊賀	伊賀市大野木、伊賀市甲野 伊賀市羽根、伊賀市岡田、伊賀市中柘植、伊賀市馬田、名張市東田原
紀州	紀北町島原、熊野市飛鳥町 御浜町下市木、紀宝町大里

- ② 元年産コムギ 9 地点 36 圃場(巡回調査圃場 9 地点 36 圃場=9 地点各 4 圃場)

地区	設置場所	地区	設置場所
桑名	いなべ市大安町片樋	松阪	松阪市藤之木町、多気町兄国
四日市鈴鹿	四日市市江村町、鈴鹿市下大久保町	伊勢志摩	伊勢市西豊浜町
津	津市殿村	伊賀	伊賀市西之澤、伊賀市畑村

- ③ ダイズ 8 地点 32 圃場(巡回調査圃場 8 地点 32 圃場=8 地点各 4 圃場)

地区	設置場所	地区	設置場所
桑名	いなべ市大安町大井田	松阪	松阪市藤之木町、松阪市保津町
四日市鈴鹿	四日市市江村町、鈴鹿市下大久保町	伊賀	伊賀市木興町、伊賀市千戸
津	津市白山町川口		

- ④ カンキツ 13 地点 13 圃場(地区予察圃場 2 地点 2 圃場=2 地点各 1 圃場、巡回調査圃場 11 地点 11 圃場=11 地点各 1 圃場) 表中の(数字)は圃場数

地区	設置場所	地区	設置場所
桑名	桑名市多度町小山(1)	伊勢志摩	南伊勢町船越(1)、五ヶ所浦(1)、泉(1)
津	津市大里窪田町(1)	紀州	紀北町道瀬(1)、熊野市久生屋町(1)、御浜町下市木(1)・阿田和(1)・中立(1)、紀宝町大里(1)
松阪	多気町五桂(1)、松阪市小阿坂町(1)		

- ⑤ カキ 2 地点 4 圃場(地区予察圃場 2 地点 2 圃場=2 地点各 1 圃場、巡回調査圃場 2 地点 2 圃場=地区予察圃場 2 地点併置の各 1 圃場) 表中の(数字)は圃場数

地区	設置場所	地区	設置場所
松阪	松阪市嬉野川北町(2)	伊勢志摩	玉城町蚊野(2)

- ⑥ ナシ 6 地点 7 圃場(地区予察圃場 3 地点 3 圃場=3 地点各 1 圃場、巡回調査圃場 3 地点 4 圃場=2 地点各 1 圃場+1 地点 2 圃場) 表中の(数字)は圃場数

地区	設置場所	地区	設置場所
四日市鈴鹿	四日市市下海老町(1)	伊勢志摩	玉城町富岡(1)
津	津市久居小野辺町(1)、津市香良洲町(1)	伊賀	伊賀市羽根(2)
松阪	松阪市嬉野川北町(1)		

- ⑦ ブドウ 6 地点 8 圃場(地区予察圃場 2 地点 2 圃場=2 地点各 1 圃場、巡回調査圃場 5 地点 6 圃場=3 地点各 1 圃場+1 地点 2 圃場+地区予察圃場 1 地点併置の 1 圃場) 表中の(数字)は圃場数

地区	設置場所	地区	設置場所
津	津市久居明神町(1)	伊賀	伊賀市森寺(2)、伊賀市上之庄(1)、伊賀市予野(1)、名張市下小波田(2)
伊勢志摩	玉城町勝田(1)		

- ⑧ ウメ 4 地点 4 圃場(巡回調査圃場 4 地点 4 圃場=4 地点各 1 圃場)

地区	設置場所	地区	設置場所
津	津市片田田中町	紀州	御浜町中立、紀宝町大里
伊勢志摩	南伊勢町五ヶ所浦		

- ⑨ チャ 6 地点 18 圃場(地区予察圃場 3 地点 3 圃場=3 地点各 1 圃場、巡回調査圃場 6 地点 15 圃場=2 地点各 3 圃場+1 地点 2 圃場+地区予察圃場 3 地点併置の 7 圃場) 表中の(数字)は圃場数

地区	設置場所	地区	設置場所
四日市鈴鹿	四日市市水沢町(3)、鈴鹿市山本町(4)、亀山市太森町(3)	伊勢志摩	度会町牧戸(2)
松阪	大台町柝原(3) 松阪市飯南町粥見(3)		

⑩ 野菜 47 地点 53 圃場 (地区予察圃場 10 地点 10 圃場、巡回調査圃場 37 地点 43 圃場)

表中の(数字)は圃場数

野菜名	地区	設置場所	地区予察圃場	巡回調査圃場
冬春トマト	桑名 四日市鈴鹿 松阪 伊勢志摩	木曾岬町和泉(1)、 <b>木曾岬町源緑輪中</b> (1)、桑名市長島町(1) 四日市市貝家町(1) 松阪市嬉野一志町(1)、明和町佐田(1) 伊勢市小俣町相合(1)	1 地点 1 圃場	6 地点 6 圃場
冬ハクサイ	四日市鈴鹿 津 松阪	<b>四日市市水沢町</b> (2)、四日市市下海老町(1)、四日市市平尾町(1)、 <b>鈴鹿市国分町</b> (2) 津市一志町(2) 多気町丹生(1)、明和町金剛坂(1)	2 地点 2 圃場	6 地点 8 圃場
冬キャベツ	四日市鈴鹿 津 松阪 伊勢志摩	<b>四日市市平尾町</b> (1)、四日市市下海老町(1)、四日市中野町(1)、 鈴鹿市石薬師町(2) <b>津市芸濃町椋本</b> (1)、津市北河路町(1)、津市久居野口町(1)、 津市新家町(1) 松阪市嬉野森本町(1) 玉城町岡出(1)	3 地点 3 圃場	11 地点 14 圃場
春キャベツ	四日市鈴鹿 津	四日市市下海老町(1)、四日市市平尾町(1) <b>津市川方町</b> (2)、津市新家町(2)		
青ネギ	松阪 伊勢	松阪市柿木原町(1) <b>伊勢市東豊浜町</b> (1)、伊勢市小俣町(2)	1 地点 1 圃場	2 地点 3 圃場
白ネギ	鈴鹿 松阪	<b>鈴鹿市深溝町</b> (1)、鈴鹿市椿一宮町(1) 明和町佐田(1)、多気町三疋田(1)	1 地点 1 圃場	3 地点 3 圃場
冬春イチゴ	津 松阪 伊勢志摩	津市芸濃町椋本(1)、津市雲出長常町(1) <b>松阪市藤之木町</b> (1)、松阪市曾原町(1)、松阪市嬉野権現前町(1)、 松阪市新開町(1) <b>玉城町勝田</b> (1)、玉城町岩出(1)、伊勢市小俣町相合(1)、 伊勢市二見町(1)、志摩市磯部町栗木広(1)	2 地点 2 圃場	9 地点 9 圃場

(4) ミバエ類等侵入警戒調査圃場(6 地点)

果樹等に多大の被害をもたらすミバエ類の侵入警戒のために誘引トラップを設置する(4~10 月)。

地区	設置場所	ウリミバエ・ミカンコミバエ種群 (ユーゲルア D8)	チチュウカイミバエ (メドフライコール)
桑名	桑名市多度町小山	○	○
津	津市大里窪田町	○	○
松阪	多気町五桂	○	○
伊勢志摩	南伊勢町船越	○	○
紀州	紀北町道瀬	○	○
	御浜町志原(紀南果樹研究室)	○	○

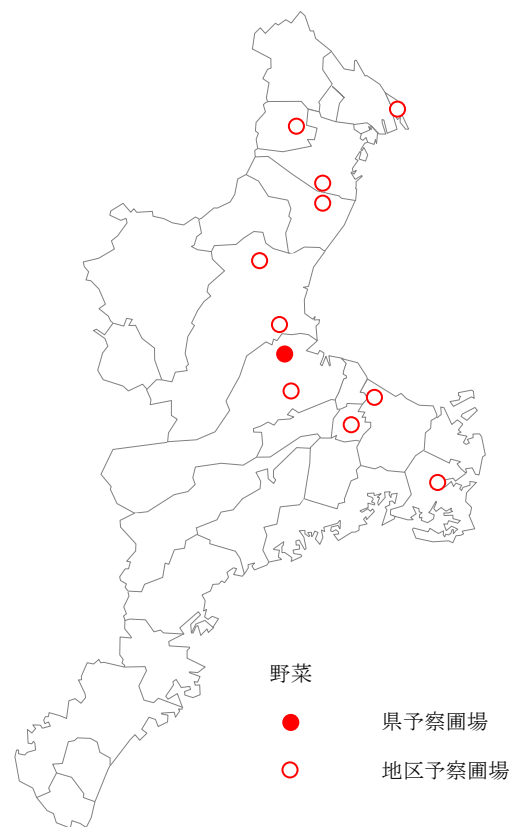
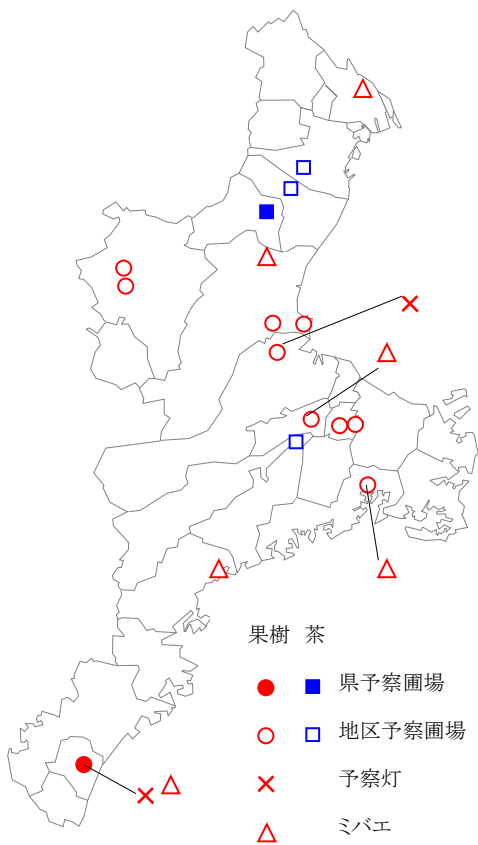
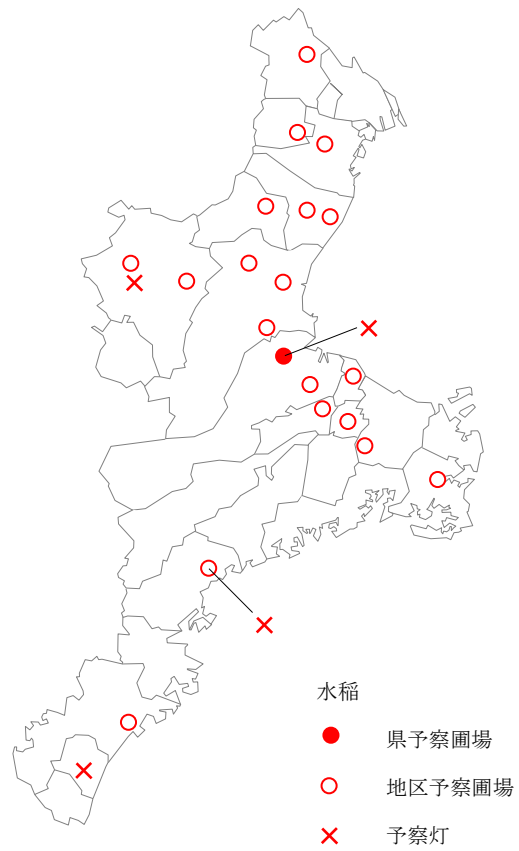
(5) 火傷病侵入警戒調査圃場(7 地点)

寒冷地のリンゴ等に多大の被害をもたらす火傷病の侵入警戒のために巡回調査を実施する(4~9 月)。

調査樹	地区	設置場所
日本ナシ	四日市鈴鹿	四日市市下海老町
	津	津市久居小野辺町、津市香良洲町
	松阪	松阪市嬉野川北町
	伊勢	玉城町富岡
	伊賀	伊賀市羽根
カナメモチ	四日市鈴鹿	鈴鹿市高塚町



# (6) 調査地点図



### 3. 作物別の病虫害発生状況

#### (1) 水稻

##### ① 生育状況

##### (a) 育苗期

県内 20 育苗施設におけるばか苗病の発生状況は、発生施設率が 33% (元年 35%)、発生箱率が 0.05% (元年 0.04%) で、いずれも昨年とほぼ同等で低かった。

##### (b) 移植～活着期

4 月の低温傾向から一転し、5 月は気温がやや高く日照時間が潤沢であったことから、活着とその後の生育は早めに推移した。

##### (c) 分けつ期

5 月から 6 月までの高温で推移し分けつ期間が短縮された結果、分けつは少なかった。草丈は高めで推移した。

##### (d) 幼穂形成期～出穂期

出穂は平年より 4～5 日早かった。分けつが少なく穂数が少なかった分、1 穂当たりのもみ数はやや多くなった。このころから梅雨前線の停滞により、低温と日照不足が 7 月末まで続いた。

##### (e) 登熟期

7 月の低温と日照不足および 8 月の高温と干ばつの影響があったものの、登熟は平年並みであった。収穫期前に台風の接近や上陸がなく、刈り取り作業はおおむね順調に進んだ。

##### (f) 作柄

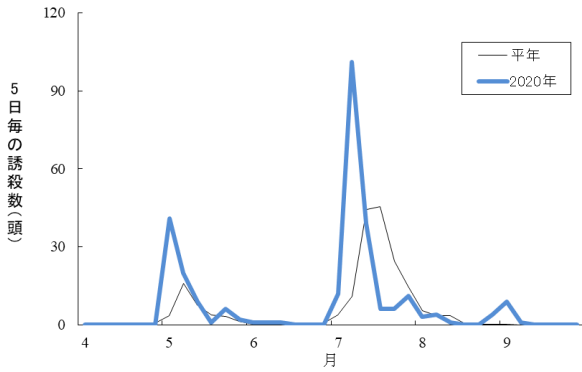
収量は 479kg/10a (昨年 477kg)、作況指数は 96 で昨年に続き「やや不良」となった。コシヒカリの 1 等米比率は 39.2% (3 年 3 月 31 日速報値) でほぼ平年並みとなった。

##### ② 病虫害の発生状況

イネでは長梅雨の影響で葉いもち病の発生が 6 月下旬～7 月末に中山間や谷地田、罹病性品種を中心に見られた。しかし、その地域は限定的にとどまり、葉いもち、穂いもちともに発生面積、発病程度は平年並であった。スクミリンゴガイは昨年に引き続き発生が多く分布域は徐々に内陸部に広がっている。斑点米カメムシ類は 5～6 月の越冬世代が多く、7 月上旬には畦畔雑草を中心に梅雨明け後は本田でも発生量が多くなった。トビイロウンカは 9 月以降県中南部の中山間地、伊賀地域の普通期および飼料用米で被害が発生したが、早期水稻は刈り取りがほぼ終了しており大きな被害には至らなかった。

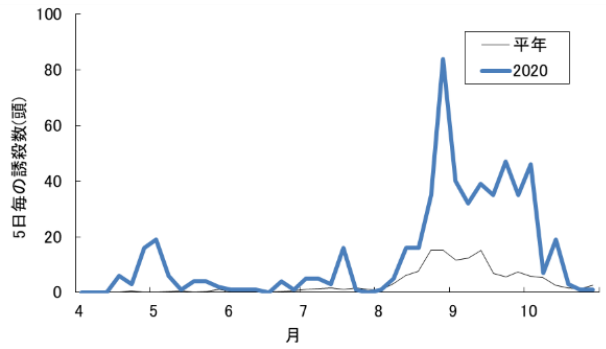
(b) 予察灯での誘殺状況(60ワット白熱灯)

・イネミズゾウムシ



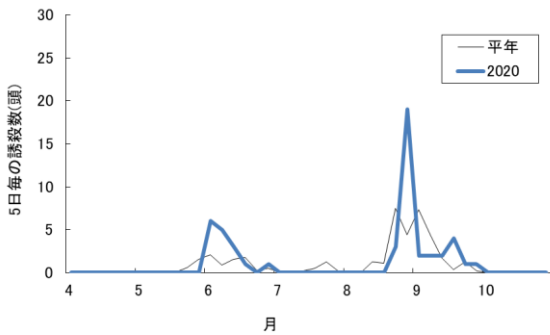
水田予察灯におけるイネミズゾウムシ誘殺数の推移  
(松阪市嬉野川北町60W白熱灯)

・ミナミアオカメムシ



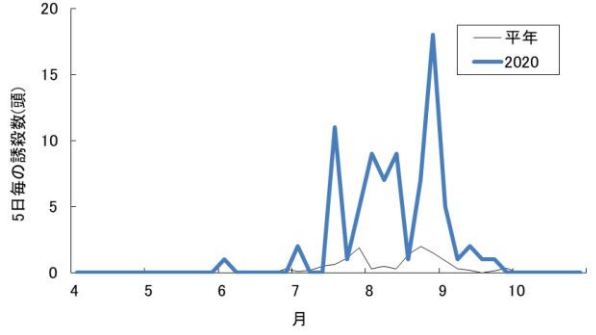
水田の予察灯におけるミナミアオカメムシの誘殺数  
(松阪市嬉野川北町 60W白熱灯)

・イネクロカメムシ



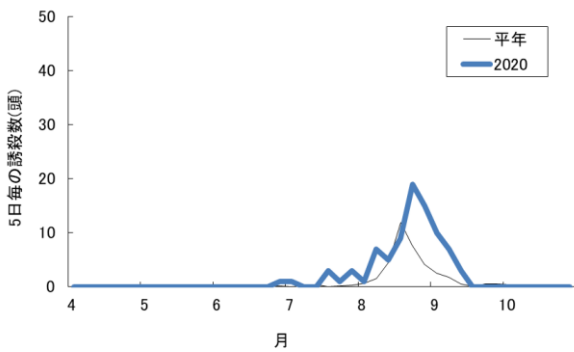
水田の予察灯におけるイネクロカメムシの誘殺数  
(松阪市嬉野川北町 60W白熱灯)

・イネカメムシ

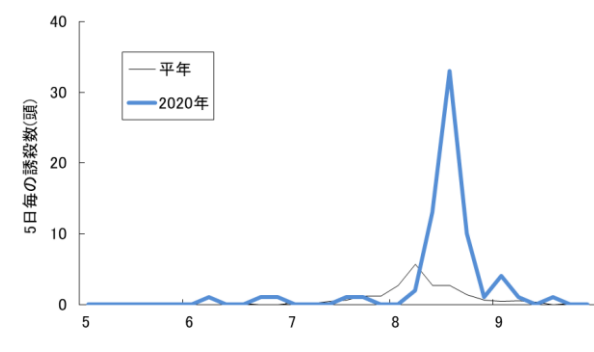


水田の予察灯におけるイネカメムシの誘殺数  
(松阪市嬉野川北町 60W白熱灯)

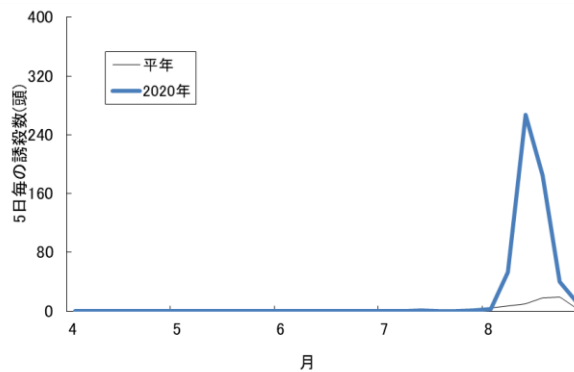
・クモヘリカメムシ



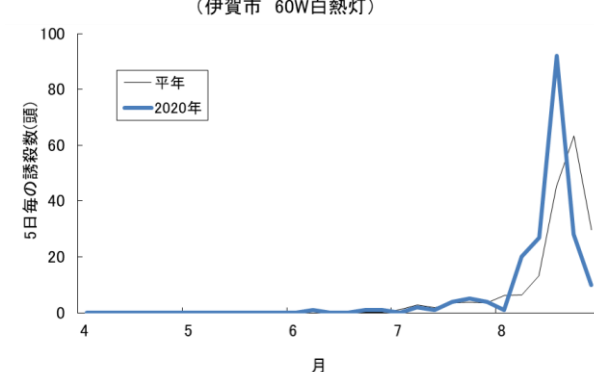
水田の予察灯におけるクモヘリカメムシの誘殺数  
(松阪市嬉野川北町 60W白熱灯)



水田の予察灯におけるクモヘリカメムシの誘殺数  
(伊賀市 60W白熱灯)

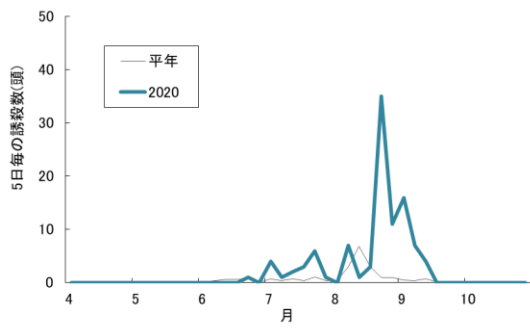


水田の予察灯におけるクモヘリカメムシの誘殺数  
(紀北町 60W白熱灯)

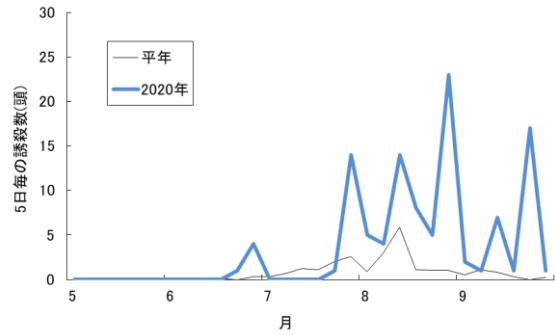


水田の予察灯におけるクモヘリカメムシの誘殺数  
(御浜町 60W白熱灯)

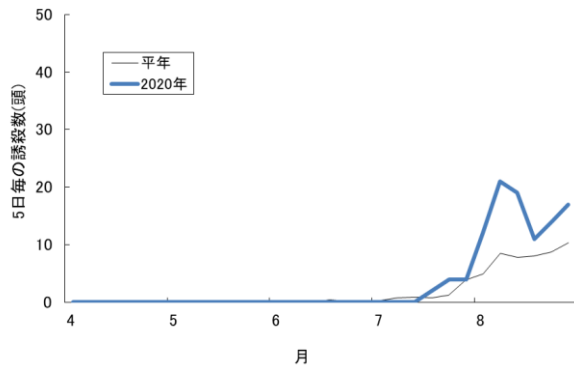
・ヒメビウンカ



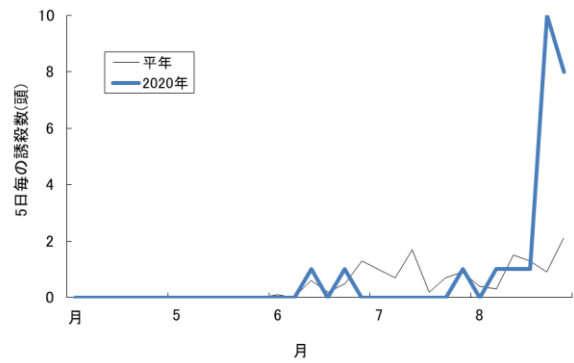
水田予察灯におけるヒメビウンカの誘殺数  
(松阪市 60W白熱灯)



水田の予察灯におけるヒメビウンカの誘殺数  
(伊賀市 60W白熱灯)

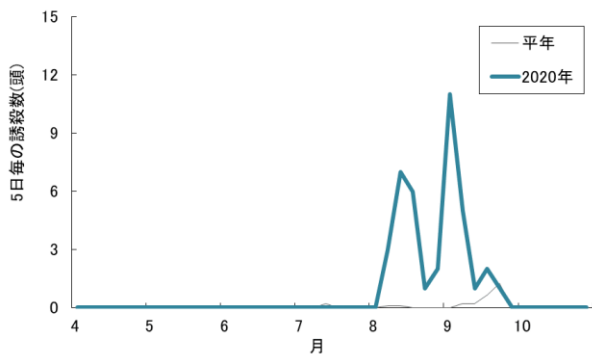


水田の予察灯におけるヒメビウンカの誘殺数  
(紀北町 60W白熱灯)

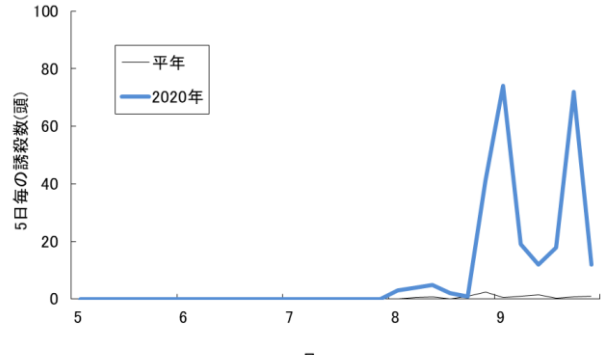


水田の予察灯におけるヒメビウンカの誘殺数  
(御浜町 60W白熱灯)

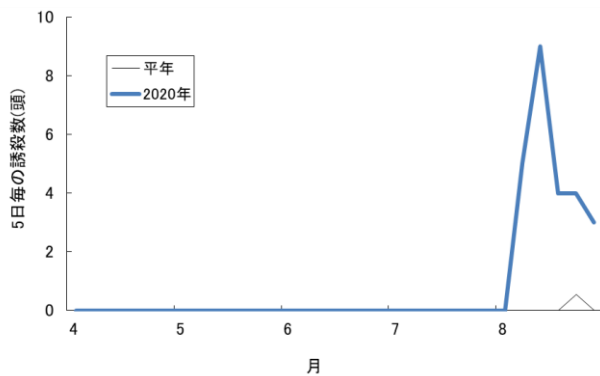
・トビイロウンカ



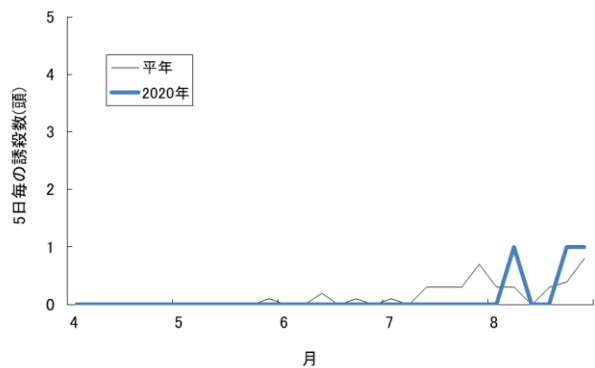
水田予察灯におけるトビイロウンカの誘殺数  
(松阪市 60W白熱灯)



水田の予察灯におけるトビイロウンカの誘殺数  
(伊賀市 60W白熱灯)

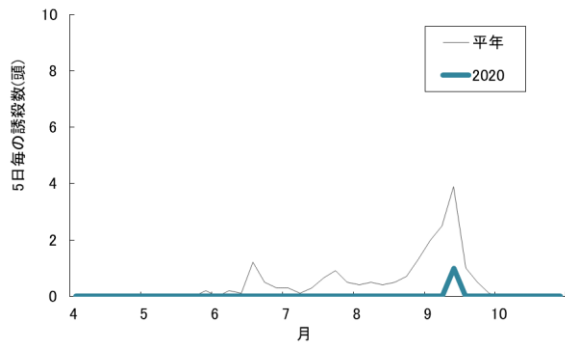


水田の予察灯におけるトビイロウンカの誘殺数  
(紀北町 60W白熱灯)

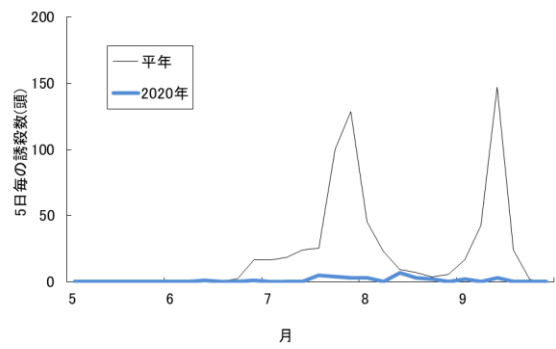


水田の予察灯におけるトビイロウンカの誘殺数  
(御浜町 60W白熱灯)

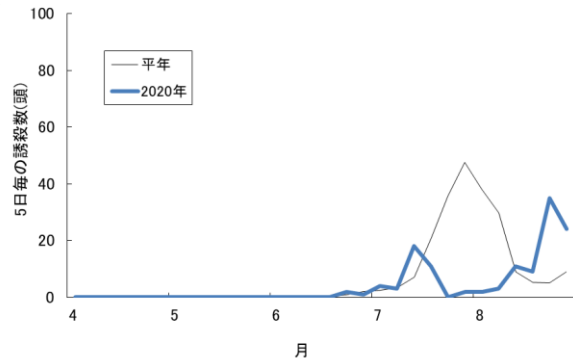
・ツマグロヨコバイ



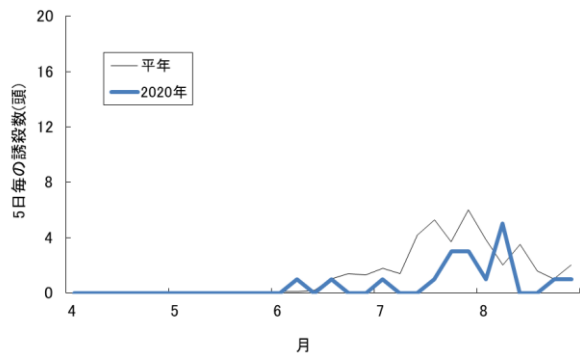
水田予察灯におけるツマグロヨコバイの誘殺数  
(松阪市 60W白熱灯)



水田の予察灯におけるツマグロヨコバイの誘殺数  
(伊賀市 60W白熱灯)



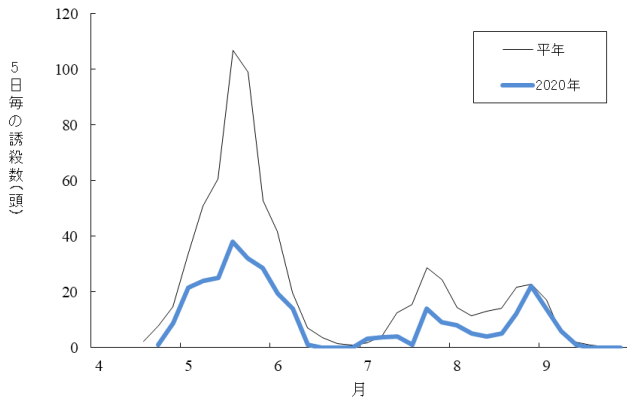
水田の予察灯におけるツマグロヨコバイの誘殺数  
(紀北町 60W白熱灯)



水田の予察灯におけるツマグロヨコバイの誘殺数  
(御浜町 60W白熱灯)

(c) フェロモントラップでの誘殺状況

・ニカメイガ



フェロモントラップによるニカメイガ誘殺数の推移  
(松阪市)

## (2) 麦類(令和2年産)

### a 生育状況

#### (a) 播種期

10月下旬から播種が始まり、それ以降好天にも恵まれ11月中旬まで播種作業は順調に進んだ。

#### (b) 生育期

出芽苗立ちは概ね良好となり、冬場の気温がかなり高く推移したことで例年より生育が早まった。

#### (c) 出穂期

播種の早いところでは3月中旬に出穂期を迎えるなど7~10日早かった、しかし、それ以降は気温が低く推移し、開花期は4月上旬以降となった。

#### (d) 登熟期

4月中下旬も低温の傾向が続き、成熟期は平年並みになった。5月下旬から刈り取りが始まった。6月中旬には降雨がしばしば見られた。6月中旬まで刈り取り作業が行われた。1等比率は昨年をやや下回ったが、収量は良好であった。

### b 病害虫の発生状況

コムギ縮萎病は、耐病性品種の作付けが進められたため、県全体としての発生量は少なかった。

赤かび病については、適期に防除が行われ発生量は少なく抑えられた。

### (3) 大豆

#### a 生育状況

##### (a) 播種期

活発な梅雨前線の影響で長雨となり、事前耕起、除草等の作業が進まなかった。一部農家では梅雨の合間に播種できたが、多くは8月上旬以降の播種であり、またその後、8月上旬から中旬にかけて降雨が見られず干ばつの影響で発芽が遅れたほ場が多く見られた。

##### (b) 生育期

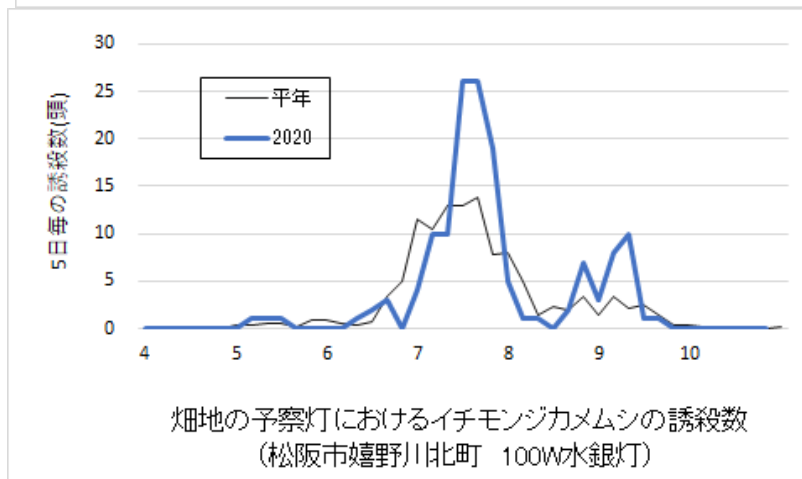
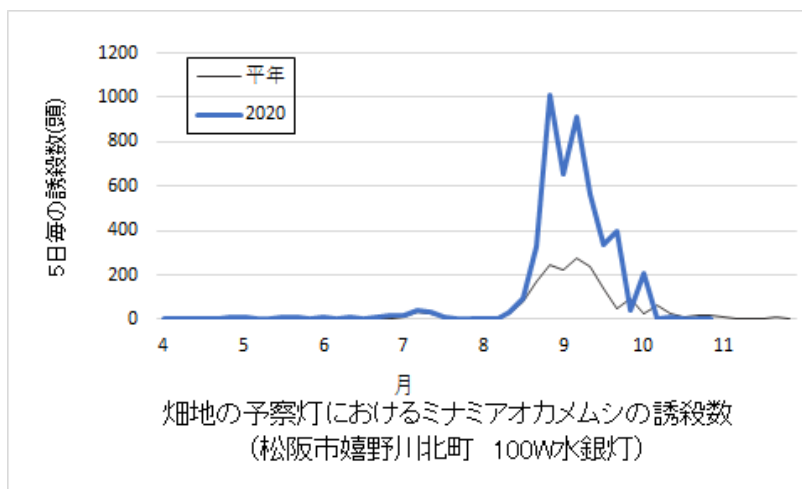
遅まきものは初期に干害によりさらに生育が抑制され、一部にかなり草高が低くなったほ場が見受けられた。9月、10月は台風の接近や通過はなかったものの、定期的に大雨があり、一部湿害となったほ場が見受けられた。また、10月中旬以降、日照量が多くなり生育はかなり回復傾向となった。

##### (c) 成熟期

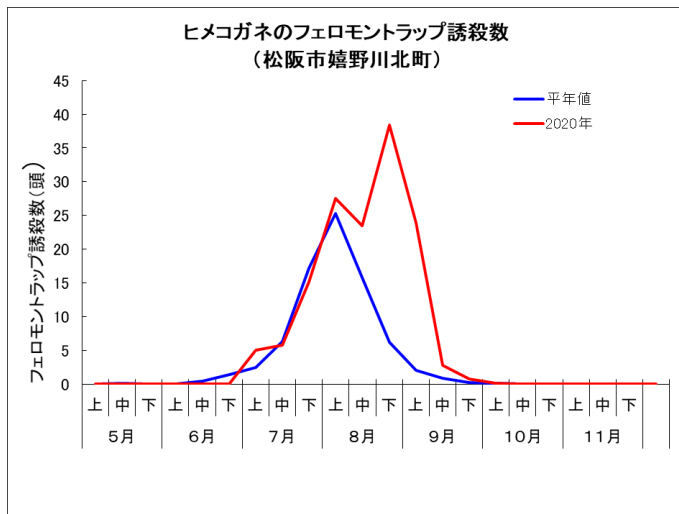
台風の直撃はなかったため全体的に病害は少なかった。吸実性カメムシ類は適期に防除がなされた。多くの農家では12月上旬から収穫作業が始まり、虫害ではフタスジヒメハムシは平年並の発生、吸実性カメムシ類の被害粒はやや少ない発生であった。紫斑粒については少なかった。

#### b 病害虫の発生状況

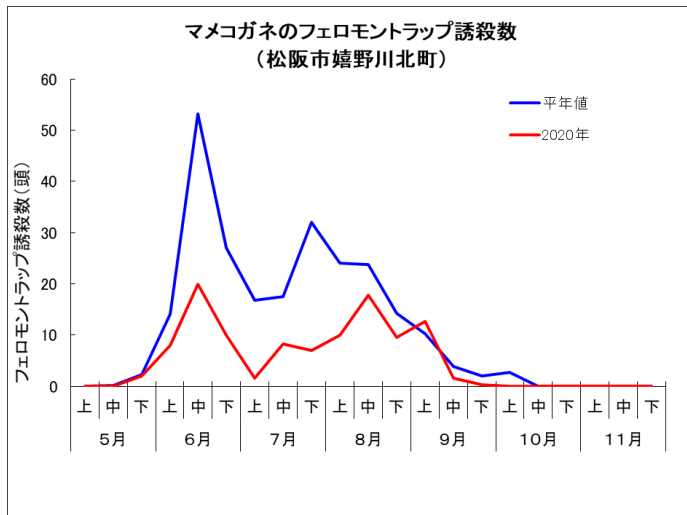
ダイズでは、ハスモンヨトウと吸実性カメムシ類について、技術情報第9号(9月18日)を発表し、発生状況の周知と適期防除の注意喚起を行った。



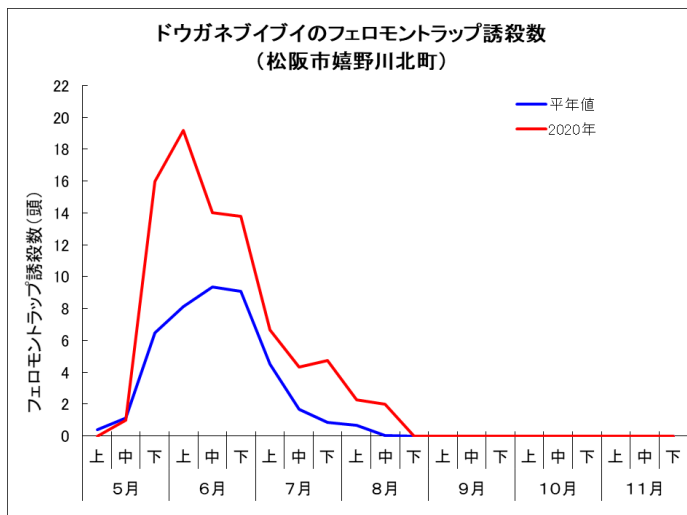
・ヒメコガネ



・マメコガネ



・ドウガネブイブイ





## (4) 果樹

### ①生育状況

#### ア カンキツ

- ・発芽期は、平年に比べて極早生温州では8日、早生温州では6日早かった。
- ・開花盛期は、平年に比べて極早生温州では4日、早生温州で1日早かった。
- ・着花量は、極早生温州は紀州地域ではやや多かった。早生温州は全県的にやや多、普通温州はやや少～中だったが、地域や園地によってバラツキが見られた。
- ・果実発育は、横径が極早生温州は3.4mm平年より小さく、早生温州は1.3mm平年より大きかった。
- ・果実品質は、糖度については、平年に比べて極早生温州は0.9度低く、早生温州は1.0度低くなった。クエン酸については、平年に比べて極早生温州は0.02度低く、早生温州は平年値と同じだった。

#### イ ナシ(幸水)

- ・開花盛期は平年よりやや遅い4月17日だった。収穫盛期は平年より5日遅い、8月20日であった。
- ・長果枝の開花がばらついたため受粉回数が増えたが、最終着果量に影響はなかった。
- ・果実の生長は良好で、収穫期における果実肥大は平年並みだった。
- ・果実品質は平年と比較して果実糖度及び果実重は平年並みだった。

#### ウ カキ(前川次郎)

- ・開花盛期は平年より2日早い5月19日と平年並みであった。
- ・果実肥大は、初期肥大は良好であったが、二次肥大期で平年並みとなった。
- ・収穫盛期は平年よりやや遅い11月19日であった。
- ・果実品質は果実糖度、果実重ともに平年並みであった。

#### エ ブドウ(巨峰)

- ・4月は平年より気温が低く発芽期は露地栽培で平年より4日遅かった。開花盛期は5日遅かった。有核栽培の結実は良好であった。
- ・梅雨の時期は平年と比べて降水量が多く、日照時間は少なかった。収穫期は露地栽培で平年より遅かった。果実品質は平年と比較して糖度、果粒重とも良かった。

### ②病害虫の発生状況

カンキツでは、そうか病の発生量は平年並であった。発生時期は春葉でやや早く、果実では遅かった。黒点病、かいよう病の発生量は平年並であった。ミカンハダニについては、発生量は期間を通してほぼ平年並で推移したが、防除の差が局所的に発生が見られる圃場があった。

カキでは、炭疽病、フジコナカイガラムシの発生量は平年並であった。うどんこ病の発生量はやや少なかった。

ナシでは、黒星病の発生量はやや少なかった。ただし、園地間の差が大きかった。

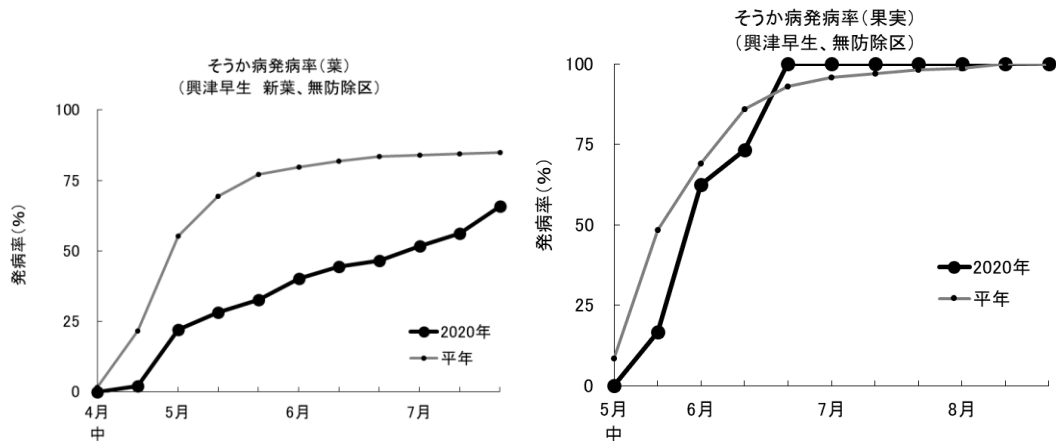
ブドウでは、べと病、黒とう病及び晩腐病の発生量は平年並であった。

果樹カメムシ類は、5月上中旬にツヤアオカメムシが増加し、半月ほどでピークは落ち着いたが、それ以降

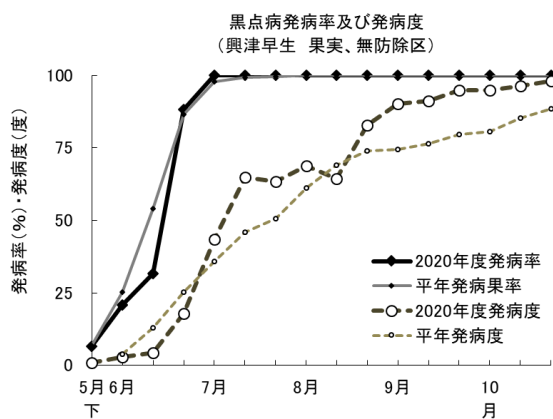
も平年よりやや多く推移した。7 月以降チャバネアオカメムシが増加し、特に山地と中間地で平年より多く推移した。

ア カンキツ(御浜町 紀南果樹研究室)

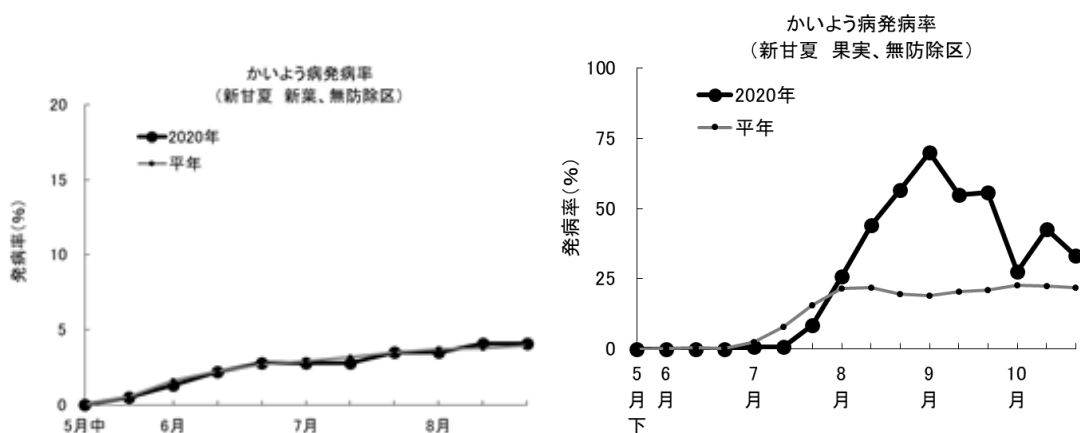
ア) そうか病



イ) 黒点病

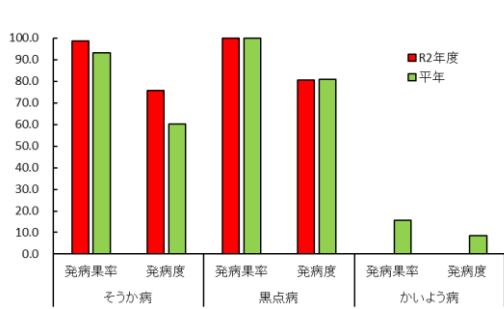


ウ) かいよう病

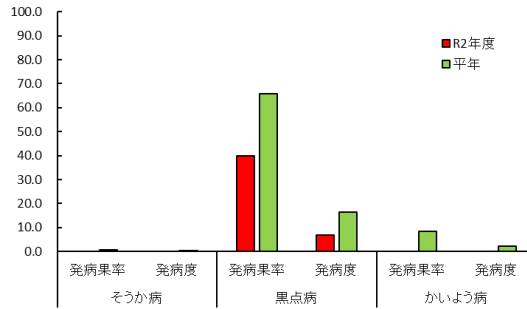


エ) 収穫果実(外観果実調査)

無防除区

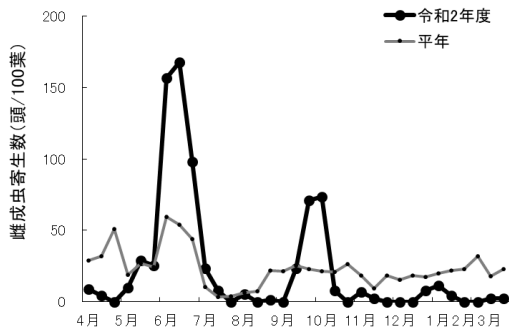


慣行防除区

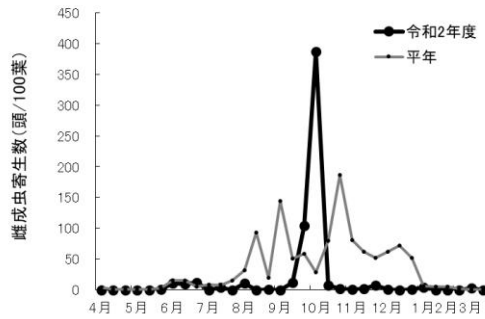


オ) ミカンハダニ

ミカンハダニ発生消長(興津早生、無防除区)

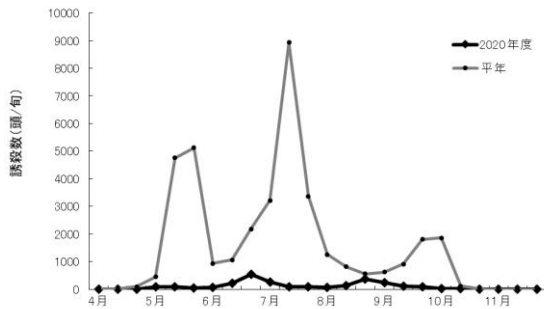


ミカンハダニ発生消長(興津早生、慣行防除区)

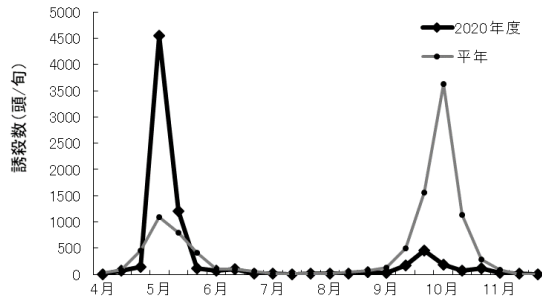


カ) カメムシ類の予察灯への飛来状況

チャバネアカカメムシ誘殺数(誘蛾灯)

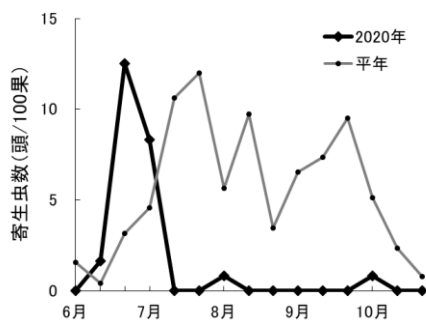


ツヤアアカカメムシ誘殺数(誘蛾灯)

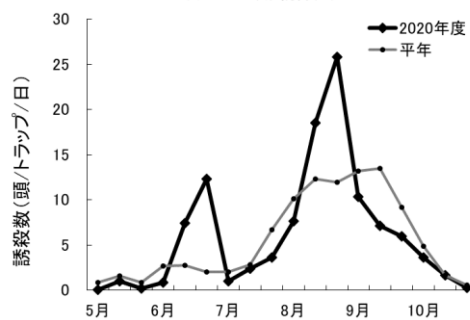


キ) チャノキイロアザミウマ

チャノキイロアザミウマ果実寄生虫数  
(ネーブル、無防除区)

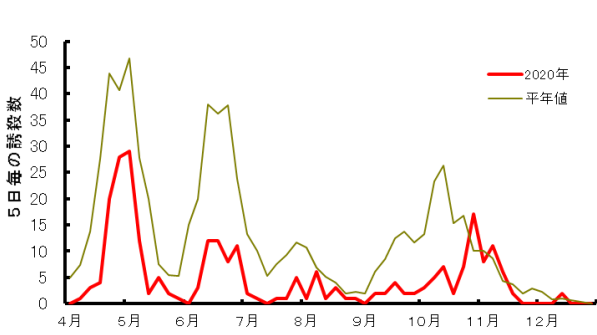


チャノキイロアザミウマ 粘着トラップ誘殺数  
(ネーブル、無防除区)

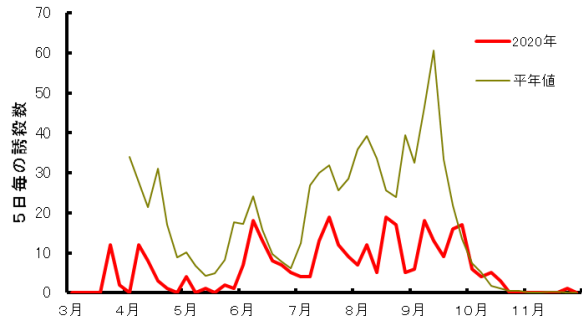


イ ナシ

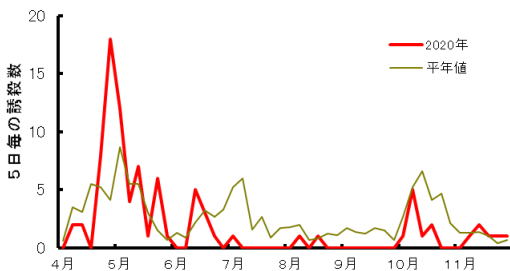
ア)フェロモントラップでの誘殺状況(松阪市嬉野川北町 病害虫防除所)



フェロモントラップによるチャコカクモンハマキ成虫の誘殺消長  
(調査場所:松阪市嬉野川北町)

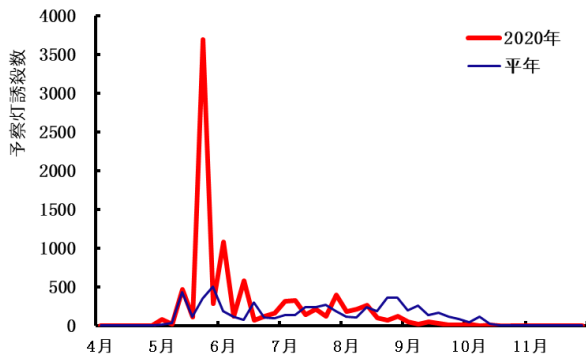


フェロモントラップによるナシヒメシンクイ成虫の誘殺消長  
(調査場所:松阪市嬉野川北町)

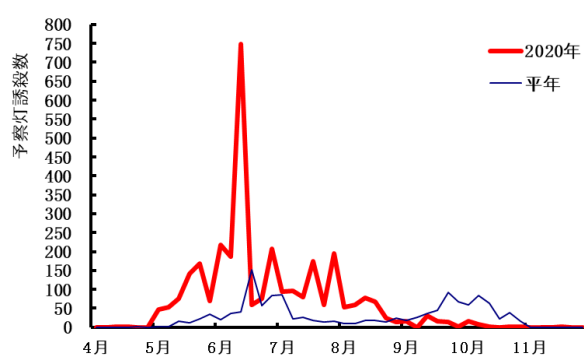


フェロモントラップによるチャハマキ成虫の誘殺消長  
(調査場所:松阪市嬉野川北町)

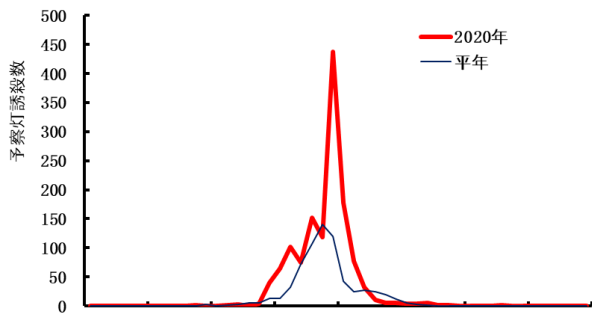
イ) カメムシ類の予察灯への飛来状況(松阪市嬉野川北町 病害虫防除所)



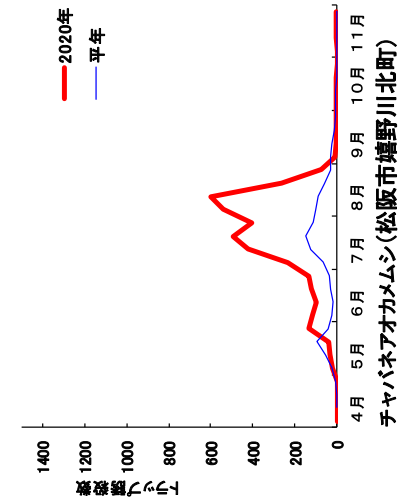
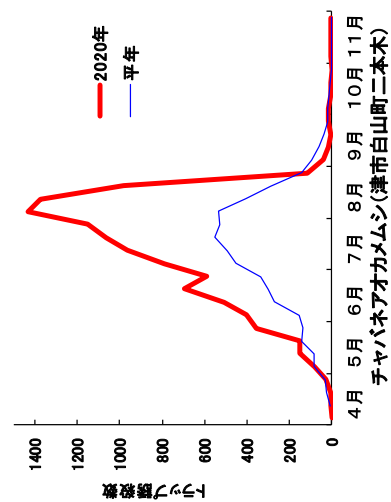
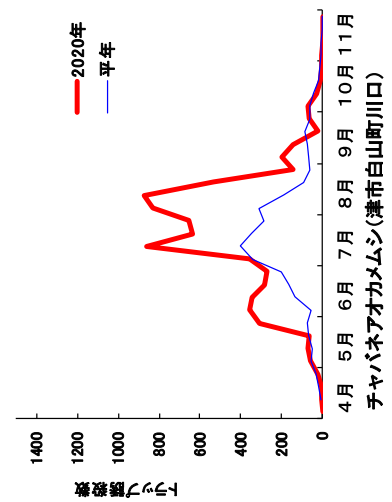
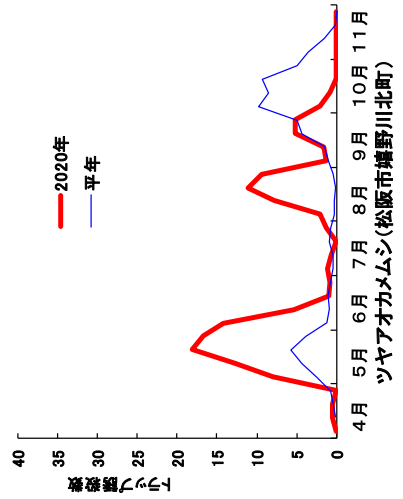
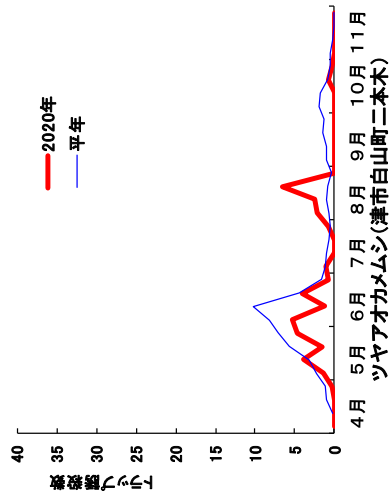
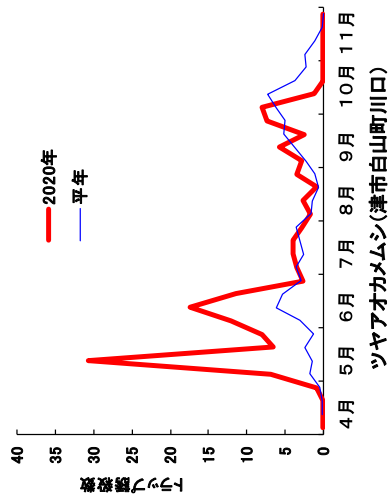
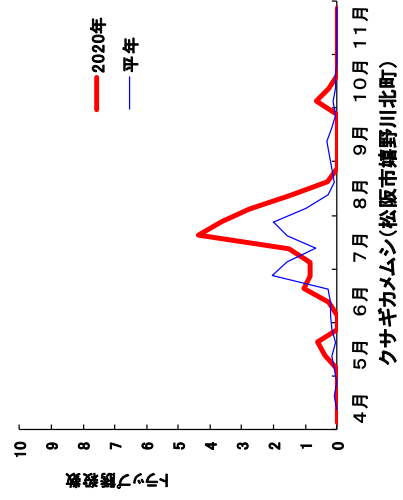
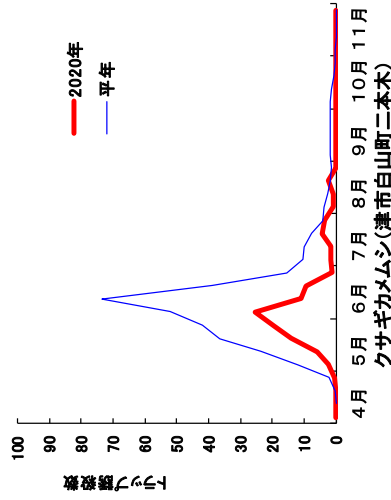
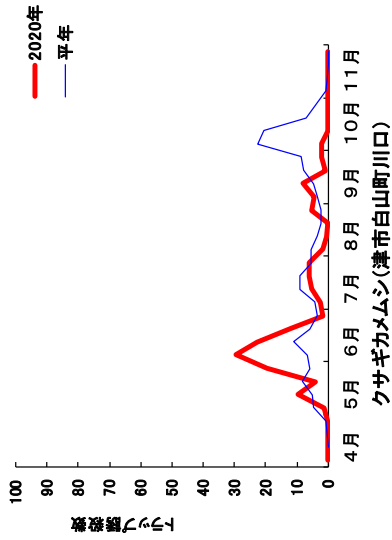
チャバネアオカメムシ  
(調査地点:松阪市嬉野川北町)



ツヤアオカメムシ  
(調査地点:松阪市嬉野川北町)



クサギカメムシ  
(調査地点:松阪市嬉野川北町)



## (5) 茶

### ①生育状況

- ・ 一番茶の摘採時期は平年並みであった。
- ・ 虫害防除のため、一番茶後に中切り更新を行うは場が多かった。

(生育に関するデータ)

農水省 8月19日発表

一番茶摘採面積 2520ha(前年比 96%)、単収 421kg(前年比 88%)

農業研究所茶業・花植木研究室作況園

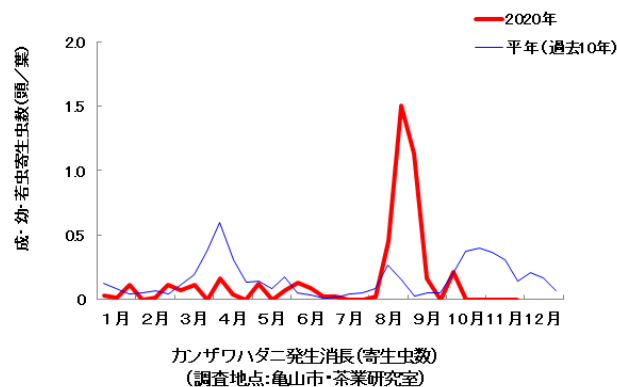
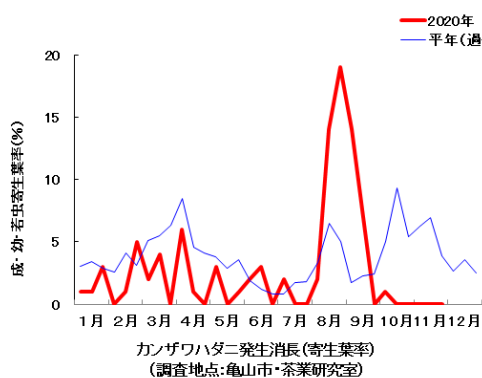
一番茶:摘採時期 5/12(平年 5/6)、単収 626kg(平年 568kg)

二番茶:摘採時期 6/29(平年 6/27)、単収 586kg(平年 573kg)

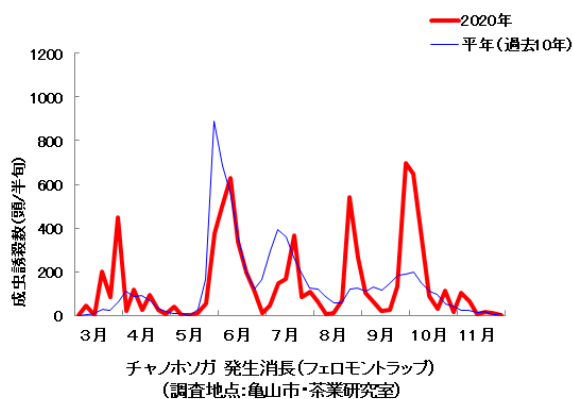
### ②病虫害発生状況

- ・ 炭疽病等の病害はやや少～平年並で推移した。
- ・ カンザワハダニは一・二番茶時期までは平年並みかやや少なかったが、8月から9月に増加した。チャノコカクモンハマキとチャハマキは概ね平年並であった。チャノホソガは8月から9月に多い茶園が見られた。その他の害虫については概ね平年並であった。

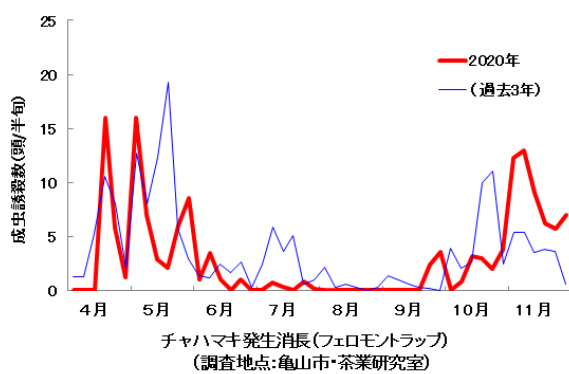
#### ア)カンザワハダニ



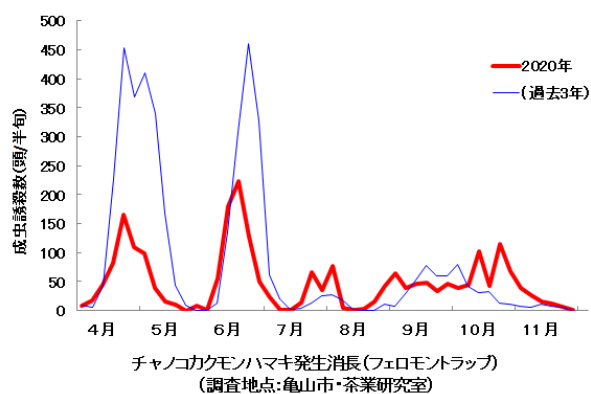
#### イ)チャノホソガ



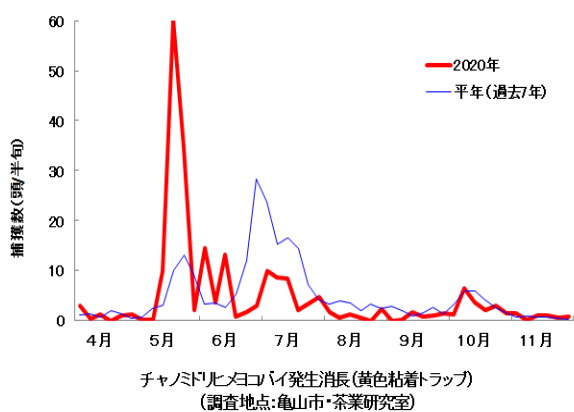
ウ) チャハマキ



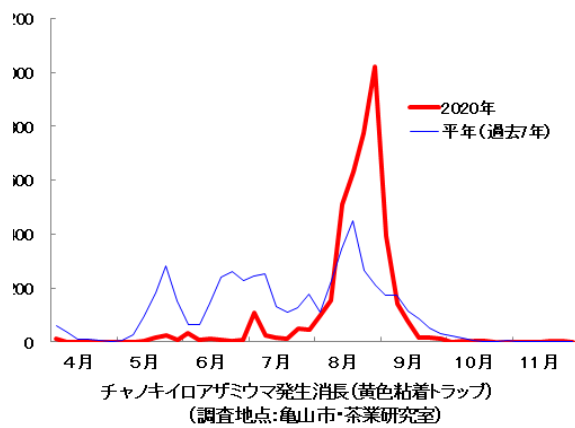
エ) チャノコカクモンハマキ



オ) チャノミドリヒメヨコバイ



カ) チャノキイロアザミウマ

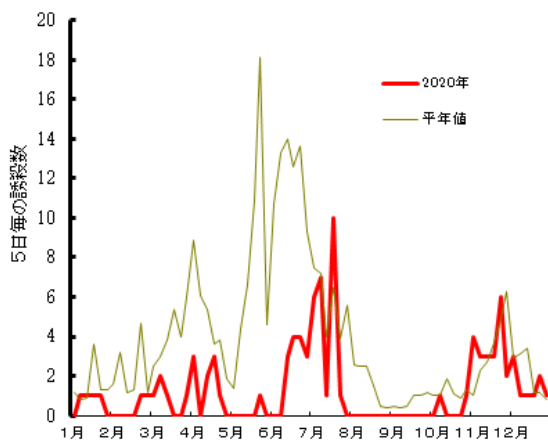


## (6) 野菜

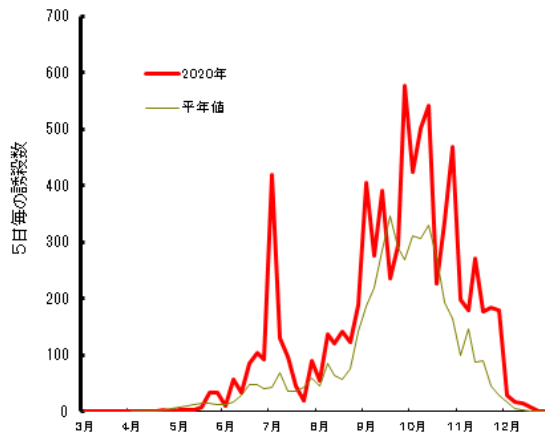
### a 生育及び病害虫の発生状況

- ・トマトでは、特に北勢地域でタバコナジラミの発生が目立つほ場で黄化葉巻病、黄化病が多く確認された。
- ・キャベツ、ハクサイなどの露地野菜では、今年は台風の接近や通過がなかったため、キャベツでは黒腐病やハクサイでは軟腐病などの病害の発生は少なく経過した。
- ・ネギでは、ネギアザミウマが6月頃から多発し、葉の白化が著しい被害が見られたが梅雨明け以降減少し、平年並程度の発生となった。また、白ネギでは白絹病が発生したほ場が見られた。
- ・イチゴでは、園地によっては炭疽病が多く発生した。ハダニ類は園地によって発生量の差が大きく、園地での天敵の定着などに左右されているとみられる。アザミウマ類については少ない傾向であった。うどんこ病は全体的に発生が少なかった。

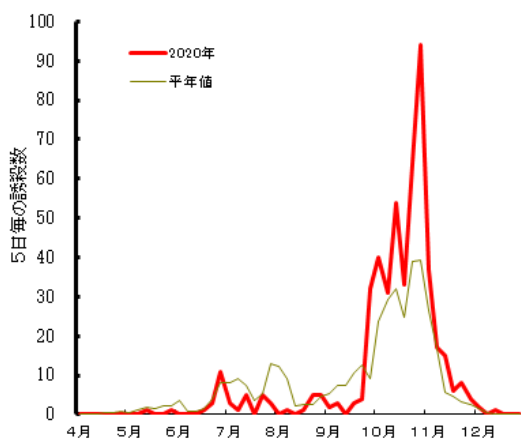
### b フェロモントラップ



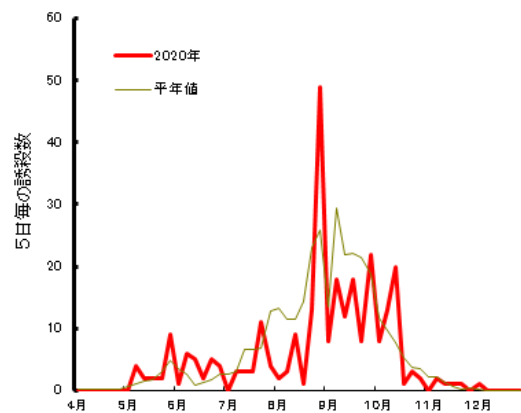
フェロモントラップによるコナガ成虫の誘殺消長  
(調査場所:松阪市嬉野川北町)



(図) フェロモントラップによるハスモンユウ成虫の誘殺消長  
(調査場所:松阪市嬉野川北町)



フェロモントラップによるオオタタバコガ成虫の誘殺消長  
(調査場所:松阪市嬉野川北町)



フェロモントラップによるシロイチモジヨウ成虫の誘殺消長  
(調査場所:松阪市嬉野川北町)



(7) 全作物一覧

農作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生過程の概要	発生原因の解析	防除の概要
イネ（早期）	葉いもち	6月中旬～8月上旬 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：やや多	6月下旬～7月末に中山間や谷地田、種病性品種を中心に発生が見られたがその地域は限定的にとどまり、発生発生面積、発病程度ともに平年並であった	感染好適条件は6月中旬から7月中旬に多く出現したが、大規模な蔓延には至らなかった。箱施用や本田防除が行われたこと、前年の穂いもちの発生がやや少なく感染源の持ち込みが少なかったことが要因と考えられる。	箱施用、本田防除が行われた。病害虫発生予察注意報第1号（6月30日発表）による注意喚起を行った。
	穂いもち	7月下旬～8月下旬 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや多	発生面積、発病率ともに平年並であった。	葉いもちの発生が一部地域で多く見られたが、8月1日の梅雨明け以降の天候が安定したこと、穂への感染拡大は少なかった。	本田防除が行われた。
	紋枯病	7月～8月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：やや多	7月までの発生は少なかったが、8月は発生ほ場率が上昇し、平年を上回ったが、発病度は平年以下にとどまった。	梅雨明け以降感染に好適な高温が続いたが、それまでの発病を抑えられていたため大きな被害には至らなかった。	被害の恐れのある圃場では本田防除が行われ、実害は出なかった。
	斑点米カメムシ類	6月～9月 平年：－ 前年：－	平年：多 前年：やや多	6月までは圃場での発生はやや少なかったが、7月初旬には畦畔雑草を中心に発生が多くなり、梅雨明け後はさらに発生量が多くなった。	暖冬で越冬量は多いと考えられる状況であった。さらに梅雨明け後の高温により発生量が増加したと考えられる。	病害虫発生予察注意報第2号（7月8日発表）、3号（8月20日発表）による注意喚起を行った。被害の恐れのある圃場では本田防除が行われた。
	イネミズゾウムシ	5月～6月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	予察灯では越冬世代成虫、第一世代成虫とも発生はピークは平年よりやや早く発生量はやや多かったが、圃場での発生量は多くなかった。	昨年夏の発生量は少なかったが、暖冬で越冬条件は恵まれた。4月は寒い日が多くは初発日が遅かったが気温の上昇とともに発生量は増加した。	被害の恐れのある圃場では箱施用が行われ、実害は出なかった。
	ツマグロヨコバイ	6月～9月 平年：－ 前年：－	平年：少 前年：少	地域によって差はみられたものの、発生量は概ね少なかった。	暖冬で越冬条件は恵まれたが、近年は発生量が少なく、これを引く次ぐ形で発生量は少なかったと考えられる。	本種を対象とした防除は行われていないが、箱施用等により被害が発生しない程度に抑制されていると思われる。
	セジロウソウカ	6月～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	予察灯での誘殺数は平年並かそれ以下で、現地でも発生量は平年並以下で県内での被害は少ない。	例年どおり飛来数が少なく、大きな被害には至っていない。	本種を目的とした防除は行われなかった。
	トビロウソウカ	7月～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：多	8月初旬以降、予察灯により飛来を確認した。また、中山間地でトビロウソウカによる坪枯れ症状が発生した。	西日本の各県および近県でも発生・被害が多く一部は県内にも到達し、被害をもたらしたとみられる。	病害虫防除技術情報第8号（9月15日発表）による注意喚起を行った。被害が予想される圃場では防除が行われた。
	ヒメトビソウカ	6月～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：多	発生面積・発生量は平年よりやや多かったが、本年は縞葉枯病の発病が県内では見られていない。今のところ被害はないとみられる。	暖冬で越冬条件は恵まれた。	本種を目的とした防除は行われなかった。
	ニカメイガ	6月～8月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	フェロモントラップでは越冬世代、第一世代ともに発生量はやや少なかったが、現地では一部地域で発生は平年並かやや多となった。	昨年より少発生で越冬世代と第一世代もやや少発生傾向であったが、8月以降発生が多い地域があった。	例年被害の出る地域では、必要に応じて防除が行われた。
	コブノメイガ	7月～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：並	県中部で発生がやや多かった。	これまで飛来数が少なく、本田での発生量は少なかった。近年、普通期水稲の栽培面積が増加しているため、対策を検討する必要がある。	本種を対象とした防除は行われなかった。
	白葉枯病	8月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：やや少	発病はほとんど見られなかった。	台風の影響がないなど発生要因となる大雨がなかった。	本病害を対象とした防除は行われなかった。
	もみ枯細菌病（細菌性苗腐敗症）	4月中旬～5月上旬、8月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	発病はほとんど見られなかった。	健全な種子が供給されるようになり、また、育苗施設の環境も良くなったため、近年発生は少ない。	種子消毒で防除を行った。
	苗立枯病	4月中旬～5月上旬 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	育苗期間中の発生量は全体としては平年並に少なかった。	育苗時に寒暖差が激しい気象条件で発生が促されるが、4月は日照時間はあるものの低温傾向で推移した。	種子消毒及び育苗箱散布を行った。
	ほか苗病	4月中旬～5月上旬、7月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	育苗期間中の発生量は平年並に少なかったが、本田で発生した圃場が散見された。	種子消毒の不備により発生したと考えられるが、発生箇所は少ない。	種子消毒で防除した。育苗期間中も防除、適正管理の指導が行われている。採種圃および周辺圃場でも対策が徹底された。
	縞葉枯病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	発生は確認されていない。	例年、発生は確認されていない。	本病害を対象とした防除は行われていない。
	萎縮病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	発生は確認されていない。	例年、発生は確認されていない。	本病害を対象とした防除は行われていない。
	イネドロオウムシ	5月中旬～7月上旬 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：やや多	発生量は少なかった。例年、実害は少ない。	春は発生に適した条件であったが、その後は大発生には至らなかった。	本種の防除を目的とした防除は行われなかった。
	イネクワカメムシ	5月中旬～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	予察灯の飛来数は越冬成虫、第一世代ともにやや多かった。現地では発生量は平年並であった。	暖冬で越冬条件は恵まれたが、昨年から発生量は少ない。	本種を対象とした防除は行われなかった。実害はなかった。
	イチモンジセセリ	7月～8月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	発生量は少なかった。	暖冬で越冬条件は恵まれたが梅雨が長く続き発生量を減らす要因になった。	本種を対象とした防除は行われていない。
アワヨトウ	7月～8月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	発生はほとんどなかった。	暖冬で越冬条件は恵まれたが、水害など大発生をもたらす要因はなかった。	本種を対象とした防除は行われていない。	
フタオビコヤガ	7月～8月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	発生量は少なかった。	梅雨明けまでは低温で推移し、その後は高温で雨が少なかったため、多発条件とはならなかった。	本種を対象とした防除は行われていない。	
イナゴ類	6月～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：－	圃場、地域による差が大きかった。7～8月の発生量は平年を上回った。	近年増加傾向にある。周囲の休耕田や放り田の影響か？	本種を対象とした防除は行われていない。実害は少ないと思われる。	
イネシンガレセンチュウ	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：－	発生はほとんど確認されなかった。	種子更新・種子消毒が行われており、例年発生量は少ない。	種子消毒で防除した。	
小麦	うどんこ病	4月～5月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	発生はほとんど確認されなかった。	近年ほとんど発生を確認していない。冬暖かく雨量は平年並であったが、発生量は平年並に少なかった。	本病を主目的とした防除は行われていない。
	赤かび病	5月～6月 平年：－ 前年：－	平年：少 前年：少	発生量は少なかった。	4月5月の感染好適日に降雨が少なかった。	開花期の薬剤防除が行われた。

	さび病類	4月～6月上旬 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	発生はほとんど確認されなかった。	近年ほとんど発生を確認しておらず、発生量は平年並に少ない状況であった。	本病を主目的とした防除は行われていない。
	縮萎縮病	4月～5月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	発生はほとんど確認されなかった。	耐病性品種の作付が増えた。	耐病性品種・播種時期・施肥管理など耕種的に対応した。
	黒穂病類	5月～6月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	発生はほとんど確認されなかった。	種子更新により、健全な種子が使用されているため、ほとんど発生はなかった。	本病を主目的とした防除は行われていない。
	ムギアカタマバエ	5月～6月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	発生はほとんど確認されなかった。	連作圃場では発生があるが、わずかである。	連作回避で防除した圃場が多かった。
	アブラムシ類	4月～6月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	発生はほとんど確認されなかった。	例年の発生変動の範囲内である。	本種を主目的とした防除は行われていない。
大豆	アブラムシ類	8月～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや少	発生量は平年よりやや少なく推移した。	例年の発生変動の範囲内である。	本種を主目的とした防除は行われていない。
	ハスモンヨトウ	8月～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや少	白変葉の発生はやや少なかった。	飛来数はやや多かったが、ほ場での発生量はやや少なかった。	集団化された圃場では、発生量に応じて無人ヘリまたは乗用散布機で防除が行われた。
	吸害性カメムシ類	8月～10月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや少	各地で発生が確認されたが平年よりやや少なかった。	近年マナミアオカメムシが分布拡大し、発生量が増加した。早期水稻の収穫に伴ってダイズへの飛来がある。	集団化された圃場では、発生量に応じて無人ヘリまたは乗用散布機で防除が行われた。
	紫斑病		平年：やや少 前年：やや少	紫斑粒の発生量はやや少なかった。	種子消毒の実施が指導された。	健全種子の使用、種子消毒が行われた。集団化された圃場では、無人ヘリまたは乗用散布機で防除が行われた。
	コガネムシ類	8月～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	圃場での発生量はやや少なく推移した。	フェロモントラップの状況から今年の発生量は、やや少なかったと思われる。	本種を主目的とした防除は行われていない。
	シロイチモジ マダラメイガ		平年：やや少 前年：やや少	食害による被害粒の発生量はやや少なかった。	例年の発生変動の範囲内である。	本種を主目的とした防除は行われていない。
かんきつ	そうか病	春葉4～7月 平年：並 前年：早い 果実5～9月 平年：やや遅い 前年：早い	平年：並 前年：並	春葉での初発は4月18日(平年4月16日)とやや遅く、果実では5月23日(平年5月16日)と遅かった。発生量は、期間を通してほぼ平年並で推移した。	5月中旬～6月上旬の降水量は平年並～やや多かったが、防除が的確に行われ、発生が抑制された。	テブコナゾール、トリフロキシストロビン剤、銅剤、DMI等による発芽期防除が行われた。
	黒点病	果実5月～ 平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	果実での初発は5月下旬と平年並(県予察圃)。一般圃場では概ね適切に防除できており、発生量は平年並に推移した。	防除が的確に行われ、発生が抑制された。	初期感染時期から降水量に応じてマンゼブ剤、マンネブ剤、ポリカーバメート剤等による防除が実施された。
	かいはよう病	春葉5～9月 平年：やや遅い 前年：やや早い 果実6～9月 平年：遅い 前年：遅い	平年：並 前年：並	温州みかんでの発生量は期間を通じて平年並に少なかった。中晩柑での発生量は平年並であったが、防除の差か局所的に発生が見られる圃場があった。	中晩柑では銅剤による防除の実施により数年前から発生が抑制されていることが、全体的に発生が抑えられた大きな要因と考えられる。	中晩柑類では定期的に銅剤による防除が実施された。また、降雨の前後には銅剤等による防除が実施された。
	ミカンハダニ	4月～ 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	期間を通してほぼ平年並で推移したが、防除の差か局所的に発生が見られる圃場があった。	7月以降の降水量が多かったため、ハダニの発生量の増加は抑えられた。	マシン油乳剤を主体とした防除が実施されているが、多発時にはアセキノシル剤、シフルメトフェン剤、シエノピラフェン・ピリダベン剤等による防除が実施された。
	ハマキムシ類	5月～ 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	防除が的確に行われ、発生が抑制された。	アラニカルブ剤等による防除が実施された。
	褐色腐敗病	8月～ 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	発生は平年並に少ない。	8月は比較的雨少だったため、平年並に少なく推移した。	マンゼブ剤、シアゾファミド剤等で防除が実施された。
	ヤノネカイガラムシ	第1世代4～7月 第2世代7～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	近年、全般的に発生量自体が少ないが、防除の差によるものか、局所的に発生が確認される圃場もあった。	マシン油乳剤、DMTP剤等による防除が実施された。
	チャノキイロアザミウマ	5月～ 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて平年並に推移した。	防除が的確に行われ、発生が抑制された。	ネオニコチノイド剤、クロルフェニル剤等による防除が実施された。
	アブラムシ類	4～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて平年並に推移した。	7月以降の降水量が多かったため、アブラムシの発生量の増加は抑えられた。	幼木を中心に、アセタミプリド剤、チアメトキサム剤による防除が実施された。
	ミカンハモグリガ	5～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	夏秋梢の発生が多い圃場で局所的に発生が確認された。	夏秋梢の発生自体が少なかったため、発生が多い圃場に集中して被害が確認された。	幼木を中心に、アセタミプリド剤、チアメトキサム剤による防除が実施された。
	アカマルカイガラムシ	第1世代5～6月 第2世代7～9月 平年：－ 前年：－	平年：少 前年：並	紀州地域に限定して発生しており、発生ピークは6月下旬。	天候により防除が徹底できなかった園地で取りこぼしがあり、春先はいくらか発生を確認。	マシン油剤、DMTP剤、プロプロフェン剤、アラニカルブ剤等による防除が行われた。
	かき	カキノヘタムシガ	7月～ 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	期間を通じて平年並に少なく推移した。	例年発生は確認されているが防除により概ね抑えている。
ハマキムシ類		4～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	例年発生は少ない。	IGR剤、フェンプロパトリン剤等による防除が実施された。
炭疽病		4～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	例年発生は少ない。	マンゼブ剤、イミノクタジン剤等による防除が実施された。
うどんこ病		5月～ 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	7月頃から発生は確認されたが、期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	梅雨明け後の防除により発生が抑制された。	石灰硫黄合剤、テブコナゾール剤、イミノクタジン剤等による防除が実施された。
カキクダアザミウマ		5月～ 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	近年、典型的な被害の発生は、ほとんど見られない。発生密度そのものが低いと考えられる。	本害虫を対象とした防除は通常実施されていない。

	フジコナガイ ガラムシ	6月～ 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	適期の薬剤防除により発生が抑制された。	ジノテフラン剤、DMI剤、プロチオホス剤等による防除が実施された。
なし	黒星病	4～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	発生量は全体的にやや少なく推移した。園地間の差が大きい。防除のタイミングと前年の落葉処理等による園地ごとの菌密度の差が原因と考えられる。	前年の落葉処理が不徹底だった園地においては発生が増えたと考えられる。	発病初期には罹病部の除去が行われた。また、ストロビルリン系剤、DMI剤等による防除が実施された。
	ナシヒメシキ イ	4～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：やや少	フェロモントラップ（松阪市）では発生量はやや少なく推移した。一般園場における発生量も防除等による差があったが、発生量は概してやや少なかった。	一般園場ではパラツキはあるものの薬剤防除によって発生が抑制された。	ネオニコチノイド剤、チオジカルブ剤等による防除が実施された。一部では地域でまとまって、交信攪乱剤の設置が行われた。
	ハマキムシ類	4～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	フェロモントラップ（松阪市）の誘殺数は、チャノココクモンハマキはやや少なく推移し、チャハマキは5月上旬にピークがあったがそれ以降はほぼ平年並みに推移した。一般園場での発生量は平年並に少なく推移した。	一般園場ではパラツキはあるものの薬剤防除によって概ね発生が抑制された。	ネオニコチノイド剤、MEP剤等による防除が実施された。地域でまとまって、交信攪乱剤の設置が行われた。
	ハダニ類	4～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	期間を通じて発生は少なく推移した。	降雨と防除により抑制されたと考えられる。	エトキサゾール剤、ビフェナゼート剤、ミルベメクチン剤等による防除が実施された。
	赤星病	4～6月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生は少なく推移した。	近年、典型的な被害の発生は、放任園地以外ではほとんど見られず、発生密度そのものが低いと考えられる。	DMI剤、マンゼブ剤等による防除が実施された。
	うどんこ病	5～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	期間を通じて発生は平年並に推移した。	適期の薬剤防除などにより多発に至らなかったと考えられる。	イミノクタジン剤、DMI剤等による防除が行われた。
	輪紋病	5～8月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	例年発生は少なく、病原菌密度そのものが低いと考えられる。	DMI剤等の散布や休眠期のチオファネートメチルペースト剤塗布による防除が行われた。
	アブラムシ類	4～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量はやや少なく推移した。	的確な防除により、発生が抑制された。	ネオニコチノイド剤等による防除が実施された。
クワコナガイ ガラムシ	5～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	初期の発生が少なく、梅雨明け後に適期防除ができた。	DMI剤、ピリフルキナゾン剤等による防除が実施された。	
ぶどう	べと病	6～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：やや少	期間を通じて発生量は平年並に推移した。	適期防除により発生は抑制された。	シアソファミド剤、ストロビルリン系剤、銅剤等による防除が実施された。
	ハマキムシ類	4～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	適期の薬剤防除などにより多発に至らなかったと考えられる。	ダイアジノン剤等による防除が実施された。
	晩腐病	6～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	発生量は平年並で推移した。	適期防除により発生は抑制された。	アゾキシストロビン剤、マンゼブ剤等による防除が実施された。
	黒とう病	4～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に推移した。	発生密度そのものが低いと考えられる。	DMI剤、ベノミル剤、トリフルミゾール剤、マンゼブ剤等による防除が行われた。
	チャノキイロ アザミウマ	5～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	初期の発生が少なく、適期の薬剤防除により発生が抑制された。	ベルメトリン剤等による防除が行われた。
	クワコナガイ ガラムシ	4～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	初期の発生が少なく、適期の薬剤防除により発生が抑制された。	DMI剤、ダイアジノン剤による防除が行われた。
果樹共通	カメムシ類	4～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや多	5月上旬にツヤアオカメムシが増加し、半月ほどでピークは落ち着いたが、それ以降も平年よりやや多く推移した。7月以降チャブネアオカメムシが増加し、特に山地と中間地で平年より多く推移した。	越冬量は平年よりやや多く、新成虫の果樹園への飛来が増加し、以降平年より多く推移した。	飛来が確認された園地では、ネオニコチノイド剤、合成ピレスロイド剤、MEP剤等による防除が行われた。
茶	炭疽病	4月～10月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	4月から6月は発生量はやや少なく推移したが、7月から8月は平年並みの発生で推移した。	7月から8月初旬の降水量が多く発生が増加したと考えられる。	デブコナゾール剤等による防除が行われた。
	カンザワハダ ニ	4月～10月 平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：やや少	4月から5月にやや多または平年並の発生が見られたが、7月から8月は全体的に平年並以下で推移した。9月に多発する圃場が見られた。	4月は越冬量ハダニの影響で発生が多く、その後も増加したが、8月以降は適度な降雨があり発生が抑えられた。秋季に気温低下とともに発生量が増加に転じたと考えられる。	エトキサゾール剤、ミルベメクチン剤、シクルメトフェン剤等による防除が行われた。
	チャノココク モンハマキ	4月～10月 平年：－ 前年：並	平年：並 前年：並	期間を通し、発生量はほぼ平年並みであった。	越冬世代から飛来数は平年並みもしくはやや少で推移し、平年並の発生量になったと考えられる。	エマメクチン安息香酸塩剤等による防除が行われた。
	チャハマキ	4月～10月 平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に推移した。	4月～5月に飛来数はやや多かったが、その後平年並で推移した。ココクモンハマキに比較して近年飛来数が少ない。	エマメクチン安息香酸塩剤等による防除が行われた。
	もち病	4月～10月 平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	期間を通じて平年並に少なく推移した。	各茶期摘採後の整枝の励行が近年の少発生の要因と考えられる。	デブコナゾール剤等による防除が行われた。
	輪斑病	4月～10月 平年：並 前年：並	平年：並 前年：やや多	4月から7月まで発生量はやや少なく推移したが、8月にやや多の発生となった。	8月の高温多雨で発生が増加したと考えられる。	アゾキシストロビン剤等による防除が行われた。
	チャノホソガ イ	4月～10月 平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：並	4月に発生量がやや多となり、5月はやや少、6～7月はやや多、8～9月はやや少と推移した。	高温で越冬世代の活動が活発であったため4月の発生が多くなり、6月に飛来数が多かったため6月から7月の発生量が増加したと考えられる。	ミルベメクチン剤等による防除が行われた。
	チャノミドリ ヒメヨコバイ	4月～10月 平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に推移した。	慣行防除により発生が抑えられたと考えられる。	ピリフルキナゾン剤、トルフェンピラド剤等による防除が行われた。
	チャノキイロ アザミウマ	4月～10月 平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	4月から8月まで発生量はやや少で推移したが、9月にやや多となった。	慣行防除により発生が抑えられたが、8月後半の高温・乾燥で発生が増加したと考えられる。	ピリフルキナゾン剤等による防除が行われた。
	ツマクログア オカミカメ	4月～10月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて平年並に少なく推移した。	隣接に雑草地が多い圃場に発生がみられた。	ピリフルキナゾン剤、トルフェンピラド剤等による防除が行われた。

	クワシロカイガラムシ	第1世代(5月) 平年:並 前年:並 第2世代(7月) 平年:やや早 前年:並	平年:やや多 前年:やや多	第1世代幼虫孵化最盛期は5月第4半旬と平年並、第2世代幼虫は7月第4半旬とやや早であった。発生量は平年並～やや多であった。	多発圃場では一番茶摘採後の中刈りを行い発生を抑制している。	ピリプロキシフェン剤による冬季防除、ピリフルキナゾン剤やプロフェジン剤等による幼虫孵化期を中心とした防除が行われた。
	ヨモギエダシヤク	6月～10月 平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	平年並で推移した。	多発要因はなく、平年並に少ない発生であった。	ルフェスロン剤等による防除が行われた。
冬春トマト	疫病	4月～5月 10月～3月	平年:並 前年:並 平年:並 前年:並	全般的に平年並に少なかった。	例年、ほとんど発生は見られない。	発生圃場では薬剤による防除がなされた。
	灰色かび病	4～6月 10月～3月	平年:やや少 前年:やや少 平年:やや少 前年:やや少	4～5月の発生は、やや少発生であった。冬期間も目立った発生はなく、やや少で推移した。	換気等によるハウス内環境の改善などがなされた。	薬剤耐性菌発生に配慮した防除がなされた。
	アブラムシ類	4月～6月 9月～3月	平年:並 前年:並 平年:並 前年:並	期間を通じて発生は平年並に少なかった。	例年ほとんど発生は見られない。	コナジラミ類の侵入を阻止する防虫ネットの設置や薬剤防除により、同時防除された。
	ハスモンヨトウ	9月～10月	平年:並 前年:やや少	トマト施設内における発生は、期間を通じて発生量は平年並に少ない状況であった。	防虫ネットの設置により侵入を防いでいる。	発生圃場では薬剤による防除がなされた。発生の多いほ場ではフェロモントラップを設置しているほ場もある。
	葉かび病	4月～6月 10月～3月	平年:やや少 前年:やや少 平年:やや少 前年:やや少	発生は一部圃場での発生にとどまり、発生に広がりが見られなかった。期間を通しての発生はやや少であった。	近年、葉かび病抵抗性品種の導入が進んでいるため、発生は少ない状況である。しかし、葉かび病の防除圧が減っているため、逆にすずかび病の発生は増加している。	発生圃場では薬剤による防除がなされた。抵抗性品種導入圃場では、抵抗性を打破する新レースの出現に注意する必要がある。
	黄化葉巻病	4月～6月 9月～3月	平年:やや多 前年:やや多 平年:やや多 前年:やや多	主にコナジラミ類の防除が徹底していない圃場で発生量がやや多となっている。	一部圃場ではコナジラミの侵入防止用の防虫ネットの老朽化などにより、侵入が認められている。	防虫ネットの設置や発病株の除去の徹底を指導している。
	ハモグリバエ類	4月～6月 9月～3月	平年:並 前年:やや少 平年:並 前年:やや少	期間を通じて発生量は平年並に少なかった。	防虫ネットの設置により侵入を防いでいるため、多発する圃場は少なくなっている。	発生圃場では薬剤による防除や葉欠きが行われた。
	コナジラミ類	4月～6月 9月～3月	平年:並 前年:やや多 平年:やや多 前年:やや多	一部ほ場ではやや多の発生となっている。	防虫ネットの設置により侵入を防いでいるが防虫ネットの老朽化などにより、侵入が認められている圃地がある。	薬剤による防除が行われている。
	オオタバコガ	9月～11月	平年:並 前年:少	オオタバコガのフェロモントラップ(松阪市嬉野川北町)による誘殺数調査によると、全期間(4月～12月末)のオオタバコガの誘殺数は496頭(平年:411.3頭)と平年並程度の誘殺数である。	侵入を阻止するネットの設置により回避を図っている。	薬剤による防除がなされた。
秋冬ハクサイ	アブラムシ類	9月～11月	平年:並 前年:やや少	一般圃場における発生は平年並に少なかった。	育苗期および定植時の防除により、発生は抑制された。	育苗期の灌水処理や本圃での薬剤散布などの防除が行われた。
	コナガ	9月～12月	平年:やや少 前年:少	ほとんど発生は見られない。全体的に発生はやや少なかった。	育苗期および定植時の防除により発生は抑制された。近年、秋の発生量は少ない傾向である。	育苗期の灌水処理や本圃での薬剤散布などの防除が行われた。
	ハスモンヨトウ	9月～11月	平年:やや多 前年:やや少	フェロモントラップ(松阪市嬉野川北町)誘殺数は、9月から11月までで、5,870頭が誘殺され、平年3,673.0頭で、やや多であった。	育苗期および定植時の防除により、発生は抑制された。	育苗期灌水処理などの薬剤による防除が行われた。
	軟腐病	9月～11月	平年:やや少 前年:並	降雨があつて排水が停滞するような一部ほ場で発生しているが本年は発生がやや少ない。	水田裏作での栽培でほ場が湿地傾向にあるほ場で発生が認められている。	薬剤による防除がなされた。
	白斑病	9月～12月	平年:やや少 前年:やや少	発生は平年同様少なかった。近年発生は少ない傾向である。	防除により発生は抑えられた。	薬剤による防除がなされた。
	べと病	9月～12月	平年:やや少 前年:並	発生はやや少なかった。	例年ほとんど発生は見られない。	薬剤による防除がなされた。
	ヨトウガ	9月～11月	平年:やや少 前年:やや少	発生はやや少であった。	育苗期および定植時の防除により発生は抑制された。	育苗期の灌水処理や本圃での薬剤散布などの防除が行われた。
	モンシロチョウ	9月～11月	平年:並 前年:やや少	本年はほ場での飛翔があまり見られなかった。	育苗期および定植時の防除により発生は抑制された。	育苗期の灌水処理や本圃での薬剤散布などの防除が行われた。
冬キャベツ	黒腐病	10月～12月	平年:少 前年:やや少	10月中旬以降、台風の接近がなかったため、発生量は少であった。	初期防除により発生は抑制された。	薬剤による防除がなされた。
	菌核病	11月～12月	平年:並 前年:並	ほ場により、発生の有無に差があり、連作ほ場で発生が多い。	畑地圃場で発生する傾向となっている。	被害株の早期除去などが行われた。
	コナガ	9月～12月	平年:やや少 前年:少	フェロモントラップによると4月～12月までの誘殺数は81頭(平年239.2頭)と少なく、ほ場での発生量もやや少なかった。	育苗期および定植時の防除により発生は抑制された。近年、秋の発生量は少ない傾向である。	育苗期の灌水処理や本圃での薬剤散布などの防除が行われた。
	アブラムシ類	9月～11月	平年:並 前年:やや少	ほ場によって発生が見られたが平年並に少なかった。	育苗期および定植時の防除により、発生は抑制された。	育苗期に薬剤による防除が行われた。
	ハスモンヨトウ	9月～11月	平年:やや多 前年:やや少	フェロモントラップ(松阪市嬉野川北町)誘殺数は、9月から11月までで、5,870頭が誘殺された。平年3,673.0頭で、やや多であった。	育苗期および定植時の防除が実施されたこと等により、発生は抑制された。	育苗期に薬剤による防除が行われた。
	根こぶ病	11月～2月	平年:並 前年:並	目立った発生は確認されなかった。	例年発生は少なく、畑地圃場の一部で発生が認められる程度である。	発生圃場では定植前に薬剤による防除が行われた。
	モンシロチョウ	9月～11月	平年:やや少 前年:やや少	本年はほ場での飛翔があまり見られなかった。	育苗期および定植時の防除により発生は抑制された。	育苗期の灌水処理や本圃での薬剤散布などの防除が行われた。

	ヨトウガ	9月～11月	平年：並 前年：並	発生は平年並であった。	育苗期および定植時の防除により発生は抑制された。	育苗期の灌水処理や本圃での薬剤散布などの防除が行われた。
春キャベツ	菌核病	4月～5月 3月	平年：並 前年：並 平年：並 前年：やや少	発生は平年並の発生量であった。	前年の発生ほ場への作付けを行ったほ場で発生が認められている。	被害株の早期撤去などが行われた。
	根こぶ病	4月～5月	平年：並 前年：並	全体的に発生は平年並であった。	例年発生は少なく、畑地圃場の一部で発生が確認される程度である。	定植前の薬剤による防除、発病株の除去等が行われた。
	コナガ	4月～5月 12月～3月	平年：並 前年：やや少 平年：並 前年：やや少	一部圃場で発生が見られたが、全体的に発生は平年並に少なかった。	育苗期および定植時の防除により発生は抑制された。	育苗期の灌水処理や本圃での薬剤散布などの防除が行われた。
	モンシロチョウ	9月～11月	平年：やや少 前年：やや少	本年はほ場での飛翔があまり見られなかった。	育苗期および定植時の防除により発生は抑制された。	育苗期の灌水処理や本圃での薬剤散布などの防除が行われた。
	アブラムシ類	9月～11月	平年：やや少 前年：やや少	発生はほとんど見られず、平年よりやや少なかった。	育苗期および定植時の防除により、発生は抑制された。	育苗期灌水処理などの薬剤による防除が行われた。
秋冬ネギ	さび病	4月～5月 10月～3月	平年：並 前年：やや少 平年：並 前年：やや少	発生は平年並に少なかった。近年発生量は少ない傾向にある	防除により発生は抑制された。	薬剤による防除が行われた。
	アブラムシ類	5月～11月	平年：並 前年：並	期間を通して発生は平年並に少なかった。	例年ほとんど発生は見られない。	薬剤による防除が行われた。
	黒斑病	6月～11月	平年：並 前年：並	発生は平年並である。	防除により発生は抑制された。	薬剤による防除が行われた。
	ネギハモグリバエ	5月～11月	平年：やや少 前年：多	本年は防除困難なほ場は少なくなり、発生量はやや少なかった。	ネギハモグリバエは長年のネギの産地では期間を通して発生が見られており、年々発生量、被害量が多くなってきている。	薬剤による防除が行われた。
	ネギアザミウマ	5月～11月	平年：やや多 前年：やや少	例年、発生が多く一部で、葉が白化する被害が見られ、発生はやや多かった。	防除により発生は抑制された。近年発生が多い傾向である。	薬剤による防除が行われた。
	ネギコガ	8月～12月	平年：並 前年：並	ほ場での発生は平年並に少なかった。	例年、ほ場ではほとんど発生は見られない。	発生圃場では薬剤による防除が行われた。
	シロイチモジヨトウ	8月～12月	平年：並 前年：やや少	シロイチモジヨトウのフェロモントラップ（松阪市嬉野川北町）による誘殺数調査によると、8月から12月の誘殺数は216頭（平年：274.7頭）と平年並であった。	防除により発生は抑制された。近年発生が多い傾向がある。	薬剤による防除が行われた。
冬春イチゴ	灰色かび病	4月12月～3月	平年：並 前年：並 平年：やや少 前年：やや多	4月の発生は並であった。12月以降は発病果がやや少なかった。	防除の遅れなどによりいったん多発すると防除困難となり、発生が多くなった。	薬剤による防除、発病部位の除去などが行われた。
	アブラムシ類	6月～3月	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並であった。	防除効果が高い薬剤が普及し、多発する圃場は減少している。	薬剤による防除が行われた。
	ハスモンヨトウ	9月～11月	平年：やや多 前年：並	フェロモントラップ（松阪市嬉野川北町）誘殺数は、9月から11月までで、5,870頭が誘殺された。平年3,673頭に対してやや多かった。	育苗期および定植時の防除が実施されたこと等により、発生は抑制された。	育苗期に薬剤による防除が行われた。
	うどんこ病	6月～3月	平年：少 前年：少	苗床、本圃での発生は、ともに少なく推移した。	防除により発生は抑制された。	薬剤による防除がなされた。
	炭疽病	6月～11月	平年：やや多 前年：やや多	育苗期の後半から徐々に発生が見られるようになり、発生量はやや多かった。	主力品種は罹病性の‘章姫’であるが、近年は県育成の抵抗性品種‘かおり野’の導入が進んでいる。	薬剤による予防防除、発病を軽減する育苗方法の導入（雨よけ育苗、底面給水等）、抵抗性品種（かおり野）の導入、発病株の除去等が行われた。
	アザミウマ類	4月3月	平年：やや少 前年：やや少	発生は平年よりやや少なかった。	密度上昇による被害拡大がないよう、早期発見に努めている。	薬剤による防除が行われた。
	ハダニ類	6月～3月	平年：並 前年：並	ほ場間差が大きく、管理方法の差がそのまま発生量の差となって表れており、発生は二極化がみられている。	ほ場による差が大きく、定植時に少ない状況であることが重要であるとみられる。	薬剤による防除がなされた。薬剤感受性の低下を防ぐため、天敵資材（カブリダニ）や気門封鎖剤を組み合わせた防除を実施している。

#### 4. 病害虫の発生面積と防除面積

農作物名	作付面積 (ha)	病害虫名	程度別発生面積 (ha)					防除面積 (ha)	
			甚	多	中	少	計	実面積	延面積
イネ (早期水稲)	25,975	葉いもち		0	330	2531	2862	18183	18183
		穂いもち		0	0	330	330	18183	20780
		紋枯病		0	110	9025	9135	18183	20780
		イネミズゾウムシ		0	136	5712	5848	6494	6494
		セジロウンカ		0	0	0	0	18183	20780
		トビイロウンカ		0	0	0	0	18183	20780
		ヒメトビウンカ		0	0	8695	8695	18183	20780
		ツマグロヨコバイ		0	0	5503	5503	18183	20780
		ニカメイチュウ第1世代		0	0	330	330	0	0
		ニカメイチュウ第2世代		0	0	1761	1761	0	0
		斑点米カメムシ類		110	3192	9576	13868	18183	20780
		コブノメイガ		0	0	3082	3082	0	0
		苗立枯病		0	0	0	0	25975	25975
		ばか苗病		0	0	109	109	25975	25975
		籾枯細菌病		0	0	0	0		
		籾枯細菌病 (種子消毒)						25975	25975
		縞葉枯病		0	0	0	0	0	0
		白葉枯病		0	0	0	0	0	0
		萎縮病		0	0	0	0	0	0
		イネシンガレセンチュウ		0	0	0	0		
		イネシンガレセンチュウ (種子消毒)							25975
		イネドロオイムシ		0	0	881	881	0	0
		イネクロカメムシ		0	0	440	440	0	0
フタオビコヤガ		0	0	1981	1981	0	0		
イチモンジセセリ		0	0	330	330	0	0		
アワヨトウ		0	0	110	110	0	0		
イネ (普通期水稲)	1,425	葉いもち		0	18	139	157	998	998
		穂いもち		0	0	18	18	998	1140
		紋枯病		0	0	130	130	998	1140
		イネミズゾウムシ		0	7	313	321	356	356
		セジロウンカ		0	0	0	0	998	1140
		トビイロウンカ		0	0	0	0	998	1140
		ヒメトビウンカ		0	0	259	259	998	1140
		ツマグロヨコバイ		0	0	777	777	998	1140
		ニカメイチュウ第1世代		0	0	18	18	0	0
		ニカメイチュウ第2世代		0	0	97	97	0	0
		斑点米カメムシ類		60	175	525	761	997	1140
		コブノメイガ		0	0	169	169	0	0
		苗立枯病				0	0	1425	1425
		ばか苗病		0	0	6	6	1425	1425
		もみ枯細菌病		0	0	0	0		
		もみ枯細菌病 (種子消毒)						1425	1425
		縞葉枯病		0	0	0	0	0	0
		白葉枯病		0	0	0	0	0	0
		萎縮病		0	0	0	0	0	0
		イネシンガレセンチュウ		0	0	0	0		
		イネシンガレセンチュウ (種子消毒)							1425
		イネドロオイムシ		0	0	48	48	0	0
		イネクロカメムシ		0	0	24	24	0	0
フタオビコヤガ		0	0	109	109	0	0		
イチモンジセセリ		0	0	18	18	0	0		
アワヨトウ		0	0	6	6	0	0		
コムギ R2年産	6,579	さび病類		0	0	0	0	0	0
		うどんこ病		0	0	0	0	0	0
		赤かび病		0	0	366	366	6579	6579
		黒穂病類		0	0	0	0	0	0
		縞萎縮病		0	0	0	0	0	0
		アブラムシ類		0	0	1097	1097	0	0
		ムギアカタマバエ		0	0	0	0	0	0
ダイズ	4,290	ハスモンヨトウ				248	248	3192	3192
		吸実性カメムシ類			1120	938	2058	3670	7340
		紫斑病				7	7	3990	7979

		アブラムシ類				0	0	0	0
		コガネムシ類			570	570	0	0	0
		シロイチモジマダラメイガ			11	11	0	0	0
カンキツ	1,350	そうか病		6	197	203	1215	2430	
		黒点病	8	270	981	1259	1215	5772	
		かいよう病		7	236	243	1215	3038	
		ヤノネカイガラムシ			30	30	1215	2126	
		ミカンハダニ	1	200	274	475	1215	3949	
		カメムシ類	2	4	158	164	1215	1215	
		チャノキイロアザミウマ		2	606	608	1215	4860	
		ミカンハモグリガ		4	158	162	1215	1215	
		アブラムシ類			162	162	1215	1215	
ナシ	152	黒星病		1	44	45	144	1912	
		赤星病			23	23	144	505	
		うどんこ病			34	34	144	163	
		輪紋病			11	11	144	867	
		ハダニ類		1	25	26	144	433	
		カメムシ類	2	6	22	30	144	144	
カキ	405	炭疽病			16	16	283	1252	
		うどんこ病			19	19	283	1548	
		カキノヘタムシガ			21	21	283	663	
		カメムシ類	2	15	28	45	283	283	
ブドウ	115	べと病		3	49	52	109	874	
		黒とう病			15	15	109	765	
		チャノキイロアザミウマ			7	7	109	401	
		晩腐病			28	28	109	511	
チャ	2,520	炭疽病		63	567	630	2280	5472	
		もち病			131	131	1415	2123	
		輪斑病	8		411	419	2358	2620	
		チャノコカクモンハマキ		118	1061	1179	2298	4137	
		チャハマキ			655	655	1572	2044	
		チャノホソガ		14	1415	1429	2206	4505	
		チャノミドリヒメヨコバイ		19	1553	1572	2206	4505	
		カンザワハダニ	13	58	1239	1310	2280	6974	
		チャノキイロアザミウマ	15	149	1329	1493	2298	7814	
		ツマグロアオカスミカメ			603	603	1834	1834	
		クワシロカイガラムシ		97	1213	1310	2096	2934	
		ヨモギエダシヤク	2		522	524	1310	1572	
冬春トマト	63	疫病			1	1	10	10	
		灰色かび病			19	19	63	295	
		アブラムシ類			0	0	0	0	
秋冬ハクサイ	177	軟腐病			6	6	82	124	
		白斑病			1	1	126	126	
		べと病			1	1	107	107	
		アブラムシ類			32	32	177	221	
		ヨトウガ			14	14	105	126	
		コナガ			3	3	120	156	
冬キャベツ	231	黒腐病			0	0	218	251	
		菌核病			14	14	133	151	
		モンシロチョウ			7	7	50	64	
		コナガ			8	8	218	264	
		ヨトウガ			14	14	133	264	
		ハスモンヨトウ			11	11	199	199	
春キャベツ	146	菌核病		2	17	19	43	52	
		モンシロチョウ			2	2	23	35	
		コナガ			4	4	123	210	
秋冬ネギ	163	さび病			1	1	26	52	
		黒斑病		1	112	122	152	217	
		アブラムシ類			1	1	1	1	
		ネギハモグリバエ		2	101	103	163	495	
		ネギアザミウマ	1	47	57	105	52	163	
		ネギコガ			1	1	6	6	
冬春イチゴ	74	灰色かび病			17	17	74	305	
		うどんこ病			3	3	74	102	
		アブラムシ類			8	8	74	102	
		ハダニ類		2	32	34	74	320	
		ハスモンヨトウ			1	1	74	85	

## 5. 発行された予察情報

### (1) 発生予察情報の一覧

発生予報	第1号 4月23日	第2号 5月21日	第3号 6月26日	第4号 7月22日	第5号 8月20日	第6号 10月22日	第7号 3月25日
------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	---------------	--------------

	病害虫名	対象作物
注意報第1号 令和2年6月30日	いもち病(葉いもち、穂いもち)	水稻
注意報第2号 令和2年7月8日	斑点米カメムシ類	水稻
注意報第3号 令和2年8月20日	斑点米カメムシ類	普通期水稻

	病害虫名	対象作物
技術情報第1号 令和2年4月20日	スクミリンゴガイ	水稻
技術情報第2号 令和2年4月22日	ネギアザミウマ(薬剤抵抗性・生殖系統)	ネギ
技術情報第3号 令和2年5月11日	クワシロカイガラムシ	チャ
技術情報第4号 令和2年5月28日	果樹カメムシ類	果樹
技術情報第5号 令和2年5月29日	ツマジロクサヨトウ	飼料用トウモロコシ
技術情報第6号 令和2年7月6日	クワシロカイガラムシ	チャ
技術情報第7号 令和2年7月10日	ハスモンヨトウ	ダイズ・野菜類・花き類
技術情報第8号 令和2年9月15日	トビイロウンカ	普通期水稻
技術情報第9号 令和2年9月18日	吸実性カメムシ類・ハスモンヨトウ	ダイズ
技術情報第10号 令和2年10月30日	スクミリンゴガイ	水稻
技術情報第11号 令和2年10月30日	菌核病	冬春キャベツ



(2) 予報

防除第7号  
令和2年4月23日

目次

各位

三重県病害虫防除所長

ページ

**令和2年度病害虫発生予報第1号**

1. 向こう1か月の予報と対策	1
2. 作物別の状況	2
3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠	6
4. 予察項目の見方	10
5. 気象のデータ	11
6. おしらせ	13

このことについて、下記のとおり発表します。

1. 向こう1か月の予報と対策

1) 作物

イネでは、イネミズゾウムシの発生時期は**やや遅**、発生量は**やや少**と予想されます。

コムギでは、赤かび病の発生量は**やや少**と予想されます。

2) 果樹

カンキツでは、そうか病、かいよう病の発生量は**平年並**と予想されます。ミカンハダニの発生量は**やや少**と予想されます。

ナシでは、黒星病、赤星病、ハダニ類、アブラムシ類の発生量は**平年並**と予想されます。

果樹共通では、果樹カメムシ類の発生量は**平年並**と予想されます。

3) 茶

チャでは、カンザワハダニ、チャノホソガ、クワシロカイガラムシの発生量は**やや多**と予想されます。多発状況であれば摘採前日数に注意して防除してください。チャノコカクモンハマキの発生量は**平年並**と予想されます。チャノキイロアザミウマの発生量は**やや少**と予想されます。

4) 野菜

イチゴでは、ハダニ類の発生は**平年並**と予想されます。

515-2316 三重県松阪市嬉野川北町 530

TEL 0598-42-6365 Fax 0598-42-7568

ホームページ <http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm>

**農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。**

2. 作物別の状況

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項		
			平年比	平年比		程度	平年比	発生消長の一例				
								4月	5月			
						下旬	上旬	中旬	下旬			
イネ	イネミズゾウムシ	やや遅	やや少	小	低		成虫誘殺数				1) 近年、発生量が少ないので移植後、発生の状況に応じて防除してください。 2) 常発圃場では、箱施用剤による予防を行ってください。	
コムギ	赤かび病	—	やや少	小	普通		感染	発病			1) 病害虫防除所 HP(コムギ赤かび病防除情報)。 2) 開花期から乳熟期にかけて感染するので、開花最盛期が防除適期です。開花前の薬剤散布は防除効果が劣ります。 3) 出穂および開花状況を把握し、適期防除を行ってください。 4) 曇雨天が続くと被害は増加するので天候の推移に注意し、曇天または降雨が続く場合は追加防除を行ってください。	
カンキツ	そうか病	—	平年並	小	低		葉枝の発病				1) 発芽期の防除を実施することで、その後の発生を抑えることができます。 2) 新葉に病斑が見られる圃場では、その後果実へ感染しますので、幼果期の防除を計画してください。	
	かいよう病	—	温州平年並 中晩柑平年並	温州小 中晩柑中	温州低 中晩柑普通		発病密度				1) 越冬病斑が見られる圃場では、新葉や幼果へと感染していくので、初期の予防散布がポイントです。 2) 越冬病斑が多い圃場では、伝染源となる発病葉及び発病枝は除去し、圃場外で処分してください。 3) 3~4月に防除を実施していない圃場では、5月に防除を実施してください。	
	ミカンハダニ	—	やや少	中	普通		成ダニ密度				1) 冬期にマシン油乳剤を散布していない圃場では、新梢伸長期に急増することがあるので注意してください。 2) 発生量は圃場によるばらつきがあるので、発生状況をよく観察してください。 3) 成虫が1葉当たり0.5~1.0頭になったら防除を計画してください。	

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活消長の一例				防除の注意事項
						4月		5月		
						下旬	上旬	中旬	下旬	
ナシ	黒星病	—	平年並	小	普通					1) 昨年の発生が多かった圃場では、天気予報の降雨の情報に注意し、防除適期を逃さないようにしてください。 2) 発病が確認されたら追加防除を行ってください。
	赤星病	—	平年並	小	普通					1) カイツカイブキ等の枝葉に生成された病原菌が飛散して、ナシに感染します。 2) 病原菌は雨滴によって飛散し、主に降雨中に感染します。
	ハダニ類	—	平年並	小	普通					1) 発生が見られる圃場では、低密度のうちに防除してください。
	アブラムシ類	—	平年並	小	普通					1) 初期の寄生を見つけることが重要です。 2) 寄生葉付近はアリが活発に活動していることがあるので、発見の目安になります。
果樹共通	カメムシ類	—	平年並	小	低					1) 本年は越冬量がやや少なく、初夏までの圃場への飛来はやや少ないと考えられます。 2) 山林に近い圃場や過去に多数飛来があった圃場では、飛来に注意してください。 3) 果樹カメムシ類は、4月はウメ、5月はナシ、ビワ、モモに飛来します。 4) 防除は圃場及び圃場周辺(街灯への夜間飛来など)への果樹カメムシ類の飛来を確認して行ってください。 5) 一旦飛来すると連続して飛来することが多いので、防除実施後も注意してください。

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活消長の一例				防除の注意事項
						4月		5月		
						下旬	上旬	中旬	下旬	
チャ	カンザワハダニ	—	やや多	中	普通					1) 一番茶摘採後圃場を確認して、多発状況であれば摘採前日数に注意して防除してください。 2) 葉裏に生息していますので、葉裏に十分かかる様に薬剤をていねいに散布してください。 3) 薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一系統の薬剤の連用は避けてください。 4) 天敵への影響が小さい薬剤を選択してください。
	チャノホソガ	—	やや多	小	普通					1) 新芽に産卵します。若齢幼虫の多発が認められた圃場では防除しましょう。 2) 病害虫防除所のホームページにフェロモントラップ誘殺状況を掲載していますので参考してください。
	チャノキイロアザミウマ	—	やや少	小	低					1) 新芽の葉柄基部や未展開葉の内側などを吸汁加害します。 2) 新芽の伸長と共に発生量が増加します。
	クワシロカイガラムシ	—	やや多	中	普通					1) 4月13日現在の有効積算温度による予測式では、孵化最盛日は5月21日で平年並(亀山10年平年値 5月20日)、防除適期は5月第5~6半旬頃と予想されます。なお、今後の温度変化により防除適期は変化しますので、ご注意ください。 2) 天敵保護のために、天敵への影響が小さい薬剤を選択してください。 3) 孵化時期に散水により枝幹を濡らすことで歩行型幼虫の固着を防ぐ効果があります。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比 程度		要防除 圃場率 平年比	発生消長の一例				防除の注意事項
						4月		5月		
						下旬	上旬	中旬	下旬	
チャ	チャノコカクモンハマキ	—	平年並	小	普通					1) 幼虫は孵化数日後に葉を2~3枚綴るようになるので、葉が効きにくくなります。孵化直後の若齢幼虫を対象に防除してください。 2) 例年、越冬世代成虫の発生最盛期は5月第2半旬です。この7~15日後の幼虫孵化期(5月中下旬頃)が防除適期です。 3) 病害虫防除所のホームページにフェロモントラップ誘殺状況を掲載しているので参考してください。
イチゴ	ハダニ類	—	平年並	中	普通					1) 圃場によって発生にばらつきがあります。こまめに圃場を観察し、発生状況を確認してください。 2) 葉液がかかりやすくなるよう、不要な下葉を除去し、葉裏にもかかるよう丁寧に散布してください。 3) 薬剤抵抗性が発達しやすいため、同一系統薬剤の連用は避けてください。 4) 薬剤散布の際は、収穫前日数と総使用回数を遵守するとともに、天敵やミツバチに対する影響も十分考慮して、薬剤の選択を行ってください。

### 3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
イネ	イネミズウムシ	やや遅	やや少	要因 1) 1か月予報(4月16日発表)によると、気温は平年並か低く、降水量は平年並の予想(発生時期+) 2) 予察灯(4月第1半旬~第3半旬)では、未飛来(平年5月1日初飛来)と平年並(発生時期±) 3) 予察灯(昨年7月第1半旬~9月第2半旬)では、誘殺数は99頭(平年209.9頭)と少(-) 4) 巡回調査圃場(昨年8月)では、発生圃場率11.0%(平年10.3%)と平年並みの傾向、払い落とし虫数は0.2頭(平年0.2頭)と平年並みの傾向(±) 考察: 予察灯における飛来状況から、発生時期は平年並と考えられます。また、昨年の予察灯及び巡回調査結果から越冬成虫の予想発生量はやや少と考えられます。
コムギ	赤かび病	—	やや少	要因 1) 1か月予報(4月16日発表)によると、気温は平年並か低く、降水量は平年並の予想(±) 2) 作況試験田(11月13日播種・品種あやひかり・松阪市)では、出穂期は3月29日(平年4月10日)と早(-) 3) 一般圃場では、出穂期が早い状況(-) 考察: 今後の気象条件、作況試験田および一般圃場の状況から、予想発生量はやや少と考えます。
カンキツ	そうか病	—	平年並	要因 1) 1か月予報(4月16日発表)によると、気温は平年並か低く、降水量は平年並の予想(±) 2) 巡回調査圃場(4月第1~2週)では、旧葉発病度0.03(平年0.003)と多(+) 3) 一般圃場での発生量は少~やや少(概してやや少)(-) 考察: 今後の気象条件、巡回調査結果および一般圃場の発生状況から、予想発生量は平年並と考えます。
	かいよう病	—	温州 平年並 中晩柑 平年並	要因 1) 1か月予報(4月16日発表)によると、気温は平年並か低く、降水量は平年並の予想(±) 2) 巡回調査圃場(4月第1~2週)では、温州みかんでは旧葉発病度0.06(平年0.04)とやや多、中晩柑類では旧葉発病度2.0(平年4.0)と平年並の傾向(±) 3) 一般圃場での発生量は少~平年並(概してやや少)(-) 考察: 今後の気象条件、巡回調査結果および一般圃場の発生状況から、予想発生量は温州みかん、中晩柑類ともに平年並と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
カンキツ	ミカンハダニ	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(4月16日発表)によると、気温は平年並か低く、降水量は平年並の予想(±)</p> <p>2) 県予察圃(4月中旬)では、100葉当り雌成虫寄生頭数は、無防除区4.4頭(平年31.9頭)と少、慣行防除区0.0頭(平年0.4頭)と平年並に少(—)</p> <p>3) 巡回調査圃場(4月第1～2週)では、寄生葉率4.5%(平年4.9%)と平年並、寄生虫数/葉は0.1頭(平年0.3頭)とやや少の傾向(—)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は少(—)</p> <p>考察: 今後の気象条件、県予察圃、巡回調査結果および一般圃場の発生状況から、予想発生量はやや少と考えます。</p>
ナシ	黒星病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(4月16日発表)によると、気温は平年並か低く、降水量は平年並の予想(±)</p> <p>2) 巡回調査圃場(4月第1～2週)では、発病芽率0%(平年0%)と平年並に少(±)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は少(—)</p> <p>考察: 今後の気象条件と巡回調査結果から、予想発生量は平年並と考えます。</p>
	赤星病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(4月16日発表)によると、気温は平年並か低く、降水量は平年並の予想(±)</p> <p>2) 巡回調査圃場(4月第1～2週)では、発病葉率0%(7年平均0%)と平年並に少の傾向(±)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は平年並に少(±)</p> <p>考察: 巡回調査結果、一般圃場の発生状況から、予想発生量は平年並と考えます。</p>
	ハダニ類	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(4月16日発表)によると、気温は平年並か低く、降水量は平年並の予想(±)</p> <p>2) 巡回調査圃場(4月第1～2週)では、寄生葉率0%(7年平均0%)と平年並に少の傾向(±)</p> <p>考察: 現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
	アブラムシ類	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(4月16日発表)によると、気温は平年並か低く、降水量は平年並の予想(±)</p> <p>2) 巡回調査圃場(4月第1～2週)では、寄生枝率0%(9年平均0.2%)と平年並に少の傾向(±)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は少(—)</p> <p>考察: 現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
果樹共通	カメムシ類	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 予察灯(御浜町4月1日～10日)では、誘殺数はチャバネアオカメムシ0.0頭(平年4.9頭)と少、ツヤアオカメムシ0.0頭(平年30.7頭)と少(—)</p> <p>2) 県予察圃フェロモントラップ(御浜町4月1～10日)では、チャバネアオカメムシ誘殺数は1.0頭(平年2.1頭)とやや少、ツヤアオカメムシ0.0頭(平年0.6頭)とやや少(—)</p> <p>3) フェロモントラップ(4月2週)では、チャバネアオカメムシ誘殺数は山地(津市白山町川口)0.0頭(平年4.6頭)と少、中間地(津市白山町二本木)0.0頭(平年4.7頭)と少、平坦地(松阪市嬉野川北町)0.0頭(平年0.1頭)と平年並に少(—)</p> <p>4) 昨年度のフェロモントラップ(平成30年10月1日～11月30日)ではチャバネアオカメムシ誘殺数は山地(津市白山町川口)126.0頭(平年167.5頭)と平年並の傾向、中間地(津市白山町二本木)15.0頭(平年40.4頭)とやや少の傾向、平坦地(松阪市嬉野川北町)26.0頭(平年19.1頭)とやや多の傾向(±)</p> <p>5) チャバネアオカメムシの越冬量は、0.6頭/地点(平年4.5頭)とやや少の傾向、クサギカメムシの越冬量は、40.8頭/地点(平年53.1頭)と平年並の傾向(±)</p> <p>6) 巡回調査圃場(4月第1～2週)では、カンキツ圃場への飛来は未確認(—)</p> <p>考察: 昨年度秋以降の越冬世代の発生量はやや少と考えられますが、越冬量は平年並であることから、今後の圃場への飛来数の予想発生量は平年並と考えます。</p>
	チャ	カンザワハダニ	—	やや多
	チャノホソガ	—	やや多	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(4月16日発表)によると、気温は平年並か低く、降水量は平年並の予想(±)</p> <p>2) 県予察圃では、萌芽日は3月31日(平年4月4日)とやや早、初飛来は2月27日(平年3月18日)と早、フェロモントラップ(3月第3半旬～4月第2半旬)では誘殺数870.3頭(平年316.4頭)と多(+)</p> <p>3) 巡回調査圃場(4月第2週)では、新芽への産卵は未確認(—)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量はやや多(+)</p> <p>考察: 一般圃場の状況を重視して、現状の発生量はやや多と考えられ、引き続き予想発生量はやや多と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
チャ	チャノキイロアザミウマ	—	やや少	<b>要因</b> 1) 1か月予報(4月16日発表)によると、気温は平年並か低く、降水量は平年並の予想(±) 2) 県予察圃(4月第1～第2半旬)では、黄色粘着トラップ捕殺数12.0頭(7年平均65.2頭)とやや少の傾向(－) 3) 巡回調査圃場(4月第2週)では、叩き落とし虫数0頭(平年1.6頭)と少(－) 4) 一般圃場では、発生は未確認(－) <b>考察</b> ： 県予察圃の状況を重視して、現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。
	クワシロカイガラムシ	—	やや多	<b>要因</b> 1) 1か月予報(4月16日発表)によると、気温は平年並か低く、降水量は平年並の予想(±) 2) 巡回調査圃場(4月第2週)では、雌成虫寄生株率21.3%(平年13.2%)と多(+) 3) 一般圃場では、発生量は平年並(±) <b>考察</b> ： 巡回調査圃場及び一般圃場の状況から、現状の発生量はやや多と考えられ、引き続き予想発生量はやや多と考えます。
	チャノコカクモンハマキ	—	平年並	<b>要因</b> 1) 1か月予報(4月16日発表)によると、気温は平年並か低く、降水量は平年並の予想(±) 2) 県予察圃フェロモントラップ(4月第1～第2半旬)では、誘殺数25.9頭(平年21.8頭)と平年並(±) 3) 巡回調査圃場(4月第2週)では、ハマキムシ類巻葉数11.0枚/m <sup>2</sup> (平年0.5枚/m <sup>2</sup> )と多(+) 4) 一般圃場では、ハマキムシ類の発生量は平年並(±) <b>考察</b> ： 県予察圃及び一般圃場の状況から、現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。
イチゴ	ハダニ類	—	平年並	<b>要因</b> 1) 1か月予報(4月16日発表)によると、気温は平年並か低く、降水量は平年並の予想(±) 2) 巡回調査圃場(4月第1～2週)では、寄生株率14.4%(平年14.0%)と平年並、寄生程度7.0%(平年7.5%)と平年並(±) 3) 一般圃場では、発生量はやや少～やや多(概して平年並)(±) <b>考察</b> ： 前月に引き続き、発生量は、ほ場間差が大きいが、全体としての予想発生量は平年並と考えます。

#### 4. 予察項目の見方

##### 1) 「作物別の状況」の見方

**発生時期(平年比)**： 平年の発生月日からの差を「早、やや早、平年並、やや遅、遅」の5段階評価で予測します。ただし、発生時期が毎年大きく変化する病害虫では、日数の基準が下記より大きくなります。発生時期を予察する意義の小さい病害虫では予察しません。

日数	-6	-5	-4	-3	-2	-1	平年 発生日	1	2	3	4	5	6	
評価	早	やや早		平年並				やや遅			遅			

**発生量(平年比)**： 発生密度の平年値からの差を「少、やや少、平年並、やや多、多」の5段階評価で予測します。平年値との比較なので、平年値が小さければ、「多」になっても見かけの密度は多くないことがあります。毎年多発生している場合は「平年並」や「やや少」でも見かけ上は多いと感じることがあります。

	平年値 ↓					
度数	10%	20%	20%	20%	20%	10%
評価	少	やや少	平年並		やや多	多

**発生量(程度)**： 発生程度を「小、中、大、甚」の4段階評価で予測します。評価の基準値は病害虫毎に異なりますが、大雑把には、「見た目の多さ・少なさ」です。甚になるほど見た目は多くなり、小になるほど見た目は少なくなります。「発生量(平年比)」と比

べることによって、「平年並に発生程度が小さい」「発生程度は大きい平年並の発生量である」「平年より多いが、発生程度は小さい」「平年よりやや少ないが、依然として発生程度は中くらいである」等のように判断してください。

小	中	大	甚
---	---	---	---

**要防除圃場率(平年比)**： 防除の必要性の目安を「低、普通、高」の3段階評価で予測します。「普通」であれば、県下の大半の圃場では防除暦に沿った通常の防除が必要と予想されます。「高」であれば、防除時期の見直しや追加防除が必要になると予想されます。「低」であれば、防除回数を減らせるか、防除しなくても済むと予想されます。

低	普通	高
---	----	---

**発生消長の一例**： 発生予報は向こう1か月の予報ですが、その前後を合わせて40日ほどの病害虫の発生消長の一例をグラフで示します。大まかな目安として利用してください。

**防除の注意事項**： 向こう1か月の病害虫の特性と防除に関する説明です。

##### 2) 「発生時期・発生量(平年日)の予察根拠」の見方

(±)：平年並の要因

(+)：発生量増加または発生時期遅延の要因

(-)：発生量減少または発生時期早期化の要因

## 5. 気象のデータ

### 東海地方1か月予報(令和2年4月16日 名古屋地方気象台発表)

寒気の影響を受けやすいため、向こう1か月の気温は平年並か低いでしょう。

期間の前半は、かなり低くなる見込みです。

天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

1週目 4月18日～ 24日	低気圧や湿った空気の影響で雲が広がりやすく、期間の前半は雨の降る日があるでしょう。	津の降水日数・晴れ日数の平年値 2.2日・4.3日
2週目 4月22日～ 5月1日	天気は数日の周期で変わり、高気圧に覆われやすく、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。	同 2.1日・4.2日
3～4週目 5月2日～ 15日	天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。	同 4.8日・8.0日

### 東海地方週間天気予報(令和2年4月20日10時35分 名古屋地方気象台発表)

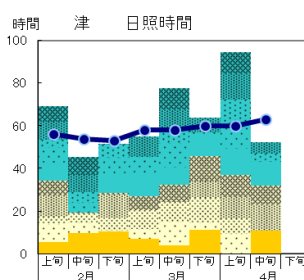
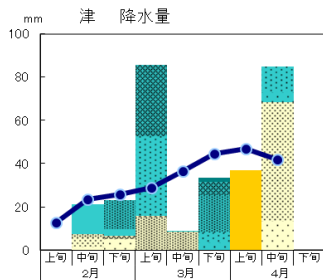
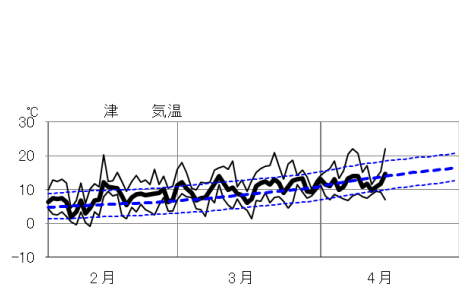
予報期間 4月21日～4月27日

向こう一週間は、期間のはじめは西高東低の気圧配置となるためおおむね晴れますが、その後は気圧の谷や寒気の影響で雲が広がりやすいでしょう。

最高気温と最低気温はともに、平年並か平年より低く、期間の中頃は平年よりかなり低くなる所もあるでしょう。

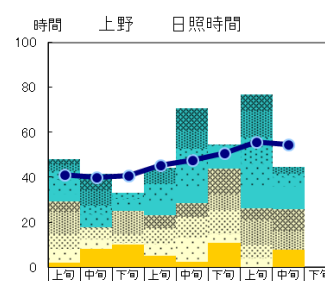
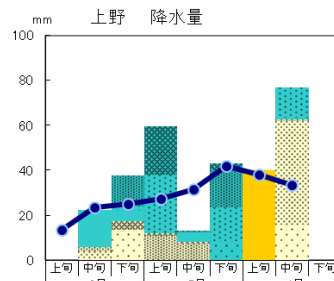
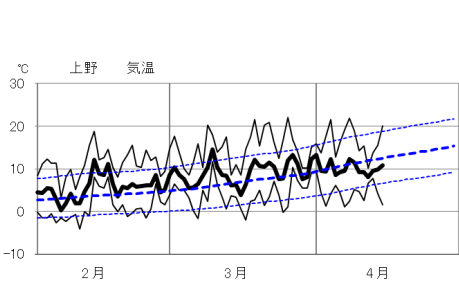
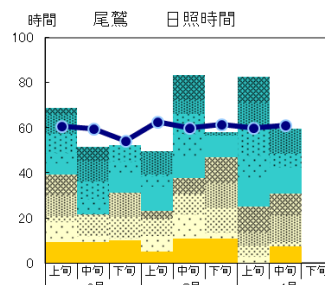
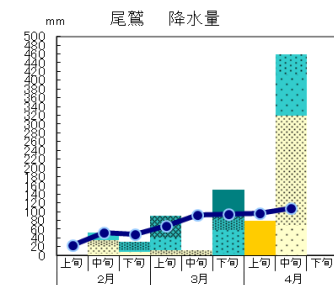
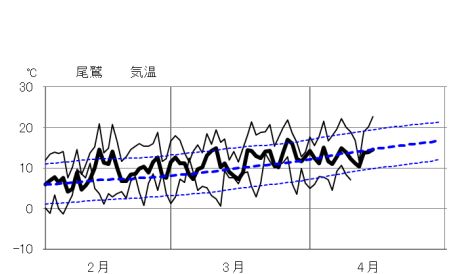
降水量は、平年より少ない見込みです。

### 気象の日別推移(気象庁発表データ <http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/ctrn/index.php> から作成) (4月19日まで)



11

三重県病害虫防除所



凡例

- 平均
- 最高
- 最低
- - - 平年平均
- - - 平年最高
- - - 平年最低

凡例

- 31日
- 旬10日目
- 旬9日目
- 旬8日目
- 旬7日目
- 旬6日目
- 旬5日目
- 旬4日目
- 旬3日目
- 旬2日目
- 旬1日目
- 旬平年値

凡例

- 31日
- 旬10日目
- 旬9日目
- 旬8日目
- 旬7日目
- 旬6日目
- 旬5日目
- 旬4日目
- 旬3日目
- 旬2日目
- 旬1日目
- 旬平年値

## 6. お知らせ (前回と異なる項目には **NEW** の印があります)

### 1) 記載基準の注意点

平年ほとんど発生のないか非常に少ない病害虫については、平年並に少ない発生状態の「発生量平年比」を「平年並」、「発生量程度」を「小」と記述しています。

### 2) 発表日 **NEW**

本年度の病害虫発生予報は次の予定で発表します。

第1回	4月23日(木)(今回)	第2回	5月21日(木)
第3回	6月25日(木)	第4回	7月22日(水)
第5回	8月20日(木)	第6回	10月22日(木)
第7回	3月25日(木)		

### 3) 利用方法

全部または一部をコピーして回覧・配布にご利用ください。ただし必ずページの右下にある「三重県病害虫防除所」の文字が入るようにしてください。

病害虫防除所ホームページには、この予報をはじめとして、不定期に発表される警報、注意報、特殊報、技術情報や、各種のグラフ、写真も載っています。下記のアドレスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm>

このホームページはフリーリンクです。リンクする場合、事前の承諾申請等は不要ですが、事後で結構ですのでメールにてご一報いただくと幸いです。

### 4) 本冊子の利用の手引き書 **NEW**

本冊子の見方を説明した「病害虫発生予報利用の手引き」があります。下記のアド

レスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000881131.pdf>

### 5) メール配信サービス

予報、警報、注意報、特殊報、技術情報が発表されたときに、ホームページに掲載されたという「掲載通知」を電子メールでお知らせしています。このメールの配信を希望される方は、下記のアドレスからお申し込みください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/39475007379.htm>

### 6) 農薬登録状況の最新情報

農薬の販売や使用に当たっては、農薬登録上の制限があります。農薬の使用時はラベルをよく読んでください。次のインターネットサイトでは、最新の農薬登録状況が確認できます。

独立行政法人農林水産消費安全技術センターの「農薬登録情報提供システム」

[http://www.acis.famic.go.jp/index\\_kensaku.htm](http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm)

### 7) IPM(総合的病害虫・雑草管理)実践指標について

三重県では IPM を実践する上で必要な農作業の具体的な取組内容を示した作物別の指標を公表しています。農業者の皆さんの取組について、現状把握と今後の気づきにご活用ください。病害虫防除所ホームページにリンクを設定しています。

三重県農林水産部農産園芸課ホームページ内

<http://www.pref.mie.lg.jp/NOAN/HP/80301022763.htm>

13

三重県病害虫防除所

防除第10号  
令和2年5月21日  
各位  
三重県病害虫防除所長

## 令和2年度病害虫発生予報第2号

このことについて、下記のとおり発表します。

### 1. 向こう1か月の予報と対策

#### 1) 作物

イネでは、葉いもちの発生時期は平年並、発生量は平年並と予想されます。イネクロカメムシの発生量は平年並、イネミズゾウムシの発生時期は平年並、発生量は平年並と予想されます。

#### 2) 果樹

カンキツでは、かいよう病(温州みかん・中晩柑)、黒点病、チャノキイロアザミウマの発生量は平年並と予想されます。そうか病の発生量はやや少と予想されます。

ナシでは、黒星病、ハダニ類の発生量は平年並と予想されます。

ブドウでは、べと病の発生量は平年並と予想されます。

果樹共通では、カメムシ類の発生量はやや多と予想されます。発生が認められる場合は速やかに防除を実施してください。

#### 3) 茶

チャでは、炭疽病、もち病、カンザワハダニの発生量は平年並、チャノホソガ、チャノドリヒメコバエ、チャノキイロアザミウマの発生量はやや少と予想されます。

#### 4) 野菜

イチゴでは、炭疽病の発生量は平年並と予想されます。うどんこ病の発生量はやや少と予想されます。

ネギでは、ネギコガの発生量は平年並と予想されます。

野菜共通では、コナガの発生量はやや少と予想されます。

515-2316 三重県松阪市嬉野川北町 530

TEL 0598-42-6365 Fax 0598-42-7568

ホームページ<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm>

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

## 2. 作物別の状況

作物名	病害虫名	発生時期		発生量		要防除圃場率	発生活長の一例				防除の注意事項
		発生時期	発生量	程度	圃場率		5月		6月		
							下旬	上旬	中旬	下旬	
イネ	葉いもち	—	平年並	小	普通	置苗で発生	—	—	本田で発生	—	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 補植用置き苗は発生源となるので、速やかに除去し、枯死させてください。</li> <li>2) 本田粒剤による予防は、初発前に行ってください。</li> <li>3) いもち病発生予測支援システム(プラスタム)において、感染好適条件の現れた7~10日後に初発が予測されます。</li> <li>4) プラスタムの最新情報は、病害虫防除所ホームページで随時更新しています。</li> </ol>
	イネクロカメムシ	—	平年並	小	低	成虫誘殺数	—	—	被害量	—	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 常発地で薬剤散布する場合は、越冬成虫の発生量がピークになる6月下旬に実施してください。</li> </ol>
	イネミズゾウムシ	—	平年並	小	低	成虫誘殺数	—	—	—	—	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 株当たり0.5頭以上の成虫が発生していれば、防除してください。</li> </ol>
カンキツ	そうか病	—	やや少	小	低	葉・枝	—	—	果実	—	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 梅雨明けまで幼果に感染します。</li> <li>2) 6月以降は新芽や幼果の病斑から二次感染するので、予防散布が重要です。</li> </ol>
	黒点病	—	平年並	小	普通	発病密度	—	—	—	—	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 生理落果盛期~後期に予防散布を実施してください。</li> <li>2) 上記薬剤散布後、積算で200mm以上の降雨があったら次の防除を実施してください。</li> <li>3) 枯枝が伝染源です。梅雨時期の枯枝発生に注意し、樹冠内や圃場内の枯枝を除去して下さい。</li> </ol>

作物名	病害虫名	発生時期		発生量		要防除圃場率	発生活長の一例				防除の注意事項
		発生時期	発生量	程度	圃場率		5月		6月		
							下旬	上旬	中旬	下旬	
カンキツ	かいよう病	—	温州平年並 中晩柑平年並	温州小 中晩柑中	温州低 中晩柑普通	発病密度	—	—	—	—	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 旧葉で越冬病斑が見られる圃場では、感染を助長する降雨等の気象条件に注意し、ボルドー剤による予防散布を実施してください。</li> <li>2) 越冬病斑が見られない圃場でも、本病に弱い品種(カラ、セミノールなど)では、幼果への感染防止対策として予防散布を実施してください。</li> <li>3) 中晩柑類では、梅雨期頃から10月中下旬頃まで果実への感染が起こります。</li> </ol>
	ミカンハダニ	—	平年並	中	普通	雌ダニ密度	—	—	—	—	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 梅雨期は薬剤散布のタイミングが取りにくい時期です。マシン油乳剤等を有効に利用する散布を計画して下さい。</li> <li>2) 発生密度が高い圃場では、散布ムラのないように十分に薬剤散布してください。</li> <li>3) 薬剤抵抗性発達を回避するため、同一系統薬剤使用は年1回としてください。</li> </ol>
	チャノキイロアザミウマ	—	平年並	小	普通	成虫密度	—	—	—	—	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 例年被害の多い圃場では6月上旬~中旬に防除し、その後は30日間隔を目安に次の防除を行ってください。</li> </ol>
ナシ	黒星病	—	平年並	小	普通	発病密度	—	—	—	—	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 圃場内をよく観察し、発病が認められる場合は速やかに防除を実施してください。</li> <li>2) 発病葉は発見次第取り除き、圃場外へ持ち出して処分してください。</li> <li>3) 薬剤耐性菌を生ずる恐れがあるため同一系統薬剤の連用を避けてください。</li> </ol>
	ハダニ類	—	平年並	小	普通	雌ダニ密度	—	—	—	—	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 防除の目安は成虫の1葉当たり寄生頭数が1頭以上の時です。</li> <li>2) 薬剤抵抗性発達を回避するため、同一系統薬剤使用は年1回としてください。</li> </ol>



作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比 程度		要防除 圃場率 平年比	発生活消長の一例				防除の注意事項
						5月		6月		
						下旬	上旬	中旬	下旬	
ブドウ	べと病	—	平年並	小	普通					<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 雨が連続と急激に発生が広がります。降雨が予想される時は、早めに予防散布を行ってください。</li> <li>2) 葉裏をよく観察し、病斑を認めたら直ちに防除を実施してください。</li> <li>3) 被害葉、被害果穂は発見次第取り除き、圃場外に持ち出し処分してください。</li> </ol>
果樹共通	カメムシ類	—	やや多	中	普通					<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 降雨がなく気温の高い夜に飛来が多いので、夜間の街灯に注意したり、圃場を見回るなどして、早期発見に努めてください。</li> <li>2) 山林に近い圃場では特に注意が必要です。</li> <li>3) 薬剤散布はカメムシ類の飛来を確認してから実施してください。</li> <li>4) 夕刻から活発に飛翔するので朝夕の薬剤散布が効果的です。</li> <li>5) 合成ピレスロイド系の薬剤を連続して散布すると、ハダニ類、カイガラムシ類の発生が多くなる傾向があるので注意してください。</li> </ol>
チャ	炭疽病	—	平年並	小	普通					<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 気温が25℃前後で降雨時間が長く湿潤であると多発します。</li> <li>2) 6月上中旬頃の気象によっては感染が助長されるので注意してください。</li> <li>3) 旧葉に病斑葉が多いところは注意してください。</li> <li>4) 開葉初期に防除してください。</li> </ol>
	もち病	—	平年並	小	低					<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 気温が低い(15~22℃)と多発します。</li> <li>2) 山間地など日陰になりやすいところでは、降雨により感染が多くなります。</li> <li>3) 萌芽期が防除適期です。</li> </ol>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比 程度		要防除 圃場率 平年比	発生活消長の一例				防除の注意事項
						5月		6月		
						下旬	上旬	中旬	下旬	
チャ	カンザワハダニ	—	平年並	中	普通					<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 世代交代が早く、急増することがあるので、発生密度の低い時期に防除してください。</li> <li>2) 葉裏に生息していますので丁寧に散布してください。</li> <li>3) 天敵への影響の小さい薬剤を選択してください。</li> <li>4) 薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一系統の薬剤の連用は避けてください。</li> </ol>
	チャノホソガ	—	やや少	小	普通					<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 防除適期は孵化直後の潜葉期(幼虫による絵描き状態)です。</li> <li>2) 成虫の飛来状況と新芽への産卵状況(水滴状の卵)に注意してください。</li> <li>3) 成虫の飛来状況は、病害虫防除所のホームページを参考にしてください。</li> </ol>
	チャノミドリヒメヨコバイ	—	やや少	小	普通					<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 成虫で越冬し、新芽の伸長とともに発生が増加します。</li> <li>2) 新芽を加害し、先端から褐変して落葉することもあります。</li> <li>3) 二番茶の萌芽期～開葉初期に防除してください。</li> </ol>
	チャノキイロアザミウマ	—	やや少	小	低					<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 成虫で越冬し、新芽の葉の組織内に産卵し、加害します。</li> <li>2) 二番茶の萌芽前～開葉初期に防除してください。</li> </ol>
イチゴ	うどんこ病	—	やや少	中	普通					<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 今後1か月は感染しやすい時期です。圃場をよく観察し、早期発見に努め、発病葉は適切に処分してください。</li> <li>2) 育苗圃で発生が多いと本圃でも多発するため、親株の時期から薬剤防除を徹底し、健全苗を育成してください。特にハウスで発生が多くなることもあるので注意して下さい。</li> <li>3) 薬剤耐性菌を生ずる恐れがあるため、同一系統薬剤の連用は避けてください。</li> </ol>

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活消長の一例				防除の注意事項		
			発生量 平年比	発生量 平年比		程度	発生量 平年比	5月				
								下旬	上旬		中旬	下旬
イチゴ	炭疽病		平年並	中	普通		親株				1) 高温・多湿条件で発生しやすいため、今後の梅雨・高温期にかけては注意が必要です。 2) 薬剤による予防散布を徹底してください。 3) 罹病株は感染源となります。見つけ次第速やかに除去し、圃場外に持ち出して処分してください。 4) 水滴の跳ね返りによって病原菌が広がります。灌水時は、跳ね返った水滴が茎葉に当たらないよう注意してください。	
ネギ	ネギコガ		平年並	小	普通	成虫密度					1) 春から秋にかけて4～5回発生します。 2) 幼虫が葉の内部に潜り、表皮を残して食害するため、潜入防止のための早期防除が重要です。	
野菜共通	コナガ		やや少	小	普通	成虫密度					1) 近年、大きな被害は見られませんが、繁殖力が旺盛なアブラナ科野菜の重要害虫です。 2) 中・老齢幼虫は殺虫効果が低くなるので、若齢のうちに防除してください。 3) 薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一系統薬剤の連用は避けてください。	

### 3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
イネ	葉いもち	平年並	平年並	要因 1) 1か月予報(5月14日発表)によると、平均気温は平年並か平年より高く、降水量は平年並か多い予想(発生時期±、発生量±) 2) 巡回調査圃場(5月第1週)では、置き苗での発生率0%(平年0%)、本田での発生圃場率0%(平年0%)と、平年並に少(±) 3) 一般圃場では、発生量は少で平年並(±) 考察: 今後の気象条件から予想発生時期は平年並、今後の気象条件、巡回調査結果、一般圃場での発生状況から予想発生量は平年並と考えます。
	イネクロカメムシ	—	平年並	要因 1) 予察灯の誘殺数は松阪市・昨年8月第2半旬～10月第6半旬の水田位置48頭(平年24.6頭)と多、畑位置1548頭(平年664.5頭)と多(+)。本年4月第1半旬～5月第2半旬、の水田位置0頭(平年0頭)と平年並みに少、畑位置0頭(平年0頭)と平年並みに少(—) 考察: 予察灯の状況から昨年の誘殺数は多く越冬成虫数は多いと考えられるが、今年の発生が少ないことから予想発生量は平年並と考えます。
	イネミズゾウムシ	平年並	平年並	要因 1) 予察灯(水田・松阪市:4月第1半旬～5月第3半旬)では、越冬成虫の初発日は5月1日(平年4月30日)と平年並。誘殺数は70頭(平年28.0頭)と多(発生時期—、発生量+) 2) 巡回調査圃場(5月第1週)では、発生圃場率22.5%(平年50.8%)と少、被害株率3.4%(平年17.3%)と少、株当り虫数0.01頭(平年0.04頭)と少(—) 3) 一般圃場での発生量は少～やや少(概して少)(—) 考察: 予察灯の状況から幼虫の予想発生時期は平年並、予察灯、一般圃場の発生状況から、予想発生量は並と考えます。
カンキツ	そうか病	—	やや少	要因 1) 1か月予報(5月14日発表)によると、平均気温は平年並か平年より高く、降水量は平年並か多い予想(±) 2) 県予察圃(5月14日、無防除)では、新葉発病率28.3%(平年69.4%)と少、発病果率0.0%(平年8.5%)と少(—) 3) 巡回調査圃場(5月第2週)では、旧葉発病度0.00(平年0.02)とやや少(—) 4) 一般圃場では、発生量は少(—) 考察: 巡回調査圃場を重視し現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
カンキツ	黒点病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(5月14日発表)によると、平均気温は平年並か平年より高く、降水量は平年並が多い予想(±)</p> <p>2) 県予察圃(無防除区)では、昨年10月上旬の果実発病度は90.0(平年78.2)でやや多の傾向(+)</p> <p>3) 巡回調査圃場では、昨年10月上旬の果実発病度8.1(平年14.3)と少(—)</p> <p>4) 感染源となる枯枝は平年並(±)</p> <p>考察: 平年と比べて大きな増減の要因はなく、予想発生量は平年並と考えます。</p>
	かいよう病	—	温州 平年並 中晩柑 平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(5月14日発表)によると、平均気温は平年並か平年より高く、降水量は平年並が多い予想(±)</p> <p>2) 県予察圃(5月中旬、新甘夏、無防除)では、新葉発病率0.0%(平年0.0%)と平年並(±)</p> <p>3) 巡回調査圃場(5月第2週)では、旧葉発病度は温州みかんでは0.06%(平年0.02%)とやや多の傾向(+)、中晩柑類では1.1%(平年2.4%)と少(—)</p> <p>4) 一般圃場では、温州、中晩柑類ともに発生量は少(—)</p> <p>考察: 今後の気象条件、巡回調査結果および一般圃場の発生状況から、予想発生量は温州みかん、中晩柑類ともに平年並と考えます。</p>
	ミカンハダニ	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(5月14日発表)によると、平均気温は平年並か平年より高く、降水量は平年並が多い予想(±)</p> <p>2) 県予察圃(5月14日)では、100葉当り寄生頭数は、無防除区26.7頭(平年29.1頭)と平年並、慣行防除区0.0頭(平年1.3頭)と平年並の傾向(±)</p> <p>3) 巡回調査圃場(5月第2週)では、旧葉寄生率1.4%(平年7.6%)と平年並の傾向、寄生頭数0.02頭/葉(平年0.76頭/葉)と平年並みの傾向(±)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は少～やや多(概して平年並)(±)</p> <p>考察: 現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
	チャノキイロアザミウマ	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(5月14日発表)によると、平均気温は平年並か平年より高く、降水量は平年並が多い予想(±)</p> <p>2) 県予察圃における5月上旬の黄色粘着トラップ誘殺数0.1頭/日(平年値0.5頭/日)とやや少の傾向(—)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は少～平年並(概してやや少)(—)</p> <p>考察: 現状の発生量はやや少と考えられますが、今後の気象条件を考慮し予想発生量は平年並と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
ナシ	黒星病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(5月14日発表)によると、平均気温は平年並か平年より高く、降水量は平年並が多い予想(+)</p> <p>2) 巡回調査圃場(5月第2週)では、発病率0.0%(平年0.4%)とやや少の傾向(—)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量はやや少(—)</p> <p>考察: 巡回調査圃場および一般圃場の発生状況を重視して現状の発生量はやや少と考えられますが、今後の気象条件を考慮し予想発生量は平年並と考えます。</p>
	ハダニ類	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(5月14日発表)によると、平均気温は平年並か平年より高く、降水量は平年並が多い予想(±)</p> <p>2) 巡回調査圃場(5月第2週)では、寄生率0%(平年0.04%)と平年並に少(±)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は少(—)</p> <p>考察: 現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
ブドウ	べと病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(5月14日発表)によると、平均気温は平年並か平年より高く、降水量は平年並が多い予想(±)</p> <p>2) 巡回調査圃場(5月第2週)では、発病率は0%(平年0%)と平年並に少(±)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は少(—)</p> <p>考察: 現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
果樹共通	カメムシ類	—	やや多	<p>要因</p> <p>1) 予察灯(御浜町・5月1日～10日)では、誘殺数はチャバネアオカメムシ80.0頭(平年451.8頭)と少、ツヤアオカメムシ4556.0頭(平年1087.6頭)と多(±)</p> <p>2) 予察灯(畑・松阪市:5月第1半旬～第2半旬)では、誘殺数はチャバネアオカメムシ94頭(平年49.4頭)とやや多の傾向、ツヤアオカメムシ100頭(平年4.8頭)と多(+)</p> <p>3) フェロモントラップ(5月第2週)では、チャバネアオカメムシ誘殺数は、山地(津市白山町川口)で41.7頭(平年47.9頭)と平年並の傾向、中間地(津市白山町二本木)で105.0頭(平年85.9頭)とやや多、平地地(松阪市嬉野川北町)で13.5頭(平年51.0頭)と少(±)</p> <p>4) フェロモントラップ(5月第2週)では、ツヤアオカメムシ誘殺数は、山地(津市白山町川口)で24.2頭(平年1.4頭)多、中間地(津市白山町二本木)で3.3頭(平年3.2頭)と平年並、平地地(松阪市嬉野川北町)で5.0頭(平年4.2頭)と平年並の傾向(+)</p> <p>5) 巡回調査圃場(5月第2週、カンキツ圃場)では、叩き落とし虫数0.15頭(平年0.23頭)と平年並の傾向(±)</p> <p>6) 一般圃場では、発生量は平年並～やや多(概してやや多)(+)</p> <p>考察: 現状の発生量は、やや多と考えられ、引き続き予想発生量はやや多と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
チャ	炭疽病	—	平年並	要因 1)1か月予報(5月14日発表)によると、平均気温は平年並か平年より高く、降水量は平年並か多い予想 (+) 2)県予察圃(一番茶期)では、発生は未確認 (±) 3)巡回調査圃場(5月第2週)では、新葉発病葉数0葉/m <sup>2</sup> (平年0.04葉/m <sup>2</sup> )と少 (-) 考察: 現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。
	もち病	—	平年並	要因 1)1か月予報(5月14日発表)によると、平均気温は平年並か平年より高く、降水量は平年並か多い予想 (-) 2)県予察圃(一番茶期)では、発生は未確認 (±) 3)巡回調査圃場(5月第2週)では、新葉発病枚数0枚(平年0枚)と平年並に少 (±) 考察: 現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。
	カンザワハダニ	—	平年並	要因 1)1か月予報(5月14日発表)によると、平均気温は平年並か平年より高く、降水量は平年並か多い予想 (±) 2)県予察圃(5月上旬)では、寄生葉率3.0%(平年3.8%)とやや少、寄生頭数0.12頭/葉(平年0.14頭/葉)と平年並(±) 3)巡回調査圃場(5月第2週)では、発生圃場率64.3%(平年39.8%)と多、寄生葉率5.4%(平年4.1%)と多、寄生頭数0.10頭/葉(平年0.09頭/葉)と平年並 (+) 4)一般圃場では、発生量はやや少 (-) 考察: 現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。
	チャノホソガ	—	やや少	要因 1)1か月予報(5月14日発表)によると、平均気温は平年並か平年より高く、降水量は平年並か多い予想 (±) 2)県予察圃(4月第3半旬~5月第2半旬)では、フェロモントラップ誘殺数192頭(平年220.8頭)とやや少 (-) 3)巡回調査圃場(5月第2週)では、巻葉数0.07枚/m <sup>2</sup> (9年平均0.56枚/m <sup>2</sup> )と少の傾向 (-) 4)一般圃場では、発生量は少 (-) 考察: 県予察圃を重視して現状の発生量状況はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。
	チャノミドリヒメヨコバイ	—	やや少	要因 1)1か月予報(5月14日発表)によると、平均気温は平年並か平年より高く、降水量は平年並か多い予想 (+) 2)県予察圃(4月第3半旬~5月第2半旬)では、黄色粘着トラップ捕殺数3.9頭(7年平均7.6頭)とやや少の傾向 (-) 3)巡回調査圃場(5月第2週)では、叩き落とし虫数0.3頭(平年0.8頭)と少 (-) 4)一般圃場では、発生量は少 (-) 考察: 現状の発生量は少と考えられ、今後の気象条件を考慮し予想発生量はやや少と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
チャ	チャノキイロアザミウマ	—	やや少	要因 1)1か月予報(5月14日発表)によると、平均気温は平年並か平年より高く、降水量は平年並か多い予想 (+) 2)県予察圃(4月第3半旬~5月第2半旬)では、黄色粘着トラップ捕殺数1.5頭(7年平均39.7頭)と少の傾向 (-) 3)巡回調査圃場(5月第2週)では、叩き落とし虫数0頭(平年2.0頭)と少 (-) 4)一般圃場では、発生量は少 (-) 考察: 現状の発生量は少と考えられ、今後の気象条件を考慮し予想発生量はやや少と考えます。
イチゴ	うどんこ病	—	やや少	要因 1)1か月予報(5月14日発表)によると、平均気温は平年並か平年より高く、降水量は平年並か多い予想 (±) 2)一般圃場では、発生量は少~やや少(概してやや少) (-) 考察: 現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。
	炭疽病	—	平年並	要因 1)1か月予報(5月14日発表)によると、平均気温は平年並か平年より高く、降水量は平年並か多い予想 (±) 2)一般圃場では、発生量は平年並に少 (±) 考察: 現状の発生量は平年並に少と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。
ネギ	ネギコガ	—	平年並	要因 1)1か月予報(5月14日発表)によると、平均気温は平年並か平年より高く、降水量は平年並か多い予想 (+) 2)巡回調査圃場(5月第1週)では、被害葉率0%(平年0.02%)とやや少 (-) 3)一般圃場では、発生量は少~やや少(概してやや少) (-) 考察: 現状の発生量はやや少と考えられるが、今後の気象条件を考慮して予想発生量は平年並と考えます。
野菜共通	コナガ	—	やや少	要因 1)1か月予報(5月14日発表)によると、平均気温は平年並か平年より高く、降水量は平年並か多い予想 (+) 2)県予察圃フェロモントラップ(4月第4半旬~5月第3半旬)では、誘殺数4頭(平年21.7頭)と少 (-) 3)一般圃場では、発生量は少~平年並(概してやや少) (-) 考察: フェロモントラップの誘殺状況から現状の発生量は少と考えられ、今後の気象条件を考慮して予想発生量はやや少と考えます。

#### 4. 予察項目の見方

##### 1)「作物別の状況」の見方

**発生時期(平年比)：** 平年の発生月日からの差を「早、やや早、平年並、やや遅、遅」の5段階評価で予測します。ただし、発生時期が毎年大きく変化する病害虫では、日数の基準が下記より大きくなります。発生時期を予察する意義の小さい病害虫では予察しません。

日数	-6	-5	-4	-3	-2	-1	平年 発生日	1	2	3	4	5	6	
評価	早		やや早			平年並			やや遅			遅		

**発生量(平年比)：** 発生密度の平年値からの差を「少、やや少、平年並、やや多、多」の5段階評価で予測します。平年値との比較なので、平年値が小さければ、「多」になっても見かけの密度は多くないことがあります。毎年多発生している場合は「平年並」や「やや少」でも見かけ上は多いと感じることがあります。

	平年値 ↓					
度数	10%	20%	20%	20%	20%	10%
評価	少	やや少	平年並	やや多	多	

**発生量(程度)：** 発生程度を「小、中、大、甚」の4段階評価で予測します。評価の基準値は病害虫毎に異なりますが、大雑把には、「見た目の多さ・少なさ」です。甚になるほど見た目は多くなり、小になるほど見た目は少なくなります。「発生量(平年比)」と比

べることによって、「平年並に発生程度が小さい」「発生程度は大きい平年並の発生量である」「平年より多いが、発生程度は小さい」「平年よりやや少ないが、依然として発生程度は中くらいである」等のように判断してください。

小	中	大	甚
---	---	---	---

**要防除圃場率(平年比)：** 防除の必要性の目安を「低、普通、高」の3段階評価で予測します。「普通」であれば、県下の大半の圃場では防除暦に沿った通常の防除が必要と予想されます。「高」であれば、防除時期の見直しや追加防除が必要になると予想されます。「低」であれば、防除回数を減らせるか、防除しなくても済むと予想されます。

低	普通	高
---	----	---

**発生消長の一例：** 発生予測は向こう1か月の予測ですが、その前後を合わせて40日ほどの病害虫の発生消長の一例をグラフで示します。大まかな目安として利用してください。

**防除の注意事項：** 向こう1か月の病害虫の特性と防除に関する説明です。

##### 2)「発生時期・発生量(平年日)の予察根拠」の見方

- (±)：平年並の要因
- (+)：発生量増加または発生時期遅延の要因
- (-)：発生量減少または発生時期早期化の要因

#### 5. 気象のデータ

##### 東海地方1か月予報(令和2年5月14日 名古屋地方気象台発表)

天気は数日の周期で変わります。

向こう1か月の平均気温は、平年並または高い確率ともに40%です。週別の気温は、1週目は、平年並または高い確率ともに40%です。3~4週目は、平年並または高い確率ともに40%です。

1週目 5月16日~22日	低気圧や湿った空気の影響で雲が広がりやすく、期間の前半は雨の降る日があるでしょう。	津の降水日数・晴れ日数の平年値 2.3日・4.1日
2週目 5月23日~29日	高気圧と低気圧が交互に通過し、天気は数日の周期で変わります。	同 1.9日・4.2日
3~4週目 5月30日~6月12日	高気圧と低気圧が交互に通過し、天気は数日の周期で変わります。	同 4.0日・7.3日

##### 東海地方週間天気予報(令和2年5月18日10時40分 名古屋地方気象台発表)

予報期間 5月19日から5月25日まで

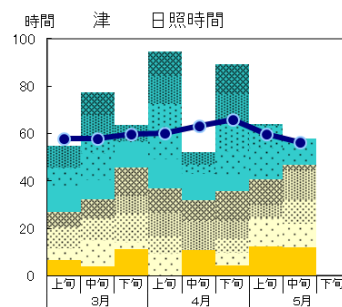
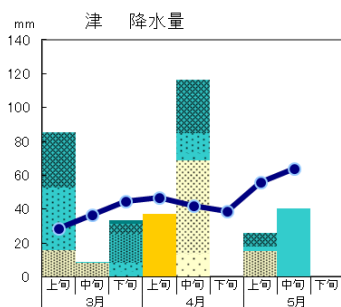
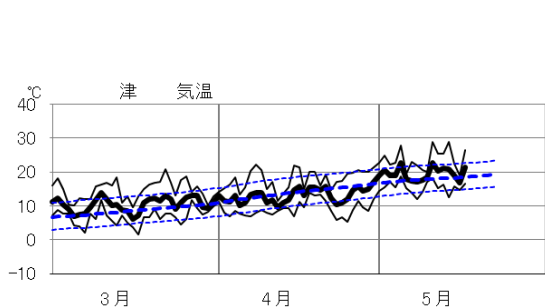
向こう一週間は、低気圧や前線、湿った空気の影響で雲が広がりやすく、期間のはじめは雨の降る日があるでしょう。なお、19日は、低気圧の発達程度等によっては、大雨となるおそれがあります。

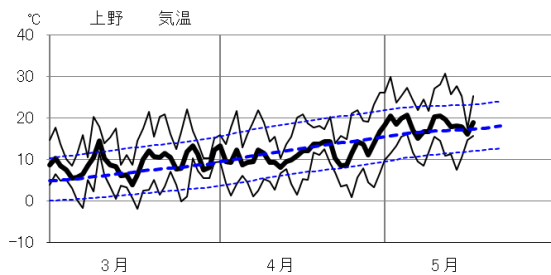
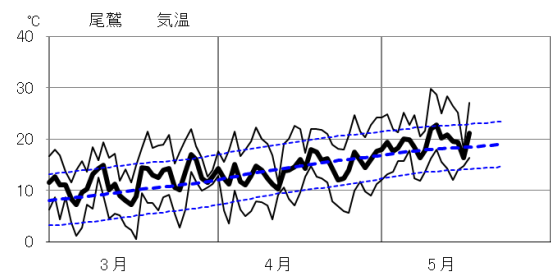
最高気温は、平年並か平年より低いですが、期間のはじめと終わりは平年より高い日もあるでしょう。

最低気温は、平年並か平年より高い見込みです。

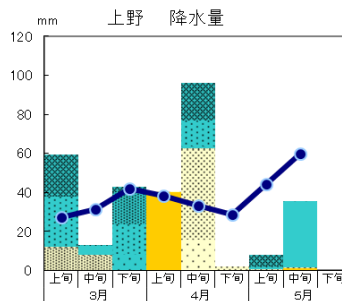
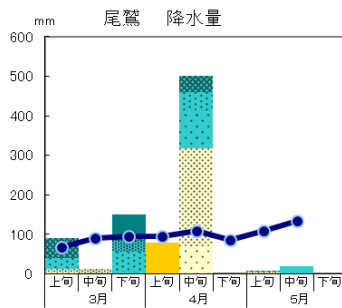
降水量は、平年並か平年より多いでしょう。

気象の日別推移(気象庁発表データ <http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/ctrn/index.php> から作成) (5月17日まで)

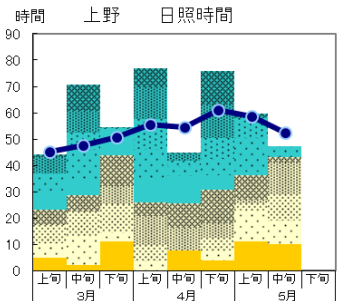
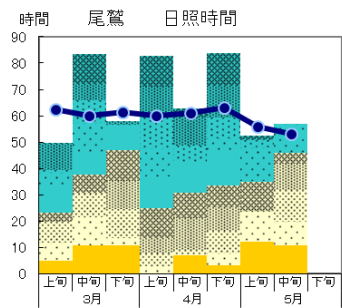




凡例  
 — 平均  
 — 最高  
 — 最低  
 - - - 平年平均  
 - - - 平年最高  
 - - - 平年最低



凡例  
 ■ 31日  
 ■ 旬10日目  
 ■ 旬9日目  
 ■ 旬8日目  
 ■ 旬7日目  
 ■ 旬6日目  
 ■ 旬5日目  
 ■ 旬4日目  
 ■ 旬3日目  
 ■ 旬2日目  
 ■ 旬1日目  
 ■ 旬平年値



凡例  
 ■ 31日  
 ■ 旬10日目  
 ■ 旬9日目  
 ■ 旬8日目  
 ■ 旬7日目  
 ■ 旬6日目  
 ■ 旬5日目  
 ■ 旬4日目  
 ■ 旬3日目  
 ■ 旬2日目  
 ■ 旬1日目  
 ■ 旬平年値

## 6. おしらせ (前回と異なる項目には NEW の印があります)

### 1) 記載基準の注意点

平年ほとんど発生のないか非常に少ない病害虫については、平年並に少ない発生状態の「発生量平年比」を「平年並」、「発生量程度」を「小」と記述しています。

### 2) 発表日 **NEW**

本年度の病害虫発生予報は次の予定で発表します。

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| 第1回 4月23日(水) (済み) | 第2回 5月21日(木) (今回) |
| 第3回 6月25日(木)      | 第4回 7月22日(水)      |
| 第5回 8月20日(木)      | 第6回 10月22日(木)     |
| 第7回 3月25日(木)      |                   |

### 3) 利用方法

全部または一部をコピーして回覧・配布にご利用ください。ただし必ずページの右下にある「三重県病害虫防除所」の文字が入るようにしてください。

病害虫防除所ホームページには、この予報をはじめとして、不定期に発表される警報、注意報、特殊報、技術情報や、各種のグラフ、写真も載っています。下記のアドレスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm>

このホームページはフリーリンクです。リンクする場合、事前の承諾申請等は不要ですが、事後で結構ですのでメールにてご一報いただくと幸いです。

### 4) 本冊子の利用の手引き書

本冊子の見方を説明した「病害虫発生予報利用の手引き」があります。下記のアド

レスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000835764.pdf>

### 5) メール配信サービス

予報、警報、注意報、特殊報、技術情報が発表されたときに、ホームページに掲載されたという「掲載通知」を電子メールでお知らせしています。このメールの配信を希望される方は、下記のアドレスからお申し込みください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/39475007379.htm>

### 6) 農薬登録状況の最新情報

農薬の販売や使用に当たっては、農薬登録上の制限があります。農薬の使用時はラベルをよく読んでください。次のインターネットサイトでは、最新の農薬登録状況が確認できます。

三重県農薬情報システム

<https://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/top/mie>

独立行政法人農林水産消費安全技術センターの「農薬登録情報提供システム」

[http://www.acis.famic.go.jp/index\\_kensaku.htm](http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm)

### 7) IPM(総合的病害虫・雑草管理)実践指標について

三重県では、IPMを実践する上で必要な農作業の具体的な取組内容を示した作物別の指標を公表しています。農業者の皆さんの取組について、現状把握と今後の気づきにご活用ください。病害虫防除所ホームページにリンクを設定しています。

三重県農林水産部農産園芸課ホームページ内

<http://www.pref.mie.lg.jp/NOAN/HP/80301022763.htm>

各位

三重県病害虫防除所長

1. 向こう1か月の予報と対策	1
2. 作物別の状況	2
3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠	8
4. 予察項目の見方	15
5. 気象のデータ	16
6. おしらせ	18

**令和2年度病害虫発生予報第3号**

このことについて、下記のとおり発表します。

**1. 向こう1か月の予報と対策**

**1) 作物**

イネでは、葉いもちは**平年並**、穂いもちの発生時期および発生量は**平年並**と予想されます。圃場を見回り、早期発見、早期防除に努めてください。

紋枯病の発生時期および発生量は**平年並**、白葉枯病の発生量は**平年並**と予想されます。

斑点米カメムシ類は**平年並**、イネクロカメムシは**平年並**、ツマグロヨコバイは**少**と予想されます。セジロウンカの発生時期および発生量は**平年並**と予想されず。

**2) 果樹**

カンキツでは、そうか病、黒点病、ミカンハダニ、チャノキイロアザミウマの発生量は**平年並**と予想されます。かいはよう病(中晩柑)の発生量は**やや少**、かいはよう病(温州みかん)の発生量は**少**と予想されます。

ナシでは、黒星病、ハダニ類の発生量は**平年並**と予想されます。

ブドウでは、べと病の発生量は**平年並**と予想されます。

果樹共通では、果樹カメムシ類の発生量は**やや多**と予想されます。発生が認

められる場合は速やかに防除を実施してください。

**3) 茶**

チャでは、チャノミドリヒメヨコバイ、クワシロカイガラムシの発生量は**やや多**と予想されます。クワシロカイガラムシの発生時期は**やや早**と予想されます。防除時期をご確認ください。薬剤が十分かかるよう丁寧に散布してください。カンザワハダニ、チャノホソガ、チャノコカクモンハマキの発生量は**平年並**と予想されます。炭疽病、チャノキイロアザミウマの発生量は**やや少**と予想されます。

**4) 野菜**

イチゴでは、炭疽病、ハダニ類の発生量は**平年並**と予想されます。うどんこ病は**少**と予想されます。

ネギ共通では、ネギコガの発生量は**やや少**と予想されます。

**農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。**

**2. 作物別の状況**

作物名	病害虫名	発生時期		発生量		要防除圃場率	発消長の一例				防除の注意事項
		平年比	平年比	程度	平年比		6月	7月			
							下旬	上旬	中旬	下旬	
イネ	葉いもち	—	平年並	中	普通	発病密度				1) 圃場を見回り、早期発見、早期防除に努めてください。 2) 補植用置き苗は発生源となるので、速やかに取り除いてください。 3) 感染適温は24℃で、葉身の「ぬれ」時間が長いほど感染量が多くなります。 4) 雨天が続いた場合、天気予報を参考にしながら、雨の合間を見計らって防除をしてください。	
	穂いもち	平年並	平年並	中	普通	発病密度				1) 上位葉の葉いもち病斑が伝染源となります。 2) 圃場および周辺圃場での葉いもちの発生状況に注意してください。 3) 薬剤散布は出穂始めから穂揃い期に予防的に行ってください。	
	紋枯病	平年並	平年並	小	普通	発病密度				1) 幼穂形成期頃(穂肥時期)から発生が目立つようになります。 2) 水面に近い茎から茎へ感染します。薬剤散布によって病斑の上位葉への進展を阻止してください。	
	白葉枯病	—	平年並	小	低	発病密度				1) 深水、冠水、台風によって感染や発病が助長されます。 2) 常発地では台風直後に薬剤散布をしましょう。予防的な薬剤散布が効果的です。 3) 「みえのゆめ」は耐病性の弱い品種なので注意してください。	
	斑点米カメムシ類	—	平年並	小	普通	発病密度				1) 畦畔などのイネ科雑草で増殖します。草刈りをこまめに行い、イネ科雑草の穂がつかないように管理してください。 2) 水田内で雑草が多発すると、水田への侵入を助長するため、早めに除去しましょう。 3) 出穂2~3週間前と出穂期の2回除草が効果的です。出穂2~3週間前の1回除草だけでは、水稻の出穂期に、再び畦畔のイネ科雑草の穂がでてカメムシが本田に飛来します。	





作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活消長の一例				防除の注意事項
						6月		7月		
						下旬	上旬	中旬	下旬	
イネ	イネクロカメムシ	—	平年並	小	低					1) 常発地で薬剤散布する場合は、越冬成虫の発生量がピークとなる6月下旬に実施してください。 2) 日中は株元に潜んでいるので、夕方や曇天の日に薬剤散布を行うと効果的です。
	ツマグロヨコバイ	—	少	小	低					1) 萎縮病を媒介しますが、本県での発生は少ないとされています。 2) 当面、防除が必要な密度には達しないと思われます。
	セジロウンカ	平年並	平年並	小	低					1) 例年、6月末から7月にかけて海外から飛来します。九州以北では越冬できないとされています。 2) 被害の発生は局所的であることが多いです。 3) 防除不要な年が多いですが、多発時は発生予察情報に従い防除してください。
カンキツ	そうか病	—	平年並	小	普通					1) 常発圃場や昨年多発した圃場、幼木園、高接ぎ更新園の温州みかんでは、発生に注意してください。 2) 果実への感染は梅雨末期頃までと言われています。
	黒点病	—	平年並	小	普通					1) 枯枝が伝染源です。梅雨時期の枯枝発生に注意し、樹冠内や圃場内の枯枝を除去してください。 2) 薬剤散布は前回の散布後に積算降水量が200～300mmに達した時を目安に実施してください。

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活消長の一例				防除の注意事項
						6月		7月		
						下旬	上旬	中旬	下旬	
カンキツ	かいよう病	—	温州少 中晩柑やや少	温州小 中晩柑小	温州低 中晩柑普通					1) 降雨があると急速に感染が広がるので、発生圃場では雨の合間に防除してください。 2) 発病枝葉、果実は、見つけ次第剪除し処分してください。 3) 幼木や高接樹ではミカンハモグリガの被害部に発病しやすいので、ミカンハモグリガの防除を実施してください。 4) 中晩柑類では、梅雨期頃から10月中下旬頃まで果実への感染が起こります。
	ミカンハダニ	—	平年並	中	普通					1) 発生密度が高くなると防除が困難になります。1葉当りの雌成虫発生数が0.5～1.0頭程度を目安に防除してください。 2) 薬剤は葉裏にもかかるように散布してください。 3) 同一系統薬剤の連用は避けてください。
	チャノキイロアザミウマ	—	平年並	中	普通					1) 寄生果率10%を目安に防除してください。 2) 7月になり果実肥大が進むと果頂部で加害します。 3) 圃場周辺のイヌマキ・サンゴジュ等が発生源となります。
ナシ	黒星病	—	平年並	小	普通					1) 発病果及び発病葉は除去して、圃場外に持ち出し処分してください。 2) 発病が確認される圃場では、すみやかに防除を計画してください。 3) 薬剤散布を実施するときは薬剤をいねいに散布し、同一系統薬剤の連用を避けてください。
	ハダニ類	—	平年並	中	普通					1) 1葉当り寄生数が1～2頭で防除を実施してください。 2) 7～8月に密度が高くなります。徒長枝での発生にも注意してください。 3) 同一系統薬剤の連用は避けてください。



作物名	病害虫名	発生時期	発生量			要防除圃場率	発生活長の一例				防除の注意事項	
			発生時期	平年比	程度		平年比	6月		7月		
								下旬	上旬	中旬		下旬
ブドウ	べと病	—	平年並	小	普通					1) 降雨が連続すると病徴が急速に進展するので、葉裏に病斑を認めたら直ちに薬剤を散布してください。 2) 降雨の合間に防除を計画してください。 3) 被害葉及び被害落葉は感染源となるので圃場外に持ち出して処分してください。 4) 同一系統薬剤の連用を避けてください。		
果樹共通	カメムシ類	—	やや多	中	普通					1) 病害虫防除技術情報第4号(5月28日発表) 2) 7月後半以降で飛来数が増加する可能性がありますので注意が必要です。 3) ナシ(無袋栽培)、カキでまとまった飛来を確認したら、防除を実施してください。 4) 中山間地や以前多発したことがある地域では、圃場への飛来に注意してください。		
チャ	炭疽病	—	やや少	小	普通					1) 旧葉の病斑が感染源です。新葉の展葉までに毛茸の脱落部分から感染します。 2) 新芽の1葉期前後に感染し易く、潜伏期間の15~20日を経て発病します。 3) 二番茶摘採後に整剪枝を行うことにより、発生が抑制できます。		
	カンザワハダニ	—	平年並	中	普通					1) 葉裏に産卵するので、丁寧に散布してください。 2) 天敵が増加する時期なので、天敵に影響が少ない薬剤を選択してください。 3) 薬剤抵抗性が発達しやすいので同一系統の薬剤の連用は避けてください。		
	チャノホソガ	—	平年並	小	普通					1) 年間6~7世代発生します。 2) 防除適期は孵化直後の潜葉期(絵描き状態)です。 3) ハマキムシ類の間接暴露による薬剤抵抗性の発達を避けるため、ジアシルヒドラジン系 IGR 剤(虫18)、ジアミド剤(虫28)の使用回数は最大年1回までとしてください。		

作物名	病害虫名	発生時期	発生量			要防除圃場率	発生活長の一例				防除の注意事項	
			発生時期	平年比	程度		平年比	6月		7月		
								下旬	上旬	中旬		下旬
チャ	チャノミドリヒメヨコバイ	—	やや多	中	普通					1) 年間5~8回発生し、新芽を加害します。葉先が褐変し、ひどくなると落葉します。 2) 萌芽期~開葉初期に防除してください。		
	チャノキイロアザミウマ	—	やや少	中	普通					1) 年間7~8回発生し、新芽を加害します。萌芽初期に芽の芯から加害し、条痕となります。 2) 萌芽期~開葉初期に防除してください。		
	クワシロカイガラムシ	やや早	やや多	中	普通					1) 病害虫防除技術情報第3号(5月11日発表) 2) 年3回発生します。孵化最盛期の2~5日後が防除適期です。 3) 有効積算温度による発生活長予測式では、第2世代幼虫の孵化最盛期は平年より早いと予測されます。 4) 歩行型幼虫の発生状況をルーベ等で実際に確認して防除してください。 5) 孵化開始から2週間程度の断続的な散水により孵化抑制及び孵化幼虫の生存率を低下できます。 6) 天敵に影響の少ない薬剤を選択してください。		
	チャノコカクモンハマキ	—	平年並	小	普通					1) 年間4世代発生します。防除適期は誘殺ピークの7~10日後です。 2) 病害虫防除所ホームページにフェロモントラップの誘殺状況を掲載していますので参考にしてください。 3) 交信かく乱剤をまとまった面積に実施することにより、次世代以降の密度を下げる事ができます。 4) 薬剤抵抗性の発達を防ぐためジアシルヒドラジン系 IGR 剤(虫18)、ジアミド剤(虫28)の使用回数は最大年1回までとしてください。		

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量		要防除 圃場率 平年比	発生活長の一例				防除の注意事項
			平年比	程度		6月		7月		
						下旬	中旬	下旬	中旬	
イチゴ	うどんこ病	-	少	小	低					1) 育苗期の防除を徹底してください。 2) 薬剤防除は予防散布に努めます。葉裏から発生しやすいので、薬液が葉裏に十分かかるよう丁寧に散布してください。 3) 発病を認めたときは、集中的に散布して感染拡大を防いでください。
	炭疽病	-	平年並	中	普通					1) 病原菌は高温多湿条件を好み、梅雨時期以降に発生が多くなるため、十分な注意が必要です。 2) 病原菌(孢子)を含む水の跳ね返りで感染が拡大します。頭上灌水は避け、株を濡らさないようにしてください。 3) 発病株は感染源となるため、周辺株を含めて直ちに除去し、処分してください。 4) 薬剤防除は、薬液が株元まで十分かかるよう丁寧に散布してください。
	ハダニ類	-	平年並	小	普通					1) 作物残渣から歩行によって移動します。葉かき後の残渣は圃場外に持ち出し、速やかに処分してください。 2) 多発すると防除が困難になります。早期発見に努め、発生初期に防除を行ってください。 3) 散布は葉裏を中心に丁寧に行ってください。 4) 薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一系統薬剤の連用は避けてください。
ネギ共通	ネギコガ	-	やや少	小	普通					1) 春から秋にかけて4~5回発生します。 2) 幼虫は葉の内部に潜り、表皮を残して食害します。潜入防止のため、発生初期から防除を行うことが重要です。

### 3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
イネ	葉いもち	-	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月18日発表)によると、気温は高く、平年に比べ曇りや雨の日が少ない予想(±)</p> <p>2) プラストム(6月18日現在)によると、感染好適条件は6月10から14日にかけて県内の広範囲で出現(+)</p> <p>3) 巡回調査圃場(6月第1~2週)では、本田における発生圃場率0%(平年0%)と平年並に少(±)</p> <p>4) 置き苗での発生は、巡回調査圃場(6月10日)では2地点で発生を確認。広域病害虫防除員調査圃場(6月上旬)では発生は未確認(±)</p> <p>5) 一般圃場では、発生量は無で、平年並に少(±)</p> <p>考察: 巡回調査結果および一般圃場の発生状況から現状の発生量は平年並と考えられ、気象を考慮して予想発生量は平年並と考えます。</p>
	穂いもち	平年並	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月18日発表)によると、気温は高く、平年に比べ曇りや雨の日が少ない予想(±)</p> <p>2) 農業研究所作況試験田(4月24日移植コンヒカリ、移植50日目)によると、葉齢の進展は平年並(発生時期±)</p> <p>3) 一般圃場では、生育は概ね平年並(発生時期±)</p> <p>4) 葉いもち発生量は平年並の予想(±)</p> <p>考察: 水稻の生育状況を考慮して予想発生時期は平年並、葉いもちの予想発生量を重視して、予想発生量は平年並と考えます。</p>
	紋枯病	平年並	平年並	<p>要因</p> <p>1) 農業研究所作況試験田(4月24日移植コンヒカリ、移植50日目)によると、葉齢の進展は平年並、茎数は少ない(発生時期±、発生量-)</p> <p>2) 昨年8月の巡回調査圃場では、発生圃場率32.2%(平年28.5%)と平年並の傾向、発病度は1.1(平年1.6)とやや少の傾向(±)</p> <p>3) 一般圃場では、生育は平年並、茎数はやや少~平年並で、概して平年並(発生時期±、発生量±)</p> <p>考察: 水稻の生育状況を考慮して予想発生時期は平年並、同様に水稻の生育状況と感染源となる越冬菌核量を考慮して、予想発生量は平年並と考えます。</p>
	白葉枯病	-	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月18日発表)によると、気温は高く、平年に比べ曇りや雨の日が少ない予想(±)</p> <p>2) 県内では4月以降、激しい風を伴う大雨はなし(-)</p> <p>考察: これまでのところ、激しい風雨による冠水の機会は少ないため、予想発生量は平年並に少と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
イネ	斑点米カメムシ類	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月18日発表)によると、気温は高く、平年に比べ曇りや雨の日が少ない予想(+)</p> <p>2) 水田位置予察灯(4月第1半旬～6月第2半旬)では、誘殺数はアカスジカスミカメ10頭(平年13.8頭)と平年並の傾向、アカヒゲホソドリカスミカメ0頭(平年19.6頭)と少(—)</p> <p>3) 巡回調査圃場(6月第2週)では、畦畔イネ科雑草すくい取りによる発生地点率は、ホソハリカメムシで6.6%(平年7.9%)とやや少、クモヘリカメムシで0%(平年0%)と平年並に少、シラホシカメムシ類で8.0%(平年3.7%)と多、アカスジカスミカメで30.7%(平年41.5%)と少、アカヒゲホソドリカスミカメで5.8%(平年10.7%)と少(—)</p> <p>考察: 予察灯、巡回調査結果から、現状の発生量はやや少と考えられ、気象を考慮して予想発生量は平年並と考えます。</p>
	イネクロカメムシ	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 予察灯(4月第1半旬～6月第2半旬)では、誘殺数は水田位置11頭(平年5.5頭)と多、畑位置89頭(平年95.9頭)と平年並(±)</p> <p>2) 巡回調査圃場(6月第1～2週)では、発生圃場率1.3%(平年1.8%)とやや少、25株当たり成虫数0.01頭(平年0.00頭)とやや多の傾向(±)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は少(—)</p> <p>考察: 予察灯、巡回調査結果の発生状況から、現状の発生量は平年並と考えられ、予想発生量は平年並と考えます。</p>
	ツマグロヨコバイ	—	少	<p>要因</p> <p>1) 予察灯(4月第1半旬～6月第2半旬)では、誘殺数は松阪市・水田位置0頭(平年0.4頭)と少、紀北町0頭(平年0頭)、御浜町1頭(平年0.2頭)、伊賀市(5月第1半旬～6月第2半旬)0頭(平年0.2頭)は平年並に少、松阪市・畑位置1頭(平年35.5頭)と少(—)</p> <p>2) 巡回調査圃場(6月第1～2週)では、払い落とし成虫数0.04頭(平年0.16頭)と少(—)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は無(—)</p> <p>考察: 予察灯、巡回調査結果、一般圃場の発生状況から、現状の発生量は少と考えられ、予想発生量は少と考えます。</p>
	セジロウンカ	平年並	平年並	<p>要因</p> <p>1) 予察灯(松阪市、紀北町、御浜町、伊賀市)では6月20日現在、未飛来(松阪市・平年初飛来7月15日、昨年初飛来8月6日)(発生時期±)</p> <p>2) 巡回調査圃場(6月第1～2週)では、払い落とし成虫数は0頭(平年0.002頭)と平年並に少(±)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は無(±)</p> <p>考察: これまでの飛来状況から発生時期は平年並、現在の飛来状況から当面は密度が大きく上昇することはないと予想されるため、現状の発生量は平年並と考えられ、予想発生量は平年並と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
カンキツ	そうか病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月18日発表)によると、気温は高く、平年に比べ曇りや雨の日が少ない予想(±)</p> <p>2) 県予察圃(6月上旬、無防除)では、春葉発病率44.4%(平年78.4%)と少、発病果率73.3%(平年69.8%)と平年並(—)</p> <p>3) 巡回調査圃場(6月第1～2週)では、春葉発病度0.00(平年0.03)と平年並の傾向(±)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は少(—)</p> <p>考察: 巡回調査結果の発生状況を重視して、現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
	黒点病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月18日発表)によると、気温は高く、平年に比べ曇りや雨の日が少ない予想(±)</p> <p>2) 県予察圃(6月上旬、無防除)では、果実発病率31.7%(平年25.2%)とやや多(+)</p> <p>3) 巡回調査圃場(6月第1～2週)では、春葉発病度0.1(平年1.2)と平年並の傾向(±)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は少(—)</p> <p>5) 感染源となる枯枝量は平年並(±)</p> <p>考察: 巡回調査結果の発生状況を重視して、現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
	かいよう病	—	温州少 中晩柑 やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月18日発表)によると、気温は高く、平年に比べ曇りや雨の日が少ない予想(±)</p> <p>2) 県予察圃(6月上旬、新甘夏、無防除)では、春葉発病率2.2%(平年1.6%)とやや多、発病果率0%(平年0.2%)とやや少(±)</p> <p>3) 巡回調査圃場(6月第1～2週)では、春葉発病率は温州みかんでは0%(平年0.1%)と少、中晩柑では1.7%(平年3.4%)と少(—)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は少(—)</p> <p>考察: 温州みかんでは、現状の発生量は少と考えられ、引き続き予想発生量は少と考えます。中晩柑類では、現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
カンキツ	ミカンハダニ	—	平年並	<p>要因</p> <p>1)1か月予報(6月18日発表)によると、気温は高く、平年に比べ曇りや雨の日が少ない予想(+)</p> <p>2)県予察圃(6月上旬)では、寄生頭数は無防除区167.8頭/100葉(平年53.9頭/100葉)と多、慣行防除区10.0頭/100葉(平年20.7頭/100葉)と少(±)</p> <p>3)巡回調査圃場(6月第1~2週)では春葉寄生率5.9%(平年9.8%)と少、寄生頭数0.23頭/葉(平年0.42頭/葉)と平年並の傾向(-)</p> <p>4)一般圃場では、発生量は平年並(±)</p> <p>考察: 一般圃場の発生状況を重視して、現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
	チャノキイロアザミウマ	—	平年並	<p>要因</p> <p>1)1か月予報(6月18日発表)によると、気温は高く、平年に比べ曇りや雨の日が少ない予想(+)</p> <p>2)県予察圃黄色粘着トラップ(6月上旬、無防除)では、誘殺数0.4頭/日(平年1.7頭/日)と少(-)</p> <p>3)県予察圃(6月上旬、無防除)では、寄生虫数0.9頭/100果(平年1.6頭/100果)とやや少(-)</p> <p>4)巡回調査圃場(6月第1~2週)では、被害果率0%(平年0.5%)と平年並の傾向(±)</p> <p>5)一般圃場では、発生量はやや少~平年並(概して平年並)(±)</p> <p>考察: 巡回調査結果および一般圃場の発生状況を重視して、現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
ナシ	黒星病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1)1か月予報(6月18日発表)によると、気温は高く、平年に比べ曇りや雨の日が少ない予想(±)</p> <p>2)巡回調査圃場(6月第1~2週)では、発病葉率0%(平年1.9%)と少(-)</p> <p>3)一般圃場では、発生量は平年並(±)</p> <p>考察: 一般圃場の状況を重視して現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
	ハダニ類	—	平年並	<p>要因</p> <p>1)1か月予報(6月18日発表)によると、気温は高く、平年に比べ曇りや雨の日が少ない予想(+)</p> <p>2)巡回調査圃場(6月第1~2週)では、寄生葉率0%(平年0.08%)と平年並の傾向、寄生頭数0頭/葉(平年0.00頭/葉)と平年並の傾向(±)</p> <p>3)一般圃場では、発生量はやや少(-)</p> <p>考察: 巡回調査結果の発生状況を重視して、現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
ブドウ	べと病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1)1か月予報(6月18日発表)によると、気温は高く、平年に比べ曇りや雨の日が少ない予想(±)</p> <p>2)巡回調査圃場(6月第1~2週)では、発病葉率0%(平年0.05%)と平年並に少(±)</p> <p>3)一般圃場では、発生量は平年並(±)</p> <p>考察: 現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
果樹共通	カメムシ類	—	やや多	<p>要因</p> <p>1)予察灯(御浜町6月上旬)では、誘殺数はツヤアオカメムシ72頭(平年114.9頭)とやや少、チャバネアオカメムシは71頭(平年963.5頭)と少(-)</p> <p>2)予察灯(畑・松阪市:6月第2半旬)では、誘殺数はツヤアオカメムシ187.0頭(平年36.4頭)と多、チャバネアオカメムシ116.0頭(平年117.1頭)と平年並(+)</p> <p>3)フェロモントラップ(6月第2週)では、チャバネアオカメムシ誘殺数は、平地地(松阪市嬉野川北町)で70.3頭(平年20.5頭)と多、中間地(津市白山町二本木)で344.0頭(平年271.2頭)とやや多、山地(津市白山町川口)で279.0頭(平年132.1頭)と多(+)</p> <p>4)巡回調査圃場(6月第2週、カンキツ圃場)では、叩き落としまたは見取り調査による飛来は0頭(平年0.07頭)と平年並の傾向(±)</p> <p>5)一般圃場では、発生量はやや多(+)</p> <p>考察: 一般圃場の状況を重視して現状の発生量はやや多と考えられ、引き続き予想発生量はやや多と考えます。</p>
チャ	炭疽病	—	やや少	<p>要因</p> <p>1)1か月予報(6月18日発表)によると、気温は高く、平年に比べ曇りや雨の日が少ない予想(±)</p> <p>2)6月中旬気象概況(津)によると平均気温はかなり高く、降水量はかなり多い状況(+)</p> <p>3)巡回調査圃場(6月第1週)では、発生圃場率0%(平年10.6%)と少、発病葉数0枚/m<sup>2</sup>(平年0.2枚/m<sup>2</sup>)とやや少の傾向(-)</p> <p>4)一般圃場では、発生量は少(-)</p> <p>考察: 現状の発生量は少と考えられ、気象を考慮し予想発生量はやや少と考えます。</p>
	カンザワハダニ	—	平年並	<p>要因</p> <p>1)1か月予報(6月18日発表)によると、気温は高く、平年に比べ曇りや雨の日が少ない予想(+)</p> <p>2)県予察圃(6月中旬)では、寄生頭数0.09頭/葉(平年0.03頭/葉)とやや多の傾向、寄生葉率3.0%(平年1.2%)とやや多の傾向(+)</p> <p>3)巡回調査圃場(6月第1週)では、発生圃場率56.3%(平年41.4%)とやや多の傾向、寄生葉率3.5%(平年4.1%)と平年並、寄生頭数0.08頭/葉(平年0.1頭/葉)とやや少(±)</p> <p>4)一般圃場では、発生量はやや少(-)</p> <p>考察: 現状の発生量は一般圃場を重視しやや少と考えられ、気象を考慮し予想発生量は平年並と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
チャ	チャノホソガ	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月18日発表)によると、気温は高く、平年に比べ曇りや雨の日が少ない予想 (+)</p> <p>2) 県予察圃フェロモントラップ(5月第4半旬～6月第3半旬)では、誘殺数1,905頭(平年2,684頭)とやや少 (-)</p> <p>3) 巡回調査圃場(6月第1週)では、巻葉数0.38枚/m<sup>2</sup>(平年0.23枚/m<sup>2</sup>)とやや多の傾向 (+)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は少 (-)</p> <p>考察: 現状の発生量は県予察圃場の結果を重視してやや少と考えられ、気象を考慮し予想発生量は平年並と考えます。</p>
	チャノミドリヒメコバ	—	やや多	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月18日発表)によると、気温は高く、平年に比べ曇りや雨の日が少ない予想 (+)</p> <p>2) 県予察圃黄色粘着トラップ(5月第4半旬～6月第3半旬)では、捕殺数12.8頭(7年平均10.1頭)と平年並の傾向(±)</p> <p>3) 巡回調査圃場(6月第1週)では、叩き落とし虫数2.3頭(平年2.1頭)と平年並(±)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量はやや多 (+)</p> <p>考察: 県予察圃場と巡回調査圃場の結果を重視して現状の発生量は平年並と考えられ、気象を考慮して予想発生量はやや多と考えます。</p>
	チャノキイロアザミウマ	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月18日発表)によると、気温は高く、平年に比べ曇りや雨の日が少ない予想 (+)</p> <p>2) 県予察圃黄色粘着トラップ(5月第4半旬～6月第3半旬)では、捕殺数98.0頭(7年平均885頭)と少の傾向 (-)</p> <p>3) 巡回調査圃場(6月第1週)では、叩き落とし虫数0頭(平年9.3頭)と少 (-)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は平年並(±)</p> <p>考察: 県予察圃場と巡回調査圃場の結果を重視して現状の発生量は少と考えられ、気象を考慮して予想発生量はやや少と考えます。</p>
	クワシロカイガラムシ	やや早	やや多	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月18日発表)によると、気温は高く、平年に比べ曇りや雨の日が少ない予想 (+)</p> <p>2) 有効積算温度による予測式では、第2世代幼虫孵化最盛日は7月16日頃(平年7月20日頃)(発生時期-)</p> <p>3) 巡回調査圃場(6月第1週)では、雌寄生株率17.6%(平年6.3%)と多、雄雌発生株率16.6%(平年7.2%)と多 (+)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は平年並(±)</p> <p>考察: 一般圃場の状況を重視して現状の発生量は平年並と考えられ、気象状況を考慮して予想発生量はやや多と考えます。予想発生時期はやや早と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
チャ	チャノコカクモンハマキ	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月18日発表)によると、気温は高く、平年に比べ曇りや雨の日が少ない予想 (+)</p> <p>2) 県予察圃フェロモントラップ(5月第4半旬～6月第3半旬)では、誘殺数253頭(平年149頭)と多 (+)</p> <p>3) 巡回調査圃場(6月第2週)では、ハマキムシ類巻葉数5.25枚/m<sup>2</sup>(平年0.57枚/m<sup>2</sup>)と多 (+)</p> <p>4) 一般圃場では、ハマキムシ類の発生量はやや少 (-)</p> <p>考察: 現状の発生状況は一般圃場の状況を重視してやや少と考えられ、気象を考慮して予想発生量は平年並と考えます。</p>
イチゴ	うどんこ病	—	少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月18日発表)によると、気温は高く、平年に比べ曇りや雨の日が少ない予想 (-)</p> <p>2) 巡回調査圃場(6月第2週)では、発病株率0.0%(平年5.4%)と少 (-)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は無～少(概して少) (-)</p> <p>考察: 現状の発生量は少と考えられ、今後の気象条件から引き続き予想発生量は少と考えます。</p>
	炭疽病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月18日発表)によると、気温は高く、平年に比べ曇りや雨の日が少ない予想(±)</p> <p>2) 巡回調査圃場(6月第2週)では、発病株率0%(平年0%)と平年並に少(±)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は無～少(概して少) (-)</p> <p>考察: 現状の発生量は、平年並に少と考えられ、予想発生量は平年並と考えます。</p>
	ハダニ類	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月18日発表)によると、気温は高く、平年に比べ曇りや雨の日が少ない予想 (+)</p> <p>2) 巡回調査圃場(6月第2週)では、寄生株率1.1%(平年7.7%)と少 (-)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は少～平年並(概してやや少) (-)</p> <p>考察: 一般ほ場の状況から現状の発生量はやや少と考えられ、今後の気象条件を考慮して予想発生量は平年並と考えます。</p>
ネギ	ネギコガ	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月18日発表)によると、気温は高く、平年に比べ曇りや雨の日が少ない予想 (+)</p> <p>2) 巡回調査圃場(6月第2週)では、被害葉率0%(平年0.1%)と平年並に少(±)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は無～平年並(概して少) (-)</p> <p>考察: 一般ほ場の状況から現状の発生量は少と考えられ、今後の気象条件を考慮して予想発生量はやや少と考えます。</p>

#### 4. 予察項目の見方

##### 1) 「作物別の状況」の見方

**発生時期(平年比)：** 平年の発生月日からの差を「早、やや早、平年並、やや遅、遅」の5段階評価で予測します。ただし、発生時期が毎年大きく変化する病害虫では、日数の基準が下記より大きくなります。発生時期を予察する意義の小さい病害虫では予察しません。

日数	-6	-5	-4	-3	-2	-1	平年発生日	1	2	3	4	5	6	
評価	早		やや早			平年並			やや遅			遅		

**発生量(平年比)：** 発生密度の平年値からの差を「少、やや少、平年並、やや多、多」の5段階評価で予測します。平年値との比較なので、平年値が小さければ、「多」になっても見かけの密度は多くないことがあります。毎年多発生している場合は「平年並」や「やや少」でも見かけ上は多いと感じることがあります。

	平年値 ↓					
度数	10%	20%	20%	20%	20%	10%
評価	少	やや少	平年並	やや多	多	

**発生量(程度)：** 発生程度を「小、中、大、甚」の4段階評価で予測します。評価の基準値は病害虫毎に異なりますが、大雑把には、「見た目の多さ・少なさ」です。甚になるほど見た目は多くなり、小になるほど見た目は少なくなります。「発生量(平年比)」と比

べることによって、「平年並に発生程度が小さい」「発生程度は大きい平年並の発生量である」「平年より多いが、発生程度は小さい」「平年よりやや少ないが、依然として発生程度は中くらいである」等のように判断してください。

小	中	大	甚
---	---	---	---

**要防除圃場率(平年比)：** 防除の必要性の目安を「低、普通、高」の3段階評価で予測します。「普通」であれば、県下の大半の圃場では防除暦に沿った通常の防除が必要と予想されます。「高」であれば、防除時期の見直しや追加防除が必要になると予想されます。「低」であれば、防除回数を減らせるか、防除しなくても済むと予想されます。

低	普通	高
---	----	---

**発生消長の一例：** 発生予測は向こう1か月の予測ですが、その前後を合わせて40日ほどの病害虫の発生消長の一例をグラフで示します。大まかな目安として利用してください。

**防除の注意事項：** 向こう1か月の病害虫の特性と防除に関する説明です。

##### 2) 「発生時期・発生量(平年日)の予察根拠」の見方

- (±)：平年並の要因
- (+)：発生量増加または発生時期遅延の要因
- (-)：発生量減少または発生時期早期化の要因

#### 5. 気象のデータ

##### 東海地方1か月予報(令和2年6月18日 名古屋地方気象台発表)

暖かい空気に覆われるため、向こう1か月の気温は高い見込みです。前線や湿った空気の影響を受けにくいいため、向こう1か月の日照時間は平年並か多いでしょう。

1週目 6月20日～26日	期間のはじめは高気圧に覆われて晴れる日もありますが、前線や湿った空気の影響で雲が広がりやすく、雨の降る所があるでしょう。	津の降水日数・晴れ日数の平年値 3.2日・2.5日
2週 6月27日～7月3日	前線や湿った空気の影響を受けにくく、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。	同 3.0日・2.6日
3～4週目 7月4～17日	平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。	同 5.5日・5.6日

##### 東海地方週間天気予報

(令和2年6月21日16時35分 名古屋地方気象台発表)

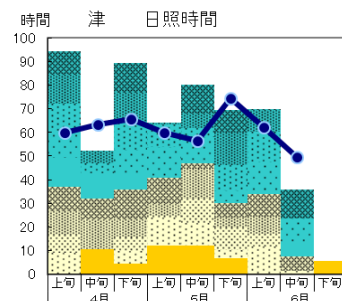
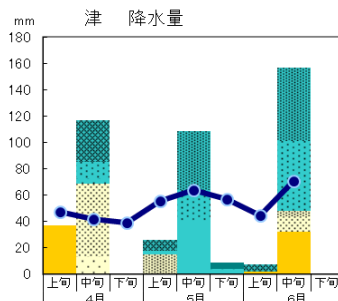
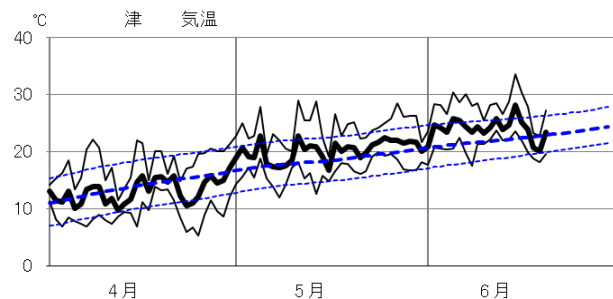
予報期間 6月22日～6月28日まで

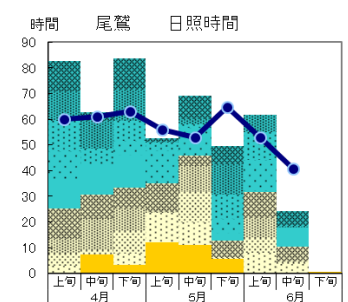
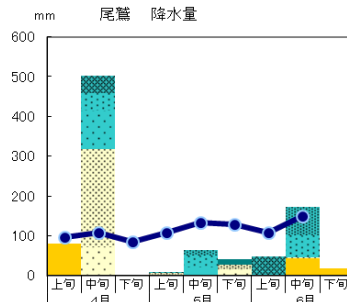
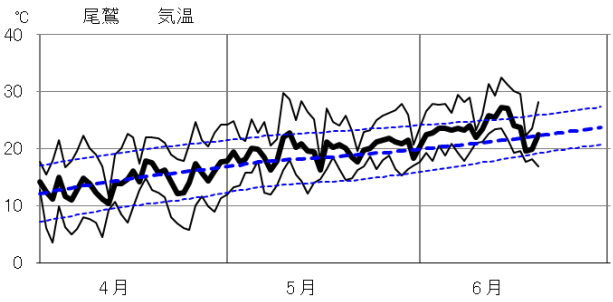
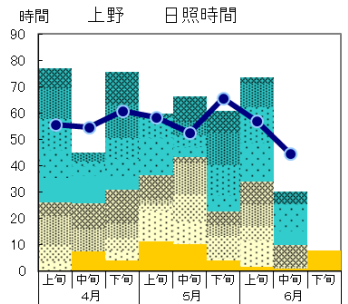
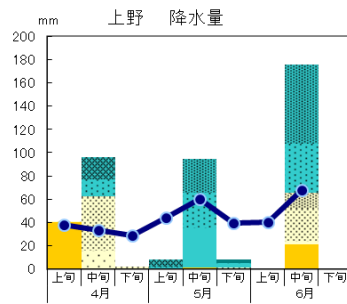
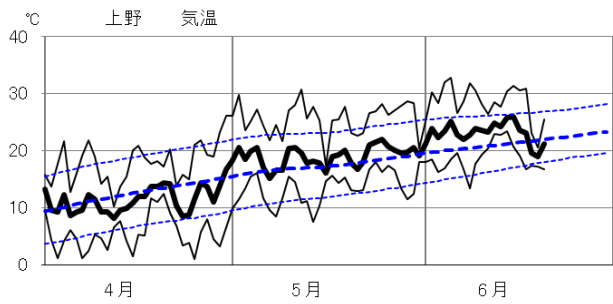
向こう一週間は、気圧の谷や湿った空気の影響で雲が広がりやすく、雨の降る日があるでしょう。

最高気温と最低気温はともに、平年並か平年より高く、期間の後半は平年よりかなり高い所がある見込みです。

降水量は、平年より少ないでしょう。

##### 気象の日別推移(気象庁発表データ <http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php> から作成) (6月20日まで)





平均  
 最高  
 最低  
 凡例  
 年平均  
 年最高  
 年最低

31日  
 旬10日目  
 旬9日目  
 旬8日目  
 旬7日目  
 旬6日目  
 旬5日目  
 旬4日目  
 旬3日目  
 旬2日目  
 旬1日目  
 旬年平均

31日  
 旬10日目  
 旬9日目  
 旬8日目  
 旬7日目  
 旬6日目  
 旬5日目  
 旬4日目  
 旬3日目  
 旬2日目  
 旬1日目  
 旬年平均

三重県病害虫防除所

## 6. お知らせ (前回と異なる項目には NEW の印があります)

### 1) 記載基準の注意点

平年ほとんど発生のないか非常に少ない病害虫については、平年並に少ない発生状態の「発生量平年比」を「平年並」、「発生量程度」を「小」と記述しています。

### 2) 発表日 **NEW**

本年度の病害虫発生予測は次の予定で発表します。

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| 第1回 4月23日(木) (済み) | 第2回 5月21日(木) (済み) |
| 第3回 6月25日(木) (今回) | 第4回 7月22日(水)      |
| 第5回 8月20日(木)      | 第6回 10月22日(木)     |
| 第7回 3月25日(木)      |                   |

### 3) 利用方法

全部または一部をコピーして回覧・配布にご利用ください。ただし必ずページの右下にある「三重県病害虫防除所」の文字が入るようにしてください。

病害虫防除所ホームページには、この予測をはじめとして、不定期に発表される警報、注意報、特殊報、技術情報や、各種のグラフ、写真も載っています。下記のアドレスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm>

このホームページはフリーリンクです。リンクする場合、事前の承諾申請等は不要ですが、事後で結構ですのでメールにてご一報いただくと幸いです。

### 4) 本冊子の利用の手引き書

本冊子の見方を説明した「病害虫発生予測利用の手引き」があります。下記のアドレスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000835764.pdf>

### 5) メール配信サービス

予報、警報、注意報、特殊報、技術情報が発表されたときに、ホームページに掲載されたという「掲載通知」を電子メールでお知らせしています。このメールの配信を希望される方は、下記のアドレスからお申し込みください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/39475007379.htm>

### 6) 農薬登録状況の最新情報

農薬の販売や使用に当たっては、農薬登録上の制限があります。農薬の使用時はラベルをよく読んでください。次のインターネットサイトでは、最新の農薬登録状況が確認できます。

三重県農薬情報システム

<https://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/top/mie>

独立行政法人農林水産消費安全技術センターの「農薬登録情報提供システム」

[http://www.acis.famic.go.jp/index\\_kensaku.htm](http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm)

### 7) IPM(総合的病害虫・雑草管理)実践指標について

三重県では IPM を実践する上で必要な農作業の具体的な取組内容を示した作物別の指標を公表しています。農業者の皆さんの取組について、現状把握と今後の気づきにご活用ください。病害虫防除所ホームページにリンクを設定しています。

三重県農林水産部農産園芸課ホームページ内

<http://www.pref.mie.lg.jp/NOAN/HP/80301022763.htm>

各位

三重県病害虫防除所長

**令和2年度病害虫発生予報第4号**

1. 向こう1か月の予報と対策	1
2. 作物別の状況	2
3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠	7
4. 予察項目の見方	13
5. 気象のデータ	14
6. おしらせ	16

このことについて、下記のとおり発表します。

**1. 向こう1か月の予報と対策**

**1) 作物**

イネでは、穂いもち、斑点米カメムシ類の発生量は**やや多**と予想されます。防除を徹底してください。紋枯病、白葉枯病、イネクロカメムシの発生量は**平年並**と予想されます。セジロウンカ、トビイロウンカの発生量は**やや少**と予想されます。ツマグロヨコバエの発生量は**少**と予想されます。

ダイズでは、コガネムシ類、ハスモンヨトウ、吸実性カメムシ類の発生量は**やや多**と予想されます。今後の発生状況に注意してください。紫斑病の発生量は**平年並**と予想されます。

**2) 果樹**

カンキツでは、黒点病、かいよう病(温州、中晩柑)、ミカンハダニの発生量は**平年並**と予想されます。チャノキイロアザミウマの発生量は**やや少**と予想されます。

果樹共通では、カメムシ類の発生量は**やや多**と予想されます。発生が認められる場合は速やかに防除を実施してください。

**3) 茶**

チャでは、チャノミドリヒメヨコバエの発生量は**やや多**と予想されます。今後の発生状況に注意してください。炭疽病の発生量は**平年並**と予想されます。カンザワハダニ、チャノキイロアザミウマ、チャノコカクモンハマキの発生量は**やや少**と予想されます。

**4) 野菜**

イチゴの炭疽病は、**平年並**と予想されます。

515-2316 三重県松阪市嬉野川北町 530

TEL 0598-42-6365 Fax 0598-42-7568

ホームページ <http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm>

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

**2. 作物別の状況**

作物名	病害虫名	発生時期		発生量		要防除圃場率	発消長の一例				防除の注意事項
		平年比	平年比	程度	平年比		7月	8月			
						下旬	上旬	中旬	下旬		
イネ	穂いもち	—	やや多	大	高	出穂					1) 病害虫発生予察注意報第1号(6月30日発表)。 2) 葉いもちが上位葉で発生している圃場では、感染の恐れがあります。発生状況に注意してください。 3) これから出穂期となる圃場において、薬剤散布する場合は、出穂始めから穂揃い期に実施してください。 3) 特に作期のおそい圃場や、いもち病に弱い品種は、適期防除を徹底してください。
	紋枯病	—	平年並	中	低	出穂					1) 高温多湿条件で発病が助長されます。 2) 多肥、過繁茂の圃場では発生しやすくなります。 3) 薬剤散布は出穂7~10日前に実施してください。
	白葉枯病	—	平年並	小	低						1) 常発地では、台風や集中豪雨の遭遇直後に薬剤散布してください。 2) 「みえのゆめ」は耐病性の弱い品種なので注意が必要です。
	斑点米カメムシ類	—	やや多	中	普通						1) 病害虫発生予察注意報第2号(7月8日発表)。 2) 薬剤散布は穂揃い期に実施してください。広域での一斉防除が効果的です。 3) 中山間など山沿いの地域では、穂揃い期防除の7~10日後に2回目の防除をしてください。 4) 平坦地域においても、防除後に発生が確認された場合は、2回目の防除を実施してください。 5) 周囲よりも出穂の早い水田および遅い水田では、被害が集中するので防除を徹底してください。



作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項
						7月		8月		
						下旬	上旬	中旬	下旬	
イネ	イネクロカメムシ	—	平年並	中	普通					1) 発生圃場では、今後出すくみ穂や白穂被害が目立つようになります。 2) 常発地で薬剤散布する場合は、株元までかかるように行ってください。
	ツマグロヨコバイ	—	少	小	低					1) 9月上旬までに収穫する圃場では、実害はほとんどありません。
	セジロウンカ	—	やや少	小	低					1) 本年は県内で多飛来がありません。
	トビイロウンカ	—	やや少	小	低					1) 本年は県内で多飛来がありません。
ダイズ	紫斑病	—	平年並	小	普通					1) これから播種する圃場では、種子消毒を徹底してください。 2) 莢が形成され始めたら、薬剤散布をしてください。
	コガネムシ類	—	やや多	中	普通					1) 通常は防除の必要はありませんが、多発する場合は加害初期に防除してください。 2) ヒメコガネとドウガネブイブイは夜行性の種のため、夕方に薬剤散布すると効果的です。

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項
						7月		8月		
						下旬	上旬	中旬	下旬	
ダイズ	ハスモンヨトウ	—	やや多	中	普通					1) 病害虫防除技術情報第7号(7月10日発表)。 2) 白変葉を目印に早期発見に努め、若齢幼虫期に防除して下さい。 3) 発生量が急増することがありますので、防除所ホームページにおいて、フェロモントラップでの誘殺状況に注意してください。
	吸実性カメムシ類	—	やや多	中	普通					1) 近年、ミナミアオカメムシによる被害粒の多発や、青立ち症状が増加しています。 2) 薬剤散布は、9月中旬(開花20日後・莢伸長期)と10月上旬(開花40日後・子実肥大中期)の2回散布が効果的です。 3) 遅くとも、9月下旬(開花30日後・子実肥大初期)までに1回目の薬剤散布をしてください。 4) 移動性が高いため、広域一斉防除が効果的です。 5) エチプロール剤およびジノテフラン剤は、ミナミアオカメムシの殺虫効果が高いことが確認されています。
カンキツ	黒点病	—	平年並	小	普通					1) 薬剤散布を定期的実施し、8月下旬まで感染防止に努めてください。 2) 梅雨明け後は感染源となる枯枝が増加するので、切除に努めてください。 3) 薬剤散布後、積算で200mm以上の降雨があれば2回目の防除を実施してください。
	かいよう病	—	温州平年並 中晩柑平年並	温州小 中晩柑中	温州低 中晩柑普通					1) 果実・夏枝に病斑が見られる圃場では、発病した枝・葉・果実を除去し、薬剤防除を行ってください。 2) 防風対策に努め、台風の接近が予想される場合には、直前に防除してください。 3) 高接樹や幼木については、ミカンハモグリガの防除も徹底してください。

作物名	病害虫名	発生時期	発生量			要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項
							7月		8月		
							下旬	上旬	中旬	下旬	
カンキツ	ミカンハダニ	—	平年並	中	普通					1) 1葉当りの雌成虫寄生数が0.5~1.0頭程度を目安に防除してください。 2) 高温により活動が停滞する時期ですが、圃場での発生状況をよく確認し、多発している場合は防除してください。 3) 薬剤散布は葉裏にかかるよう、丁寧に散布してください。 4) 薬剤抵抗性の発達を回避するため、同一系統の薬剤の連用を避けてください。	
	チャノキイロアザミウマ	—	やや少	中	普通					1) 寄生果率10%になった時を防除の目安にしてください。 2) 7月以降は寄生部位が果頂部に移ります。	
果樹共通	カラムシ類	—	やや多	中	普通					1) 病害虫防除技術情報第4号(5月28日発表) 2) 圃場内を観察し、飛来が認められたら防除を実施してください。 3) 圃場(特にナシ、カキ)によっては局所的に飛来してきます。過去に発生が多かった圃場周辺では注意してください。 4) ナシ、ブドウの有袋栽培では、袋と果実が密着すると袋の上から加害されることがあります。	
チャ	炭疽病	—	平年並	小	普通					1) 感染源は旧葉、感染するのは新芽の上位葉で、新芽生育期に降雨が続くと発生が多くなります。 2) 防除時期は1~2葉展開期です。 3) 整枝による病斑葉の刈り落としも防除効果があります。ただし、葉層の確保充実も考慮してください。 4) 耐性菌が出現しやすいため同一系統の薬剤の連用は避けてください。	
	カンザワハダニ	—	やや少	小	普通					1) 発生が少なければ防除の必要はありません。 2) 抵抗性の発達を避けるため、同一系統の薬剤の連用は避けてください。	

作物名	病害虫名	発生時期	発生量			要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項
							7月		8月		
							下旬	上旬	中旬	下旬	
チャ	チャノミドリヒメコバエ	—	やや多	中	普通					1) 新芽の先が褐変し、ひどいときは芽が硬化し発育が停止します。 2) 晴天が続くと発生が多くなります。 3) 新芽の開葉初期に防除してください。 4) 一斉防除が効果的です。	
	チャノキイロアザミウマ	—	やや少	小	普通					1) 萌芽期に加害されると芽の成長が止まり、褐変枯死する場合があります。 2) 晴天が続くと発生が多くなります。 3) 新芽の萌芽~開葉初期に防除してください。 4) 一斉防除が効果的です。	
	チャノコカクモンハマキ	—	やや少	小	低					1) 若齢幼虫期に防除してください。防除適期は成虫発生ピークから7日~10日後頃です。 2) 病害虫防除所ホームページにフェロモントラップ誘殺状況を掲載していますので参考にしてください。	
イチゴ	炭疽病	—	平年並	中	普通					1) 発病株は感染源となるため、周辺株も含めて速やかに除去し、圃場外に持ち出して適切に処分してください。 2) 薬剤による予防防除を徹底してください。降雨、台風等の前後は特に重点的に防除してください。 3) 耐性菌が出現しやすいため同一系統薬剤の連用は避けてください。 4) 病原菌を含む水滴の跳ね返りによって感染が拡大します。水滴が跳ね返らないよう、丁寧に灌水を行ってください。	

### 3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
イネ	穂いもち	—	やや多	<p>要因</p> <p>1)1か月予報(7月16日発表)によると、平年に比べ気温は平年並、降水量は期間の前半で多い予想 (+)</p> <p>2)いもち病発生予測支援システム(プラスタム)によると、7月1~19日の県内アメダスポイント12か所の気象データから判定した感染好適条件出現回数は、のべ54回で過去10年と比較して最も多 (+)</p> <p>3)巡回調査圃場(7月第1~2週)では、葉いもちの発生圃場率6.8%(平年15.2%)、発病度0.57(平年1.02)、発病株における上位葉への進展率2.4%(平年4.9%)でいずれもやや少 (-)</p> <p>4)一般圃場では、葉いもちの発生量は少~やや多(概して平年並)、常発地や風通しの悪い場所での発生が複数報告 (+)</p> <p>考察: これまでと今後2週間の気象条件、一般ほ場調査結果を重視し、予想発生量はやや多と考えます。</p>
	紋枯病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1)1か月予報(7月16日発表)によると、平年に比べ気温は平年並、降水量は平年並か多い予想 (+)</p> <p>2)巡回調査圃場(7月第1~2週)では、発生圃場率0%(平年4.2%)、発病株率0%(平年0.4%)といずれも少 (-)</p> <p>3)一般圃場では、発生量は少 (-)</p> <p>考察: 巡回及び一般圃場調査結果から現状の発生量はやや少と考えられ、今後の気象条件を重視して予想発生量は平年並と考えます。</p>
	白葉枯病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1)巡回調査圃場(7月第1~2週)では、発生圃場率0%(平年0%)と平年並に少 (±)</p> <p>2)一般圃場では、発生量は無 (-)</p> <p>考察: 現状の発生量は平年並に少と考えられ、予想発生量は平年並と考えます。</p>
	斑点米カメムシ類	—	やや多	<p>要因</p> <p>1)1か月予報(7月16日発表)によると、平年に比べ気温は平年並、降水量は平年並か多い予想 (±)</p> <p>2)予察灯の誘殺数(松阪市・4月第1半旬~6月第6半旬)は、ミナミアオカメムシ79頭(平年6.8頭)と多、アカスジカスミカメ75頭(平年66.9頭)とやや多、アカヒゲホソドリカスミカメ1頭(平年70.0頭)と少 (+)</p> <p>3)巡回調査圃場(7月第1~2週)では、すくい取りによる発生圃場率はクモヘリカメムシ15.8%(平年6.4%)と多、ミナミアオカメムシ0.7%(平年2.4%)とやや少の傾向、アカスジカスミカメ8.6%(平年37.7%)、アカヒゲホソドリカスミカメ1%(平年0.36%)といずれも少、すくい取り成虫数は、クモヘリカメムシ0.9頭(平年0.4頭)と多、ミナミアオカメムシ0.06頭(平年0.06頭)と平年並、アカスジカスミカメ0.4頭(平年4.2頭)、アカヒゲホソドリカスミカメ0.05頭(平年0.38頭)といずれも少 (+)</p> <p>4)一般圃場では、発生量は少~多(概してやや多) (+)</p> <p>考察: 予察灯、巡回調査結果、一般圃場の発生状況から、現状の発生量及び予想発生量はやや多と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
イネ	イネクロカメムシ	—	平年並	<p>要因</p> <p>1)予察灯(松阪市・4月第1半旬~6月第6半旬)では、誘殺数は水田位置16頭(平年9.7頭)と多、畑位置175頭(平年192頭)と平年並 (+)</p> <p>2)巡回調査圃場(7月第1~2週)では、発生圃場率1.3%(平年16.1%)、被害株率0.08%(平年1.63%)といずれも少 (-)</p> <p>3)一般圃場では、発生量は中~少(概してやや少) (-)</p> <p>考察: 予察灯、巡回調査圃場、一般圃場の発生状況から、予想発生量は平年並と考えます。</p>
	ツマグロヨコバイ	—	少	<p>要因</p> <p>1)予察灯(6月第1半旬~6月第6半旬)では、誘殺数は紀北町6頭(平年3.3頭)と平年並、松阪市・水田位置0頭(平年2.3頭)、松阪市・畑位置60頭(平年2,035頭)、伊賀市2頭(平年19.8頭)、御浜町2頭(平年4.1頭)といずれも少 (-)</p> <p>2)巡回調査圃場(7月第1~2週)では、発生圃場率13.6%(平年27.1%)、払い落とし成虫数0.4頭(平年1.2頭)といずれも少 (-)</p> <p>3)一般圃場では、発生量は少 (-)</p> <p>考察: 予察灯、巡回調査結果、一般圃場の発生状況から、予想発生量は少と考えます。</p>
	セジロウンカ	—	やや少	<p>要因</p> <p>1)予察灯(5月第1半旬~6月第6半旬)では、誘殺数は松阪市・水田位置0頭(平年1.0頭)、松阪市・畑位置0頭(平年10.3頭)といずれも少、伊賀市6頭(平年1.3頭)と多、紀北町0頭(平年4.0頭)、御浜町1頭(平年24.7頭)といずれも少 (-)</p> <p>2)巡回調査圃場(7月第1~2週)の払い落とし調査では、紀州地域の成虫の発生圃場率0%(平年9.4%)、成虫数は0頭(平年0.14頭)、県全体の発生圃場率0%(平年1.8%)、払い落とし成虫数0頭(平年0.02頭)といずれも少 (-)</p> <p>3)一般圃場では、発生量は少 (-)</p> <p>4)7月上旬までに、九州地方において飛来が平年より多いとの報告事例がある。 (+)</p> <p>考察: 予察灯、巡回調査結果、一般圃場の発生状況、他県の飛来状況から、予想発生量はやや少と考えます。</p>
	トビイロウンカ	—	やや少	<p>要因</p> <p>1)予察灯(5月第1半旬~6月第6半旬)では、松阪市・水田位置、松阪市・畑位置、伊賀市、紀北町、御浜町においてすべて0頭(平年は御浜町0.4頭、その他は0頭)といずれも平年並に少 (±)</p> <p>2)巡回調査圃場(7月第1~2週)では、発生圃場率0%(平年0.04%)、払い落とし成虫数0頭(平年0.001頭)とともに平年並に少 (-)</p> <p>3)一般圃場では、発生量は少 (-)</p> <p>4)7月上旬までに、九州地方において飛来が平年より多いとの報告事例がある。 (+)</p> <p>考察: 予察灯、巡回調査結果、一般圃場の発生状況から、予想発生量はやや少と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
ダイズ	紫斑病	—	平年並	要因 1) 1か月予報(7月16日発表)によると、平年に比べ気温は平年並、降水量は平年並が多い予想 (+) 2) 巡回調査圃場(昨年11月)では、紫斑粒の発生率0.2%(平年0.3%)とやや少 (-) 考察: 昨年の紫斑粒発生状況と今後の気象条件を考慮し、予想発生量は平年並と考えます。
	コガネムシ類	—	やや多	要因 1) 畑位置予察灯(松阪市・4月第1半旬～7月第1半旬)では、誘殺数はドウガネブイブイ149頭(平年130.5頭)とやや多の傾向、ヒメコガネ62頭(平年28.4頭)と多 (+) 2) 県予察圃フェロモントラップ(5月上旬～7月上旬)では、誘殺数はマメコガネ40頭(平年113.6頭)と少、ドウガネブイブイ64頭(平年39.0頭)と多、ヒメコガネ5頭(平年4.5頭)と平年並 (±) 考察: 畑位置予察灯の誘殺状況を重視して、予想発生量はやや多と考えます。
	ハスモンヨトウ	—	やや多	要因 1) 1か月予報(7月16日発表)によると、平年に比べ気温は平年並、降水量は平年並が多い予想 (±) 2) 県予察圃フェロモントラップ(6月第3半旬～7月第2半旬)では、誘殺数は865頭(平年285.6頭)と多 (+) 考察: フェロモントラップの誘殺状況から現状の発生量は多と考えられ、今後の気象条件を考慮して予想発生量はやや多と考えます。
	吸食性カメムシ類	—	やや多	要因 1) 1か月予報(7月16日発表)によると、平年に比べ気温は平年並、降水量は平年並が多い予想 (±) 2) 予察灯(松阪市・6月第2半旬～7月第1半旬)では、誘殺数はイチモンジカメムシ10頭(平年31.3頭)と少、ミナミアオカメムシ水田位置12頭(9年平均4.0頭)と多、畑位置54頭(平年31.3頭)と多、クサギカメムシ112頭(平年41.5頭)と多 (+) 考察: 現状の発生量は予察灯の誘殺状況から多と考えられ、今後の気象条件を考慮して予想発生量はやや多と考えます。
カンキツ	黒点病	—	平年並	要因 1) 1か月予報(7月16日発表)によると、平年に比べ気温は平年並、降水量は平年並が多い予想 (±) 2) 県予察圃(7月上旬)では、無防除区で果実発病度64.8(平年32.6)と多 (+) 3) 巡回調査圃場(7月第1週)では、果実発病度0(平年1.1)と平年並の傾向 (±) 4) 一般圃場では、発生量は少～平年並(概して平年並) (±) 5) 感染源となる枯枝は平年並 (±) 考察: 現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
カンキツ	かいよう病	—	温州 平年並 中晩柑 平年並	要因 1) 1か月予報(7月16日発表)によると、平年に比べ気温は平年並、降水量は平年並が多い予想 (±) 2) 県予察圃(7月上旬、新甘夏)では、発病率2.8%(平年2.9%)と平年並、発病率0.8%(平年1.1%)と平年並の傾向(±) 3) 巡回調査圃場(7月第1週)では、温州みかんは発病率0%(平年0.2%)と平年並の傾向、発病率0%(平年0.1%)と平年並、中晩柑は発病率3.3%(平年8.7%)と少、発病率0.3%(平年2.6%)と少 (温州土、中晩柑一) 4) 一般圃場では、発生量は平年並 (±) 考察: 現状の発生量は温州みかん、中晩柑ともに平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。
	ミカンハダニ	—	平年並	要因 1) 1か月予報(7月16日発表)によると、平年に比べ気温は平年並、降水量は平年並が多い予想 (±) 2) 県予察圃(7月上旬)では、100葉当り寄生頭数は無防除区で7.8頭(平年10.3頭)とやや少、慣行防除区で4.4頭(平年8.3頭)とやや少 (-) 3) 巡回調査圃場(7月第1週)では、新葉における寄生率6.5%(平年8.7%)と少、寄生頭数0.7頭/葉(平年0.3頭/葉)とやや多の傾向 (±) 4) 一般圃場では、発生量は平年並 (±) 考察: 一般圃場の発生状況を重視して、現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。
	チャノキイロアザミウマ	—	やや少	要因 1) 県予察圃黄色粘着トラップ(7月上旬)では、誘殺1.0頭/日(平年2.3頭/日)と少 (-) 2) 県予察圃(7月上旬)では、100果当り寄生虫数0.0頭(平年4.6頭)と少 (-) 3) 巡回調査圃場(7月第1週)では、被害果率0%(平年1.0%)と少 (-) 4) 一般圃場では、発生量は少～平年並(概してやや少) (-) 考察: 一般圃場での発生状況を重視して、現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
果樹 共通	カメムシ類	—	やや多	<p>要因</p> <p>1) 予察灯(御浜町:7月1日～7月10日)では、誘殺数はチャバネアオカメムシ 266.0頭(平年 3,207.5頭)と少、ツヤアオカメムシ 8.0頭(平年 63.4頭)とやや少 (—)</p> <p>2) 予察灯(畑・松阪市:6月第4半旬～7月第3半旬)では、誘殺数はチャバネアオカメムシ 1,184頭(平年 981.0頭)と平年並、ツヤアオカメムシ 613頭(平年 424.0頭)とやや多、クサギカメムシ 285頭(平年 140.4頭)と多 (+)</p> <p>3) フェロモントラップ(6月第2週～7月第1週)では、チャバネアオカメムシ誘殺数は山地(津市白山町川口)で1,256頭(平年 838.4頭)と多、中間地(津市白山町二本木)で2,585頭(平年 1,347.5頭)と多、平地地(松阪市嬉野川北町)で481頭(平年 144.9頭)と多 (+)</p> <p>4) 巡回調査圃場(7月第1週)では、カンキツ圃場での叩き落とし虫数0頭(平年 0.03頭)と平年並に少 (±)</p> <p>考察: 現状の発生量はやや多と考えられ、引き続き予想発生量はやや多と考えます。</p>
	炭疽病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(7月16日発表)によると、気温は平年並、降水量は平年並が多い予想 (+)</p> <p>2) 県予察圃では、二番茶期の発病葉数 0.4枚/m<sup>2</sup>(平年 0.5枚/m<sup>2</sup>)と平年並 (±)</p> <p>3) 巡回調査圃場(7月第1～2週)では、発病葉数 1.2枚/m<sup>2</sup>(平年 1.2枚/m<sup>2</sup>)と平年並 (±)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は少 (—)</p> <p>考察: 現状の発生量はやや少と考えられ、今後の気象状況を考慮して予想発生量は平年並と考えます。</p>
	カンザワハダニ	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(7月16日発表)によると、気温は平年並、降水量は平年並が多い予想 (—)</p> <p>2) 県予察圃(6月下旬～7月中旬)では、寄生葉率 2.0%(平年 3.4%)とやや少、寄生頭数 0.04頭/葉(平年 0.07頭/葉)とやや少 (—)</p> <p>3) 巡回調査圃場(7月第1～2週)では、寄生葉率 0.35%(平年 1.2%)とやや少、寄生頭数 0.01頭/葉(平年 0.07頭/葉)とやや少、発生圃場率 17.6%(平年 13.6%)とやや多 (±)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は平年並 (±)</p> <p>考察: 現状の発生量は平年並と考えられ、今後の気象状況を考慮して予想発生量はやや少と考えます。</p>
	チャノミドリヒメコバ	—	やや多	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(7月16日発表)によると、気温は平年並、降水量は平年並が多い予想 (—)</p> <p>2) 県予察圃黄色粘着トラップ(6月第4半旬～7月第3半旬)では、捕殺数 32.5頭(7年平均 101頭)とやや少の傾向 (—)</p> <p>3) 巡回調査圃場(7月第1～2週)では、叩き落とし虫数 0.4頭(平年 2.3頭)と少 (—)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は多 (+)</p> <p>考察: 現状の発生量はやや多と考えられ、引き続き予想発生量はやや多と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
チャ	チャノキイロアザミウマ	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(7月16日発表)によると、気温は平年並、降水量は平年並が多い予想 (—)</p> <p>2) 県予察圃黄色粘着トラップ(6月第4半旬～7月第3半旬)では、捕殺数 165.5頭(7年平均 1,354頭)と少 (—)</p> <p>3) 巡回調査圃場(7月第1～2週)では、叩き落とし虫数 0.1頭(平年 14.6頭)と少 (—)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量はやや少 (—)</p> <p>考察: 現状の発生量は一般圃場を重視してやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。</p>
	チャノコカクモンハマキ	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(7月16日発表)によると、気温は平年並、降水量は平年並が多い予想 (—)</p> <p>2) 県予察圃黄色粘着トラップ(6月第4半旬～7月第3半旬)では、誘殺数 423頭(平年 680頭)とやや少の傾向 (—)</p> <p>3) 巡回調査圃場(7月第1～2週)では、ハマキムシ類巻葉数 0.18枚/m<sup>2</sup>(平年 0.15枚/m<sup>2</sup>)と平年並 (±)</p> <p>4) 一般圃場では、ハマキムシ類の発生量はやや少 (—)</p> <p>考察: 現状の発生量は一般圃場の発生量を重視してやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。</p>
イチゴ	炭疽病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(7月16日発表)によると、平年に比べ気温は平年並、降水量は平年並が多い予想 (+)</p> <p>2) 巡回調査圃場(7月第1週、親株)では、発病株率 0%(平年 0.1%)と平年並の傾向 (±)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は少～やや少 (概してやや少) (—)</p> <p>考察: 現状の発生量はやや少と考えられ、今後の気象条件を考慮して予想発生量は平年並と考えます。</p>

#### 4. 予察項目の見方

##### 1)「作物別の状況」の見方

**発生時期(平年比)：** 平年の発生月日からの差を「早、やや早、平年並、やや遅、遅」の5段階評価で予測します。ただし、発生時期が毎年大きく変化する病害虫では、日数の基準が下記より大きくなります。発生時期を予察する意義の小さい病害虫では予察しません。

日数	-6	-5	-4	-3	-2	-1	平年 発生日	1	2	3	4	5	6	
評価	早		やや早			平年並			やや遅			遅		

**発生量(平年比)：** 発生密度の平年値からの差を「少、やや少、平年並、やや多、多」の5段階評価で予測します。平年値との比較なので、平年値が小さければ、「多」になっても見かけの密度は多くないことがあります。毎年多発生している場合は「平年並」や「やや少」でも見かけ上は多いと感じることがあります。

	平年値 ↓					
度数	10%	20%	20%	20%	20%	10%
評価	少	やや少	平年並	やや多	多	

**発生量(程度)：** 発生程度を「小、中、大、甚」の4段階評価で予測します。評価の基準値は病害虫毎に異なりますが、大雑把には、「見た目の多さ・少なさ」です。甚になるほど見た目は多くなり、小になるほど見た目は少なくなります。「発生量(平年比)」と比

べることによって、「平年並に発生程度が小さい」「発生程度は大きい平年並の発生量である」「平年より多いが、発生程度は小さい」「平年よりやや少ないが、依然として発生程度は中くらいである」等のように判断してください。

小	中	大	甚
---	---	---	---

**要防除圃場率(平年比)：** 防除の必要性の目安を「低、普通、高」の3段階評価で予測します。「普通」であれば、県下の大半の圃場では防除暦に沿った通常の防除が必要と予想されます。「高」であれば、防除時期の見直しや追加防除が必要になると予想されます。「低」であれば、防除回数を減らせるか、防除しなくても済むと予想されます。

低	普通	高
---	----	---

**発生消長の一例：** 発生予報は向こう1か月の予報ですが、その前後を合わせて40日ほどの病害虫の発生消長の一例をグラフで示します。大まかな目安として利用してください。

**防除の注意事項：** 向こう1か月の病害虫の特性と防除に関する説明です。

##### 2)「発生時期・発生量(平年日)の予察根拠」の見方

- (±)：平年並の要因
- (+)：発生量増加または発生時期遅延の要因
- (-)：発生量減少または発生時期早期化の要因

#### 5. 気象のデータ

##### 東海地方1か月予報(令和2年7月16日 名古屋地方気象台発表)

期間の前半は降水量が多く、日照時間の少ない状態が続く見込みです。前線や湿った空気の影響を受けやすいため、向こう1か月の降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ないでしょう。

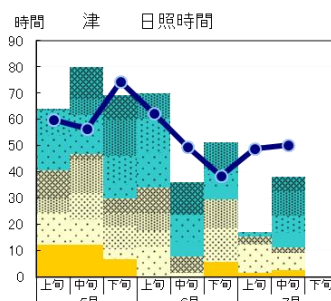
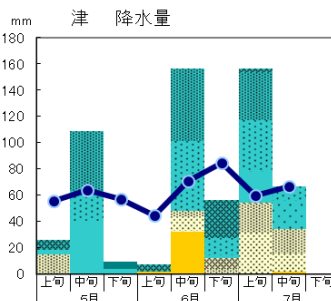
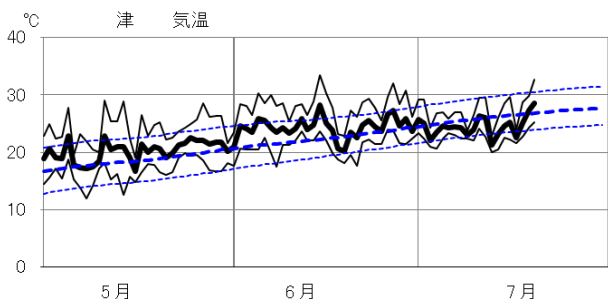
##### 東海地方週間天気予報(令和2年7月16日16時40分 名古屋地方気象台発表)

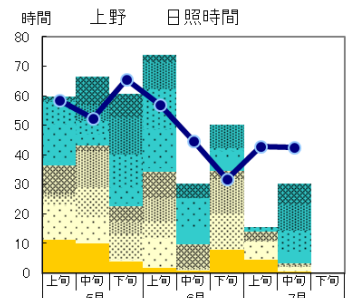
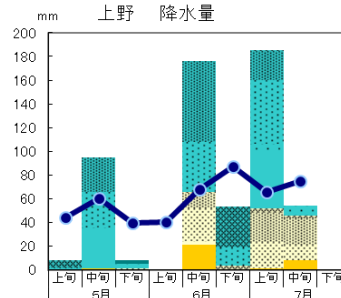
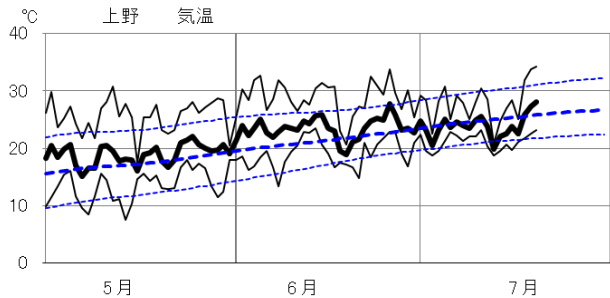
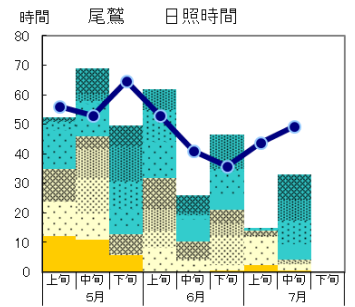
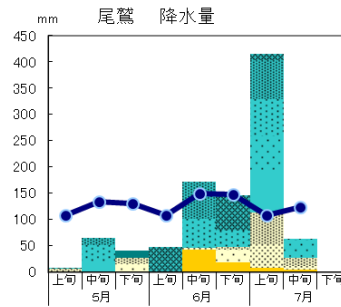
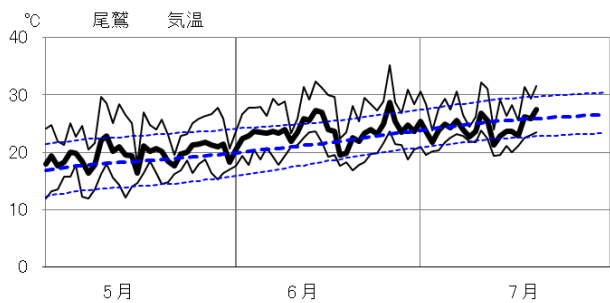
予報期間 7月17日から7月23日まで

向こう一週間は、前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多いでしょう。なお、18日から19日にかけては、前線の活動の程度によっては大雨となるおそれがあります。最高気温は、平年並か平年より低いでしょう。最低気温は、おおむね平年並の見込みです。降水量は平年並か平年より多いでしょう。

1週目 7月18日～24日	前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多いでしょう。	津の降水日数・晴れ日数の平年値 4.0日・2.4日
2週目 7月25日～31日	前線や湿った空気の影響を受けやすく、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。	同 4.6日・2.0日
3～4週目 8月1日～14日	平年と同様に晴れの日が多いでしょう。	同 9.5日・3.9日

##### 気象の日別推移(気象庁発表データ <http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/ctrn/index.php> から作成) (7月20日まで)





凡例  
 — 平均  
 — 最高  
 — 最低  
 - - 平年平均  
 - - 平年最高  
 - - 平年最低

凡例  
 ■ 31日  
 ■ 30日  
 ■ 29日  
 ■ 28日  
 ■ 27日  
 ■ 26日  
 ■ 25日  
 ■ 24日  
 ■ 23日  
 ■ 22日  
 ■ 21日  
 ■ 20日  
 ■ 19日  
 ■ 18日  
 ■ 17日  
 ■ 16日  
 ■ 15日  
 ■ 14日  
 ■ 13日  
 ■ 12日  
 ■ 11日  
 ■ 10日  
 ■ 9日  
 ■ 8日  
 ■ 7日  
 ■ 6日  
 ■ 5日  
 ■ 4日  
 ■ 3日  
 ■ 2日  
 ■ 1日  
 ■ 平年値

凡例  
 ■ 31日  
 ■ 30日  
 ■ 29日  
 ■ 28日  
 ■ 27日  
 ■ 26日  
 ■ 25日  
 ■ 24日  
 ■ 23日  
 ■ 22日  
 ■ 21日  
 ■ 20日  
 ■ 19日  
 ■ 18日  
 ■ 17日  
 ■ 16日  
 ■ 15日  
 ■ 14日  
 ■ 13日  
 ■ 12日  
 ■ 11日  
 ■ 10日  
 ■ 9日  
 ■ 8日  
 ■ 7日  
 ■ 6日  
 ■ 5日  
 ■ 4日  
 ■ 3日  
 ■ 2日  
 ■ 1日  
 ■ 平年値

15

## 6. お知らせ (前回と異なる項目には NEW の印があります)

### 1) 記載基準の注意点

平年ほとんど発生のないか非常に少ない病害虫については、平年並に少ない発生状態の「発生量平年比」を「平年並」、「発生量程度」を「小」と記述しています。

### 2) 発表日 **NEW**

本年度の病害虫発生予報は次の予定で発表します。

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| 第1回 4月23日(木) (済み) | 第2回 5月21日(木) (済み) |
| 第3回 6月25日(木) (済み) | 第4回 7月22日(水) (今回) |
| 第5回 8月20日(木)      | 第6回 10月22日(木)     |
| 第7回 3月25日(木)      |                   |

### 3) 利用方法

全部または一部をコピーして回覧・配布にご利用ください。ただし必ずページの右下にある「三重県病害虫防除所」の文字が入るようにしてください。

病害虫防除所ホームページには、この予報をはじめとして、不定期に発表される警報、注意報、特殊報、技術情報や、各種のグラフ、写真も載っています。下記のアドレスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm>

このホームページはフリーリンクです。リンクする場合、事前の承諾申請等は不要ですが、事後で結構ですのでメールにてご一報いただくと幸いです。

### 4) 本冊子の利用の手引き書

本冊子の見方を説明した「病害虫発生予報利用の手引き」があります。下記のアド

レスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000835764.pdf>

### 5) メール配信サービス

予報、警報、注意報、特殊報、技術情報が発表されたときに、ホームページに掲載されたという「掲載通知」を電子メールでお知らせしています。このメールの配信を希望される方は、下記のアドレスからお申し込みください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/39475007379.htm>

### 6) 農薬登録状況の最新情報

農薬の販売や使用に当たっては、農薬登録上の制限があります。農薬の使用時はラベルをよく読んでください。次のインターネットサイトでは、最新の農薬登録状況が確認できます。

三重県農薬情報システム

<https://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/top/mie>

独立行政法人農林水産消費安全技術センターの「農薬登録情報提供システム」

[http://www.acis.famic.go.jp/index\\_kensaku.htm](http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm)

### 7) IPM(総合的病害虫・雑草管理)実践指標について

三重県では IPM を実践する上で必要な農作業の具体的な取組内容を示した作物別の指標を公表しています。農業者の皆さんの取組について、現状把握と今後の気づきにご活用ください。病害虫防除所ホームページにリンクを設定しています。

三重県農林水産部農産園芸課ホームページ内

<http://www.pref.mie.lg.jp/NOAN/HP/80301022763.htm>

各 位

三重県病害虫防除所長

1. 向こう1か月の予報と対策	1
2. 作物別の状況	2
3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠	6
4. 予察項目の見方	11
5. 気象のデータ	12
6. おしらせ	14

**令和2年度病害虫発生予報第5号**

このことについて、下記のとおり発表します。

**1. 向こう1か月の予報と対策**

**1) 作物**

イネ(普通期)では、斑点米カメムシ類の発生量は**多**と予想されます。周辺圃場の収穫状況に注意しながら、薬剤散布を行ってください。トビイロウンカの発生量は**やや多**と予想されます。早期発見・早期防除に努めてください。ツマグロヨコバイの発生量は**少**と予想されます。

ダイズでは、ハスモンヨトウ、吸実性カメムシ類の発生量は**平年並**と予想されま

**2) 果樹**

カンキツでは黒点病、かいよう病(温州、中晩柑)、ミカンハダニ、チャノキイロアザミウマの発生量は**平年並**と予想されます。

果樹共通では、カメムシ類の発生量は**やや多**と予想されます。発生が認められる場合は速やかに防除を実施してください。

**3) 茶**

チャでは、炭疽病の発生量は**平年並**と予想されます。チャノドリヒメコバヤ、チャノキイロアザミウマの発生量は**平年並**と予想されます。クワシロカイガラムシの発生時期は**平年並**、発生量は**平年並**と予想されます。チャノホソガの発生時期は**平年並**、発生量は**やや少**と予想されます。カンザワハダニの発生量は**やや少**と予想されます。

**4) 野菜**

イチゴでは、炭疽病の発生量は**やや多**と予想されます。ほ場をよく観察し、早期発見、早期除去に努めて下さい。

ネギでは、シロイチモジヨトウの発生量は**平年並**と予想されます。

515-2316 三重県松阪市嬉野川北町 530  
 TEL 0598-42-6365 Fax 0598-42-7568  
 ホームページ <http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.h>

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

**2. 作物別の状況**

作物名	病害虫名	発生時期		発生量		要防除圃場率	発生活長の一例				防除の注意事項
		平年比	平年比	程度	平年比		8月		9月		
							下旬	上旬	中旬	下旬	
イネ(普通期)	斑点米カメムシ類	—	多	大	高	被害量 				1) 病害虫発生予察注意報第2、3号(7月8日、8月20日発表)。 2) 周辺で収穫作業がある時は圃場への侵入に注意し、穂揃い期に薬剤散布を実施してください。 3) 防除後も侵入が確認される場合は、穂揃い期防除の7~10日後に2回目の防除をしてください。 4) 薬剤散布する場合は、周辺圃場の収穫状況を考慮してドリフトに注意してください。	
	ツマグロヨコバイ	—	少	小	低	成虫密度 				1) 発生量が少ないので、実害は少ないと思われます。	
	トビイロウンカ	—	やや多	小	低	成虫密度 				1) 発生が確認された場合には速やかに防除を行ってください。	
ダイズ	ハスモンヨトウ	—	平年並	中	普通	被害量 				1) 圃場を見回り、白変葉を目印として、早期発見、早期防除に努めてください。 2) 薬剤散布は若齢幼虫期に行ってください。	



作物名	病害虫名	発生時期	発生量			要防除圃場率	発生活長の一例				防除の注意事項
			発生時期	発生量	要防除圃場率		8月		9月		
							平年比	平年比	程度	平年比	
ダイズ	吸害性カメムシ類	—	平年並	中	普通	成虫密度					<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 近年、ミナミアオカメムシによる被害粒の多発や、青立ち症状が増加しています。</li> <li>2) 薬剤散布は、9月中旬(開花 20 日後・莢伸長期)と 10 月上旬(開花 40 日後・子実肥大中期)の 2 回散布が効果的です。</li> <li>3) 1 回散布の場合は、9 月下旬頃(開花 30 日後・子実肥大初期)に散布してください。</li> <li>4) 移動性が高いため、広域一斉防除が効果的です。</li> <li>5) エチプロロール剤およびジノテフラン剤は、ミナミアオカメムシの殺虫効果が高いことが確認されています。</li> </ul>
カンキツ	黒点病	—	平年並	中	普通	発病密度					<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 乾燥が続くと樹勢の衰弱により枯枝が増加します。感染源となる枯枝の除去に努めてください。</li> <li>2) 9 月は後期感染の時期なので、果実への感染防止に努めてください。</li> </ul>
	かいよう病	—	温州平年並 中晩柑平年並	温州小 中晩柑中	温州低 中晩柑普通	発病密度					<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 発病した夏秋梢や果実等の除去に努めてください。</li> <li>2) 防風対策を行うとともに、台風の接近が予想される場合は防除をしてください。</li> <li>3) ミカンハモグリガの被害痕から菌が侵入しやすいため、高接樹や幼木はミカンハモグリガの防除も実施してください。</li> </ul>
	ミカンハダニ	—	平年並	中	普通	ダニ密度					<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 秋になって急増することがあるので、発生状況をよく観察してください。</li> <li>2) 1 葉当りの雌成虫寄生数が 0.5~1.0 頭程度を目安に防除してください。</li> <li>3) 薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一系統の薬剤の連用を避けてください。</li> </ul>
	チャノキイロアザミウマ	—	平年並	中	普通	成虫密度					<ul style="list-style-type: none"> <li>1) この時期の被害発生部位は果頂部で、果実肥大が緩慢になり被害が判りにくくなるため、丁寧な観察が必要です。</li> <li>2) イヌマキ、サンゴジュ等の防風垣に隣接した樹で、被害が多くなることがあります。</li> </ul>

作物名	病害虫名	発生時期	発生量			要防除圃場率	発生活長の一例				防除の注意事項
			発生時期	発生量	要防除圃場率		8月		9月		
							平年比	平年比	程度	平年比	
果樹共通	カメムシ類	—	やや多	中	普通	チャバネアオカメムシ					<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 病害虫防除技術情報第 4 号(5 月 28 日発表)</li> <li>2) 例年飛来が多く見られる圃場では、圃場内の観察をきめ細かく行ってください。</li> <li>3) 大雨、強風などの後に、急に圃場へ多数飛来することがあります。カンキツやカキ圃場等では、発生状況に十分に注意してください。</li> <li>4) ナシ、ブドウの有袋栽培では、袋と果実が密着すると、袋の上から加害されることがあるので注意してください。</li> </ul>
チャ	炭疽病	—	平年並	小	普通	発病					<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 防除時期は秋芽 1~2 葉開葉期です。</li> <li>2) 三番茶期から秋番茶期にかけて増加します。</li> <li>3) 降雨が続くと感染しやすくなります。降雨の前は予防剤で、降雨の後には治療剤で防除してください。</li> <li>4) 治療剤 (EBI 剤など) は耐性菌が出現しやすいため、同一系統の薬剤の連用は避けてください。</li> </ul>
	カンザワハダニ	—	やや少	小	普通	ダニ密度					<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 薬剤がかかりにくい葉裏に生息しています。</li> <li>2) 寄生率が高い場合は丁寧に薬剤散布してください。</li> <li>3) 薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一系統の薬剤の連用は避けてください。</li> </ul>
	チャノホソガ(第4世代幼虫)	平年並	やや少	小	普通	成虫誘殺数					<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 新芽開葉初期の孵化幼虫(潜葉期、絵描き状態)を対象に防除してください。</li> <li>2) 今年の発生時期は、平年並と予想されます。病害虫防除所のホームページにフェロモントラップによる誘殺状況を掲載していますので参考にしてください。</li> <li>3) ハマキムシ類の間接暴露による薬剤抵抗性の発達を避けるため、ジアシルヒドラジン系 IGR 剤(虫 18)、ジアミド剤(虫 28)の使用回数は最大年 1 回までとしましょう。</li> </ul>

作物名	病害虫名	発生時期	発生量			要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項
			発生量	程度	発生量		8月		9月		
							発生量	発生量	下旬	上旬	
チャ	チャノミドリヒメヨコバイ	—	平年並	小	普通					1) 新芽の先が褐変し、ひどいときは芽が硬化し発育停止します。 2) 晴天が続くと発生が多くなります。 3) 秋芽の開葉初期に防除してください。一斉防除が効果的です。	
	チャノキイロアザミウマ	—	平年並	中	普通					1) 萌芽期に加害されると芽の成長が止まり、褐変枯死する場合があります。 2) 晴天が続くと発生が多くなります。 3) 秋芽の萌芽期～開葉初期に防除してください。一斉防除が効果的です。	
	クワシロカイガラムシ	平年並	平年並	小	普通					1) 病害虫防除技術情報第6号(7月6日発表) 2) 第2世代幼虫孵化最盛期による予測では第3世代幼虫孵化最盛日は平年並と予想されます。 3) 防除適期は孵化最盛日から2～4日後頃です。 4) この時期はばらつきが大きくなるため圃場で幼虫の孵化を確認してから防除してください。 5) 天敵に影響の少ない薬剤を選択してください。	
イチゴ	炭疽病	—	やや多	中	普通					1) 発病株は感染源となるため、周辺株も含めて速やかに除去し、圃場外に持ち出して適切に処分してください。 2) 病原菌を含む水滴の跳ね返りによって感染が拡大します。水滴が跳ね返らないよう丁寧に灌水を行ってください。 3) 薬剤による予防防除を徹底してください。葉かき作業後や降雨、台風等の前後は特に重点的に防除してください。 4) 薬剤耐性菌を生ずる恐れがあるため、同一系統薬剤の連用は避けてください。	
ネギ	シロイチモジヨトウ	—	平年並	中	普通					1) 幼虫の発生は8～10月に多くなります。 2) 幼虫は老齢になるに従って薬剤の効果が低下します。早期発見に努め、若齢のうちに防除してください。 3) 薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一系統の薬剤の連用は避けてください。	

### 3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
イネ(普通期)	斑点米カメムシ類	—	多	要因 1) 予察灯(7月第4半旬～8月第3半旬・松阪市)では、水田位置でクモヘリカメムシ誘殺数は20頭(平年7.1頭)と多、ミナミアオカメムシ誘殺数は39頭(平年13.7頭)と多 (+) 2) 巡回調査圃場(8月第1週)では、すくい取り調査による斑点米カメムシ類の発生圃場率は53.4%(平年40.9%)と多、虫数は2.0頭(平年1.8頭)と平年並 (+) 3) 一般圃場では、発生量は少～多(概してやや多) (+) 考察: 予察灯、巡回調査圃場および一般ほ場の発生状況から、予想発生量は多と考えます。
	ツマグロヨコバイ	—	少	要因 1) 予察灯(7月第4半旬～8月第3半旬・松阪市)では、誘殺数は水田位置で0頭(平年3.3頭)と少 (-) 2) 巡回調査圃場(8月第1週)では、払い落とし調査による発生圃場率は21.2%(平年37.4%)と少、成虫数は0.9頭(平年3.6頭)と少 (-) 3) 一般圃場では、発生量は無～中(概して少) (-) 考察: 予察灯、巡回調査結果および一般圃場の発生状況から、予想発生量は少と考えます。
	トビイロウンカ	—	やや多	要因 1) 予察灯(7月第4半旬～8月第3半旬)の誘殺数は松阪市の水田位置で10頭(平年0.3頭)と多、紀北町で14頭(平年0頭)と多 (+) 2) 巡回調査圃場(8月第1週)では、発生圃場率0%(平年0.1%)、払い落とし成虫数0頭(平年0.001頭)とともに平年並に少 (±) 3) 一般圃場では、発生量は無～少(概して無) (±) 4) 8月13日時点で西日本の3県で警報、他に8県で注意報が発表されている。 (+) 考察: 現状の発生量は平年並と考えられますが、西日本で多発している状況を考慮し、予想発生量はやや多と考えます。
ダイズ	ハスモンヨトウ	—	平年並	要因 1) フェロモントラップ(7月第2半旬～8月第1半旬)では、松阪市嬉野川北町で436頭(平年289.3頭)とやや多の傾向 (+) 2) 巡回調査圃場(8月第1週)では、葉食害度0(平年0.2)と少、1a当り白変か所数0か所(平年0.4か所)と少 (-) 3) 一般圃場では、播種が遅れており発生量は無～少(概して無) (±) 考察: フェロモントラップの状況と現在の生育状況で、同様な過去の被害量から推定し、予想発生量は平年並と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
ダイズ	吸実性カメムシ類	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 予察灯(7月第3半旬～8月第2半旬・松阪市)では、誘殺数はミナミアオカメムシ水田位置 26 頭(平年 9.2 頭)と多、畑位置 46 頭(平年 60.7 頭)とやや少、イチモンジカメムシ 87 頭(平年 45.3 頭)と多、ホソヘリカメムシ 15 頭(平年 37.4 頭)と少 (±)</p> <p>2) 巡回調査圃場(8月第1週)では、25 株当たり寄生虫数 0 頭(平年 0.003 頭)とやや少 (—)</p> <p>3) 水稲巡回調査圃場(8月第1週)では、ミナミアオカメムシ発生圃場率 3.0%(平均 1.7%)とやや多の傾向、すくい取り虫数 0.07 頭(平年 0.04 頭)とやや多の傾向 (+)</p> <p>4) 一般圃場では、播種が遅れており発生量は、無～少(概して無) (±)</p> <p>考察: 予察灯の状況から虫種の誘殺数にばらつきがあるものの、現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
カンキツ	黒点病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1 か月予報(8月13日発表)によると、気温は高く、降水量は平年並か少ない予想 (±)</p> <p>2) 県予察圃(8月上旬、無防除)では、果実発病度 68.8(平年 61.1)と平年並の傾向 (±)</p> <p>3) 巡回調査圃場(8月第1週)では、果実発病度 0.8(平年 3.3)と平年並の傾向 (±)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は少～やや少(概してやや少) (—)</p> <p>5) 感染源となる枯枝の量は平年並 (±)</p> <p>考察: 現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
	かいよう病	—	温州 平年並 中晩柑 平年並	<p>要因</p> <p>1) 1 か月予報(8月13日発表)によると、気温は高く、降水量は平年並か少ない予想 (±)</p> <p>2) 県予察圃(8月上旬、新甘夏、無防除)では、発病率率 3.5%(平年 3.7%)と平年並、発病率率 25.8%(平年 21.4%)と平年並 (±)</p> <p>3) 巡回調査圃場(8月第1週)のうち、温州みかんでは春葉発病度 0.0(平年 0.1)と平年並の傾向、果実発病度 0.0(平年 0.0)と平年並 (±)</p> <p>4) 巡回調査圃場(8月第1週)のうち、中晩柑では春葉発病度 1.1(平年 3.4)とやや少の傾向、果実発病度 1.6(平年 4.0)と平年並の傾向 (±)</p> <p>5) 一般圃場では、発生量は平年並 (±)</p> <p>考察: 現状の発生量は、温州みかん、中晩柑類ともに平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
カンキツ	ミカンハダニ	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1 か月予報(8月13日発表)によると、気温は高く、降水量は平年並か少ない予想 (+)</p> <p>2) 県予察圃(8月上旬)では、100 葉当たり寄生頭数は慣行防除区で 11.1 頭(平年 29.7 頭)とやや少 (—)</p> <p>3) 県予察圃(8月上旬)では、100 葉当たり寄生頭数は無防除区で 5.6 頭(平年 6.2 頭)と平年並 (±)</p> <p>3) 巡回調査圃場(8月第1週)では、春葉における寄生率率 5.1%(平年 6.1%)と平年並、寄生虫数 0.2 頭/葉(平年 0.3 頭/葉)と平年並の傾向 (±)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は少～やや少(概してやや少) (—)</p> <p>考察: 現在の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
	チャノキイロアザミウマ	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1 か月予報(8月13日発表)によると、気温は高く、降水量は平年並か少ない予想 (+)</p> <p>2) 県予察圃黄色粘着トラップ(8月上旬、無防除)では、誘殺数 7.7 頭/日(平年 6.7 頭)と平年並 (±)</p> <p>3) 県予察圃(8月上旬、無防除)では、100 果当たり寄生虫数 0.8 頭(平年 5.7 頭)と少 (—)</p> <p>4) 巡回調査圃場(8月第1週)では、被害率率 0.8%(平年 0.8%)と平年並 (±)</p> <p>5) 一般圃場では、発生量は少～平年並(概してやや少) (—)</p> <p>考察: 一般圃場の発生状況を重視して現在の発生量はやや少と考えられますが、今後の気象状況を考慮して予想発生量は平年並と考えます。</p>
果樹共通	カメムシ類	—	やや多	<p>要因</p> <p>1) 1 か月予報(8月13日発表)によると、気温は高く、降水量は平年並か少ない予想 (+)</p> <p>2) 予察灯(御浜町:8月上旬)では、誘殺数はチャバネアオカメムシ 64 頭(平年 3365 頭)と少、ツヤアオカメムシ 19 頭(平年 18.3 頭)と平年並 (—)</p> <p>3) 予察灯(松阪市:7月第3半旬～8月第2半旬)では、誘殺数はチャバネアオカメムシ 1253 頭(平年 1135.5 頭)と平年並、ツヤアオカメムシ 621 頭(平年 93.8 頭)と多 (+)</p> <p>4) フェロモントラップ(7月第3週～8月第2週)では、チャバネアオカメムシ誘殺数は山地(津市白山町川口)で 2513.7 頭(平年 1136.5 頭)と多、中間地(津市白山町二本木)で 4228.3 頭(平年 2009.9 頭)と多、平坦地(松阪市嬉野川北町)で 1669.5 頭(平年 444.8 頭)と多 (+)</p> <p>5) 一般圃場では、発生量は少 (—)</p> <p>考察: 現在の発生量はやや多と考えられ、引き続き予想発生量はやや多と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
チャ	炭疽病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1)1か月予報(8月13日発表)によると、気温は高く、降水量は平年並か少ない予想(±)</p> <p>2)県予察圃では、二番茶期の病葉数0.4枚/㎡(9年平均0.56枚/㎡)と平年並(—)</p> <p>3)巡回調査圃場(7月第5週～8月第1週)では、発病葉数0.2枚/㎡(平年1.2枚/㎡)と少(—)</p> <p>4)一般圃場では、発生量はやや多(+)</p> <p>考察:現在の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
	カンザワハダニ	—	やや少	<p>要因</p> <p>1)1か月予報(8月13日発表)によると、気温は高く、降水量は平年並か少ない予想(+)</p> <p>2)県予察圃(8月上旬)では、寄生率率2.0%(平年4.4%)とやや少、寄生頭数0.02頭/葉(平年0.08頭/葉)と少(—)</p> <p>3)巡回調査圃場(7月第5週～8月第1週)では、寄生率率0%(平年1.0%)と少、寄生頭数0頭/葉(平年0.019頭/葉)と少(—)</p> <p>4)一般圃場では、発生量は少(—)</p> <p>考察:現状の発生量は少と考えられ、今後の気象条件を考慮して予想発生量はやや少と考えます。</p>
	チャノホソガ (第4世代幼虫)	平年並	やや少	<p>要因</p> <p>1)1か月予報(8月13日発表)によると、気温は高く、降水量は平年並か少ない予想(+)</p> <p>2)県予察圃では、第2世代成虫のフェロモントラップ誘殺ピークは7月第4半旬(平年7月第3.3半旬)と平年並(発生時期±)</p> <p>3)県予察圃フェロモントラップ(7月第3半旬～8月第2半旬)では、誘殺数793.9頭(平年1147頭)とやや少の傾向(—)</p> <p>4)巡回調査圃場(7月第5週～8月第1週)では、巻葉数3.72枚/㎡(平年0.24枚/㎡)と多(+)</p> <p>5)一般圃場では、発生量は少(—)</p> <p>考察:発生時期は平年並、現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。</p>
	チャノミドリヒメヨコバイ	—	平年並	<p>要因</p> <p>1)1か月予報(8月13日発表)によると、気温は高く、降水量は平年並か少ない予想(+)</p> <p>2)県予察圃黄色粘着トラップ(7月第3半旬～8月第2半旬)では、捕殺数20.7頭(7年平均49.5頭)とやや少の傾向(—)</p> <p>3)巡回調査圃場(7月第5週～8月第1週)では、叩き落とし虫数0.9頭(平年1.4頭)とやや少の傾向(—)</p> <p>4)一般圃場では、発生量は平年並(±)</p> <p>考察:現状の発生量は一般圃場の状況を重視して平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
チャ	チャノキイロアザミウマ	—	平年並	<p>要因</p> <p>1)1か月予報(8月13日発表)によると、気温は高く、降水量は平年並か少ない予想(+)</p> <p>2)県予察圃黄色粘着トラップ(7月第3半旬～8月第2半旬)では、捕殺数370頭(7年平均888.4頭)とやや少の傾向(—)</p> <p>3)巡回調査圃場(7月第5週～8月第1週)では、叩き落とし虫数4.8頭(平年7.3頭)とやや少の傾向(—)</p> <p>4)一般圃場では、発生量は少(—)</p> <p>考察:現状の発生量はやや少と考えられ、今後の気象状況を考慮して予想発生量は平年並と考えます。</p>
	クワシロカイガラムシ	平年並	平年並	<p>要因</p> <p>1)1か月予報(8月13日発表)によると、気温は高く、降水量は平年並か少ない予想(±)</p> <p>2)県予察圃(亀山市)の第2世代幼虫孵化最盛日は7月17日(平年7月16日)と平年並(発生時期±)</p> <p>3)巡回調査圃場(7月第5週～8月第1週)では、雄雌寄生株率17.4%(平年5.4%)と多、雌成虫寄生株率7.8%(平年7.5%)と平年並(+)</p> <p>4)一般圃場では、発生量は平年並(±)</p> <p>考察:第2世代幼虫孵化最盛期から、予想発生時期は平年並と考えます。現状の発生量は一般圃場の状況を重視して平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
イチゴ	炭疽病	—	やや多	<p>要因</p> <p>1)1か月予報(8月13日発表)によると、気温は高く、降水量は平年並か少ない予想(±)</p> <p>2)巡回調査圃場(8月第1週、育苗床)では、発病株率0.2%(平年0.5%)と平年並の傾向(±)</p> <p>3)一般圃場では、やや少～やや多(概して平年並)(±)</p> <p>考察:現状の発生量は平年並と考えられるが、一般圃場の一部で感染の広がりが確認されていることから、予想発生量はやや多と考えます。</p>
ネギ	シロイチモジヨトウ	—	平年並	<p>要因</p> <p>1)1か月予報(8月13日発表)によると、気温は高く、降水量は平年並か少ない予想(+)</p> <p>2)県予察圃フェロモントラップ(松阪市:7月第3半旬～8月第2半旬)では、誘殺数は26頭(平年57.5頭)と少(—)</p> <p>3)巡回調査圃場(8月第1週)では、青ネギの被害株率0%(平年0.7%)と少(—)</p> <p>4)一般圃場では、無～やや少(概してやや少)(—)</p> <p>考察:現状の発生量はやや少と考えられ、今後の気象条件を考慮して、予想発生量は平年並と考えます。</p>

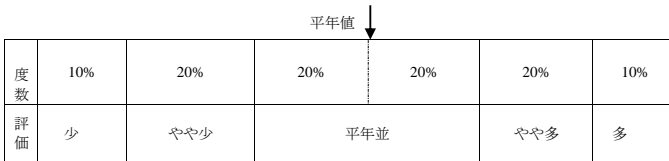
#### 4. 予察項目の見方

##### 1) 「作物別の状況」の見方

**発生時期(平年比)：** 平年の発生月日からの差を「早、やや早、平年並、やや遅、遅」の5段階評価で予測します。ただし、発生時期が毎年大きく変化する病害虫では、日数の基準が下記より大きくなります。発生時期を予察する意義の小さい病害虫では予察しません。

日数	-6	-5	-4	-3	-2	-1	平年 発生日	1	2	3	4	5	6	
評価	早		やや早		平年並			やや遅			遅			

**発生量(平年比)：** 発生密度の平年値からの差を「少、やや少、平年並、やや多、多」の5段階評価で予測します。平年値との比較なので、平年値が小さければ、「多」になっても見かけの密度は多くないことがあります。毎年多発生している場合は「平年並」や「やや少」でも見かけ上は多いと感じることがあります。



**発生量(程度)：** 発生程度を「小、中、大、甚」の4段階評価で予測します。評価の基準値は病害虫毎に異なりますが、大雑把には、「見た目の多さ・少なさ」です。甚になるほど見た目は多くなり、小になるほど見た目は少なくなります。「発生量(平年比)」と比

べることによって、「平年並に発生程度が小さい」「発生程度は大きい平年並の発生量である」「平年より多いが、発生程度は小さい」「平年よりやや少ないが、依然として発生程度は中くらいである」等のように判断してください。

小	中	大	甚
---	---	---	---

**要防除圃場率(平年比)：** 防除の必要性の目安を「低、普通、高」の3段階評価で予測します。「普通」であれば、県下の大半の圃場では防除暦に沿った通常の防除が必要と予想されます。「高」であれば、防除時期の見直しや追加防除が必要になると予想されます。「低」であれば、防除回数を減らせるか、防除しなくても済むと予想されます。

低	普通	高
---	----	---

**発生消長の一例：** 発生予報は向こう1か月の予報ですが、その前後を合わせて40日ほどの病害虫の発生消長の一例をグラフで示します。大まかな目安として利用してください。

**防除の注意事項：** 向こう1か月の病害虫の特性と防除に関する説明です。

##### 2) 「発生時期・発生量(平年日)の予察根拠」の見方

- (±)：平年並の要因
- (+)：発生量増加または発生時期遅延の要因
- (-)：発生量減少または発生時期早期化の要因

#### 5. 気象のデータ

##### 東海地方1か月予報(令和2年8月13日名古屋地方気象台発表)

暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は高いでしょう。特に、期間の前半は、気温がかなり高くなる見込みです。

高気圧に覆われやすいため、向こう1か月の降水量は平年並か少なく、日照時間は多いでしょう。

1週目 8月15日～21日	高気圧に覆われやすく、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。	津の降水日数・晴れ日数の平年値 2.0日・4.7日
2週目 8月22日～28日	高気圧に覆われやすく、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。	同 1.9日・4.5日
3～4週目 8月29日～9月11日	平年と同様に晴れの日が多いでしょう。	同 4.3日・8.5日

##### 東海地方週間天気予報(令和2年8月14日10時35分名古屋地方気象台発表)

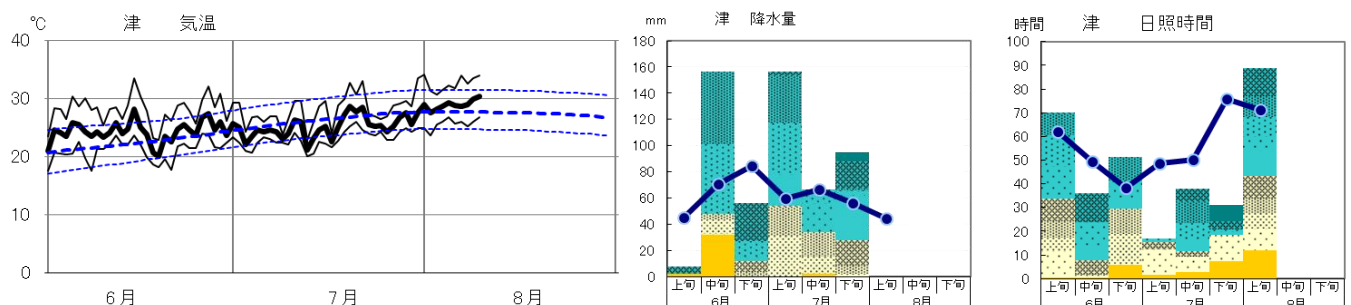
予報期間 8月15日～8月21日

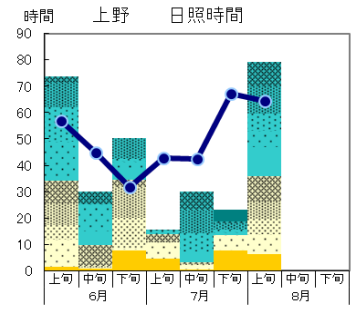
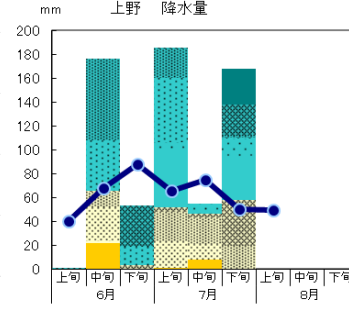
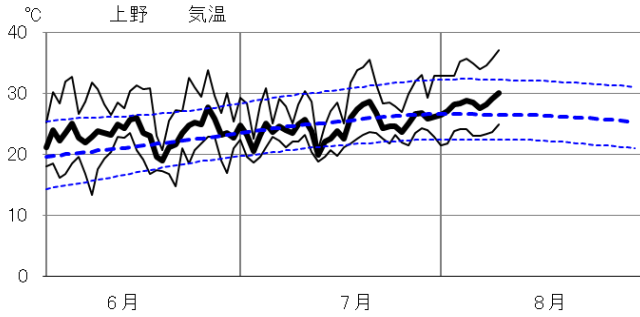
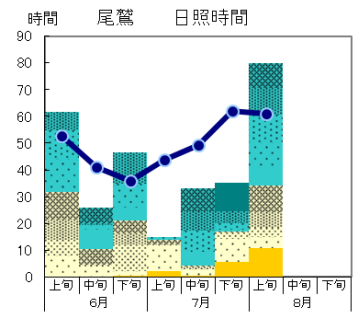
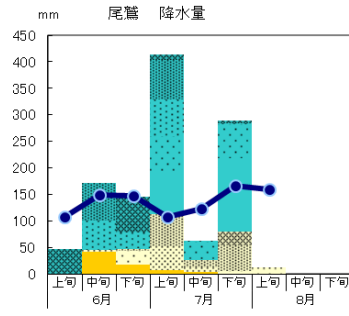
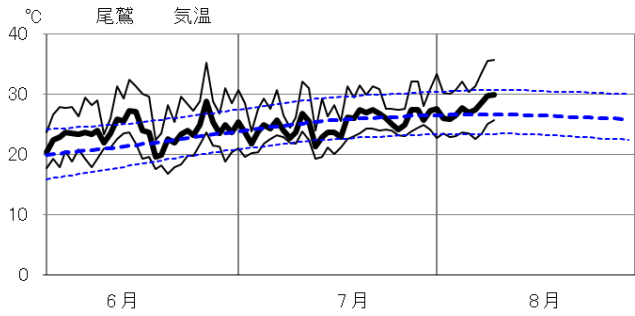
向こう一週間は、高気圧に覆われておおむね晴れるでしょう。

最高気温は、平年よりかなり高い日が多いでしょう。熱中症など健康管理に注意してください。

最低気温は、平年並か平年より高く、平年よりかなり高い所もある見込みです。降水量は、平年並か平年より少ないでしょう。

##### 気象の日別推移(気象庁発表データ <http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php> から作成) (8月10日まで)





凡例  
 — 平均  
 — 最高  
 — 最低  
 - - - 平年平均  
 - - - 平年最高  
 - - - 平年最低

凡例  
 ■ 31日  
 ■ 旬10日目  
 ■ 旬9日目  
 ■ 旬8日目  
 ■ 旬7日目  
 ■ 旬6日目  
 ■ 旬5日目  
 ■ 旬4日目  
 ■ 旬3日目  
 ■ 旬2日目  
 ■ 旬1日目  
 ■ 旬年産

凡例  
 ■ 31日  
 ■ 旬10日目  
 ■ 旬9日目  
 ■ 旬8日目  
 ■ 旬7日目  
 ■ 旬6日目  
 ■ 旬5日目  
 ■ 旬4日目  
 ■ 旬3日目  
 ■ 旬2日目  
 ■ 旬1日目  
 ■ 旬年産

13

三重県病害虫防除所

## 6. お知らせ (前回と異なる項目には NEW の印があります)

### 1) 記載基準の注意点

平年ほとんど発生のないか非常に少ない病害虫については、平年並に少ない発生状態の「発生量平年比」を「平年並」、「発生量程度」を「小」と記述しています。

### 2) 発表日 **NEW**

本年度の病害虫発生予報は次の予定で発表します。

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| 第1回 4月23日(木) (済み) | 第2回 5月21日(木) (済み) |
| 第3回 6月25日(木) (済み) | 第4回 7月22日(水) (済み) |
| 第5回 8月20日(木) (今回) | 第6回 10月22日(木)     |
| 第7回 3月25日(木)      |                   |

### 3) 利用方法

全部または一部をコピーして回覧・配布にご利用ください。ただし必ずページの右下にある「三重県病害虫防除所」の文字が入るようにしてください。

病害虫防除所ホームページには、この予報をはじめとして、不定期に発表される警報、注意報、特殊報、技術情報や、各種のグラフ、写真も載っています。下記のアドレスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm>

このホームページはフリーリンクです。リンクする場合、事前の承諾申請等は不要ですが、事後で結構ですのでメールにてご一報いただくと幸いです。

### 4) 本冊子の利用の手引き書

本冊子の見方を説明した「病害虫発生予報利用の手引き」があります。下記のアド

レスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000835764.pdf>

### 5) メール配信サービス

予報、警報、注意報、特殊報、技術情報が発表されたときに、ホームページに掲載されたという「掲載通知」を電子メールでお知らせしています。このメールの配信を希望される方は、下記のアドレスからお申し込みください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/39475007379.htm>

### 6) 農薬登録状況の最新情報

農薬の販売や使用に当たっては、農薬登録上の制限があります。農薬の使用時はラベルをよく読んでください。次のインターネットサイトでは、最新の農薬登録状況が確認できます。

三重県農薬情報システム

<https://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/top/mie>

独立行政法人農林水産消費安全技術センターの「農薬登録情報提供システム」

[http://www.acis.famic.go.jp/index\\_kensaku.htm](http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm)

### 7) IPM(総合的病害虫・雑草管理)実践指標について

三重県では IPM を実践する上で必要な農作業の具体的な取組内容を示した作物別の指標を公表しています。農業者の皆さんの取組について、現状把握と今後の気づきにご活用ください。病害虫防除所ホームページにリンクを設定しています。

三重県農林水産部農産園芸課ホームページ内

<http://www.pref.mie.lg.jp/NOAN/HP/80301022763.htm>

各 位

三重県病害虫防除所長

**令和2年度病害虫発生予報第6号**

1. 向こう1か月の予報と対策	1
2. 作物別の状況	2
3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠	5
4. 予察項目の見方	8
5. 気象のデータ	9
6. おしらせ	11

このことについて、下記のとおり発表します。

**1. 向こう1か月の予報と対策**

**1) 果樹**

カンキツでは、ミカンハダニの発生量は平年並と予想されます。

野菜共通では、ハスモンヨトウの発生量は平年並、コナガの発生量はやや少と予想されます。

**2) 茶**

チャでは、カンザワハダニの発生量はやや少と予想されます。

**3) 野菜**

トマトでは、疫病の発生量は平年並と予想されます。

イチゴでは、炭疽病、ハダニ類の発生量は平年並、うどんこ病はやや少と予想されます。

ハクサイでは、白斑病の発生量はやや少と予想されます。

キャベツでは、黒腐病の発生量はやや少と予想されます。

ネギでは、シロイチモジヨトウの発生量は平年並、ネギコガの発生量はやや少と予想されます。

515-2316 三重県松阪市嬉野川北町 530

TEL 0598-42-6365 Fax 0598-42-7568

ホームページ <http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm>

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

**2. 作物別の状況**

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発消長の一例				防除の注意事項		
			平年比	平年比		程度	平年比	11月				
								下旬	上旬		中旬	下旬
カンキツ	ミカンハダニ	—	平年並	中	普通	成ダニ密度					1) 1葉当りのハダニ成虫数が、0.5～1.0頭程度を目安に防除してください。 2) 中晩柑類で袋かけをする品種では、作業前に必ず発生状況を確認し、必要に応じて防除を行ってください。 3) 薬剤抵抗性の発達を回避するため、同一系統薬剤の連用は避けてください。	
チャ	カンザワハダニ	—	やや少	小	普通	成ダニ密度					1) 薬剤がかかりにくい葉裏に生息しているので、丁寧に薬剤散布してください。 2) 薬剤抵抗性の発達を回避するため、同一系統薬剤の連用は避けてください。	
トマト	疫病	—	平年並	小	普通	発病程度					1) 病徴の進展が非常に早いので、初発生を確認した場合には集中的に薬剤散布をしてください。 2) 20℃ぐらいの温度で多湿条件の時に発生が多くなります。 3) 病原菌は被害植物の残渣とともに土中に残り、伝染源となります。発病株は圃場外に持ち出し処分してください。	
イチゴ	うどんこ病	—	やや少	小	普通	発病程度					1) ビニールの被覆後、発生が増加します。 2) 予防防除に重点をおいて薬剤散布をしてください。 3) 発病を認めたときは、葉裏に薬剤がかかるよう、下葉を除去して丁寧に防除してください。	
	炭疽病	—	平年並	中	普通	発病程度					1) 感染した苗は、本圃定植後に発病します。 2) 発病株は除去し、圃場外へ持ち出して適切に処分してください。	

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項
						10月		11月		
						下旬	上旬	中旬	下旬	
イチゴ	ハダニ類	—	平年並	小	普通	成ダニ密度				<ol style="list-style-type: none"> <li>天敵を利用する場合は、発生密度の低いうちに導入し、農薬は天敵への影響を考慮して使用してください。</li> <li>薬剤防除では、発生を確認したら、できるだけ早期に防除してください。</li> <li>薬剤をかかりやすくするため下葉を除去し、葉裏までしっかりと散布してください。</li> <li>薬剤抵抗性の発達を回避するため、同一系統薬剤の連用は避けてください。</li> </ol>
ハクサイ	白斑病	—	やや少	小	普通	発病程度				<ol style="list-style-type: none"> <li>秋から初冬にかけて、雨が多いと多発する傾向があります。</li> <li>肥料切れすると発病を助長します。</li> <li>発病初期の薬剤防除を徹底してください。</li> </ol>
キャベツ	黒腐病	—	やや少	小	普通	発病程度				<ol style="list-style-type: none"> <li>土壌中の病原菌が雨滴で葉に飛散し、感染します。大雨後や特に冠水したときは、速やかに薬剤防除をしてください。</li> <li>発病株は翌年の伝染源となるので、圃場外に持ち出して処分してください。</li> </ol>
ネギ	ネギコガ	—	やや少	小	普通	幼虫密度				<ol style="list-style-type: none"> <li>幼虫が葉の内部に潜るので、潜入防止のため、発生初期から防除をしてください。</li> </ol>
	シロイチモジヨトウ	—	平年並	中	普通	幼虫密度				<ol style="list-style-type: none"> <li>若齢幼虫から葉の内部に侵入し、内側から表皮を残して食害します。</li> <li>老齢幼虫ほど薬剤の効果が悪いため、若齢幼虫のうちに防除してください。</li> <li>薬剤抵抗性の発達を回避するため、同一系統薬剤の連用は避けてください。</li> </ol>

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項
						10月		11月		
						下旬	上旬	中旬	下旬	
野菜共通	コナガ	—	やや少	小	普通	幼虫密度				<ol style="list-style-type: none"> <li>冬でも生育を続けて加害します。</li> <li>薬剤抵抗性の発達を回避するため、同一系統薬剤の連用は避けてください。</li> </ol>
	ハスモンヨトウ	—	平年並	中	普通	幼虫密度				病害虫防除技術情報第9号発表(令和2年9月18日) <ol style="list-style-type: none"> <li>老齢幼虫は防除効果が劣るので、若齢幼虫のうちに防除を行ってください。</li> <li>新芽部を食害されると、生育や収量への影響が大きいため、適期防除に努めてください。</li> <li>施設ではハウスのパイプや換気口周辺などの資材にも産卵するので、注意してください。</li> </ol>



### 3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
カンキツ	ミカンハダニ	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(10月15日発表)によると、気温は平年より高く、降水量は平年並か多い予想(±)</p> <p>2) 県予察圃(10月中旬)では、100葉当り寄生頭数は無防除区73.3頭(平年21.6頭)と多(+)</p> <p>3) 巡回調査圃場(10月第1週)では、寄生率6.0%(平年4.8%)と平年並の傾向、寄生頭数0.11頭/葉(平年0.14頭/葉)と平年並の傾向(±)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は少～やや少(概してやや少)(-)</p> <p>考察:巡回調査圃場の発生状況を重視して現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
チャ	カンザワハダニ	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(10月15日発表)によると、気温は平年より高く、降水量は平年並か多い予想(±)</p> <p>2) 県予察圃(10月上旬)では、寄生率1.0%(平年5.0%)と少、寄生頭数0.21頭/葉(平年0.20頭/葉)と平年並(-)</p> <p>3) 巡回調査圃場(10月第1～2週)では、寄生率0.9%(平年1.4%)とやや少、寄生頭数0.02頭/葉(平年0.03頭/葉)とやや少(-)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量はやや少(-)</p> <p>考察:現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。</p>
トマト	疫病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 巡回調査圃場(10月第1週)では、発病株率0%(平年0%)と平年並に少(±)</p> <p>2) 一般圃場では、発生量は無～少(概して無)(-)</p> <p>考察:現状の発生量は平年並に少と考えられ、大きな増加要因がないので、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
イチゴ	うどんこ病	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(10月15日発表)によると、気温は平年より高く、降水量は平年並か多い予想(+)</p> <p>2) 巡回調査圃場(10月第1週)では、発病株率0%(平年0.1%)と平年並に少(±)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は無～少(概して無)(-)</p> <p>考察:現状の発生量は少と考えられ、気象条件を考慮して予想発生量はやや少と考えます。</p>
	炭疽病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(10月15日発表)によると、気温は平年より高く、降水量は平年並か多い予想(+)</p> <p>2) 巡回調査圃場(10月第1週)では、発病株率0.2%(平年0.3%)と平年並(±)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量はやや少～平年並(概して平年並)(±)</p> <p>考察:現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
イチゴ	ハダニ類	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(10月15日発表)によると、気温は平年より高く、降水量は平年並か多い予想(+)</p> <p>2) 巡回調査圃場(10月第1週)では、寄生率3.3%(平年5.3%)とやや少、寄生程度0.9(平年1.7)とやや少(-)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は少～平年並(概してやや少)(-)</p> <p>考察:一般ほ場の発生量はやや少と考えられるが、今後の気象条件を考慮して予想発生量は平年並と考えます。</p>
ハクサイ	白斑病	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(10月15日発表)によると、気温は平年より高く、降水量は平年並か多い予想(+)</p> <p>2) 巡回調査圃場(10月第1週)では、発病株率0%(平年1.7%)と少、発病程度0(平年0.5)と少(-)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は無～少(概して無)(-)</p> <p>考察:現状の発生量は少と考えられるが、今後の気象条件を考慮して予想発生量はやや少と考えます。</p>
キャベツ	黒腐病	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(10月15日発表)によると、気温は平年より高く、降水量は平年並か多い予想(+)</p> <p>2) 巡回調査圃場(10月第1週)では、発病株率0%(平年0.4%)と少、発病程度0(平年0.1)と少(-)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は無～少(概して無)(-)</p> <p>考察:現状の発生量は少と考えられるが、気象条件を考慮して予想発生量はやや少と考えます。</p>
ネギ	ネギコガ	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(10月15日発表)によると、気温は平年より高く、降水量は平年並か多い予想(+)</p> <p>2) 巡回調査圃場(10月第1週)では、被害率0.2%(平年0.2%)と平年並(±)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は少～平年並(概してやや少)(-)</p> <p>考察:現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。</p>
	シロイチモジヨトウ	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(10月15日発表)によると、気温は平年より高く、降水量は平年並か多い予想(+)</p> <p>2) 県予察圃フェロモントラップ(10月第1半旬～10月第3半旬)では、誘殺数41頭(平年28.8頭)とやや多(+)</p> <p>3) 巡回調査圃場(10月第2週)では、被害率4.0%(平年5.8%)とやや少(-)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は平年並～やや多(概して平年並)(±)</p> <p>考察:現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
野菜 共通	コナガ	—	やや少	<b>要因</b> 1) 1か月予報(10月15日発表)によると、気温は平年より高く、降水量は平年並か多い予想 (+) 2) 県予察圃フェロモントラップ(10月第1半旬～10月第3半旬)では、誘殺数1頭(平年3.9頭)と少 (-) 3) 巡回調査圃場(10月第1週)では、ハクサイの寄生株率0%(平年0.1%)と少、キャベツの寄生株率0%(平年1.0%)と少 (-) 4) 一般圃場では、発生量は少～平年並(概してやや少) (-) 考察:現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。
	ハスモンヨトウ	—	平年並	<b>要因</b> 1) 1か月予報(10月15日発表)によると、気温は平年より高く、降水量は平年並か多い予想 (+) 2) 県予察圃フェロモントラップ(10月第1半旬～10月第3半旬)では、誘殺数1,467頭(平年947.0頭)とやや多 (+) 3) 巡回調査圃場(10月第1週)では、イチゴの寄生株率0.2%(平年2.0%)と少、ハクサイの寄生株率0%(平年0.6%)と少、キャベツの寄生株率0.3%(平年3.8%)と少 (-) 4) 一般圃場では、発生量は無～多(概して平年並) (±) 考察:地域によって発生に偏りがあるが概して平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。

#### 4. 予察項目の見方

##### 1)「作物別の状況」の見方

**発生時期(平年比)**: 平年の発生月日からの差を「早、やや早、平年並、やや遅、遅」の5段階評価で予測します。ただし、発生時期が毎年大きく変化する病害虫では、日数の基準が下記より大きくなります。発生時期を予察する意義の小さい病害虫では予察しません。

日数	-6	-5	-4	-3	-2	-1	平年 発生日	1	2	3	4	5	6	
評価	早	やや早		平年並				やや遅			遅			

**発生量(平年比)**: 発生密度の平年値からの差を「少、やや少、平年並、やや多、多」の5段階評価で予測します。平年値との比較なので、平年値が小さければ、「多」になっても見かけの密度は多くないことがあります。毎年多発生している場合は「平年並」や「やや少」でも見かけ上は多いと感じることがあります。

	平年値 ↓					
度数	10%	20%	20%	20%	20%	10%
評価	少	やや少	平年並		やや多	多

**発生量(程度)**: 発生程度を「小、中、大、甚」の4段階評価で予測します。評価の基準値は病害虫毎に異なりますが、大雑把には、「見た目の多さ・少なさ」です。甚になるほど見た目は多くなり、小になるほど見た目は少なくなります。「発生量(平年比)」と比

べることによって、「平年並に発生程度が小さい」「発生程度は大きい」が平年並の発生量である」「平年より多いが、発生程度は小さい」「平年よりやや少ないが、依然として発生程度は中くらいである」等のように判断してください。

小	中	大	甚
---	---	---	---

**要防除圃場率(平年比)**: 防除の必要性の目安を「低、普通、高」の3段階評価で予測します。「普通」であれば、県下の大半の圃場では防除暦に沿った通常の防除が必要と予想されます。「高」であれば、防除時期の見直しや追加防除が必要になると予想されます。「低」であれば、防除回数を減らせるか、防除しなくても済むと予想されます。

低	普通	高
---	----	---

**発生消長の一例**: 発生予報は向こう1か月の予報ですが、その前後を合わせて40日ほどの病害虫の発生消長の一例をグラフで示します。大まかな目安として利用してください。

**防除の注意事項**: 向こう1か月の病害虫の特性と防除に関する説明です。

##### 2)「発生時期・発生量(平年日)の予察根拠」の見方

(±): 平年並の要因

(+): 発生量増加または発生時期遅延の要因

(-): 発生量減少または発生時期早期化の要因

## 5. 気象のデータ

### 東海地方1か月予報(令和2年10月17日 名古屋地方気象台発表)

暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は高いでしょう。

前線や湿った空気の影響を受けやすいため、向こう1か月の降水量は平年並か多く、日照時間は少ないでしょう。

1週目 10月17日～ 23日	気圧の谷や湿った空気の影響で雲が広がりやすく、雨の降る日があるでしょう。	津の降水日数・晴れ日数の平年値 1.8日・4.3日
2週目 10月24日～ 10月30日	天気は数日の周期で変わりますが、前線や湿った空気の影響を受けやすいため、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。	同 1.6日・4.3日
3～4週目 10月31日～ 11月13日	天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。	同 3.1日・8.7日

### 東海地方週間天気予報(令和2年10月20日10時35分 名古屋地方気象台発表)

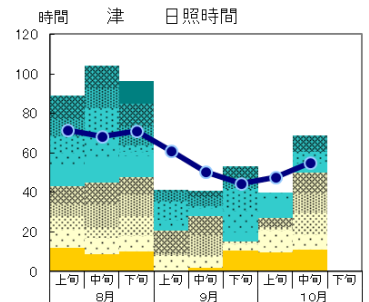
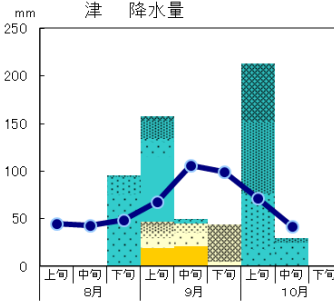
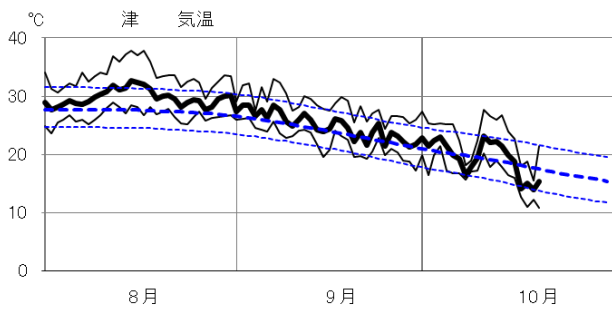
予報期間 10月21日から10月27日まで

向こう一週間は、期間の前半は低気圧や前線の影響で雨の降る日があるでしょう。後半は湿った空気の影響で雲が広がりやすいですが、高気圧に覆われて晴れる所もあるでしょう。

最高気温と最低気温はともに、平年並か平年より高い所が多い見込みです。

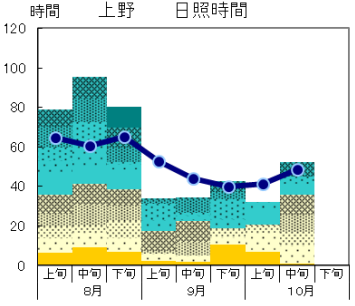
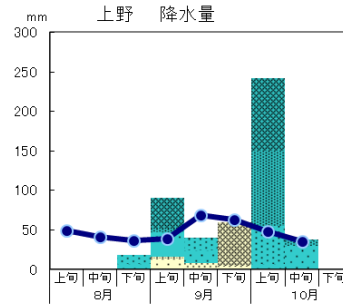
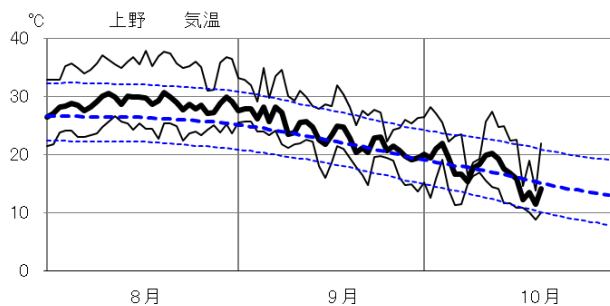
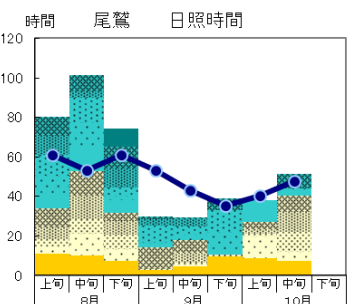
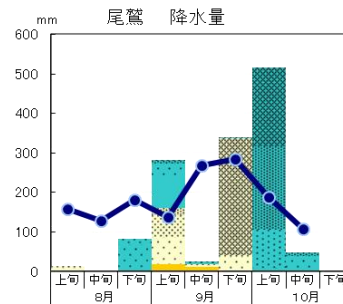
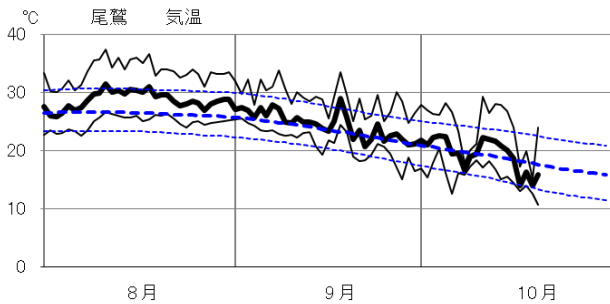
降水量は、平年より多いでしょう。

### 気象の日別推移(気象庁発表データ <http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php> から作成) (10月20日まで)



9

三重県病害虫防除所



凡例  
 — 平均  
 — 最高  
 — 最低  
 - - - 平年平均  
 - - - 平年最高  
 - - - 平年最低

凡例  
 ■ 31日  
 ■ 旬10日目  
 ■ 旬9日目  
 ■ 旬8日目  
 ■ 旬7日目  
 ■ 旬6日目  
 ■ 旬5日目  
 ■ 旬4日目  
 ■ 旬3日目  
 ■ 旬2日目  
 ■ 旬1日目  
 ● 旬平年値

凡例  
 ■ 31日  
 ■ 旬10日目  
 ■ 旬9日目  
 ■ 旬8日目  
 ■ 旬7日目  
 ■ 旬6日目  
 ■ 旬5日目  
 ■ 旬4日目  
 ■ 旬3日目  
 ■ 旬2日目  
 ■ 旬1日目  
 ● 旬平年値

三重県病害虫防除所

## 6. お知らせ (前回と異なる項目には **NEW** の印があります)

### 1) 記載基準の注意点

平年ほとんど発生のないか非常に少ない病害虫については、平年並に少ない発生状態の「発生量平年比」を「平年並」、「発生量程度」を「小」と記述しています。

### 2) 発表日 **NEW**

本年度の病害虫発生予報は次の予定で発表します。

- |                  |                   |
|------------------|-------------------|
| 第1回 4月23日(木)(済み) | 第2回 5月21日(木)(済み)  |
| 第3回 6月25日(木)(済み) | 第4回 7月22日(水)(済み)  |
| 第5回 8月20日(木)(済み) | 第6回 10月22日(木)(今回) |
| 第7回 3月25日(木)     |                   |

### 3) 利用方法

全部または一部をコピーして回覧・配布にご利用ください。ただし必ずページの右下にある「三重県病害虫防除所」の文字が入るようにしてください。

病害虫防除所ホームページには、この予報をはじめとして、不定期に発表される警報、注意報、特殊報、技術情報や、各種のグラフ、写真も載っています。下記のアドレスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm>

このホームページはフリーリンクです。リンクする場合、事前の承諾申請等は不要ですが、事後で結構ですのでメールにてご一報いただくと幸いです。

### 4) 本冊子の利用の手引き書

本冊子の見方を説明した「病害虫発生予報利用の手引き」があります。下記のアド

レスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000835764.pdf>

### 5) メール配信サービス

予報、警報、注意報、特殊報、技術情報が発表されたときに、ホームページに掲載されたという「掲載通知」を電子メールでお知らせしています。このメールの配信を希望される方は、下記のアドレスからお申し込みください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/39475007379.htm>

### 6) 農薬登録状況の最新情報

農薬の販売や使用に当たっては、農薬登録上の制限があります。農薬の使用時はラベルをよく読んでください。次のインターネットサイトでは、最新の農薬登録状況が確認できます。

三重県農薬情報システム

<https://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/top/mie>

独立行政法人農林水産消費安全技術センターの「農薬登録情報提供システム」

[http://www.acis.famic.go.jp/index\\_kensaku.htm](http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm)

### 7) IPM(総合的病害虫・雑草管理)実践指標について

三重県では IPM を実践する上で必要な農作業の具体的な取組内容を示した作物別の指標を公表しています。農業者の皆さんの取組について、現状把握と今後の気づきにご活用ください。病害虫防除所ホームページにリンクを設定しています。

三重県農林水産部農産園芸課ホームページ内

<http://www.pref.mie.lg.jp/NOAN/HP/80301022763.htm>

11

三重県病害虫防除所

防除第43号  
令和3年3月25日

## 目次

各位

三重県病害虫防除所長

## 令和2年度病害虫発生予報第7号

ページ

1. 向こう1か月の予報と対策	1
2. 作物別の状況	2
3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠	5
4. 予察項目の見方	8
5. 気象のデータ	9
6. お知らせ	11

このことについて、下記のとおり発表します。

## 1. 向こう1か月の予報と対策

### 1) 作物

イネ(注1)では、イネミズゾウムシの発生量は平年並と予想されます。

コムギ(注2)では、赤かび病の発生量は平年並と予想されます。

注1:4月中旬までに移植する圃場を対象。

注2:11月下旬までに播種した圃場を対象。

### 2) 果樹

カンキツでは、そうか病、かいよう病(温州みかん、中晩柑)、ミカンハダニの発生量は平年並と予想されます。

ナシでは、赤星病の発生量は平年並、黒星病はやや少と予想されます。

### 3) 茶

チャでは、カンザワハダニの発生量はやや多と予想されます。今後の発生状況に注意し、早期防除に努めてください。チャノホソガの発生時期は早と予想されます。

### 4) 野菜

イチゴでは、灰色かび病の発生量は平年並と予想されます。ハダニ類の発生量は平年並と予想されます。うどんこ病の発生量はやや少と予想されます。

キャベツでは、菌核病の発生量は平年並と予想されます。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

## 2. 作物別の状況

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比 程度		要防除 圃場率 平年比	発生活長の一例				防除の注意事項
						3月		4月		
						下旬	上旬	中旬	下旬	
イネ	イネミズゾウムシ	—	平年並	小	普通				成虫誘殺数	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 近年、実害は少ないので、移植後の発生状況に応じて防除してください。</li> <li>2) 常発圃場では、箱施用剤による予防を行ってください。</li> </ul>
コムギ	赤かび病	—	平年並	小	普通	出穂期 ↓		開花期 ↓	感染 ↓ 発病 ↓	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 圃場ごとに出穂及び開花状況を把握し、開花始めから開花盛期に予防散布してください。</li> <li>2) 開花期に雨が多く多発生が予想される場合には開花期防除の7～10日後に追加防除を行ってください。</li> </ul>
カンキツ	そうか病	—	平年並	小	普通		業枝の発病 ↓	発芽 ↓		<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 昨年に果実での発病がみられた圃場では、発芽期防除を実施してください。</li> <li>2) 春葉が感染する期間は発芽直後から伸長停止期までです。</li> <li>3) 越冬病斑の見られる枝葉は剪除して、圃場より持ち出して処分してください。</li> </ul>
	かいよう病	—	温州平年並 中晩柑平年並	温州小 中晩柑小	温州低 中晩柑普通				発病程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 越冬病斑が認められる中晩柑圃場では、発芽前防除を実施してください。</li> <li>2) 夏秋梢等の発病枝葉は早く剪除し、圃場より持ち出してください。</li> <li>3) ボルドー液とマシン油乳剤の近接散布による葉害に注意してください。</li> </ul>
	ミカンハダニ	—	平年並	中	普通				成ダニ密度	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 成虫が1葉当り1頭前後になったら防除してください。</li> <li>2) マシン油乳剤を散布していない圃場や現在発生が認められる圃場では、今後の増加に注意してください。</li> </ul>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比 程度		要防除 圃場率 平年比	発生活長の一例				防除の注意事項
						3月		4月		
						下旬	上旬	中旬	下旬	
ナシ	黒星病	—	やや少	小	普通	発病程度				<ul style="list-style-type: none"> <li>1) りん片や新梢基部に発病が確認されたら、すぐに防除を実施してください。なお、発病したりん片は、基部から切除して圃場外で処分してください。</li> <li>2) 例年発生が多い圃場では、早くから樹体の観察を怠らないようにしてください。</li> </ul>
	赤星病	—	平年並	小	普通		ビャクシン類の冬孢子発芽			<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 赤星病の防除時期は、黒星病の防除適期と重なります。</li> <li>2) 特に開花期前後の防除が重要なので、各薬剤の特性を理解して両方に登録のある薬剤を使用してください。</li> </ul>
チャ	カンザワハダニ	—	やや多	中	普通		成ダニ密度			<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 2月下旬～3月上旬に産卵します。</li> <li>2) 裾葉裏に生息しているので、薬剤が付着するよう丁寧に散布してください。</li> <li>3) 薬剤抵抗性の発達を防ぐため、同一系統の薬剤使用は年1回に止めてください。</li> </ul>
	チャノホソガ	早	—	—	—		成虫密度			<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 新芽の葉裏に産卵します。</li> <li>2) 萌芽は例年4月上旬です。萌芽後は新芽への産卵や幼虫発生に注意してください。</li> </ul>
イチゴ	灰色かび病	—	平年並	小	普通	発病程度				<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 病勢が進行すると防除が困難になります。圃場をよく観察し、早期発見・早期防除に努めてください。</li> <li>2) 20℃前後の温度と多湿条件で発生が多くなります。ハウス内の温度・湿度管理に注意してください。</li> <li>3) 発病部位は伝染源となるため、こまめに取り除いて圃場外に持ち出し適切に処分してください。</li> <li>4) 薬剤抵抗性の発達を防ぐため、同一系統薬剤の連用は避けてください。</li> </ul>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比 程度		要防除 圃場率 平年比	発生消長の一例				防除の注意事項
						3月		4月		
						下旬	上旬	中旬	下旬	
イチゴ	うどんこ病	—	やや少	小	普通	発病程度				1) 軟弱徒長すると発生が多くなります。適切な温湿度管理、灌水管理に努めてください。 2) 発病部位は伝染源となるため、見つけ次第速やかに取り除いてください。 3) 薬剤抵抗性の発達を防ぐため、同一系統薬剤の連用は避けてください。
	ハダニ類	—	平年並	中	普通	ダニ密度				1) 薬剤がかかりやすくなるよう下葉を除去し、葉裏までしっかりと散布してください。 2) 薬剤抵抗性が発達しやすいため、同一系統薬剤の連用は避けてください。また、抵抗性の発達しにくい気門封鎖剤や天敵製剤を活用してください。 3) 薬剤散布では、天敵やミツバチに対する影響も十分考慮して薬剤の選択を行ってください。
キャベツ	菌核病	—	平年並	小	普通	発病程度				1) 発病株は伝染源となるため、菌核が形成される前に抜き取って圃場外へ持ち出し、処分してください。 2) 葉の傷口や生育の衰えた下葉から病原菌が感染し、結球期頃から発生が目立ち始めます。結球始期の予防散布を基本としてください。 3) 薬剤散布は、初発部位である株元を中心に丁寧に行ってください。

### 3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
イネ	イネミズウムシ	—	平年並	要因 1) 1か月予報(3月18日発表)によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並みの予想 (＋) 2) 県予察灯(令和2年7月第1半旬～9月第2半旬 松阪市水田位置)では、誘殺数は197頭(平年153頭)とやや多 (＋) 3) 巡回調査圃場(令和2年8月)では、発生圃場率5.5%(平年10.0%)と少、払い落とし虫数0.11頭(平年0.19頭)と少 (－) 考察: 昨年の予察灯の誘殺数と巡回調査および気象条件から、越冬虫数、予想発生量ともに平年並と考えます。
コムギ	赤かび病	—	平年並	要因 1) 1か月予報(3月18日発表)によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並みの予想 (±) 2) 農業研究所作況試験田(11月12日播種・あやひかり)によると、葉齢の進展は早い (±) 3) 生育予測システム(11月12日播種・あやひかり・松阪市嬉野。3月19日現在)によると、予想出穂期は3月30日頃(平年4月12日)と早 (±) 考察: 今後の気象条件および現在の生育状況から、予想発生量は平年並と考えます。
カンキツ	そうか病	—	平年並	要因 1) 1か月予報(3月18日発表)によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並の予想 (±) 2) 県予察圃(無防除圃場)では、昨年7月上旬の春葉発病率56.3%(平年84.1%)と少(－) 3) 巡回調査圃場(3月第2週)では、温州みかん旧葉での発病率0%(平年0.0%)と平年並に少、発病度0(平年0.0)と平年並に少 (±) 考察: 今後の気象条件と巡回調査結果から、予想発生量は平年並と考えます。
	かいよう病	—	温州 平年並 中晩柑 平年並	要因 1) 1か月予報(3月18日発表)によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並の予想 (±) 2) 県予察圃(無防除圃場、中晩柑、2月15日調査)では、越冬病斑の発病率31.6%(平年28.1%)とやや多の傾向、発病度8.5(平年6.7)とやや多の傾向 (＋) 3) 巡回調査圃場(3月第2週)では、温州みかん旧葉での発病率0%(平年0.2%)と平年並の傾向、発病度0(平年0.1)と平年並の傾向 (±)、中晩柑類旧葉での発病率2.7%(平年8.2%)と少、発病度1.1(平年3.9)と少 (－) 4) 一般圃場では、発生量はやや少 (－) 考察: 温州みかんでは、巡回調査結果を重視して、現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。中晩柑類では、県予察圃と巡回調査結果から、現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
カンキツ	ミカンハダニ	—	平年並	<p>要因</p> <p>1)1か月予報(3月18日発表)によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並の予想(±)</p> <p>2)県予察圃(3月上旬)では、寄生頭数は無防除区 2.2頭/葉(平年 18.1頭/葉)と少、慣行防除区 3.3頭/葉(平年 0.8頭/葉)とやや多の傾向(±)</p> <p>3)巡回調査圃場(3月第2週)では、寄生頭数0.32頭/葉(平年0.18頭/葉)とやや多の傾向、寄生率率6.3%(平年5.1%)と平年並の傾向(+)</p> <p>4)一般圃場では、発生量は少(-)</p> <p>考察: 現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
ナシ	黒星病	—	やや少	<p>要因</p> <p>1)1か月予報(3月18日発表)によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並の予想(±)</p> <p>2)巡回調査圃場では、昨年9月の発病率率0.0%(平年1.2%)と平年並に少(±)</p> <p>3)一般圃場では、昨年10月の発生量はやや少(-)</p> <p>考察: 昨年秋の調査結果はやや少であり、引き続き予想発生量はやや少と考えます。</p>
	赤星病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1)1か月予報(3月18日発表)によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並の予想(±)</p> <p>2)巡回調査圃場では、昨年6月の発病率率0.3%(平年0.4%)と平年並(±)</p> <p>3)一般圃場では昨年5月の発生量は少(-)</p> <p>考察: 昨年の状況と今後の気象条件を考慮して、予想発生量は平年並と考えます。</p>
チャ	カンザワハダニ	—	やや多	<p>要因</p> <p>1)1か月予報(3月18日発表)によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並みの予想(+)</p> <p>2)県予察圃(3月中旬)では、寄生率率6.0%(平年5.4%)と平年並、寄生頭数1.28頭/葉(平年0.19頭/葉)と多、産卵確認は2月25日とやや早(+)</p> <p>3)巡回調査圃場(3月第1~2週)では、発生圃場率33.3%(平年38.9%)とやや少、寄生率率1.7%(平年2.0%)とやや少、寄生頭数0.03頭/葉(平年0.06頭/葉)とやや少の傾向(-)</p> <p>4)一般圃場では、発生量は少(-)</p> <p>考察: 今後の気象条件、県予察圃を重視して、予想発生量はやや多と考えます。</p>
	チャノホソガ	早	—	<p>要因</p> <p>1)県予察圃フェロモントラップでは、初飛来は3月2日(平年の初飛来は3月18日)と早(発生時期-)</p> <p>2)巡回調査圃場(3月第1~2週)では、成虫は未確認(発生時期±)</p> <p>考察: フェロモントラップ調査結果を重視して予想発生時期は早と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
イチゴ	灰色かび病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1)1か月予報(3月18日発表)によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並の予想(+)</p> <p>2)巡回調査圃場(3月第2週)では、発病株率0%(平年3.1%)と少、発病果率0%(平年0.8%)と少(-)</p> <p>3)一般圃場では、発生量はやや多~平年並(概して平年並)(±)</p> <p>考察: 一般圃場での状況を重視して、予想発生量は平年並と考えます。</p>
	うどんこ病	—	やや少	<p>要因</p> <p>1)1か月予報(3月18日発表)によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並の予想(+)</p> <p>2)巡回調査圃場(3月第2週)では、発病株率0%(平年0.0%)と少、発病果率0%(平年0.04%)と少(-)</p> <p>3)一般圃場では、発生量は無~やや少(概して少)(-)</p> <p>考察: 現状の発生量は少と考えられ、今後の気象条件を考慮して予想発生量はやや少と考えます。</p>
	ハダニ類	—	平年並	<p>要因</p> <p>1)1か月予報(3月18日発表)によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並の予想(+)</p> <p>2)巡回調査圃場(3月第2週)では、寄生株率7.8%(平年14.4%)とやや少、発生程度3.7%(平年6.8%)とやや少(-)</p> <p>3)一般圃場では、発生量は平年並(±)</p> <p>考察: ほ場間差が大きいですが、一般圃場での状況を重視して、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
キャベツ	菌核病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1)1か月予報(3月18日発表)によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並の予想(+)</p> <p>2)巡回調査圃場(3月第2週)では、発病株率0.0%(平年1.1%)と少(-)</p> <p>3)一般圃場では、発生量は平年並(±)</p> <p>考察: 一般圃場での状況を重視して、現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>

#### 4. 予察項目の見方

##### 1)「作物別の状況」の見方

**発生時期(平年比)：** 平年の発生月日からの差を「早、やや早、平年並、やや遅、遅」の5段階評価で予測します。ただし、発生時期が毎年大きく変化する病害虫では、日数の基準が下記より大きくなります。発生時期を予察する意義の小さい病害虫では予察しません。

日数	-6	-5	-4	-3	-2	-1	平年発生日	1	2	3	4	5	6	
評価	早		やや早		平年並			やや遅			遅			

**発生量(平年比)：** 発生密度の平年値からの差を「少、やや少、平年並、やや多、多」の5段階評価で予測します。平年値との比較なので、平年値が小さければ、「多」になっても見かけの密度は多くないことがあります。毎年多発生している場合は「平年並」や「やや少」でも見かけ上は多いと感じることがあります。

	平年値 ↓					
度数	10%	20%	20%	20%	20%	10%
評価	少	やや少	平年並	やや多	多	

**発生量(程度)：** 発生程度を「小、中、大、甚」の4段階評価で予測します。評価の基準値は病害虫毎に異なりますが、大雑把には、「見た目の多さ・少なさ」です。甚になるほど見た目は多くなり、小になるほど見た目は少なくなります。「発生量(平年比)」と比

べることによって、「平年並に発生程度が小さい」「発生程度は大きい平年並の発生量である」「平年より多いが、発生程度は小さい」「平年よりやや少ないが、依然として発生程度は中くらいである」等のように判断してください。

小	中	大	甚
---	---	---	---

**要防除圃場率(平年比)：** 防除の必要性の目安を「低、普通、高」の3段階評価で予測します。「普通」であれば、県下の大半の圃場では防除暦に沿った通常の防除が必要と予想されます。「高」であれば、防除時期の見直しや追加防除が必要になると予想されます。「低」であれば、防除回数を減らせるか、防除しなくても済むと予想されます。

低	普通	高
---	----	---

**発生消長の一例：** 発生予報は向こう1か月の予報ですが、その前後を合わせて40日ほどの病害虫の発生消長の一例をグラフで示します。大まかな目安として利用してください。

**防除の注意事項：** 向こう1か月の病害虫の特性と防除に関する説明です。

##### 2)「発生時期・発生量(平年日)の予察根拠」の見方

- (±)：平年並の要因
- (+)：発生量増加または発生時期遅延の要因
- (-)：発生量減少または発生時期早期化の要因

#### 5. 気象のデータ

##### 東海地方1か月予報(令和3年3月18日 名古屋地方気象台発表)

向こう1か月の気温は、暖かい空気に覆われやすいため高いでしょう。特に、期間の前半はかなり高くなる見込みです。気温と日照時間はほぼ平年並みの見込みです。

1週目 3月20日 ～26日	天気は数日の周期で変わります。
2週目 3月27日 ～4月2日	天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
3～4週目 4月3日 ～16日	天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

##### 東海地方週間天気予報(令和3年3月23日10時35分 名古屋地方気象台発表)

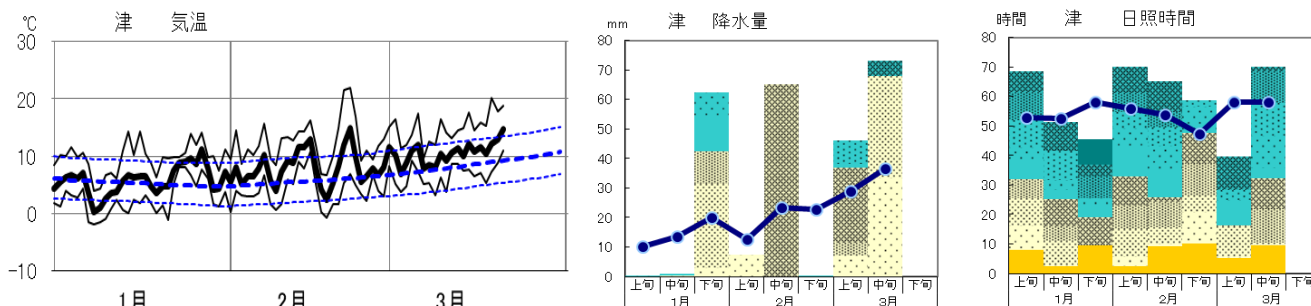
予報期間 3月24日～3月30日

向こう一週間は、高気圧に覆われて晴れる日が多いですが、期間の後半は低気圧や前線の影響で雨の降る日があるでしょう。

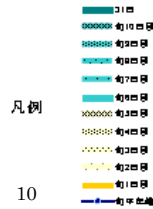
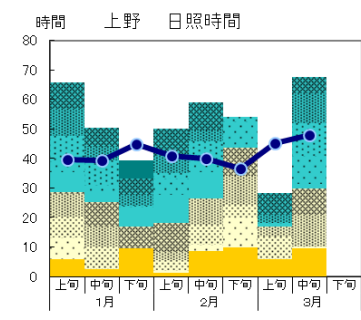
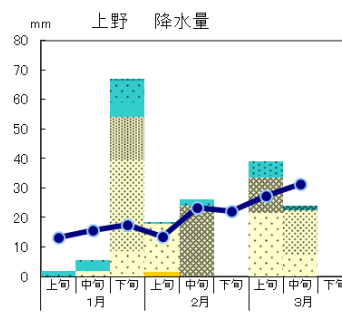
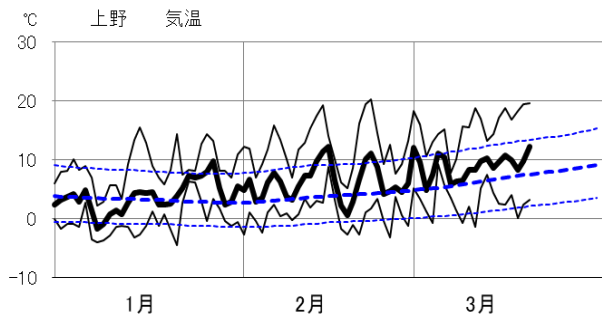
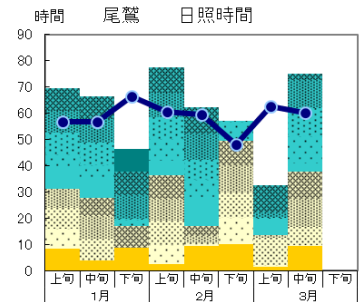
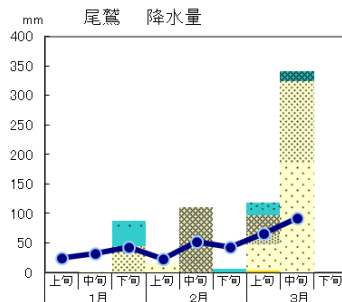
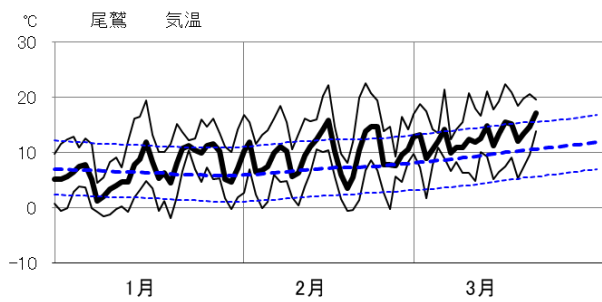
最高気温と最低気温はともに、平年より高い日が多く、平年よりかなり高い日もある見込みです。

降水量は、平年並か平年より多いでしょう。

##### 気象の日別推移(気象庁発表データ <http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php> から作成) (3月20日まで)







## 6. おしらせ (前回と異なる項目には **NEW** の印があります)

### 1) 記載基準の注意点

平年ほとんど発生のないか非常に少ない病害虫については、平年並に少ない発生状態の「発生量平年比」を「平年並」、「発生量程度」を「小」と記述しています。

### 2) 発表日 **NEW**

本年度の病害虫発生予報は次の予定で発表します。

- |                  |                   |
|------------------|-------------------|
| 第1回 4月23日(木)(済み) | 第2回 5月21日(木)(済み)  |
| 第3回 6月25日(木)(済み) | 第4回 7月22日(水)(済み)  |
| 第5回 8月20日(木)(済み) | 第6回 10月22日(木)(済み) |
| 第7回 3月25日(木)(今回) |                   |

### 3) 利用方法

全部または一部をコピーして回覧・配布にご利用ください。ただし必ずページの右下にある「三重県病害虫防除所」の文字が入るようにしてください。

病害虫防除所ホームページには、この予報をはじめとして、不定期に発表される警報、注意報、特殊報、技術情報や、各種のグラフ、写真も載っています。下記のアドレスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm>

このホームページはフリーリンクです。リンクする場合、事前の承諾申請等は不要ですが、事後で結構ですのでメールにてご一報いただくと幸いです。

### 4) 本冊子の利用の手引き書

本冊子の見方を説明した「病害虫発生予報利用の手引き」があります。下記のアド

レスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000835764.pdf>

### 5) メール配信サービス

予報、警報、注意報、特殊報、技術情報が発表されたときに、ホームページに掲載されたという「掲載通知」を電子メールでお知らせしています。このメールの配信を希望される方は、下記のアドレスからお申し込みください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/39475007379.htm>

### 6) 農薬登録状況の最新情報

農薬の販売や使用に当たっては、農薬登録上の制限があります。農薬の使用時はラベルをよく読んでください。次のインターネットサイトでは、最新の農薬登録状況が確認できます。

三重県農薬情報システム

<https://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/top/mie>

独立行政法人農林水産消費安全技術センターの「農薬登録情報提供システム」

[http://www.acis.famic.go.jp/index\\_kensaku.htm](http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm)

### 7) IPM(総合的病害虫・雑草管理)実践指標について

三重県では、IPMを実践する上で必要な農作業の具体的な取組内容を示した作物別の指標を公表しています。農業者の皆さんの取組について、現状把握と今後の気づきにご活用ください。病害虫防除所ホームページにリンクを設定しています。

三重県農林水産部農産園芸課ホームページ内

<http://www.pref.mie.lg.jp/NOAN/HP/80301022763.htm>

### (3)注意報

#### 病害虫発生予察注意報第 1 号

令和 2 年 6 月 30 日  
三重県病害虫防除所

- 1. 対象作物 : 水稲
- 2. 対象病害虫名 : いもち病(葉いもち・穂いもち)
- 3. 発生地域 : 県内全域
- 4. 発生時期 : 7 月上旬～8 月中旬
- 5. 予想発生量 : やや多(一部ほ場で多)

#### 6. 注意報発令の根拠

- 1) 巡回調査圃場(6 月第 2 週)では、葉いもちの発生圃場率は 0% (平年 0.0%) と少ないながら、置き苗があった 20 圃場のうち 2 圃場で置き苗での発生が認められました。6 月 24 日に実施した追加調査では中～南勢地域で葉いもちの発生が確認されました。今後は中山間部や業務用米の多肥栽培品種(特にいもち病に対し罹病性の高い品種)で発生が多くなると予想されます。
- 2) いもち病発生予測支援システム(プラスタム)によると、6 月 1～25 日の県内アメダスポイント 12 か所の気象データをもとに判定した感染好適条件出現回数は計 31 回で、過去 10 年の結果と比較して 2 番目に多くなっています(表)。
- 3) 1 か月予報(6 月 25 日・名古屋地方気象台発表)によると、平年と同様に曇りや雨の日が多い見込みです。既に葉いもちを発病している圃場では、上位葉に病斑が進展する可能性があります。

#### 7. 防除上の注意事項

- 1) 葉いもちが発生している圃場では、出穂前に葉いもち防除を徹底しましょう。
- 2) 穂いもち防除は予防散布が原則です。出穂期から穂揃期に薬剤散布しましょう。
- 3) 雨天が続く可能性があるため、天気予報を参考にしながら、雨の合間を見計らって防除を行います。
- 4) 追加防除を行う場合は農業使用回数に注意しましょう。薬剤の選定は最寄りの農協等にご相談ください。
- 5) 薬剤散布をする時は周囲に飛散しないよう注意しましょう。
- 6) 飼料用米や業務用米などの普通期水稲は、これから最も葉色が濃くなり、発病しやすい時期となるので注意しましょう。
- 7) Qol 剤(ストロビリリン系殺菌剤)の使用は最大年 1 回とし、耐性菌の発生を未然に防ぎましょう。
- 8) Qol 剤を使用したにもかかわらず、ざり込み症状などの発病があれば、病害虫防除所、農業研究所、農業改良普及センターや農協等へ速やかにご連絡ください。

表 いもち病発生予測支援システム(プラスタム)における感染好適条件出現回数の過去 10 年との比較\*

年	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	平均†
出現回数	22	24	12	26	43	30	20	2	25	20	31	22.4

\*: 三重県内のアメダスポイント(12か所)における6月1～25日のいもち病感染好適条件出現回数の合計  
†: 2010～2019の平均

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください！

#### 病害虫発生予察注意報第 2 号

令和 2 年 7 月 8 日  
三重県病害虫防除所

- 1. 対象作物 : 水稲
- 2. 対象病害虫名 : 斑点米カメムシ類(ミナミアオカメムシ、クモヘリカメムシ、イネカメムシ、ホソハリカメムシ、シラホシカメムシ類)
- 3. 発生地域 : 県内全域
- 4. 発生時期 : 7 月上旬～9 月中旬
- 5. 予想発生量 : 多

#### 6. 注意報発令の根拠

- 1) 農業研究所予察灯(4 月第 1 半旬～6 月第 4 半旬、松阪市嬉野川北町)では、ミナミアオカメムシの誘殺数は 77 頭(過去 10 年平均 29.2 頭)と、多い状況です。
- 2) 一般ほ場では、出穂前の水田内でミナミアオカメムシ、クモヘリカメムシ、イネカメムシ、ホソハリカメムシ、シラホシカメムシ類の発生が確認されています。
- 3) 水稲生育予測システム(4 月 24 日移植コシヒカリ。7 月 3 日現在)によると出穂期は 7 月 16 日と平年より 5 日早い予想です。
- 4) 1 か月予報(7 月 2 日・名古屋地方気象台発表)によると、気温は平年を上回り、7 月 11～17 日は平年に比べ曇りや雨の日が少ない予想です。また、18 日以降は平年と同様に晴れの日が多いことから、斑点米カメムシ類の活動に好適です。

#### 7. 防除上の注意事項

- 1) 薬剤防除は穂揃い期に実施しましょう。斑点米カメムシ類は移動性が高いため、広域での一斉防除が効果的です。
- 2) 水田内での増殖を防ぐため、防除後も水田への侵入が確認される場合は、穂揃い期防除の 7～10 日後に追加防除を実施してください。
- 3) 周囲よりも出穂の早い水田では、被害が集中するので防除を徹底しましょう。
- 4) 出穂直前および出穂後の草刈りは、斑点米カメムシ類を水田内へ追い込み、加害を助長するのを避けましょう。やむを得ず出穂前後に草刈りを行う場合は、水田の薬剤防除に合わせて実施しましょう。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください！

#### 病害虫発生予察注意報第 3 号

令和 2 年 8 月 20 日  
三重県病害虫防除所

- 1. 対象作物 : 水稲(普通期)
- 2. 対象病害虫名 : 斑点米カメムシ類(ミナミアオカメムシ、クモヘリカメムシ、イネカメムシ、シラホシカメムシ類)
- 3. 発生地域 : 県内全域
- 4. 発生時期 : 8 月下旬～9 月中旬
- 5. 予想発生量 : 多

#### 6. 注意報発令の根拠

- 1) 8 月の巡回調査では、斑点米カメムシ類の圃場発生率は 53.4% (平年値 40.9%) と高く、20 回すくい取り調査ではミナミアオカメムシが 0.07 頭(平年 0.04 頭)、クモヘリカメムシが 1.01 頭(平年 0.92 頭)、イネカメムシが 0.14 頭(平年 0.02 頭)、シラホシカメムシ類が 0.12 頭(平年 0.08 頭)と多い状況です。
- 2) 直近 1 か月間(7 月第 4 半旬～8 月第 3 半旬)の予察灯での誘殺数はイネカメムシが松阪市で 42 頭(平年 4.7 頭)、クモヘリカメムシが紀北町で 324 頭(平年 25.2 頭)、御浜町で 61 頭(平年 36.8 頭)と平年より多い状況です。
- 3) 1 か月予報(8 月 13 日・名古屋地方気象台発表)によると、気温は平年より高く、降水量は平年並か少ないことから、斑点米カメムシ類の活動に好適な状況が続きます。

#### 7. 防除上の注意事項

- 1) 薬剤防除は穂揃い期に実施しましょう。斑点米カメムシ類は移動性が高いため、広域での一斉防除が効果的です。
- 2) 収穫直前にあたるため薬剤防除は周辺の圃場への飛散がないように、また、収穫前日数に留意するなど安全使用基準を順守してください。薬剤については三重県農業情報システム <https://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/top/mie> で検索することができます。
- 3) 草刈りは、斑点米カメムシ類を水田内へ追い込み、加害を助長するのを避けましょう。やむを得ず出穂後に草刈りを行う場合は、水田の薬剤防除に合わせて実施しましょう。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください！

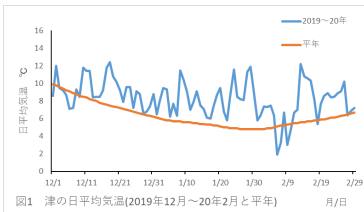
# (4) 技術情報

## 病害虫防除技術情報 第1号

令和2年4月20日  
三重県病害虫防除所

昨年に引き続き水稲のスクミリンゴガイの被害が予想されます。

- 対象作物 : 水稲
- 対象病害虫名 : スクミリンゴガイ
- 発生状況
  - 近年、伊賀地域を除く県内全域でスクミリンゴガイの発生が増加しています。
  - 令和元年6月上旬に行った水田の見取り調査では、スクミリンゴガイの被害発生圃場率は、9.7% (平年 2.4%) で、過去 10 年と比較して最も多い状況でした。
  - 令和元年12月から令和2年2月にかけて、日平均気温が平年に比較して高かったため、越冬率が高いことが推測されます(図1)。
  - スクミリンゴガイは気温 17°C以上で活動が活発になります。津のアメダスデータの平年値では最高気温で4月の第2半旬頃、日平均気温で5月の第1半旬頃に相当します。
- 防除対策
  - 薬剤による防除
    - 防除の適期はイネへの被害が大きい移植後から移植後3週間までです。スクミリンゴガイの動きを確認して、使用基準に従って実施して下さい。薬剤は三重県農業情報システム (<https://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/top/mie>) で検索することができます。
    - 灌水状態で処理し、7日間は落水やかけ流しを避けましょう。
    - 用水路など水田以外の場所には散布できません。
    - 殺虫剤と食害防止剤を併用する場合は、殺虫剤を散布後7日以降に食害防止剤を散布しましょう。殺虫剤を散布する前に、食害防止剤を散布することは控えてください。
  - 耕種作業による防除
    - 田面の水が深い部分に集まる習性があるため、浅水で管理すると被害が少なくなります。
    - 入水口に約5mm目合いの網を張り、水路からの侵入を防ぎましょう。また、貝を捕殺し、卵塊は水面に落としましょう。
    - 既に発生が多い水田で使用した農業機械は、作業後に十分洗浄し、未発生水田に貝を持ち込まないように注意しましょう。



農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください！

## 病害虫防除技術情報 第2号

令和2年4月22日  
三重県病害虫防除所

県内のネギ産地でネギアザミウマの薬剤感受性が低下しています。防除効果が劣る場合は薬剤選択に注意が必要です。

- 対象作物 : ネギ類
- 対象病害虫名 : ネギアザミウマ
- 発生状況
  - 三重県内のネギ産地において、ネギアザミウマの薬剤感受性の現状や産地単為生殖系統の発生の有無を把握するため、薬剤感受性検定と生殖系統の調査を実施しました。
  - 生殖系統の調査結果では、県内6地点 (A～F) のうち、D、E、Fの3地点では産地単為生殖系統でしたが、A、B、Cの3地点では産地単為生殖系統が混発していました。(表1)
  - 薬剤感受性検定については、特に合成ピレスロイド剤のシベルメトリン乳剤では、産地単為生殖系統に対する補正死亡率が40.6～55.0%と低く、著しい感受性低下が確認されました。地点によってはピリダリル水和剤、トルフェンピラド乳剤などでも感受性低下が確認されました。

(表1) 各薬剤のネギアザミウマ成虫に対する補正死亡率(%)<sup>a)</sup>

IRACコード	供試薬剤(一般名)	希釈倍数	産地単為生殖系統 <sup>b)</sup>			産地混発 <sup>c)</sup>		
			A	B	C	D	E	F
1B	ダイジノン水剤	600	34.5	83.0	94.5	100	100	100
3A	シベルメトリン乳剤	2,000	50.9	40.6	55.0	100	100	100
	アセタミプリド水剤	2,000	87.7	71.9	86.0	100	100	-
4A	イミダクロプリド水剤	5,000	72.1	97.1	97.0	100	100	100
	ジノテラン水剤	2,000	71.4	70.7	83.5	100	100	100
5	スピネラム水剤	2,500	100	97.0	100	100	100	100
	スピノサド水剤	2,500	100	100	100	100	100	100
6	アバメクセン乳剤	1,000	-	75.2	91.0	70.0	100	-
21A	トルフェンピラド乳剤	1,000	100	53.0	59.3	46.0	98.0	-
28	シアントラニプリロール水剤	2,000	-	72.3	96.8	100	100	-
UN	ピリダリル水剤	1,000	44.4	47.7	60.7	65.6	27.0	100
未定	フロトキン水剤	1,000	-	100	100	-	100	-

a) 補正死亡率=100×(無処理生存率-処理生存率)/無処理生存率  
b) 産地単為生殖系統とは、産地単為生殖系統/産地混発の混発個体群であることを示す。  
c) 産地混発とは、産地単為生殖系統のみの個体群であることを示す。  
-は未実施を示す。

- 防除対策
  - ネギアザミウマの生殖系統には「産地単為生殖系統」と「産地混発」の2系統があり、産地単為生殖系統は、合成ピレスロイド剤など殺虫剤に対して抵抗性を獲得しやすいとされています。ネギアザミウマの防除で効果が見られない場合は、防除薬剤の見直しを行ってください。
  - 薬剤ローテーションに努め、他の害虫(シロイチモジトウなど)の防除の際も、ネギアザミウマの薬剤抵抗性に配慮して防除を行ってください。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

## 病害虫防除技術情報 第3号

令和2年5月11日  
三重県病害虫防除所

クワシロカイガラムシの第一世代孵化時期です。

- 対象作物 : チャ
- 対象病害虫名 : クワシロカイガラムシ
- 発生時期 : やや遅
- 発生状況 : やや多
  - 本年4月の巡回調査圃場では、雌成虫寄生株率 21.3% (平年 13.2%) と多い状況です(図)。
  - 一般圃場(4月)での発生量は平年並です。
  - 有効積算温度による予測(計算日4月27日)では、発生時期はやや遅と予想されます(表)。

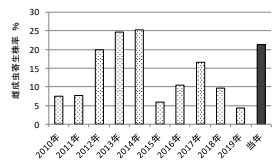


図 巡回調査圃場におけるクワシロカイガラムシ雌成虫寄生株率(4月)

表 有効積算温度による第一世代幼虫の孵化最盛期予測日と防除適期(計算日4月27日)

市町名	地点名	標高 m	予測日	防除適期
亀山市	椿世町(茶業花植木研究室)	81	5月20日	5月22日～24日
松阪市	飯南町粥見	117	5月21日	5月23日～25日
亀山市実測値(10年平均)			5月17日	

\*武田(2002)の発育基点、有効積算温度を用い、農業機構メッシュ農業気象データにより、予測日を算出しました。

- 防除対策
  - 圃場を確認して、多発状況であれば防除を行います。
  - 防除適期は幼虫孵化最盛日の2日後から3日程度です。歩行型幼虫が固着して白色のロウ物質に覆われると薬剤の効果が著しく低下します。
  - 実際の孵化状況に関する情報や、自圃場の孵化状況をルーペ等で確認して適期に防除しましょう。
  - 葉液を十分用意して、樹冠内の枝幹にかかるよう丁寧に散布してください。
  - 防除の実施にあたっては、周辺の一番茶未摘採園へのドリフトに十分注意して行ってください。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

## 病害虫防除技術情報 第4号

令和2年5月28日  
三重県病害虫防除所

果樹カメムシ類の誘殺数が平年より多くなっています。圃場の見回りで飛来を確認したら防除を実施してください。

- 対象作物 : ナシ、カキ等
- 対象病害虫名 : 果樹カメムシ類(主にツヤアオカメムシ)
- 発生状況
  - フェロモントラップにおける5月1週～5月3週のツヤアオカメムシ誘殺数は、津市白山町川口で44.1頭(平年5.5頭)、松阪市嬉野川北町で39.0頭(平年12.5頭)、多気町矢田で70.0頭(平年213.7頭)と平年値より多くなっています(図1)。
  - フェロモントラップにおける5月1週～5月3週のツヤアオカメムシ誘殺数はほぼ平年並の推移ですが、誘殺数は津市白山町川口で194.3頭(平年167.1頭)と過去10年で3番目に多く、津市白山町二本木で381.5頭(平年313.5頭)と過去10年で2番目に多くなっています(図2)。
  - 予察灯(松阪市嬉野川北町)における5月第1半旬～第2半旬の誘殺数は、ツヤアオカメムシで317頭(平年32.2頭)と平年値より多くなっています。ツヤアオカメムシは平年並の推移ですが、664頭(平年595.8頭)と、過去10年で3番目に多くなっています(図3)。

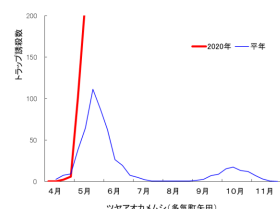
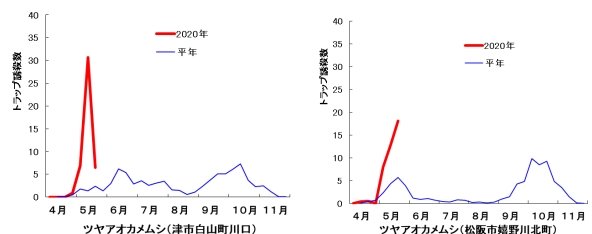


図1. フェロモントラップへのツヤアオカメムシ誘殺数の推移  
津市白山町川口(左), 松阪市嬉野川北町(右), 多気町矢田(下)

## 病害虫防除技術情報第5号

令和2年5月29日  
三重県病害虫防除所

### 三重県内の飼料用トウモロコシでツマジロクサヨトウの発生が確認されました。

1 病害虫名：ツマジロクサヨトウ（チョウ目・ヤガ科）*Spodoptera frugiperda*

2 発生確認作物：飼料用トウモロコシ

3 発生確認の経過

令和2年5月28日、鈴鹿市内の飼料用トウモロコシ栽培ほ場において、ツマジロクサヨトウの疑義幼虫による食害が確認され、被害株から幼虫を採集し農林水産省名古屋植物防疫所に同定依頼をしたところ、5月29日にツマジロクサヨトウと同定されました。

昨年9月にも鈴鹿市内の緑肥用ソルガム栽培ほ場で発生が初確認され、9月6日に令和元年度特殊報第3号として発表を行ったところです。

国内では、昨年7月に初めて鹿児島県で発生を確認されて以降、21府県で確認されており、また今年4月には沖縄県、5月には複数県で確認されています。

このような状況下で、三重県病害虫防除所が、国の方針に基づき調査を行っていたところ、複数のほ場での発生を確認しました。

4 本種の特徴

(1) 形態

成虫は開張約37mm、雌雄で外観が大きく異なり、雄のみ前翅中央部に黄色い斜めの斑紋を持ちます。終齢幼虫は体長約40mmで、頭部の逆Y字が淡色で、尾部の刺毛基盤（黒色斑点）が隆起しているのが特徴です。（図1）

卵は寄主植物に塊状に産み付けられ、雌の体毛で覆われます。



（図1）ツマジロクサヨトウの幼虫（左）、頭部（中央）、尾部（右）

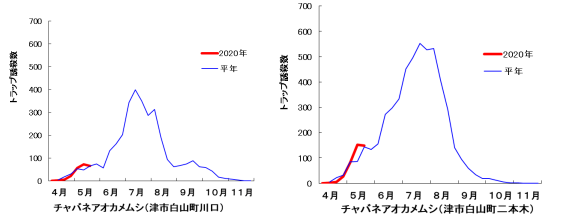


図2. フェロモントラップへのチャバネアオカメシ誘殺数の推移  
津市白山町川口（左）、津市白山町二本木（右）

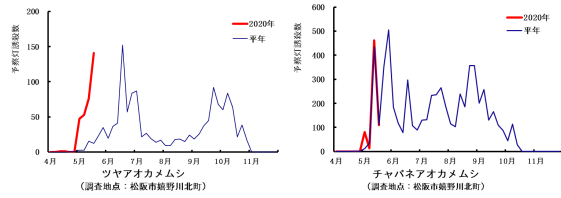


図3. 予察灯（松阪市嬉野川北町）への果樹カメシ類誘殺数の推移  
（左）ツヤアオカメシ、（右）チャバネアオカメシ

### 7. 防除上の注意事項

- 1) 飛来数は圃場による差が大きい傾向があります。気象の変動をきっかけに飛来する可能性も考えられますので、今後の発生動向に注意してください。
- 2) 気温の上昇に伴い活発に飛翔するので、夜温が高く、風が弱い日に飛来が多くなります。夜間の照明等への飛来を参考にし、圃場の見回りで飛来を確認したら防除を実施してください。
- 3) 過去に飛来が多かった圃場では特に注意してください。
- 4) 近隣圃場と同時に広い範囲で散布日を合わせて一斉防除すると効果が高くなります。
- 5) 合成ピレスロイド系の薬剤を連続して散布すると、ハダニ類、カイガラムシ類の発生が多くなる傾向があるので注意してください。薬剤は三重県農業情報システム (<https://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/top/mie>) で検索することができます。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

## 病害虫防除技術情報第6号

令和2年7月6日  
三重県病害虫防除所

### クワシロカイガラムシ第2世代幼虫を防除しましょう。

1. 対象作物：チャ

2. 対象病害虫名：クワシロカイガラムシ第2世代幼虫

3. 発生状況

有効積算温度による第2世代幼虫孵化最盛予測日（7月2日予測）は、四日市では7月13日（平年7月19日）、亀山市では7月13日（平年7月20日）、松阪市飯南町粥見では7月15日（平年7月23日）と予想されます（表）。

4. 防除対策

- (1) 孵化最盛日から2日～4日後頃が防除適期です。枝幹につく歩行型幼虫を確認して防除してください。
- (2) この時期は土着天敵の活動が盛になる時期ですので、天敵に影響の小さい薬剤を選択してください。

表 クワシロカイガラムシ第2世代幼虫孵化最盛予測日と防除適期（7月2日予測）

	孵化最盛予測日	平年比(日)	防除適期
四日市	7月13日	-6	7月15～17日
亀山	7月13日	-7	7月15～17日
粥見	7月15日	-8	7月17～19日

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

### (2) 生態

暖地に適応した種（南北アメリカ大陸の熱帯～亜熱帯原産）であり、熱帯では年4～6世代発生します。南北アメリカでは毎年夏季に成虫が移動・分散しますが、暖地を除く地域では越冬することはできないとされています。

### 5 被害

飼料用トウモロコシでは、幼虫が株の中心部に食入し葉、莖を加害します。摂食量が多く被害株には多量の糞が散在します。

### 6 防除対策及び注意事項

- (1) 多発すると被害が拡大する恐れがあることから、ほ場をよく見回り幼虫の早期発見に努めてください。
- (2) 発生ほ場においては薬剤散布を行うか、薬剤散布が困難な場合は早期に刈取りするとともに、幼虫の分散を防ぐためほ場への残渣のすき込みを行ってください。薬剤散布を行う場合は、下記の農林水産省 Web ページに掲載されている農薬リストを参照してください。  
[https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/keneki/k\\_kokunai/attach/pdf/tumajiro-101.pdf](https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/keneki/k_kokunai/attach/pdf/tumajiro-101.pdf)
- (3) 農薬の散布に当たっては、無風又は風が弱い時に行うなど近隣に影響が少ない天候や時間帯を選び、風向き、防除器具のノズルの向きにも十分注意し、農薬の飛散（ドリフト）防止に留意してください。
- (4) 詳細は、下記の農林水産省 Web ページの「ツマジロクサヨトウ防除マニュアル」を参照してください。  
[https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/keneki/k\\_kokunai/tumajiro.html](https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/keneki/k_kokunai/tumajiro.html)

問い合わせ先

三重県病害虫防除所

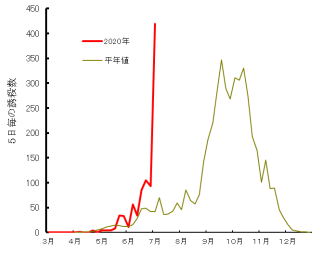
電話番号：0598-42-6365

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

ハスモンヨトウのフェロモントラップ誘殺数が急増しています

- 1. 対象作物：ダイズ、野菜類（イチゴ、サトイモ、アブラナ科野菜など）、花き類（キクなど）
- 2. 対象病害虫名：ハスモンヨトウ

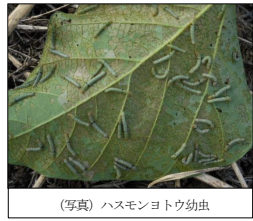
3. 発生状況と今後の予測  
 県予察圃（松阪市嬉野川北町）におけるフェロモントラップ誘殺数は、7月第1半旬で419頭（平年42.2頭）と平年のおよそ10倍と多い状況です（図）。  
 今後の被害の発生に注意が必要です。  
 1か月予報（7月2日・名古屋地方気象台発表）によると、7月11日以降、気温がかなり高くなる可能性があるとの予想です。  
 このような状況から、ハスモンヨトウの発生に好適な条件であると考えられます。



(図) フェロモントラップによるハスモンヨトウ成虫の誘殺消長（調査場所：松阪市嬉野川北町）

4. 防除対策

- (1) 老齢になるに従って薬剤の効果が劣ります。若齢幼虫のうちに防除してください。
- (2) 多発すると防除が困難になるので、早期防除に努めてください。
- (3) 施設では、開口部に防虫ネットを張って、成虫の侵入や産卵を防止してください。
- (4) ダイズでは、圃場をこまめに見回り、白変葉等の発生に注意を払い、初期防除に努めてください。
- (5) 野菜類では、育苗期や定植直後に発生すると被害が大きいため、こまめに見回り、発生初期の防除に努めてください。
- (6) 花き類では、生長点付近や花蕾を加害されると商品価値がなくなるので、早期発見に努め、登録のある農薬で防除してください。
- (7) 防除薬剤は三重県農業情報システム (<https://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/top/mie>) で検索することができます。



(写真) ハスモンヨトウ幼虫

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

トビロウカの発生量が増加しています。  
普通期水稲では、坪枯れの発生に注意してください。

- 1. 対象作物 普通期水稲
- 2. 対象病害虫名 トビロウカ
- 3. 発生状況
  - (1) 予察灯(60w白熱灯、水田位置)における8月のトビロウカの誘殺数は、松阪市で19頭(平年0.2頭)、紀北町で25頭(平年0.5頭)、御浜町で3頭(平年2.1頭)と多い状況です。
  - (2) 9月11日に御浜町においてトビロウカによる坪枯れを確認しました。
  - (3) 名古屋地方気象台9月10日発表の1か月予報では気温が高く、特に期間前半はかなり高くなると予報されており、今後も本種の発生に好適な条件が続くと予測されます。
  - (4) 本年は隣接する愛知県、京都府を含む9府県でトビロウカの警報が発表されており、県内でも被害が発生する恐れがあります。

4. 防除対策

- (1) 収穫期に近い時期となるため、薬剤防除を行う場合は、特に使用時期(収穫前日数)等の使用基準に注意してください。薬剤については三重県農業情報システム <https://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/top/mie> で検索することができます。
- (2) 本種は株元に生息するので、薬剤を散布する場合は株元に十分かかるよう散布してください。
- (3) 薬剤の使用にあたっては、散布は無風又は風が弱い時に行うなど、近隣に影響が少ない天候や時間帯を選び、風向き、防除器具のノズルの向きにも十分注意するとともに、隣接圃場の農作物の栽培者に対して、薬剤の種類や散布時期等を事前に連絡するなど、薬剤の飛散(ドリフト)に留意してください。
- (4) 収穫期が迫り薬剤防除ができない水田は、収穫適期の範囲で早めに収穫してください。
- (5) 早期落水は坪枯れの発生を助長するので、適期落水に努めてください。

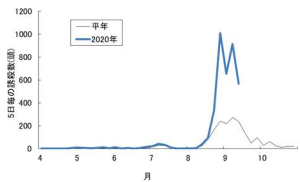
農薬(薬剤)はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

ダイズにおける吸実性カメムシ類、ハスモンヨトウの発生に注意しましょう！

- 1. 対象作物：ダイズ
- 2. 対象病害虫名：吸実性カメムシ類(ミナミアオカメムシなど)、ハスモンヨトウ
- 3. 発生状況と今後の予測

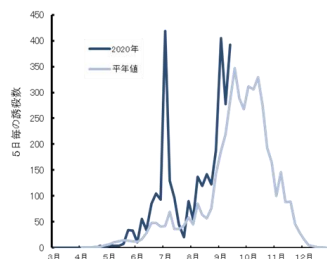
県予察灯では、ミナミアオカメムシの誘殺数が急増しており、ダイズのほ場内においても発生を確認しています。また、ハスモンヨトウの食害による白変葉が目立つほ場も増加傾向にあります。

松阪市内設置の予察灯では、ミナミアオカメムシの誘殺数は8月第4半旬～9月第3半旬では、3,571頭(平年1,219.1頭)と多い状況です(図1)。



(図1) 畑地の予察灯におけるミナミアオカメムシの誘殺数（松阪市嬉野川北町 100w水銀灯）

松阪市内設置のフェロモントラップでのハスモンヨトウの誘殺数は、同時期で1,526頭(平年967.6頭)とやや多い状況です(図2)。  
1か月予報(9月17日・名古屋地方気象台発表)によると、期間の前半は気温がかなり高くなる可能性がある見込みです。



(図2) フェロモントラップによるハスモンヨトウ成虫の誘殺消長（調査場所：松阪市嬉野川北町）

4. 防除対策

- (1) 本年は、ほ場によりダイズの生育にかなりばらつきがありますが、吸実性カメムシ類については、子実被害を抑制するためには遅くとも9月中の防除が効果的です。
- (2) 薬剤散布は、吸実性カメムシ類とほ場での白変葉の発生状況に応じてハスモンヨトウとの同時防除が効果的です。
- (3) 吸実性カメムシ類は移動性が高いため、無人ヘリなどによる広域一斉防除がより効果的です。
- (4) 薬剤については三重県農業情報システム <https://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/top/mie> で検索することができます。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

これから年内が耕起によるスクミリンゴガイ対策の好適期です。  
越冬量を減らし来春以降の被害軽減につなげましょう。

- 1. 対象作物 水稲
- 2. 対象病害虫名 スクミリンゴガイ
- 3. 発生状況
  - (1) 病害虫防除所の6月の巡回調査圃場ではスクミリンゴガイの発生圃場率は8.1%(過去6か月平均4.4%)と多い状況が続いています。
  - (2) 移植直後には被害がなかったほ場でも、7月には成貝や卵が確認された事例が多くあります。
  - (3) 東海地方の向こう3か月の予報では12月の気温は平年並みか低いとされ、年内の耕起による高い効果が期待されます。
- 4. 防除対策
  - (1) 耕起防除は年内に行なうことで高い効果が得られます。ロータリー耕うんにより物理的に破壊するとともに、越冬前に土壌表面に貝を掘り起こして寒さにさらし殺菌してください。
  - (2) 貝は深さ6cm以内の土中で越冬するため、耕うんの深度は10cmを目標とします。
  - (3) 殺菌効果を高めるため、耕うんは①田面が硬いときに②ピッチを小さくし低速で土壌を細かく砕くようにすることがポイントです。
  - (4) 春以降の対策とセットで体系的に防除を行うことで一層効果を高めることができます。

農薬(薬剤)はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

**冬春キャベツの菌核病が発病に適する条件となってきました**

1. 対象作物： 冬春キャベツ（その他の野菜類）

2. 対象病害虫名： 菌核病

*Sclerotinia sclerotiorum* (Libert)de Bary



**図1 菌核が形成されたキャベツの発病株**  
(2019年12月病害虫防除所撮影)

3. 発病条件と今後の予測

本病の発病適温は15～20℃とされ、10℃前後でも適度な土壌水分があれば発病するとされています。

名古屋地方気象台発表の東海地方の1か月予報（10月29日）によると、向こう1か月の気温は平年並か高く、降水量はほぼ平年並の予想です。

津での11月上中旬の気温の平年値は、最高気温18.8～16.7℃、最低気温10.9～9.0℃となっており、菌核病の発生に適する条件であると考えられます。

本菌は、前年の被害株で形成された菌核が土壌中に脱落して残存し、当年の11月頃からその菌核が第一次伝染源となり、好適条件により子のう盤が形成され、子のう胞子が飛散することで次第に発病が拡大します。

特に昨年に多発したほ場や連作ほ場においては、発生に注意する必要があります。

4. 防除対策

- (1) 発病してからの農業散布では防除効果が低いので、特に前年多発したほ場では予防的に防除を実施してください。
- (2) 本菌は、放置するなどで病勢が進むと菌核を形成し、土壌中に残存して翌年以降の伝染源となります。発病を発見次第、早急に抜き取り、被害部位を含む残渣はほ場から出し適切に処分してください。
- (3) ほ場の排水を良くし、過湿状態にならないように努めてください。
- (4) 防除薬剤は三重県農業情報システム (<https://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/top/mie>) で検索することができます。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

# IV 事業関係の試験成績

## 1. 診断対策

### (1) 灰色カビ病の薬剤感受性検定

灰色かび病菌に対する殺菌剤感受性検定 2020年度調査結果  
採取作物 トマト、イチゴ、ナス

三重県農業研究所農産物安全安心研究課

耐性菌発生リスク	FRAOコード	農薬名	検定結果	検定方法	防除効果	備考
高	11	アゾキシストロピン剤 (QoI-殺菌剤)	耐性菌 53.6% 感受性菌 46.4%	100ppmの薬剤とSHAM1mMを添加したPDA培地に、供試菌株の菌そう面を下にして置床し、20℃72時間培養後の菌糸生育抑制率80%未満の菌株を耐性菌として判定した。	耐性菌が高頻度で検出されたので、防除には注意が必要である。	
	2	イプロジオン剤 (ジカルボキシイミド系)	中程度耐性菌 18.2% 感受性菌 81.8%	5ppmの薬剤を添加したPDA培地に、供試菌株の菌そう面を下にして置床し、20℃48時間培養後に菌そう生育があれば中程度耐性菌、無処理比80%以上の菌そう生育があれば高度耐性菌として判定した。	感受性菌が多いものの中程度耐性菌が検出されたので、防除には注意が必要である。	
中～高	7	ベンチオピラド剤 (SDHI系)	耐性菌 17.1% 感受性菌 82.9%	1ppmの薬剤を添加したYBA培地に、供試菌株の孢子懸濁液を含ませたペーパーディスクを置床し、20℃7日間培養後に菌そう生育がある菌株について生物検定を行った。実用濃度で病斑抑制率が60%未満の菌株を耐性菌と判定した。	耐性菌が確認されたことから注意が必要であるが、系統の異なる薬剤のローテーション散布を行えば、防除効果は期待できると考えられる。	
		ピラジフルミド剤 (SDHI系)	耐性菌 7.2% 感受性菌 92.8%		耐性菌が確認されたことから注意が必要であるが、系統の異なる薬剤のローテーション散布を行えば、防除効果は期待できると考えられる。	8地域47地点における 果実・茎・葉の標微部から分離した181菌株の 検定結果
中	9	メバニピリム剤 (アニリノピリミジン系)	耐性菌 12.2% 感受性菌 87.8%	3ppmの薬剤を添加したFGA培地に、供試菌株の孢子懸濁液を含ませたペーパーディスクを置床し、20℃4日間培養後に菌そう生育がある菌株について生物検定を行った。実用濃度で病斑抑制率が60%未満の菌株を耐性菌と判定した。	耐性菌が確認されたことから注意が必要であるが、系統の異なる薬剤のローテーション散布を行えば、防除効果は期待できると考えられる。	
	12	フルジオキシニル剤 (フェニルピロール系)	感受性低下菌 1.1% 感受性菌率 98.9%	0.2ppmの薬剤を添加したPDA培地に、供試菌株の菌そう面を下にして置床し、25℃48時間培養後に菌そう生育の有無により判定した。生育が認められた菌株について、生物検定を行い、実用濃度での病斑抑制率が60%未満の菌株を耐性菌、1/10濃度での病斑抑制率が60%未満の菌株を感受性低下菌として判定した。	わずかに感受性低下菌が検出されたが即座に防除効果への影響はないと考えられる。	
低～中	17	フェンヘキサミド剤 (ヒドロキシアニリド系)	耐性菌 7.2% 感受性菌 92.8%	1ppmの薬剤を添加したFGA培地に、供試菌株の孢子懸濁液を含ませたペーパーディスクを置床し、20℃4日間培養後に菌そう生育がある菌株について生物検定を行った。実用濃度で病斑抑制率が60%未満の菌株を耐性菌と判定した。	耐性菌が確認されたことから注意が必要であるが、系統の異なる薬剤のローテーション散布を行えば、防除効果は期待できると考えられる。	

# 野菜類灰色かび病菌に対する各種殺菌剤の感受性検定 2020年度試験結果

農業研究所農産物安全安心研究課

表 1 地域毎の感受性検定の結果（2020）

耐性菌 発生リスク	FRAC コード	供試薬剤	判定	木曽岬	長島	いなべ 多度	鈴鹿	津	松阪	伊勢	伊賀	全体	2019年*
高	11	アゾキシストロビン剤	R	59.1%	48.8%	81.2%	87.5%	0%	32.4%	62.5%	100%	53.6%	47.7%
			S	40.9%	51.2%	18.8%	12.5%	100%	67.6%	37.5%	0%	46.4%	52.3%
中～高	2	イプロジオン剤	MR	15.9%	9.3%	25.0%	50.0%	0%	17.6%	20.8%	75.0%	18.2%	18.9%
			S	84.1%	90.7%	75.0%	50.0%	100%	82.4%	79.2%	25.0%	81.8%	81.1%
	7	ペンチオピラド剤	R	11.4%	18.6%	18.8%	62.5%	0%	0%	25.0%	100%	17.1%	13.4%
			S	88.6%	81.4%	81.2%	37.5%	100%	100%	75.0%	0%	82.9%	86.0%
7	ピラジフルミド剤	R	0%	0%	18.8%	0%	0%	0%	25.0%	100%	7.2%	0.6%	
		S	100%	100%	81.2%	100%	100%	100%	75.0%	0%	92.8%	98.3%	
中	9	メバニピリム剤	R	0%	0%	25.0%	0%	0%	26.5%	29.2%	50.0%	12.2%	6.7%
			S	100%	100%	75.0%	100%	100%	73.5%	70.8%	50.0%	87.8%	90.6%
低～中	12	フルジオキシニル剤	LS	0%	0%	0%	0%	0%	2.9%	4.2%	0%	1.1%	0.6%
			S	100%	100%	100%	100%	100%	97.1%	95.8%	100%	98.9%	98.8%
	17	フェンヘキサミド剤	R	0%	2.3%	6.3%	0%	37.5%	17.6%	8.3%	0%	7.2%	8.9%
			S	100%	97.7%	93.7%	100%	62.5%	82.4%	91.7%	100%	92.8%	90.6%
検定菌株数				44	43	16	8	8	34	24	4	181	180

※R：耐性菌 MR：中程度耐性菌 LS：感受性低下菌 S：感受性菌

R、MRは防除効果が劣る恐れあり、LSは実用上問題ないが注意が必要。Sは問題なし

※2019年度結果については、再検定および胞子形成不良等の数値を除外。



表2 作目毎の感受性検定の結果（2020）

耐性菌 発生リスク	FRAC コード	供試薬剤	判定	トマト ミニトマト	イチゴ	ナス	全体	2019年※
高	11	アゾキシストロビン剤	R	56.0%	48.4%	62.5%	53.6%	47.7%
			S	44.0%	51.6%	37.5%	46.4%	52.3%
中～高	2	イプロジオン剤	MR	12.8%	28.1%	12.5%	18.2%	18.9%
			S	87.2%	71.9%	87.5%	81.8%	81.1%
	7	ベンチオピラド剤	R	14.7%	20.3%	25.0%	17.1%	13.4%
			S	85.3%	79.7%	75.0%	82.9%	86.0%
		ピラジフルミド剤	R	0%	20.3%	0%	7.2%	0.6%
			S	100%	79.7%	100%	92.8%	98.3%
中	9	メバニピリム剤	R	0%	34.4%	0%	12.2%	6.7%
			S	100%	65.6%	100%	87.8%	90.6%
低～中	12	フルジオキシニル剤	LS	0.9%	1.6%	0%	1.1%	0.6%
			S	99.1%	98.4%	100%	98.9%	98.8%
	17	フェンヘキサミド剤	R	1.8%	17.2%	0%	7.2%	8.9%
			S	98.2%	72.8%	100%	92.8%	90.6%
検定菌株数				109	64	8	181	180

※R：耐性菌 MR：中程度耐性菌 LS：感受性低下菌 S：感受性菌

R、MRは防除効果が劣る恐れあり、LSは実用上問題ないが注意が必要。Sは問題なし

※2019年度結果については、再検定および胞子形成不良等の数値を除外。

## (2)ミカンハダニの薬剤感受性検定

担 当:三重県農業研究所紀南果樹研究室

供試薬剤名	一般名	希釈倍率	補正死虫率 (%)
スターマイトプラスフロアブル	シエノピラフェン・ピリダベン水和剤	× 1,000	100
カネマイトフロアブル	アセキノシル水和剤	× 1,000	100
バロックフロアブル	エトキサゾール水和剤	× 2,000	75
ダニゲッターフロアブル	スピロメシフェン水和剤	× 2,000	56.6
マイトコーネフロアブル	ビフェナゼート水和剤	× 1,000	100
オマイト水和剤	BPPS水和剤	× 750	96
ニッソラン水和剤	ヘキシチアゾクス水和剤	× 2,000	82
コロマイト水和剤	ミルベメクチン水和剤	× 2,000	100
サンマイト水和剤	ピリダベン水和剤	× 2,000	100

ミカンハダニ卵の薬剤感受性

供試薬剤名	一般名	希釈倍率	補正死卵率 (%)
スターマイトプラスフロアブル	シエノピラフェン・ピリダベン水和剤	× 1,000	94
カネマイトフロアブル	アセキノシル水和剤	× 1,000	42
バロックフロアブル	エトキサゾール水和剤	× 2,000	92
ダニゲッターフロアブル	スピロメシフェン水和剤	× 2,000	100
マイトコーネフロアブル	ビフェナゼート水和剤	× 1,000	44
オマイト水和剤	BPPS水和剤	× 750	30
ニッソラン水和剤	ヘキシチアゾクス水和剤	× 2,000	38
コロマイト水和剤	ミルベメクチン水和剤	× 2,000	80
サンマイト水和剤	ピリダベン水和剤	× 2,000	36

※補正死虫率 = (蒸留水区の生存虫率 - 処理区の生存虫率) / 蒸留水区の生存虫率 × 100

補正死卵率 = (蒸留水区のふ化卵率 - 処理区のふ化卵率) / 蒸留水区のふ化卵率 × 100

※調査日

<紀南果樹研究室場内>

雌成虫試験;6/17(薬剤処理 48 時間後)

殺卵試験;6/26(6/19 に産卵された卵に薬剤処理し、7 日後)

<試験方法概要>

サンプル採取場所	紀南果樹研究室圃場 11号圃(新甘夏慣行)
方 法	<p>成虫感受性</p> <p>寒天培地の上に、約3cm角に切ったカンキツの葉(無防除区)を乗せ、周囲に逃亡防止の蒸留水を薄く撒いた。そこに、露地慣行区から採取した雌成虫を20頭接種して薬剤を散布し、25℃、16時間明期・8時間暗期(高温長日条件)で飼育した。24時間後に生存・苦悶・死亡虫数を調査した。</p> <p>卵感受性</p> <p>成虫感受性試験と同様にディスクを作り、露地慣行区から採取した雌成虫を20匹接種して高温長日条件で飼育し産卵させた。24時間後に雌成虫を取り除いて薬剤を散布し、同様の条件下で飼育した。7日後に幼虫数と死卵数を調査した。</p>

## V 農薬の指導に関する業務

### 1. 農薬危害防止対策

農薬の危害防止、農薬使用の適正指導、総合防除の推進を図るため、農薬の最新の登録情報については、「三重県農薬情報システム」によりインターネットを通じて情報提供を行なった。正確かつ適正な情報を、農薬使用の指導者向けに提供するため、指導機関向けに発行している「三重県病虫害防除の手引き」の内容について検討・修正を行った。

農薬取扱業者に対しては、農薬管理指導士の育成と資質向上を図るため、農薬管理指導士特別研修会を開催し農薬を取り巻く法律、情勢、安全使用の基本的事項について解説した。また、県内外農薬関係者、農業者等を対象として、植物防疫技術研修会を開催し三重県農業における病虫害発生に関するトピックスを講演し、農薬使用を含めた効率防除について啓発を行った。

農薬の適正な使用を促すとともに使用に係る事故を防止するため、農薬危害防止運動の実施と農薬取締法に基づきゴルフ場等農薬使用者に対して農薬安全使用パトロール等を実施し、農薬の適正使用と使用簿、施錠、保管管理の徹底等について指導した。

#### (1) 農薬危害防止運動の実施

①実施期間 令和2年6月1日～8月31日までの3か月間

②実施内容 「三重県農薬適正使用啓発強化運動」として、各市町等の関係機関に「農薬の適正使用」についてのパンフレット等を配布し、本運動の啓発宣伝を行った。農薬取扱者へは農薬の保管管理方法及びポジティブリスト制度に伴う危被害防止について、研修会、講習会で啓発した。

#### (2) 農薬安全使用講習会の開催状況

項目	時期 開催場所	内容	対象者
植物防疫研修会	令和2年 11/18 松阪市	スクミリンゴガイの防除技術について	農薬販売者等
植物防疫技術研修会	令和3年 1/29 松阪市	テーマ: 普通期水稻の作付け拡大に伴う今後の病虫害対策	病虫害防除員等
農薬管理指導士 特別研修(新規)	令和3年 3/3～4 津市	関係法令、農薬安全使用、危害防止等	農薬販売者、農薬使用者、 農薬管理責任者

### (3) ゴルフ場の調査点検実施状況

ゴルフ場の維持管理に関する指導要綱及びゴルフ場の調査・点検パトロール実施要領に基づき、下記ゴルフ場における農薬使用状況や保管管理状況等について、調査・点検を行った。

調査・点検年月日	ゴルフ場名	所在地
令和2年11月2日	ザ・サードプレースカントリークラブ メナードカントリークラブ青山コース 桔梗が丘ゴルフコース	津市美杉町町竹原 4095 伊賀市霧生 2356 名張市滝之原字笹尾 3682
令和2年11月18日	エクセレントゴルフクラブ伊勢大鷲コース 名張サウスカントリー倶楽部 名張カントリークラブ	津市稲葉町 1497 名張市神屋 2476 名張市上小波田 1393
令和2年11月26日	伊勢志摩カントリークラブ・ロイヤルコース 近鉄賢島カントリークラブ 近鉄浜島カントリークラブ NEMU GOLF CLUB	志摩市磯部町の矢白ヶ谷 187-1 志摩市阿児町鶴方 3620-5 志摩市浜島町迫子 1614-1 志摩市浜島町迫子 2692-3

(調査・点検項目)

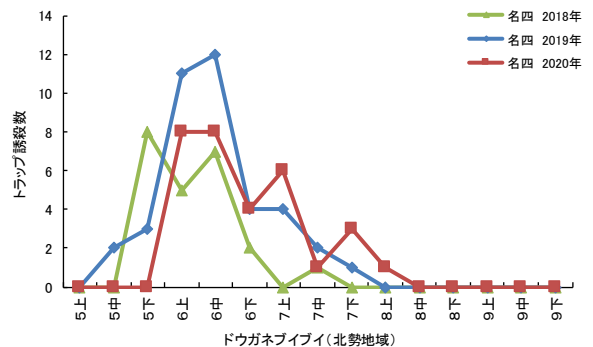
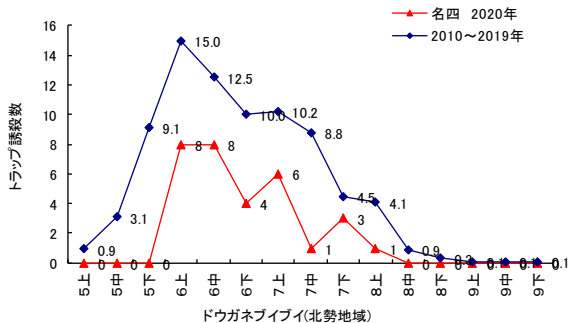
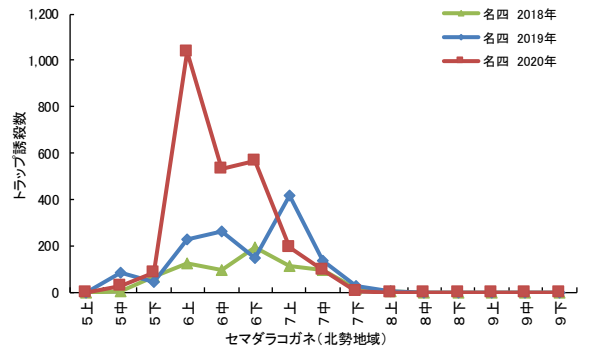
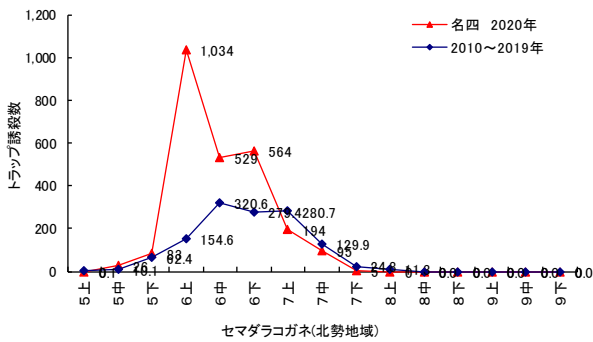
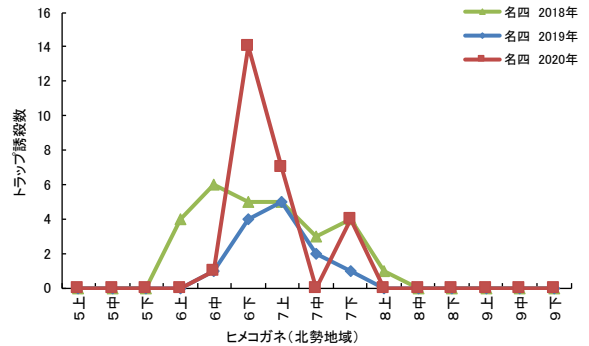
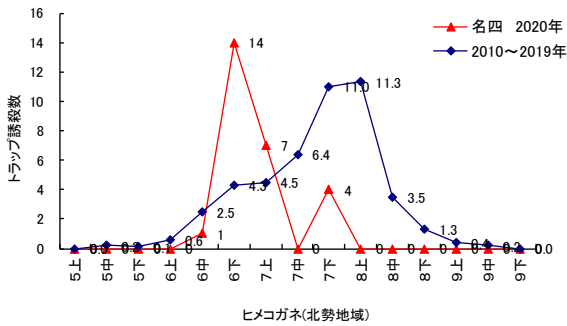
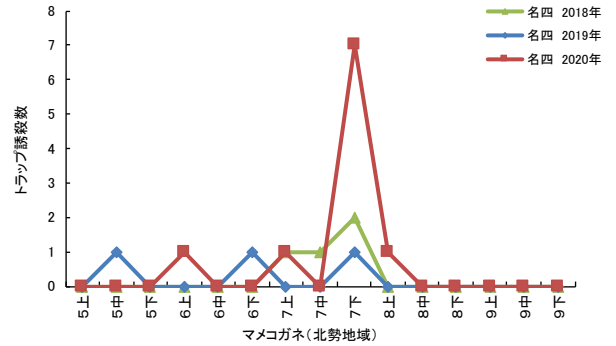
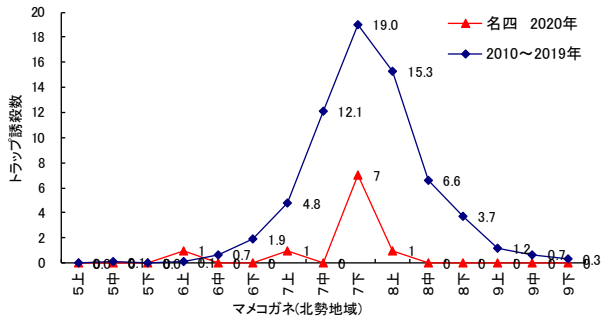
- 1.帳簿(作業日報、農薬台帳等)の整理状況
- 2.農薬の使用状況
- 3.危害防止対策、
- 4.病虫害雑草安全防除指針の遵守状況
- 5.農薬の保管管理の状況

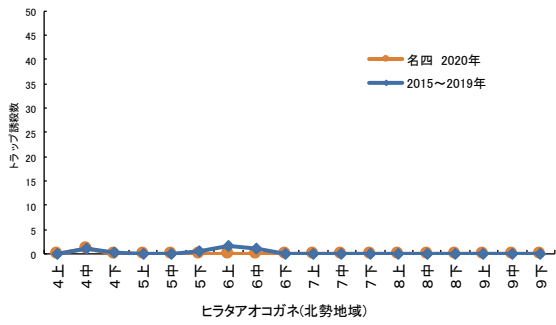
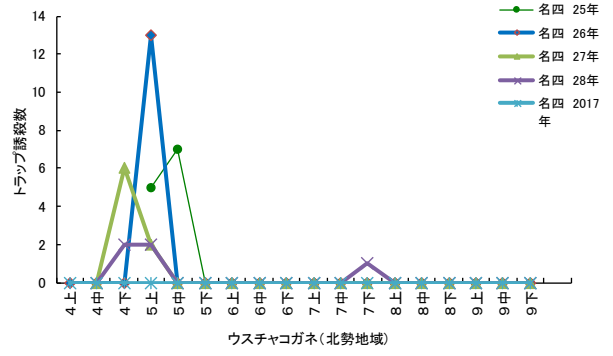
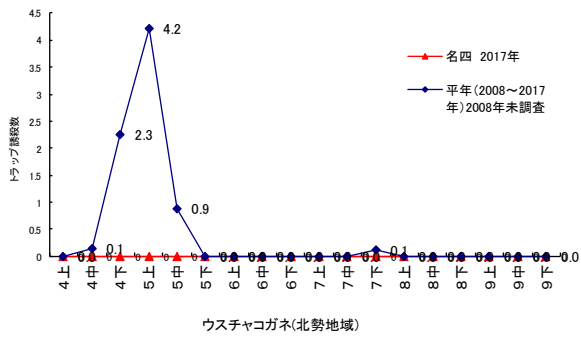
(調査・点検結果の概要)

日報の記入漏れ、作業日の書き間違いがあったゴルフ場があり、記帳間違いしないよう指示した。その他の項目については、概ね適正に管理されていた。

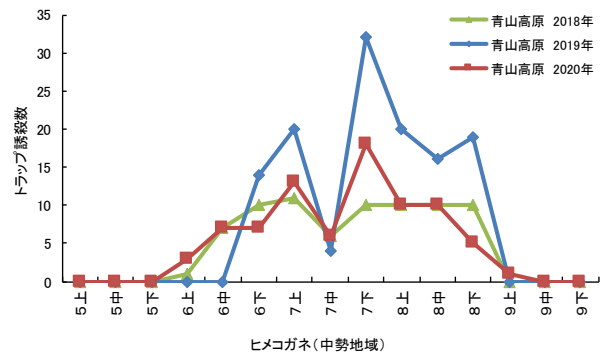
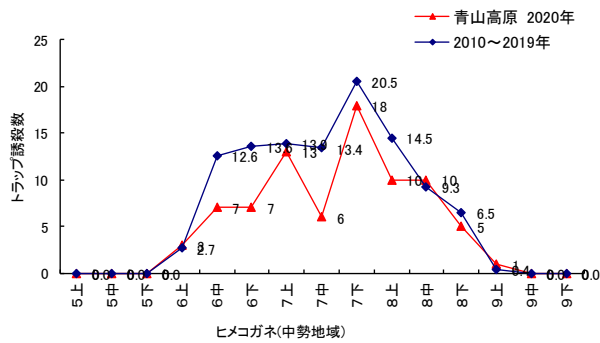
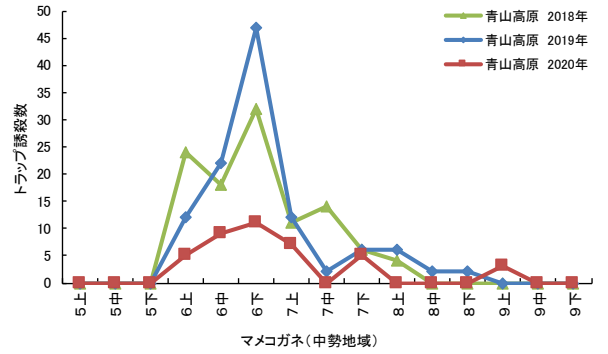
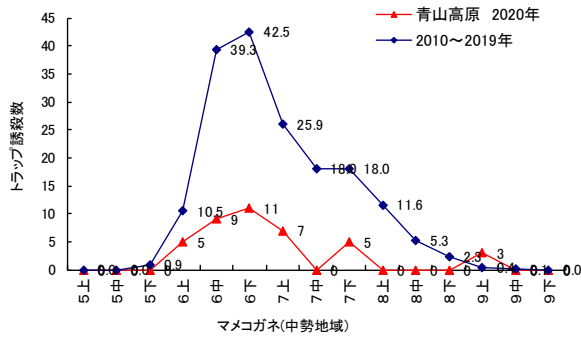
# (4) ゴルフ場におけるコガネムシ類発生状況

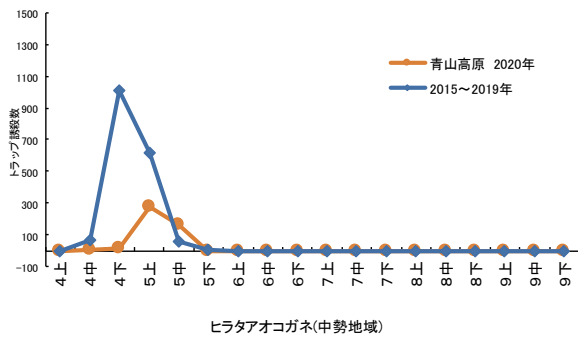
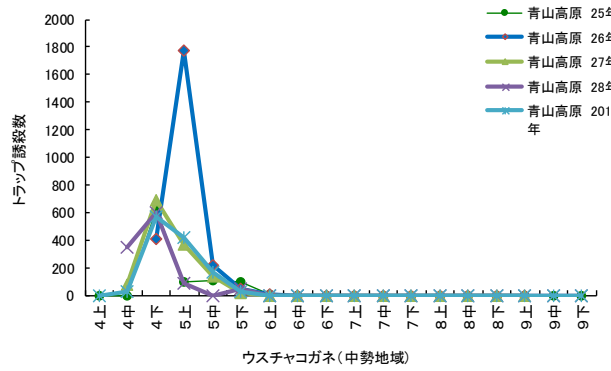
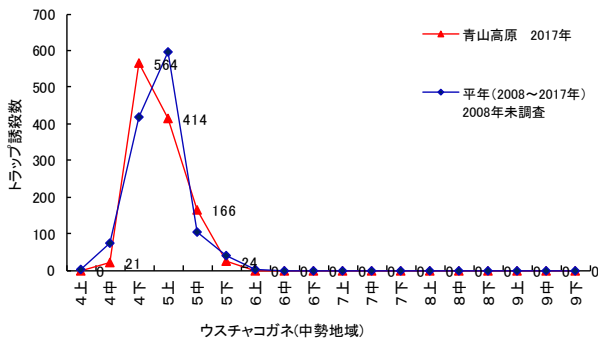
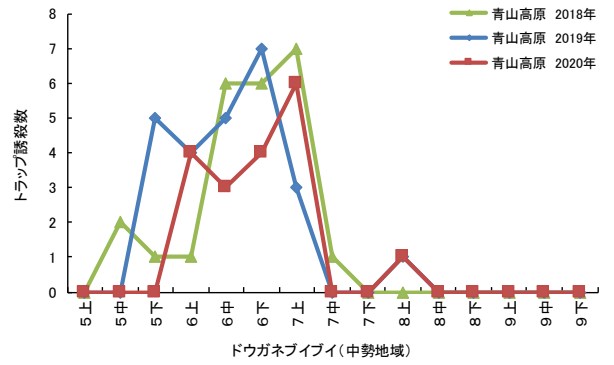
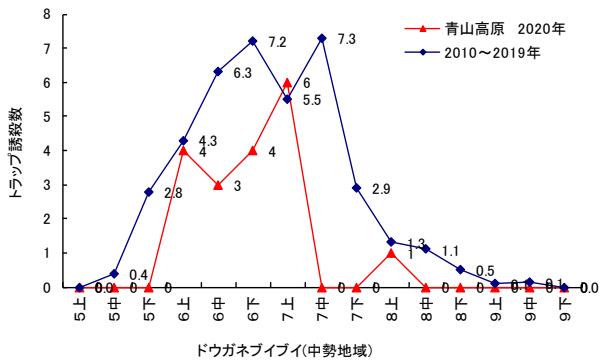
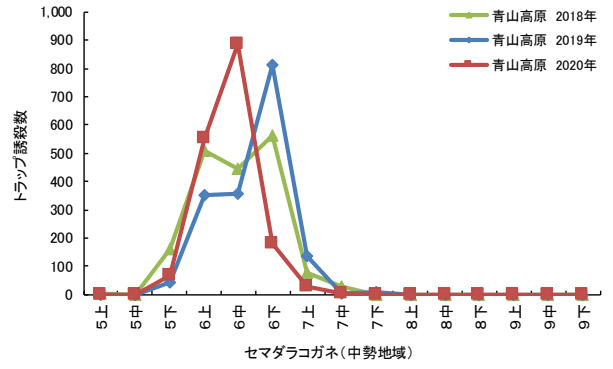
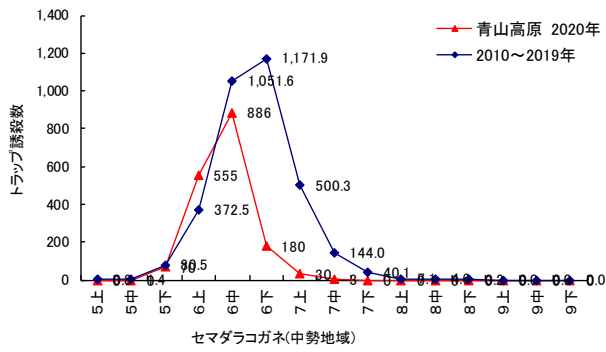
## 北勢地域





中勢地域







## 2. 令和2年度 無人航空機による空中散布の実施状況

防除内容	総散布面積 (ha)	
		合計
水稲	前年実績	10,100
	前年対比 (%)	88.1
	合計	2,169
麦類	前年実績	2,262
	前年対比 (%)	95.9
	合計	677
大豆	前年実績	747
	前年対比 (%)	90.6
	合計	114
その他	前年実績	112
	前年対比 (%)	101.8
	合計	11,863
合計	前年実績	13,221
	前年対比 (%)	89.7

## VI 各種データ

### 1.トラップ等データ

#### (1)予察灯

##### a 県予察灯・水田設置（松阪市嬉野川北町； 60ワット白熱灯）

水田 2019年	ツマグロヨコバイ	ヒメトビウンカ	セジロウンカ	トビイロウンカ	イネミズゾウムシ	ホソハリカメムシ	シラホシカメムシ	イネカメムシ	イネクロカメムシ	クモヘリカメムシ	アカヒゲホソミドリカスミカメ	アカスジカスミカメ	ニカメイガ	コブノメイガ	フタオビコヤガ	アワヨトウ	イチモンジカメムシ	クサギカメムシ	ホソヘリカメムシ	ツヤアオカメムシ	
4月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

水田 2019年	ツマダグロヨコバイ	ヒメトビウンカ	セジロウンカ	トビイロウンカ	イネミズゾウムシ	ホソハリカメムシ	シラホシカメムシ	イネカメムシ	イネクロカメムシ	クモヘリカメムシ	アカヒゲホソミドリカスミカメ	アカスジカスミカメ	ニカメイガ	コブノメイガ	フタオビコヤガ	アワヨトウ	イチモンジカメムシ	クサギカメムシ	ホソハリカメムシ	ツヤアオカメムシ
	5月1日	0	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
9日	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
10日	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1
15日	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	10
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0
20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
22日	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
23日	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1
24日	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
25日	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
31日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	0	0	0	1	0	0	1	6	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	1	0	0	0	5	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
15日	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	17	0	0	0	0	0	0	0	0	2
26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	9	0	0	0	0	1	1	0	0
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	1
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	9	0	0	0	0	0	0	0	0

水田 2019年	ツマゲロヨコバイ	ヒメトビウンカ	セジロウンカ	トビイロウンカ	イネミズゾウムシ	ホソハリカメムシ	シラホシカメムシ	イネカメムシ	イネクロカメムシ	クモヘリカメムシ	アカヒゲホソミドリカスミカメ	アカスジカスミカメ	ニカメイガ	コブノメイガ	フタオビコヤガ	アワヨトウ	イチモンジカメムシ	クサギカメムシ	ホソハリカメムシ	ツヤアオカメムシ
	7月1日	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
3日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	2	0	0
5日	0	3	0	0	9	1	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	1	0	1
6日	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
7日	0	1	0	0	15	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	1	0	0
8日	0	0	0	0	34	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1
9日	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
10日	0	0	0	0	37	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	3
11日	0	0	0	0	27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	1	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14日	0	1	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	2	0	0	3	1	0	4	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4	0	4
19日	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	6	0	0
20日	0	0	0	0	2	0	0	5	0	0	2	0	0	0	0	0	1	6	0	0
21日	0	1	0	0	1	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0
22日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0
23日	0	1	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25日	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	5	0	0	3	0	1	0	0	0	0	1	0	0	3	0	0
28日	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	3
29日	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0
30日	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	3	1	1
31日	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
8月1日	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
2日	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
3日	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	1	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	2
5日	0	0	0	0	1	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0
6日	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
7日	0	0	0	0	1	0	0	4	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
8日	0	5	0	0	1	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	2	0	3	0	0	0	1	0	3	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0
11日	0	1	0	2	0	0	0	2	0	1	0	3	0	0	1	0	0	1	0	0
12日	0	0	0	1	1	0	0	1	0	1	0	5	0	0	0	0	0	1	0	0
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0
14日	0	0	0	2	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	2	0	0	0	5	0	2	0	3	0	0	1	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	4	0	0	0	1	0	4	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0
17日	0	1	0	2	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3	0	0	0	0	1
18日	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	1	0	1	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
22日	0	1	0	0	0	0	0	3	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	14	0	0	0	0	0	3	0	3	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0
25日	0	18	2	0	0	0	0	1	3	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	3	0	0	0	0	0	1	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	1	1	0	0	0	0	2	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	4	3	0	0	1	1	2	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	1	2	0	3	0	0	5	8	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	1	0	1	0	0	0	6	4	4	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
31日	0	1	0	1	1	0	0	2	3	4	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0

水田 2019年	ツマダグロヨコバイ	ヒメトビウンカ	セジロウンカ	トビイロウンカ	イネミズゾウムシ	ホソハリカメムシ	シラホシカメムシ	イネカメムシ	イネクロカメムシ	クモヘリカメムシ	アカヒゲホソミドリカスミカメ	アカスジカスミカメ	ニカメイガ	コブノメイガ	フタオビコヤガ	アワヨトウ	イチモンジカメムシ	クサギカメムシ	ホソハリカメムシ	ツヤアオカメムシ
	9月1日	0	4	0	1	3	1	0	1	1	6	0	1	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0
3日	0	4	0	2	4	0	0	2	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	3	0	3	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	5	0	5	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
6日	0	1	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	2	0	2	0	0	0	0	0	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	1	0	2	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
11日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0
12日	1	3	0	1	0	0	0	2	1	2	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	2	0	0	0	1	4	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
31日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

b 県予察灯・畑地設置(松阪市嬉野川北町;100ワット水銀灯)

畑地 2020年	ア オ ク サ カ メ ム シ	チ ヤ バ ネ ア オ カ メ ム シ	ツ ヤ ア オ カ メ ム シ	ク サ ギ カ メ ム シ	ホ ソ ヘ リ カ メ ム シ	ホ ソ ハ リ カ メ ム シ	イ チ モ ン ジ カ メ ム シ	イ ネ ク ロ カ メ ム シ	シ ラ ホ シ カ メ ム シ	ド ウ ガ ネ フ イ フ イ	ヒ メ コ ガ ネ	ア オ ド ウ ガ ネ	ツ マ グ ロ ヨ コ バ イ	ヒ メ ト ビ ウ ン カ	セ ジ ロ ウ ン カ	ト ビ イ ロ ウ ン カ	イ ネ ミ ズ ソ ウ ム シ	イ ネ カ メ ム シ	ア カ ヒ グ ホ ソ ミ ド リ カ ス ミ カ メ	ア カ ス ジ カ ス ミ カ メ	ク モ ヘ リ カ メ ム シ	ミ ナ ミ ア オ カ メ ム シ
4月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
5月1日	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	0	0	0	0	1
2日	0	14	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	3
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
4日	0	30	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	2
5日	0	31	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	1
6日	0	2	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	1	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	8	42	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27	0	0	0	0	6
11日	0	142	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
12日	0	41	37	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
13日	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14日	0	265	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	12	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	107	131	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
18日	0	0	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
20日	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
21日	0	24	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30	0	0	2	0	5
22日	0	18	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	1	0	2
23日	0	34	12	1	0	0	0	7	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	3	0	2
24日	0	36	29	1	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	4
25日	0	3572	105	0	0	0	0	7	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
26日	0	27	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
27日	0	62	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	39	3	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
29日	0	112	13	0	0	0	0	6	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	36	35	0	0	0	0	5	0	0	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
31日	0	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

畑地 2020年	アオクサカメムシ	チャバネアオカメムシ	ツヤアオカメムシ	クサギカメムシ	ホソヘリカメムシ	ホソハリカメムシ	イチモンジカメムシ	イネクロカメムシ	シラホシカメムシ	ドウガネブイブイ	ヒメコガネ	アオドウガネ	ツマグロヨコバイ	ヒメトビウナカ	セジロウナカ	トビイロウナカ	イネミズノウムシ	イネカメムシ	アカヒゲホソミドリ カスミカメ	アカスジカスミカメ	クモヘリカメムシ	ミナミアオカメムシ
6月1日	0	46	42	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	11	0	2	
2日	0	305	38	0	0	0	0	31	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
3日	0	411	72	0	0	1	0	10	0	2	2	3	0	0	0	0	0	0	5	0	0	
4日	0	21	19	0	0	0	0	9	0	2	2	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	
5日	0	296	46	0	0	0	0	12	0	3	3	8	1	0	0	0	0	0	14	0	5	
6日	0	14	5	0	0	0	0	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	
7日	0	83	27	1	0	0	0	3	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	3	0	0	
8日	0	11	111	0	0	0	0	1	0	1	3	11	0	0	0	0	0	2	18	0	0	
9日	0	1	26	0	0	0	0	0	0	2	0	3	0	0	0	0	0	0	6	0	0	
10日	0	7	18	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	5	14	0	1	
11日	0	18	63	0	0	0	0	1	0	6	4	3	1	0	0	0	0	0	4	1	0	
12日	0	360	399	0	0	0	0	30	0	3	6	10	9	0	0	0	3	0	1	20	4	
13日	0	36	36	0	0	0	0	0	0	3	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
14日	0	161	220	3	0	0	1	0	0	8	3	6	10	0	0	0	0	5	15	0	2	
15日	0	8	30	0	0	0	0	0	0	8	1	10	0	0	0	0	0	1	2	0	2	
16日	0	4	3	0	0	0	0	4	0	5	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
17日	0	50	35	0	0	2	1	5	0	7	5	3	0	0	0	0	0	3	5	0	0	
18日	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
19日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3	3	0	0	
20日	0	10	18	0	0	0	1	0	0	4	1	4	0	0	0	0	0	0	3	1	0	
21日	0	1	1	0	0	0	0	2	0	6	2	4	0	0	0	0	0	0	18	0	0	
22日	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4	0	6	0	0	0	0	0	0	3	0	0	
23日	0	5	19	0	0	0	0	3	0	11	2	12	3	0	0	0	0	6	63	0	1	
24日	0	0	2	0	0	0	0	0	0	4	2	13	1	0	0	0	0	0	6	0	0	
25日	0	113	53	4	0	0	3	22	0	8	4	58	30	0	0	0	0	17	187	0	7	
26日	0	64	118	26	1	0	0	1	0	9	1	37	2	0	0	0	3	2	81	1	5	
27日	0	57	36	6	1	0	0	4	0	12	1	25	1	0	0	0	1	4	65	0	7	
28日	0	1	2	0	0	0	0	0	0	1	0	4	0	0	0	0	0	0	2	0	1	
29日	0	18	35	6	0	0	0	1	0	9	0	20	2	0	0	0	0	4	69	0	2	
30日	0	15	16	2	0	0	0	1	0	3	0	40	0	0	0	0	0	2	39	0	0	
7月1日	0	32	23	19	0	6	3	3	0	4	1	20	0	5	0	0	20	3	15	23	15	5
2日	0	33	8	6	0	0	0	2	0	5	4	5	1	0	0	0	0	2	14	0	3	
3日	0	7	12	0	0	0	0	0	0	1	0	5	0	0	0	0	0	0	5	0	0	
4日	0	24	18	12	0	0	0	1	0	5	3	9	1	1	1	0	15	1	5	26	1	1
5日	0	215	34	27	0	4	1	2	4	11	5	27	5	0	0	0	9	0	8	28	1	13
6日	0	17	22	16	0	0	0	0	0	6	0	27	0	3	0	0	11	0	4	13	0	13
7日	0	261	16	27	0	3	8	0	0	10	1	35	0	3	0	0	0	5	10	2	9	
8日	0	28	13	22	0	3	2	2	1	2	8	27	2	0	0	0	27	0	5	11	0	5
9日	0	4	7	0	0	0	0	0	0	0	1	30	0	1	0	0	0	0	0	0	4	
10日	0	15	38	37	0	0	0	3	0	5	5	32	2	2	0	0	17	1	0	1	2	11
11日	0	125	70	71	2	1	10	3	0	9	9	29	8	2	0	0	16	4	8	18	1	28
12日	0	5	1	1	0	0	0	0	0	6	0	23	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
13日	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	16	0	4	0	0	0	2	4	0	1	
14日	0	10	5	1	0	0	0	0	0	2	7	20	2	8	0	0	3	0	15	30	0	3
15日	0	1	0	2	0	0	0	0	0	5	2	10	0	2	0	0	5	0	0	1	0	0
16日	0	15	4	9	0	0	1	1	0	8	4	31	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1
17日	0	9	11	1	1	0	1	0	0	1	6	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	93	90	52	1	1	4	1	0	9	11	41	18	0	0	0	0	1	29	0	3	
19日	0	50	45	57	1	0	9	1	0	20	16	57	7	0	0	0	0	1	4	16	1	5
20日	0	45	24	33	1	0	11	2	0	14	6	45	5	0	0	0	2	5	28	0	0	
21日	0	29	23	38	0	0	4	0	0	18	13	49	2	1	0	0	1	1	1	10	0	0
22日	0	15	14	18	0	0	4	0	0	12	8	29	1	1	0	0	0	3	20	0	1	
23日	0	31	13	32	2	1	9	0	0	4	8	23	27	7	0	0	0	1	4	40	1	0
24日	0	27	6	16	0	1	7	1	0	7	10	24	11	5	0	0	8	0	0	55	0	0
25日	0	13	4	14	0	0	2	0	0	1	10	22	4	3	0	0	0	0	25	0	0	
26日	0	2	11	1	0	0	0	0	0	0	6	24	0	1	0	0	0	1	4	0	0	
27日	0	183	53	218	1	1	7	0	0	5	22	36	21	6	0	0	7	0	0	26	1	0
28日	0	69	57	57	0	0	0	1	0	5	16	41	3	0	0	0	2	1	1	7	0	0
29日	0	70	12	42	0	0	5	0	0	8	30	29	2	14	0	0	1	0	0	9	2	0
30日	0	49	36	86	0	0	7	0	0	4	25	16	7	3	0	0	5	0	0	6	0	0
31日	0	21	25	33	0	0	0	0	0	4	30	13	0	9	0	0	5	0	0	5	0	0

畑地 2020年	アオクサカメムシ	チャバネアオカメムシ	ツヤアオカメムシ	クサギカメムシ	ホソヘリカメムシ	ホソハリカメムシ	イチモンジカメムシ	イネクロカメムシ	シラホシカメムシ	ドウガネブイブイ	ヒメコガネ	アオドウガネ	ツマグロヨコバイ	ヒメトビウンカ	セジロウンカ	トビイロウンカ	イネミズノウムシ	イネカメムシ	アカヒゲホソミドリ カスミカメ	アカスジカスミカメ	クモヘリカメムシ	ミナミアオカメムシ
8月1日	0	34	11	44	0	0	3	0	0	17	33	13	3	14	0	0	0	0	0	4	1	1
2日	0	56	10	33	0	1	0	0	0	12	36	9	11	101	0	0	4	4	0	2	2	1
3日	0	45	20	53	0	0	2	1	0	8	36	19	7	83	0	0	2	4	0	5	2	0
4日	0	14	7	33	0	0	0	0	0	4	19	6	0	12	0	0	0	1	0	1	0	0
5日	0	34	6	15	2	0	0	0	0	6	28	14	8	134	0	0	7	4	0	0	10	1
6日	0	46	14	18	1	0	1	0	0	7	37	18	8	233	0	0	0	3	0	12	0	0
7日	0	62	15	23	2	4	0	0	0	13	29	27	6	372	0	0	0	4	0	50	9	0
8日	0	52	7	10	1	3	0	1	0	19	45	17	7	472	0	0	0	3	0	63	14	0
9日	0	16	9	12	0	0	0	0	0	8	35	15	12	22	1	2	0	0	0	25	3	0
10日	0	31	15	14	0	0	0	0	0	18	39	33	0	177	0	0	0	2	0	44	12	0
11日	0	56	17	18	0	0	0	0	0	12	47	24	3	242	0	0	0	1	1	83	33	1
12日	0	49	15	5	0	0	0	0	0	33	47	42	0	35	0	0	0	8	0	49	2	1
13日	0	67	20	4	0	1	1	0	0	13	59	36	0	77	0	0	0	4	0	90	35	3
14日	0	48	12	5	0	1	0	1	0	17	52	36	1	328	0	0	0	3	0	47	68	14
15日	0	38	14	0	0	7	0	0	0	14	35	37	0	51	0	0	0	3	0	39	17	17
16日	0	30	22	3	1	3	0	0	0	8	40	39	0	149	0	0	0	1	0	27	72	10
17日	0	29	11	2	0	0	0	0	0	13	25	35	4	408	0	0	0	0	3	53	243	13
18日	0	11	14	1	1	0	0	0	0	4	20	23	1	200	0	0	0	3	2	14	24	17
19日	0	10	12	0	1	1	0	0	0	6	27	16	0	54	0	0	0	7	0	9	18	20
20日	0	14	9	5	3	5	0	0	0	5	27	25	2	134	0	0	0	10	0	20	27	33
21日	0	23	5	1	0	7	0	1	0	4	16	34	4	307	0	0	0	34	0	29	38	67
22日	0	7	6	1	0	1	0	0	0	6	11	23	4	167	0	0	0	1	0	12	6	23
23日	0	14	5	0	0	1	0	2	0	2	10	13	0	67	0	0	0	2	1	19	1	49
24日	0	18	6	3	1	4	0	3	0	1	10	9	5	250	0	0	0	14	2	34	37	66
25日	0	8	3	1	0	42	2	67	0	2	15	4	0	658	0	0	0	16	0	77	71	127
26日	0	20	1	0	0	2	0	29	0	2	2	4	6	860	0	0	0	7	1	23	20	61
27日	0	33	8	1	0	3	0	24	0	2	14	21	16	76	0	0	0	4	0	2	13	120
28日	0	27	4	2	0	3	0	86	0	7	26	40	70	92	0	0	0	10	0	5	16	101
29日	0	19	1	1	0	8	0	137	0	8	11	28	195	290	0	0	0	13	0	15	21	150
30日	0	7	0	0	0	1	5	113	0	8	8	19	0	249	0	0	0	13	0	18	15	239
31日	0	17	0	1	0	2	2	63	0	10	8	16	157	719	0	0	0	22	0	25	44	339
9月1日	0	7	1	0	0	0	0	1	0	5	4	16	160	2629	0	0	4	0	0	99	53	84
2日	0	7	0	2	0	0	0	0	0	2	0	10	0	542	0	0	2	0	0	0	5	101
3日	0	16	1	0	0	2	0	61	0	2	9	19	81	2194	0	0	2	4	0	23	30	246
4日	0	2	8	1	0	0	1	24	0	1	7	22	366	1200	0	0	0	2	0	62	23	116
5日	0	11	6	1	0	0	2	39	0	7	6	11	125	1335	0	0	0	9	0	33	17	107
6日	0	0	0	0	0	0	0	3	0	1	1	10	0	340	0	0	0	1	0	0	5	39
7日	0	2	0	1	0	0	4	2	0	3	2	14	19	401	0	0	0	0	0	7	1	331
8日	0	13	0	1	0	0	3	30	0	7	4	24	211	608	0	0	2	4	0	62	13	314
9日	0	0	0	1	0	1	0	1	0	3	1	11	9	66	0	0	0	0	0	10	0	95
10日	0	3	0	1	1	0	1	4	0	1	4	22	43	122	0	0	0	0	0	8	6	136
11日	0	12	5	0	0	0	5	10	0	1	1	20	74	134	0	0	0	0	0	31	2	93
12日	0	27	22	6	1	2	2	21	0	4	2	17	153	74	0	0	0	1	0	51	6	303
13日	0	6	4	0	0	0	3	21	0	0	6	18	34	26	0	0	0	0	0	17	1	118
14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	1	3	0	0	0	0	0	7	0	24
15日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	12	34	33	0	0	0	0	0	13	1	29
16日	0	3	6	0	0	0	1	16	0	1	5	21	44	6	0	0	0	0	0	29	5	133
17日	0	26	9	1	0	2	0	53	3	1	1	14	214	70	0	0	0	1	0	97	8	86
18日	0	3	2	0	0	0	0	0	0	0	2	12	3	7	0	0	0	0	0	3	1	45
19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	11	5	0	0	0	0	0	4	0	46
20日	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	5	1	2	0	0	0	0	0	5	0	29
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	1	0	0	0	0	0	7	0	12
22日	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	7	1	11	0	0	0	0	0	15	0	16
23日	0	1	2	0	0	0	0	3	0	0	0	4	1	1	0	0	0	0	0	1	0	25
24日	0	5	10	0	3	0	1	5	0	0	0	8	6	51	0	0	0	0	0	53	2	297
25日	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	0	1	0	0	0	0	0	3	0	50
26日	0	2	1	0	2	0	0	0	0	0	0	5	0	1	0	0	0	0	0	1	0	9
27日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	9	1	12
29日	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	4
30日	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	14	0	12



畑地 2020年	アオクサカメムシ	チャバネアオカメムシ	ツヤアオカメムシ	クサギカメムシ	ホソヘリカメムシ	ホソハリカメムシ	イチモンジカメムシ	イネクロカメムシ	シラホシカメムシ	ドウガネブイブイ	ヒメコガネ	アオドウガネ	ツマグロヨコバイ	ヒメトビウナカ	セジロウナカ	トビイロウナカ	イネミズノウムシ	イネカメムシ	アカヒゲホソミドリ カスミカメ	アカスジカスミカメ	クモヘリカメムシ	ミナミアオカメムシ
10月1日	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	10
2日	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	2	0	0	0	1	0	4	0	95
3日	0	10	7	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	1	56
4日	0	3	4	0	1	0	0	0	0	0	0	4	0	2	0	0	0	0	0	0	4	37
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
6日	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
9日	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	12	0	1
11日	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	18	0	2
12日	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	11
13日	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
31日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
11月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
18日	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0

c 地区予察灯 (60ワット白熱灯)

地区 2020年	ウンカ・ヨコバイ類										カメムシ類													
	紀北町				御浜町				伊賀市				紀北町				御浜町				伊賀市			
	セジロウンカ	トビイロウンカ	ヒメトビウンカ	ツマグロヨコバイ	セジロウンカ	トビイロウンカ	ヒメトビウンカ	ツマグロヨコバイ	セジロウンカ	トビイロウンカ	ヒメトビウンカ	ツマグロヨコバイ	ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ	トゲシラホシカメムシ	その他	ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ	トゲシラホシカメムシ	その他	ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ	トゲシラホシカメムシ	その他
4月1日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
2日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
3日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
4日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
5日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
6日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
7日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
8日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
9日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
10日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
11日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
12日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
13日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
14日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
15日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
16日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
17日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
18日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
19日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
20日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
21日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
22日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
23日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
24日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
25日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
26日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
27日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
28日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
29日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
30日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
5月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
31日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

地区 2020年	ウンカ・ヨコバイ類											カメムシ類												
	紀北町				御浜町				伊賀市			紀北町				御浜町			伊賀市					
	セジロウンカ	トビイロウンカ	ヒメトビウンカ	ツマグロヨコバイ	セジロウンカ	トビイロウンカ	ヒメトビウンカ	ツマグロヨコバイ	セジロウンカ	トビイロウンカ	ヒメトビウンカ	ツマグロヨコバイ	ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ	トゲシラホシカメムシ	その他	ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ	トゲシラホシカメムシ	その他	ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ	トゲシラホシカメムシ	その他
6月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25日	0	0	0	1	0	0	1	0	5	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3
11日	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
12日	0	0	0	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14日	1	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	1	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
19日	0	0	0	1	3	0	0	1	0	0	0	4	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	2
20日	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0
22日	0	0	2	0	5	0	0	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	1
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
26日	0	0	1	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	5	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
28日	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	5	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
31日	0	0	0	0	4	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

地区 2020年	ウンカ・ヨコバイ類												カメムシ類											
	紀北町				御浜町				伊賀市				紀北町				御浜町				伊賀市			
	セジロウンカ	トビイロウンカ	ヒメトビウンカ	ツマグロヨコバイ	セジロウンカ	トビイロウンカ	ヒメトビウンカ	ツマグロヨコバイ	セジロウンカ	トビイロウンカ	ヒメトビウンカ	ツマグロヨコバイ	ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ	トゲシラホシカメムシ	その他	ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ	トゲシラホシカメムシ	その他	ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ	トゲシラホシカメムシ	その他
8月1日	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	2	0	3	1	3	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	2	0	2	1	1	0	0	0	0	0	2	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	2	0	3	0	1	0	0	1	0	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	2	0	4	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	1	0	3	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
7日	1	0	5	0	2	0	0	3	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0
8日	1	0	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	5	3	7	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	15	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
10日	3	2	3	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	35	0	0	0	16	0	0	0	0	0	0
11日	3	1	4	2	1	0	0	0	0	0	2	4	0	72	0	0	0	2	0	0	0	5	0	2
12日	4	2	3	5	0	0	0	0	0	0	1	0	0	69	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0
13日	6	3	5	2	0	0	1	0	0	2	3	0	0	34	0	0	0	14	0	0	0	1	0	3
14日	4	2	3	1	0	0	0	0	0	3	8	2	0	43	0	0	0	3	0	0	0	5	0	0
15日	3	1	4	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	49	0	0	0	2	0	0	0	2	0	3
16日	2	1	2	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	48	0	0	0	15	0	0	0	13	0	6
17日	2	0	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	73	0	0	0	10	0	0	1	6	0	0
18日	3	2	4	0	3	0	1	0	0	2	6	1	0	35	0	0	0	24	0	0	0	3	0	0
19日	2	1	1	2	0	0	0	0	0	0	1	1	0	15	0	0	0	26	0	0	0	8	0	5
20日	2	0	1	4	2	0	0	0	0	0	0	1	0	14	0	0	1	17	0	0	1	3	0	1
21日	3	1	2	7	0	0	0	1	0	0	0	1	0	12	0	0	0	14	1	0	0	3	0	1
22日	3	0	2	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	18	0	0	0	5	0	0	0	0	0	2
23日	2	1	3	6	0	0	1	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0
24日	1	0	3	12	1	1	6	0	0	1	2	0	0	1	0	0	0	4	0	0	0	6	0	2
25日	3	2	4	7	1	0	3	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0
26日	2	1	3	2	5	0	2	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	1	0	3	5	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
28日	1	1	2	3	1	0	2	0	0	0	7	1	0	0	5	0	0	3	0	0	0	0	0	0
29日	1	0	4	4	2	0	0	0	0	27	14	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
30日	3	1	2	6	4	0	1	0	0	6	4	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0
31日	4	0	3	4	5	1	3	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	5
9月1日									0	4	0	0									0	0	0	3
2日									0	1	1	0									0	0	0	2
3日									0	40	1	0									0	2	0	1
4日									1	19	0	1									0	2	0	0
5日									1	10	0	1									0	0	0	0
6日									0	0	0	0									0	0	0	0
7日									0	7	0	0									0	1	0	0
8日									0	6	1	0									0	0	0	0
9日									0	4	0	0									0	0	0	0
10日									0	2	0	0									0	0	0	0
11日									0	1	0	1									0	0	0	0
12日									0	5	7	1									0	0	0	3
13日									1	3	0	1									0	0	0	0
14日									0	1	0	0									0	0	0	0
15日									0	2	0	0									0	0	0	0
16日									2	2	0	0									0	1	0	0
17日									0	0	0	0									0	0	0	1
18日									1	15	1	0									0	0	0	0
19日									0	0	0	0									0	0	0	0
20日									0	1	0	0									0	0	0	0
21日									0	2	0	0									0	0	0	0
22日									1	1	0	0									0	0	0	0
23日									0	12	5	0									0	0	0	1
24日									22	54	10	0									0	0	0	1
25日									0	3	2	0									0	0	0	0
26日									1	8	1	0									0	0	0	0
27日									1	1	0	0									0	0	0	0
28日									0	0	0	0									0	0	0	0
29日									0	0	0	0									0	0	0	0
30日									0	3	0	0									0	0	0	0

d 県予察灯・畑地設置(南牟婁郡御浜町農業研究所紀南果樹研究室; 100ワット水銀

畑地 2020年	ア オク サカ メム シ	ミ ナ ミ ア オカ メム シ	チ ヤ バ ネ ア オカ メム シ	ツ ヤ ア オカ メム シ	ク サ ギ カ メム シ	コ カ ク モ ン ハ マ キ	チ ヤ ハ マ キ	ア カ エ グ リ バ	ヒ メ エ グ リ バ
4月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	1	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	1	0	0	0
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	0	3	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	0	1	0	0	0
12日	0	0	1	0	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	1	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	3	0	0	1	0	0
17日	0	0	0	43	0	3	0	0	0
18日	0	0	0	2	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	14	0	1	1	0	0
20日	0	0	0	8	0	0	0	0	0
21日	0	0	0	19	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	1	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	1	0	0	0	0	0
25日	0	0	0	0	0	1	0	0	0
26日	0	0	2	21	0	6	0	0	0
27日	0	0	0	0	0	0	1	0	0
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	1	23	0	1	0	0	0
30日	0	0	1	72	0	1	0	0	0
5月1日	0	0	7	220	0	0	0	0	0
2日	0	0	6	254	0	1	0	0	0
3日	0	0	0	85	0	0	0	0	0
4日	0	0	2	152	0	0	0	0	0
5日	0	0	6	545	0	0	0	0	0
6日	0	0	1	469	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	14	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	110	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	314	0	0	0	0	0
10日	0	0	58	2,393	1	0	0	0	0
11日	0	0	34	381	0	0	1	0	0
12日	0	0	9	305	0	0	2	0	0
13日	0	0	3	37	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	25	0	4	1	0	0
15日	0	0	1	67	0	0	1	0	0
16日	0	0	0	89	0	0	0	0	0
17日	0	0	23	176	0	0	0	0	0
18日	0	0	1	36	0	0	0	0	0
19日	0	0	20	81	0	0	1	0	0
20日	0	0	5	8	0	1	0	0	0
21日	0	0	0	9	0	1	1	0	0
22日	0	0	1	17	0	0	0	0	0
23日	0	0	5	12	0	1	1	0	0
24日	0	0	2	15	1	0	0	0	0
25日	0	0	2	28	0	0	0	0	0
26日	0	0	2	6	0	1	0	0	0
27日	0	0	27	15	0	0	0	0	0
28日	0	0	1	4	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	3	0	1	0	0	0
30日	0	0	2	2	0	0	0	0	0
31日	0	0	0	0	0	0	1	0	0

畑地 2020年	ア オク サカ メム シ	ミ ナ ミ ア オカ メム シ	チ ヤ バ ネ ア オカ メム シ	ツ ヤ ア オカ メム シ	ク サ ギ カ メム シ	コ カ ク モ ン ハ マ キ	チ ヤ ハ マ キ	ア カ エ グ リ バ	ヒ メ エ グ リ バ
6月1日	0	0	4	15	0	1	1	0	0
2日	0	0	12	14	0	0	1	0	0
3日	0	0	13	17	1	1	2	0	0
4日	0	0	1	5	0	1	0	0	0
5日	0	0	21	3	0	2	2	0	0
6日	0	0	0	0	0	1	1	0	0
7日	0	0	1	2	0	0	0	0	0
8日	0	0	4	10	0	3	3	0	0
9日	0	0	4	2	0	1	0	0	0
10日	0	0	11	4	0	1	1	0	0
11日	0	0	5	1	0	2	4	0	0
12日	0	0	79	36	1	0	1	0	0
13日	0	0	30	7	0	0	1	0	0
14日	0	0	23	13	0	0	2	0	0
15日	0	0	61	36	1	1	1	0	0
16日	0	0	10	2	0	0	0	0	0
17日	0	0	3	0	0	0	5	0	0
18日	0	0	0	0	0	0	1	0	0
19日	0	0	1	2	0	1	2	0	0
20日	0	0	5	0	0	2	3	0	0
21日	0	0	2	3	0	0	0	0	0
22日	0	0	82	1	0	0	1	0	0
23日	0	1	35	3	0	2	2	0	0
24日	0	0	26	1	1	1	1	0	0
25日	0	0	112	2	3	1	4	0	0
26日	0	1	80	2	1	1	1	0	0
27日	0	0	113	1	2	0	3	0	0
28日	0	0	22	1	1	0	0	0	0
29日	0	0	31	3	1	3	4	0	0
30日	0	0	41	0	0	1	0	0	0
7月1日	0	0	16	0	4	2	1	0	0
2日	0	2	18	1	7	0	0	0	0
3日	0	0	6	1	0	0	1	0	0
4日	0	1	33	1	0	2	0	0	0
5日	0	0	78	1	1	0	0	0	0
6日	0	0	35	1	1	1	1	0	0
7日	0	0	40	2	3	0	0	0	0
8日	0	0	9	0	0	1	4	0	0
9日	0	0	9	0	0	0	3	0	0
10日	0	1	22	1	2	1	2	0	0
11日	0	0	25	1	2	0	1	0	0
12日	0	0	3	2	1	0	0	0	0
13日	0	0	4	1	1	0	0	0	0
14日	0	0	17	1	1	0	2	0	0
15日	0	0	8	0	0	0	1	0	0
16日	0	0	1	0	0	0	2	0	0
17日	0	0	4	0	0	0	1	0	0
18日	0	0	5	0	1	0	0	0	0
19日	0	0	13	2	2	0	1	0	0
20日	0	0	16	0	2	0	0	0	0
21日	0	0	18	0	3	0	0	0	0
22日	0	0	6	0	4	0	5	0	1
23日	0	0	8	0	7	5	7	0	0
24日	0	0	8	1	2	1	2	0	0
25日	0	0	7	1	0	0	4	0	0
26日	0	0	3	2	0	1	1	0	0
27日	0	0	6	1	1	0	3	0	0
28日	0	0	11	1	4	0	1	0	0
29日	0	0	14	3	18	0	4	0	0
30日	誘蛾灯不良につき29日分と30日分が同じ箱に入ったためま								
31日	0	0	7	1	8	0	0	0	0

畑地 2020年	アオクサカメムシ	ミナミアオカメムシ	チャバナアオカメムシ	ツヤアオカメムシ	クサギカメムシ	コカクモンハマキ	チャハマキ	アカエグリバ	ヒメエグリバ
	8月1日	0	0	13	3	16	1	0	0
2日	誘蛾灯不良につき1日と2日が同じ箱に入った								
3日	0	0	5	1	6	0	0	0	0
4日	0	0	4	1	6	0	0	0	0
5日	0	0	1	3	6	0	1	0	0
6日	0	0	11	0	6	0	0	0	0
7日	0	0	10	2	6	0	0	0	0
8日	0	0	7	2	3	0	3	0	1
9日	0	1	5	2	5	1	1	0	0
10日	0	0	8	5	2	0	0	0	0
11日	0	0	10	1	6	0	0	0	0
12日	0	0	11	0	1	0	0	0	0
13日	0	0	10	2	3	0	1	0	0
14日	0	0	11	2	0	1	0	0	0
15日	0	0	10	4	0	2	0	0	0
16日	0	0	13	1	1	0	0	0	0
17日	0	0	18	1	1	0	0	0	0
18日	0	0	11	1	5	0	0	0	0
19日	0	0	13	3	1	0	0	0	0
20日	0	1	17	3	1	0	0	0	0
21日	0	0	71	8	2	1	0	0	0
22日	0	0	39	5	1	0	2	0	0
23日	0	0	30	8	3	1	0	0	0
24日	0	0	0	1	0	0	0	0	0
25日	0	0	13	1	2	0	0	0	0
26日	0	0	43	6	1	0	0	0	0
27日	0	0	59	3	4	0	0	0	0
28日	2	0	30	2	3	0	0	0	0
29日	0	0	30	5	1	1	1	0	0
30日	0	1	26	2	1	0	0	0	0
31日	0	0	24	6	2	0	0	0	0
9月1日	0	0	23	3	0	0	1	0	0
2日	0	1	54	5	5	0	0	0	0
3日	0	0	12	0	6	0	0	0	0
4日	0	1	48	5	2	0	0	0	0
5日	0	0	26	6	0	0	1	0	0
6日	0	0	32	0	1	0	0	0	0
7日	0	0	21	0	2	2	1	0	0
8日	0	0	7	2	1	0	0	0	0
9日	0	0	5	1	0	0	0	0	0
10日	0	1	7	1	1	1	0	0	0
11日	0	0	24	14	2	1	1	0	0
12日	0	0	18	14	3	0	0	0	0
13日	0	0	0	2	1	1	0	0	0
14日	0	0	4	3	0	0	0	0	0
15日	0	0	15	7	0	0	0	0	0
16日	0	0	8	17	0	1	3	0	0
17日	0	0	9	46	0	0	0	0	0
18日	0	0	32	58	0	0	0	0	0
19日	0	0	4	6	0	0	2	0	0
20日	0	0	0	2	0	0	0	0	0
21日	0	0	6	9	1	0	0	0	0
22日	0	0	3	7	0	0	1	0	0
23日	0	0	4	8	0	0	0	0	0
24日	0	0	30	73	0	0	0	0	0
25日	0	1	4	56	0	0	0	0	0
26日	0	0	17	61	0	0	0	0	0
27日	0	0	5	21	0	0	0	0	0
28日	0	1	21	187	0	0	0	0	0
29日	0	0	2	16	0	0	0	0	0
30日	0	0	3	21	0	0	0	0	0

畑地 2020年	アオクサカメムシ	ミナミアオカメムシ	チャバナアオカメムシ	ツヤアオカメムシ	クサギカメムシ	コカクモンハマキ	チャハマキ	アカエグリバ	ヒメエグリバ
	10月1日	0	0	1	13	0	0	0	0
2日	0	0	2	8	0	0	0	0	0
3日	0	0	11	38	0	0	0	0	0
4日	0	0	10	35	0	0	0	0	0
5日	0	0	0	7	0	0	0	0	0
6日	0	0	5	19	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	16	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	49	0	1	0	0	0
9日	0	0	0	1	0	0	0	0	0
10日	0	0	3	5	0	0	0	0	0
11日	0	0	8	28	0	0	0	0	0
12日	0	0	9	17	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	14	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	9	0	0	0	0	0
15日	0	0	1	3	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	2	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	2	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	1	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	1	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	1	0	0	0	0	0
21日	0	0	0	17	0	0	0	0	0
22日	0	0	1	97	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	1	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	3	0	0	0	0	0
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	2	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
31日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11月1日	0	0	0	1	0	0	0	0	0
2日	0	0	1	7	0	1	0	0	0
3日	0	0	0	1	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	1	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	15	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	1	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	1	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	1	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	2	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	0	1	2	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	4	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	1	0	0	0	0	0
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	2	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0

## (2)フェロモントラップ

## a ガ類(フェロモントラップ)

2020

月	半 旬	チャノココク モンハマキ	チャハマキ	ナシヒメ シンクイ
1月	1			
	2			
	3			
	4			
	5			
	6			
2月	1			
	2			
	3			
	4			
	5			
	6			
3月	1			0
	2			0
	3			0
	4			0
	5			12
	6			2
4月	1	0	0	0
	2	1	2	12
	3	3	2	8
	4	4	0	3
	5	20	8	1
	6	28	18	0
5月	1	29	12	4
	2	12	4	0
	3	2	7	1
	4	5	1	0
	5	2	6	2
	6	1	1	1
6月	1	0	0	7
	2	3	0	18
	3	12	5	13
	4	12	3	8
	5	8	1	7
	6	11	0	5
7月	1	2	1	4
	2	1	0	4
	3	0	0	13
	4	1	0	19
	5	1	0	12
	6	5	0	9
8月	1	1	0	7
	2	6	1	12
	3	1	0	5
	4	3	1	19
	5	1	0	17
	6	1	0	5
9月	1	0	0	6
	2	2	0	18
	3	2	0	13
	4	4	0	9
	5	2	0	16
	6	2	0	17
10月	1	3	1	6
	2	5	5	4
	3	7	1	5
	4	2	2	3
	5	7	0	0
	6	17	0	0
11月	1	8	0	0
	2	11	1	0
	3	6	2	0
	4	2	1	0
	5	0	1	1
	6	0	1	0
12月	1	0		
	2	0		
	3	2		
	4	0		
	5	0		
	6	0		

b コガネムシ類(フェロモントラップ)

		ヒメコガネ		マメコガネ		ドウガネブイブイ	
		2020年	平年値	2020年	平年値	2020年	平年値
5月	上旬	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0
	中旬	0.1	0.0	0.2	0.0	1.1	1.0
	下旬	0.0	0.0	2.3	2.0	6.5	16.0
6月	上旬	0.1	0.0	14.0	8.0	8.1	19.2
	中旬	0.4	0.0	53.2	20.0	9.4	14.0
	下旬	1.4	5.0	27.1	10.0	9.1	13.8
7月	上旬	2.5	5.8	16.8	1.7	4.5	6.7
	中旬	6.4	15.2	17.5	8.3	1.7	4.3
	下旬	17.2	27.5	32.0	7.1	0.8	4.7
8月	上旬	25.2	23.5	24.1	9.9	0.7	2.3
	中旬	15.8	38.4	23.7	17.8	0.0	2.0
	下旬	6.2	23.9	14.3	9.6	0.0	0.0
9月	上旬	2.0	2.8	10.2	12.8	0.0	0.0
	中旬	0.9	0.8	3.8	1.5	0.0	0.0
	下旬	0.2	0.2	2.0	0.3	0.0	0.0
10月	上旬	0.1	0.0	2.8	0.0	0.0	0.0
	中旬	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	下旬	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
11月	上旬	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中旬	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	下旬	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計		78.6	143.0	244.1	109.0	42.3	84.0



c 果樹カメムシ類(フェロモントラップ誘殺数)

チャバネアオカメムシ

月・週	津市白山町川口	
	平年	2020年
4月.1	0.0	
2	5.0	2.3
3	17.8	6.2
4	30.4	21.2
5月.1	52.8	56.6
2	48.0	72.7
3	66.3	65.0
4	74.4	308.3
6月.1	56.7	354.7
2	132.3	344.5
3	162.2	285.9
4	202.5	268.1
7月.1	343.2	357.5
2	399.7	863.3
3	349.5	636.7
4	287.3	656.0
8月.1	313.0	830.5
2	190.9	874.1
3	94.1	532.4
4	61.9	145.3
9月.1	67.3	195.8
2	73.8	141.0
3	87.9	22.0
4	62.5	66.0
10月.1	58.0	71.2
2	43.3	26.6
3	16.2	11.3
4	10.4	0.6
11月.1	8.5	0.4
2	4.1	0.0
3	0.5	0.0
4	0.2	0.0

月・週	津市白山町二本木	
	平年	2020年
4月.1	0.0	
2	5.2	1.1
3	22.0	5.4
4	32.4	28.0
5月.1	84.6	80.5
2	85.8	152.0
3	143.1	149.0
4	132.9	353.3
6月.1	155.3	402.7
2	272.0	510.0
3	298.2	695.1
4	332.2	591.4
7月.1	450.9	788.5
2	495.8	966.7
3	552.9	1061.8
4	527.1	1152.3
8月.1	532.0	1430.3
2	407.5	1376.9
3	290.3	983.1
4	139.8	116.4
9月.1	94.2	38.4
2	59.6	18.2
3	34.1	5.9
4	18.8	17.6
10月.1	18.4	18.4
2	11.5	5.0
3	4.7	2.3
4	1.6	0.0
11月.1	1.3	1.3
2	0.8	1.8
3	0.2	1.6
4	0.0	1.2

月・週	松阪市嬉野川北町	
	平年	2020年
4月.1	0.0	
2	0.1	0.0
3	2.0	0.0
4	3.2	0.0
5月.1	22.0	21.5
2	51.0	30.7
3	92.3	39.8
4	39.8	133.4
6月.1	21.7	115.3
2	20.6	96.8
3	27.9	123.1
4	34.5	130.7
7月.1	63.2	232.4
2	121.6	421.8
3	148.5	495.4
4	112.5	406.8
8月.1	98.3	541.6
2	87.1	597.2
3	59.6	264.1
4	30.1	75.2
9月.1	30.0	11.7
2	23.8	4.2
3	14.5	4.0
4	7.3	1.7
10月.1	7.8	1.3
2	4.8	1.1
3	2.8	0.4
4	1.5	0.0
11月.1	0.9	0.0
2	0.4	0.5
3	0.0	0.8
4	0.0	0.6

ツヤアオカメムシ

月・週	津市白山町川口	
	平年	2020年
4月.1	0.0	
2	0.1	0.0
3	0.1	0.0
4	0.5	0.9
5月.1	1.8	6.9
2	1.4	30.7
3	2.3	6.5
4	1.3	8.0
6月.1	3.0	12.0
2	6.2	17.5
3	5.4	11.4
4	2.8	2.6
7月.1	3.5	3.5
2	2.6	4.0
3	3.1	4.0
4	3.5	2.8
8月.1	1.5	1.8
2	1.5	2.6
3	0.6	0.9
4	1.1	3.5
9月.1	2.3	2.8
2	3.7	5.7
3	5.1	2.4
4	5.1	7.3
10月.1	6.1	8.1
2	7.3	1.2
3	3.7	0.0
4	2.3	0.0
11月.1	2.5	0.0
2	1.2	0.0
3	0.1	0.0
4	0.1	0.0

月・週	津市白山町二本木	
	平年	2020年
4月.1	0.0	
2	0.2	0.0
3	1.0	0.0
4	1.2	0.3
5月.1	2.3	1.4
2	3.3	3.8
3	5.7	1.5
4	7.1	4.7
6月.1	8.2	5.3
2	10.2	1.3
3	4.4	4.0
4	1.7	0.8
7月.1	1.1	1.0
2	1.0	0.0
3	0.7	0.0
4	0.5	0.8
8月.1	0.6	2.3
2	0.9	2.4
3	0.8	6.6
4	0.3	0.0
9月.1	1.0	0.0
2	1.0	0.0
3	1.4	0.0
4	1.3	0.0
10月.1	2.0	0.0
2	1.8	0.0
3	0.9	0.7
4	0.5	0.3
11月.1	0.5	0.0
2	0.2	0.0
3	0.1	0.0
4	0.1	0.0

月・週	松阪市嬉野川北町	
	平年	2020年
4月.1	0.0	
2	0.1	0.4
3	0.5	0.6
4	0.7	0.0
5月.1	2.4	8.0
2	4.4	12.9
3	5.7	18.1
4	3.9	16.7
6月.1	1.2	14.2
2	0.9	5.4
3	1.1	1.0
4	0.7	0.9
7月.1	0.4	1.1
2	0.4	0.7
3	0.8	0.0
4	0.7	1.3
8月.1	0.3	2.0
2	0.3	7.9
3	0.2	11.1
4	0.4	9.4
9月.1	1.0	1.3
2	1.5	1.6
3	4.3	5.1
4	4.9	5.1
10月.1	9.8	2.0
2	8.5	0.8
3	9.3	0.0
4	4.9	0.0
11月.1	3.5	0.0
2	1.5	0.0
3	0.1	0.0
4	0.0	0.0

クサギカメムシ

月・週	津市白山町川口	
	平年	2020年
4月.1	0.0	
2	0.0	0.0
3	0.2	0.0
4	0.7	0.0
5月.1	4.6	1.3
2	5.1	9.7
3	8.2	4.0
4	5.9	19.7
6月.1	6.7	29.3
2	11.1	22.8
3	6.0	11.9
4	3.5	1.9
7月.1	4.4	2.5
2	9.2	5.3
3	8.9	6.2
4	5.5	6.3
8月.1	5.6	1.8
2	3.4	0.5
3	2.2	0.0
4	2.3	5.3
9月.1	3.5	4.6
2	4.5	8.1
3	7.9	0.7
4	8.6	2.1
10月.1	22.7	2.1
2	20.6	0.0
3	7.0	0.0
4	4.0	0.0
11月.1	0.7	0.0
2	0.1	0.0
3	0.1	0.0
4	0.0	0.0

月・週	津市白山町二本木	
	平年	2020年
4月.1	0.0	
2	0.0	0.0
3	0.3	0.0
4	2.0	0.6
5月.1	11.9	2.4
2	23.6	6.0
3	36.4	14.0
4	41.8	19.7
6月.1	52.0	25.3
2	73.7	11.0
3	38.7	9.4
4	15.4	1.1
7月.1	10.5	1.5
2	9.9	1.7
3	7.6	4.3
4	4.1	3.4
8月.1	3.5	0.6
2	2.7	0.7
3	1.7	2.3
4	1.4	0.0
9月.1	1.9	0.0
2	1.7	0.0
3	1.9	0.0
4	1.9	0.0
10月.1	1.9	0.0
2	1.4	0.0
3	0.4	0.0
4	0.3	0.0
11月.1	0.0	0.0
2	0.0	0.0
3	0.0	0.0
4	0.0	0.0

月・週	松阪市嬉野川北町	
	平年	2020年
4月.1	0.0	
2	0.0	0.0
3	0.1	0.0
4	0.0	0.0
5月.1	0.1	0.0
2	0.1	0.4
3	0.1	0.6
4	0.2	0.0
6月.1	0.2	0.0
2	0.2	0.3
3	0.3	1.0
4	2.0	0.9
7月.1	1.6	0.9
2	0.7	1.5
3	1.6	4.4
4	2.0	3.6
8月.1	1.0	2.8
2	0.3	1.5
3	0.1	0.3
4	0.1	0.0
9月.1	0.2	0.0
2	0.3	0.0
3	0.2	0.0
4	0.1	0.0
10月.1	0.1	0.7
2	0.1	0.3
3	0.1	0.0
4	0.0	0.0
11月.1	0.0	0.0
2	0.0	0.0
3	0.0	0.0
4	0.0	0.0

### (3) ウメ輪紋ウイルス(PPV)に関する調査

平成 21 年 4 月、東京都青梅市でウメにおいて、ウメ輪紋ウイルス(以下 PPV)の感染が確認された。PPV は我が国のモモやスモモなどの果樹に重大な被害を与えるウイルスとして、これまでも特に侵入を警戒していたものである。このことから、全国的な発生状況調査が実施されることとなった。

三重県では、観光ウメ園地で平成 25 年 6 月に感染が確認され、以降 28 年まで確認された。感染樹と周囲の樹は伐採され、その後 3 年間園地周辺一定範囲における全ての宿主植物について感染の有無を調査したが、感染の再発・広がり等が確認できなかったため、本年度より県内産地での目視による調査に切り替えた。

#### a 調査方法

宿主植物のなかで、本県に産地があるウメについて、主要な 3 産地にそれぞれ 1~2 か所ずつ調査地を設定した。

PPV の症状について、葉で目視により確認した。

#### b 調査樹種および地点

○ウメ(五ヶ所小梅、白加賀、南高)

調査圃場	調査樹数
津市片田田中町	13
南伊勢町五ヶ所浦	12
御浜町中立	30
紀宝町大里	25

#### c 調査結果

対象病害の発生は確認されなかった。

#### (4)ミバエ類等侵入警戒調査

ミカンコミバエ種群、ウリミバエ、チチュウカイミバエは、果樹、果菜類の重要害虫である。これら害虫の海外からの侵入防止に万全を期するため、都道府県と農林水産省植物防疫所では、地域を分担協力し、侵入警戒調査を実施している。三重県では、ミカンコミバエ種群、ウリミバエ、チチュウカイミバエを対象に、県内 6 か所にミバエ類誘引トラップを設置し、侵入警戒調査を実施している。

a 調査方法：スタイナー型トラップにミバエ類誘引用資材(メドフライコールあるいはユーゲルア)を装填し、2020年4月6日に桑名市多度町小山、紀北町道瀬および紀南果樹研究室、4月7日に津市大里窪田、4月8日に多気町五桂、4月9日に南伊勢町船越に各1器ずつ設置した。1か月に2回程度(原則として、第2週及び第4週)、11月2日まで調査した。

b 調査結果：対象種の侵入は確認されなかった。

#### 誘引頭数

調査月	桑名市多度町小山					津市大里窪田町					多気町五桂					南伊勢町船越					紀北町海野					御浜町志原						
	ユーゲルア		メドフライコール			ユーゲルア		メドフライコール			ユーゲルア		メドフライコール			ユーゲルア		メドフライコール			ユーゲルア		メドフライコール			ユーゲルア		メドフライコール				
	ミカン コミバエ 群	ウリ ミバエ	ミス ジミバ エ	チチュ ウカイ ミバエ	ミ スジ ミバ エ	その 他	ミカン コミバ エ群	ウリ ミバエ	ミス ジミバ エ	チチュ ウカイ ミバエ	ミ スジ ミバ エ	その 他	ミカン コミバ エ群	ウリ ミバエ	ミス ジミバ エ	チチュ ウカイ ミバエ	ミ スジ ミバ エ	その 他	ミカン コミバ エ群	ウリ ミバエ	ミス ジミバ エ	チチュ ウカイ ミバエ	ミ スジ ミバ エ	その 他	ミカン コミバ エ群	ウリ ミバエ	ミス ジミバ エ	チチュ ウカイ ミバエ	ミ スジ ミバ エ	その 他		
4月			2						0						5	1			0											14		
5月			4						10						77	0			2										1			
6月			1						11						16	0			0										0			
7月			6						20						4	0			2										0			
8月			9						56						0	0			0										0			
9月			9						53						7	0			3										0			
10月			0						0						1	0			0										0			
合計			31						150						110	1			7										15			

## (5) 火傷病侵入警戒調査

りんご、なしなどに被害をもたらす火傷病菌は、国内で発生・まん延した場合に農業生産に与える影響が極めて大きく、また、その宿主植物の輸入時における発見が困難であることから、植物防疫法で輸入禁止植物の対象病菌として取り扱われている重要病菌である。三重県においても、火傷病防疫指針にのっとり、侵入警戒調査を実施している。

### a 調査方法

宿主植物のなかで、本県の果樹・花木を生産する目的で栽培される主要な植物として「日本なし」、「かなめもち」を選定し、調査対象植物とした。「日本なし」については主要な5産地にそれぞれ1~2か所ずつ調査地を設定した。また、「かなめもち」については農業研究所鈴鹿市駐在(旧花植木センター)に1か所の調査地を設定した。

火傷病の症状について、枝、葉、果実等で目視により確認した。

日本なしについては、2020年4月から9月まで、1か月に1回(第2~3週)調査した。

かなめもちについては、2020年4月から9月まで、1か月に1回(第2~3週)調査した。

### b 調査樹種および地点

○日本なし(幸水、豊水)

調査圃場	調査樹数
四日市市下海老町	60
津市久居小野辺町	63
津市香良洲町	60
松阪市嬉野川北町	30
玉城町富岡	60
伊賀市羽根 1	33
伊賀市羽根 2	55

○かなめもち(レッドロビン)

調査圃場: 鈴鹿市高塚町 農業研究所鈴鹿市駐在圃場

調査本数: 40本(植栽本数6本、34本の2か所)

### c 調査結果

対象病害の発生は確認されなかった。

## 2. 巡回等データ

### (1) 水稻

#### a ブラスタムによる葉いもちの感染好適条件判定結果

- : 好適条件 (いもち病発生の好条件が全て満たされた。)
- ◎ : 準好適条件(湿潤時間の平均気温が比較的低いが湿潤時間10時間以上)
- : 準好適条件(湿潤時間の平均気温は15~25℃でないが湿潤時間10時間以上)
- ▲ : 準好適条件(前5日の平均気温は25℃以上だが湿潤時間10時間以上)
- △ : 準好適条件(前5日の平均気温は20℃未満だが湿潤時間10時間以上)
- : 好適条件・準好適条件は満たされなかった。

2020年	桑名	四日市	亀山	津	上野	粥見	小俣	南伊勢	鳥羽	紀伊長島	尾鷲	熊野新鹿	新宮(参考)	備考
5/01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/04	-	-	-	-	-	◎	△	-	-	△	△	◎	◎	
5/05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/07	-	▲	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/10	◎	◎	◎	◎	-	◎	△	-	◎	-	-	-	△	
5/11	△	△	△	-	-	-	-	-	-	-	-	◎	◎	
5/12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/16	-	-	-	-	-	-	◎	△	-	△	●	●	△	
5/17	-	-	-	◎	△	△	◎	△	△	△	△	◎	△	
5/18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/19	-	-	-	-	-	-	△	-	-	-	-	-	-	
5/20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△	-	-	
5/23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	◎	-	-	
5/25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	◎	◎	-	-	
5/26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/27	●	●	●	●	●	●	◎	●	●	-	-	●	●	
5/28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/31	-	-	△	-	-	-	△	-	-	-	●	-	-	
6/01	●	●	△	-	-	△	△	△	△	△	●	●	●	
6/02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/10	-	-	-	-	-	-	-	●	●	-	-	-	-	東海地方梅雨入り
6/11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/12	-	▲	●	●	-	-	-	-	●	●	-	-	-	
6/13	-	●	●	●	-	●	●	●	-	●	-	-	-	
6/14	-	-	-	-	●	●	●	●	●	-	-	-	-	
6/15	▲	-	-	-	-	-	-	▲	-	-	-	-	-	
6/16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/19	-	-	-	欠	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△	-	
6/21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/22	-	-	-	-	-	-	-	△	●	-	-	-	-	
6/23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/25	●	●	●	-	●	-	●	-	-	●	●	●	-	
6/26	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	▲	
6/27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	
6/29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	いもち病注意報発出

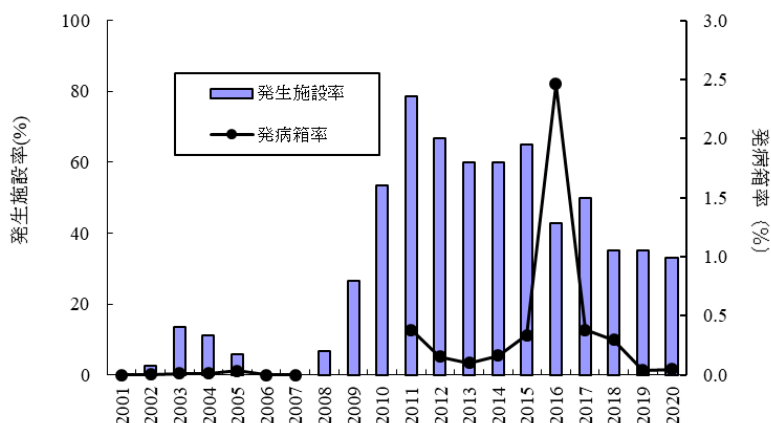
2020年	桑名	四日市	亀山	津	上野	粥見	小俣	南伊勢	鳥羽	紀伊 長島	尾鷲	熊野 新鹿	新宮 (参考)	備考
7/01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/02	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	
7/03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/05	●	●	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/07	●	●	●	-	●	▲	●	-	-	-	-	-	-	
7/08	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/09	●	●	●	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/10	●	●	●	-	-	-	-	-	●	●	-	-	-	
7/11	●	●	●	-	●	▲	-	▲	▲	-	●	-	-	
7/12	●	●	-	●	-	-	●	●	●	-	●	-	-	
7/13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/14	-	-	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
7/15	-	-	-	-	-	●	△	-	-	-	-	-	-	
7/16	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/17	-	-	-	-	-	●	●	●	●	●	-	●	●	
7/18	-	-	●	●	-	●	●	-	-	●	-	-	-	
7/19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/22	-	-	-	-	-	▲	-	-	-	-	-	-	-	
7/23	-	-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	-	
7/24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/25	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/26	○	-	-	-	-	-	○	-	-	○	○	○	-	
7/27	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	
7/28	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	
7/29	-	▲	-	-	-	▲	-	●	-	▲	-	-	-	
7/30	-	-	▲	▲	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/31	-	-	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	
8/01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	東海地方梅雨明け
8/02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	
8/04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	▲	-	
8/05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	欠
8/08	▲	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/13	-	-	▲	▲	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/28	-	-	-	▲	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

b 5月データ

水稲育苗施設巡回調査における、ばか苗病の発生状況(2020年4月)

調査日	JA育苗施設	ばか苗病(コシヒカリ)			その他の品種			種子消毒 床土消毒 播種時散布剤	培土		
		発生箱率(%)	発生箱数	調査箱数	発生箱数	調査箱数	品種				
4/9	伊勢	紀宝	0.6	2	330	0	750	三重23号	温湯消毒 タチガレエースM液剤	クリーン2号	
			-			1	1500	あきたこまち			
		御浜	0.1	1	1000	0	600	あきたこまち	紀宝で実施、播種翌日移動 タチガレエースM液剤	クリーン2号	
		熊野	0.0	0	1000	0	700	キヌヒカリ	温湯消毒 タチガレエースM液剤	クリーン2号	
			-			0		あきたこまち			
		紀北	0.0	0	1000	0	170	キヌヒカリ	テクリードC・スミチオン タチガレエースM液剤	クリーン2号	
			-			0	170	あゆみもち			
	4/10	伊勢	鵜方	0.0	0	800	0	140	あきたこまち	温湯消毒 タチガレンM液剤	クリーン2号
				-			0	220	あゆみもち		
			北部	0.0	0	1,000	0	800	かぐらもち	モミガード・スミチオン タチガレエースM液剤	クリーン2号
		多気郡	0.0	0	1,000	0	120	あゆみもち	温湯消毒 タチガレエースM液剤	軽量サンバイド(床土) グリーン培土(覆土)	
		松阪	大足	0.0	0	1,000	0	560	きぬひかり	温湯消毒 タチガレエースM液剤	サンバイド
			機殿	0.0	0	1,000	1	1,000	三重23号		
4/11	津安芸	榊形	0.1	1	2,000	0	1,000	みえのえみ	温湯消毒 タチガレエースM液剤	クリーン2号	
			鈴鹿	0.0	0	600	0	680	あきたこまち	テクリードC・スミチオン タチガレエースM液剤	クリーン2号
		南部	0.1	1	2,000	-	-	-	温湯消毒 モミガードC・スミチオン タチガレエースM液剤	クリーン2号	
		みえきた	員弁	0.1	1	2,000	-	-	-	温湯消毒 テクリードC・スミチオン ナエファインフロアブル	クリーン2号 覆土三菱軽量
			桑名	0.0	0	1,000	-	-	-	温湯消毒 ナエファインフロアブル	クリーン2号
	4/12	いがほくぶ	阿山	0.0	0	1,000	0	1,000	キヌヒカリ	温湯消毒 タチガレエースM液剤	クリーン2号 一部城南培土
				上野南	0.0	0	1,000	0	1,000	キヌヒカリ	温湯消毒 タチガレエースM液剤
			名張	0.0	0	1,000	0	700	キヌヒカリ	温湯消毒 タチガレエースM液剤	クリーン2号
			三重中央	0.1	1	1,600	0	1,000	みえのえみ	種子消毒:酸性水 床土消毒:酸性水	クリーン2号
			一志東部	嬉野	0.0	0	1,000	0	220	ヤマヒカリ	温湯消毒 タチガレエースM液剤
		三雲		0.0	0	1,000	-	-	-	温湯消毒 タチガレエースM液剤	クリーン2号

県全体平均(コシヒカリ) 0.05 (昨年0.04%) 発生施設率 6/20=33% (昨年35%)



JA育苗施設におけるばか苗病の発生状況の推移(2000年~2018年。巡回調査結果。コシヒカリのみ。2008~2010年は発生箱率未調査)

水稲病害虫の発生状況(2020年5月)

地区	調査 月日	調査 圃場数	イネミズゾウムシ					葉いもち					
			被害程度別圃場割合(%)					株当たり 成虫数 (頭)	被害 株率 (%)	被害度	本田 発生 圃場率 (%)	補植苗を 確認した 圃場の 割合(%)	
			発生圃場率 (%)	甚	多	中	少						無
桑名	5/11	23	34.8	0.0	0.0	0.0	34.8	65.2	0.01	5.4	1.3	0	8.7
四日市鈴鹿	5/7,5/8	44	52.3	0.0	0.0	2.3	50.0	47.7	0.02	7.3	2.1	0	38.6
津	4/30	25	0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0	0	0	0	32.0
松阪	5/7,5/11	33	12.1	0.0	0.0	0.0	12.1	87.9	0	1.0	0.2	0	21.2
伊勢志摩	5/1,5/11	35	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	85.7	0.01	3.0	0.7	0	28.6
伊賀	5/8	19	15.8	0.0	0.0	0.0	15.8	84.2	0	3.4	1.4	0	47.4
紀州	4/30	12	0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0	0	0	0	41.7
県全体		191	22.5	0.0	0.0	0.5	22.0	77.5	0.01	3.4	1.0	0	30.4
平年値(10年平均)			50.8	0.5	1.3	5.6	44.3	48.3	0.04	17.3	5.2	0	39.7

定点におけるイネミズゾウムシ発生状況(2020年5月)

地区	調査場所	品種	移植(予定)日	移植時の殺虫剤・殺菌剤施用等	被害株率(%)	被害度	被害程度	株当たり虫数(頭)
桑名	いなべ市北勢町回下喜	キヌヒカリ	5/13	なし	0	0	無	0
四日市 鈴鹿	四日市市下海老町	ミルキークイーン	5/9	エバーゴールド箱粒剤	—	—	—	—
	菰野町竹成	コシヒカリ	4/12	エバーゴールド箱粒剤	20	5	少	0
	鈴鹿市矢橋町	コシヒカリ	5/15	ツインターボ箱粒剤	—	—	—	—
	鈴鹿市御菌町	コシヒカリ	4/25	ツインターボ箱粒剤	4	1	少	0
	亀山市山下町	コシヒカリ	4/20	ダントツ箱粒剤	0	0	無	0
津	津市安東町	コシヒカリ	4/24	なし	0	0	無	0
	津市安濃町草生	コシヒカリ	4/29	バリアード箱粒剤	0	0	無	0
	津市一志町井生	コシヒカリ	4/26	タチガレエースM液剤	0	0	無	0
松阪	松阪市美濃田町	コシヒカリ	5/2	タチガレエースM液剤	0	0	無	0
	多気町兄国	コシヒカリ	4/28	ジャッジ箱粒剤	0	0	無	0
	明和町坂本	コシヒカリ	5/8	スタウトダントツ箱粒剤	—	—	—	—
伊勢 志摩	伊勢市円座町	コシヒカリ	5/5	オリゼメントオンコロ粒剤	0	0	無	0
	玉城町蚊野	ホシジロシ	5/28	ツインターボ箱粒剤	—	—	—	—
	志摩市磯部町下之郷	コシヒカリ	4/18	バリアード箱粒剤	0	0	無	0
伊賀	伊賀市大野木	コシヒカリ	5/3	ツインターボ箱粒剤	0	0	無	0
	伊賀市甲野	コシヒカリ	5/6	ツインターボ箱粒剤	0	0	無	0
紀州	紀北町赤羽	コシヒカリ	5/4	ファーストオリゼプリンス箱粒剤	—	—	—	—
	熊野市飛鳥町	コシヒカリ	4/29	ツインターボ箱粒剤	0	0	無	0
県予察圃	農業研究所	コシヒカリ	4/24	なし	76	19	少	0.05
定点平均	—	—	—	—	6.7	1.7	少	0.00
平年値(10年平均)	—	—	—	—	18.0	5.9	—	0.03

※イネミズゾウムシ被害度に対する被害程度:0(無)、1~20(少)、21~40(中)、41~70(多)、71以上(甚)



### c 6月データ

本田および置き苗における葉いもちの発生状況(2020年6月)

地区	調査 月日	調査 圃場数	本田調査							置き苗調査			
			発生程度別圃場割合(%)							発生無	発病度	放置率 (置き苗のあるほ場 /調査圃場 %)	発生圃場率 (置き苗に発病がある圃場 /調査圃場 %)
			発生有										
計	甚	多	中	少									
桑名	6/9	32	0	0	0	0	0	100	0	3.1	0		
四日市鈴鹿	6/10	48	0	0	0	0	0	100	0	16.7	4.2		
津	6/10	36	0	0	0	0	0	100	0	8.3	0		
松阪	6/4,6/5,6/11	36	0	0	0	0	0	100	0	13.9	0		
伊勢志摩	6/4,6/8	40	0	0	0	0	0	100	0	5.0	0		
伊賀	6/11	28	0	0	0	0	0	100	0	0	0		
紀州	6/5	16	0	0	0	0	0	100	0	6.3	0		
県全体		236	0	0	0	0	0	100	0	8.5	0.8		
10年平均			0	0	0	0	0	100	0	14.6	0.3		

表6 広域病害虫防除員によるいもち病初発調査(2020年6月) 畦畔から2条の100mを10圃場見歩き調査

地区	調査 月日	調査場所	本田調査		置き苗調査		備考
			発生 圃場率 (%)	放置率 (置き苗が放置されて いたほ場の割合%)	発生圃場率 (全調査圃場に対する いもち病の発生割合%)	発生圃場率	
桑名	6/4	桑名市上ノ輪 桑名市長島町下坂手 いなべ市北勢町畑毛	0 0 0	10.0 40.0 10.0	0 0 0	0 0 0	移植日:5月下旬 品種:キヌヒカリ、生育良好 スクミンゴガイ被害多 移植日:4月10日頃 品種:コシヒカリ 一部雑草多 スクミンゴガイ被害少 移植日:5月上旬 品種:コシヒカリ、生育良好 雑草多 イネミズノウムシ在り
鈴鹿	6/7	鈴鹿市林崎 鈴鹿市算所 鈴鹿市西富田	0 0 0	10.0 10.0 10.0	0 0 0	0 0 0	特になし 特になし 特になし
津市	6/3	津市森町 津市一志町井生 津市白山町川口	0 0 0	30.0 0 10.0	0 0 0	0 0 0	昨年の場所は一部麦作のため調査圃場を変更 一部雑草多 昨年の圃場から変更 置き苗は少し
松阪	6/5~8	松阪市美濃田町内浦 松阪市岩内町東出 松阪市小野町字車	0 0 0	0 0 10.0	0 0 0	0 0 0	一部水口の周囲で雑草多、スクミンゴガイ少発(H29より少、麦作を挟んだ影響か?) 一部雑草(ヒエ)多 一部雑草多、一部スクミンゴガイの被害
伊勢	6/11	伊勢市上地町 玉城町上田辺 度会町大野木	0 0 0	40.0 10.0 0	0 0 0	0 0 0	過半数の圃場は中干し中、溝切りされている。 調査圃場の周辺も置き苗は少ない
伊賀	6/4	伊賀市猪田 伊賀市森寺 伊賀市下郡	0 0 0	10.0 10.0 20.0	0 0 0	0 0 0	移植日:5月下旬 品種:コシヒカリ 移植日:5月上旬 品種:コシヒカリ、みえのゆめ 一部「あおみどり」発生 移植日:5月上旬 品種:コシヒカリ 一部雑草発生
東紀州	6/9	熊野市金山 御浜町下市木 紀宝町井内	0 0 0	0 30.0 20.0	0 0 0	0 0 0	スクミンゴガイ卵塊多
県全体			0.0	13.3	0.0	0.0	
10年平均			0.1	14.7	0.4		

水稲の害虫発生状況(2021年6月)

地区	調査 月日	調査 圃場数	はらい落とし調査							見取り調査				その他害虫 (10株はらい落とし調査 および10m見取り調査)	
			セジロ ウンカ	ヒトビ ウンカ	ツマグロヨコバイ		イネミズ ノウムシ	フタオビ コヤガ	イナゴ類	イネドロオウムシ		イネクロ カメムシ	イネ ゾウムシ		
			成虫数 /10株	成虫数 /10株	成虫数 /10株	幼虫数 /10株	成虫数 /10株	発生 圃場率 (%)	発生 圃場率 (%)	発生 圃場率 (%)	被害度	発生 圃場率 (%)	被害発生 圃場率(%)		
桑名	6/9	32	0	0	0	0	0.28	0	15.6	0	0	0	0	アカスジカスミカメ、アカヒゲホソドリカスミカメ、スクミンゴガイ	
四日市鈴鹿	6/10	48	0	0.04	0.02	0	0.50	0	35.4	8.3	0.08	2.1	12.5	アカスジカスミカメ、ニカメイガ、スクミンゴガイ、イネゾウムシ	
津	6/10	36	0	0.03	0.06	0	0.28	0	19.4	0	0	5.6	8.3	アカスジカスミカメ、アカヒゲホソドリカスミカメ、ニカメイガ、スクミンゴガイ、イネゾウムシ	
松阪	6/4,6/5,6/11	36	0	0.06	0.06	0	0.67	0	33.3	2.8	0.08	0	0	アカスジカスミカメ	
伊勢志摩	6/4,6/8	40	0	0.03	0.08	0.03	0.58	0	15.0	2.5	0.03	0	2.5	アカスジカスミカメ、ニカメイガ、イネゾウムシ	
伊賀	6/11	28	0	0	0	0	0.14	0	50.0	3.6	0.07	0	25.0	イネゾウムシ	
紀州	6/5	16	0	0	0	0	0.13	0	12.5	0	0	0	12.5	スクミンゴガイ、イネゾウムシ	
県全体		236	0	0.03	0.03	0.00	0.41	0	26.7	3.0	0.04	1.3	8.1		
10年平均			0	0.03	0.06	0.10	0.47	0	1.0	26.3	3.9	0.12	1.8	19.4	

園場周辺の雑草地における斑点米カメムシ類の発生状況(2020年6月)

地区	調査 月日	調査 地点数	ホソハラカメムシ 成幼虫		クモヘリカメムシ 成幼虫		シラホシカメムシ類 成幼虫		アカスジカスミカメ 成虫		アホヒゲホソミドリカスミカ メ成虫		その他 斑点米カメムシ成幼虫
			発生地点率 (%)	虫数	発生地点率 (%)	虫数	発生地点率 (%)	虫数	発生地点率 (%)	虫数	発生地点率 (%)	虫数	
桑名	6/9	17	11.8	0.2	0	0	5.9	0.06	23.5	0.5	11.8	0.18	
四日市鈴鹿	6/10	29	10.3	0.3	0	0	20.7	0.24	44.8	3.7	10.3	0.17	ツヤアオカメムシ(1)
津	6/10	21	0	0	0	0	9.5	0.10	23.8	0.9	9.5	0.14	
松阪	6/4,6/5,6/11	21	9.5	0.2	0	0	0	0	47.6	5.0	0	0	イネクロカメムシ(1)
伊勢志摩	6/4,6/8	23	0	0	0	0	8.7	0.09	30.4	1.1	4.3	0.04	ミナミアオカメムシ(2)
伊賀	6/11	16	6.3	0.1	0	0	0	0	18.8	0.2	0	0	
紀州	6/5	10	10.0	0.1	0	0	0	0	0	0	0	0	
県全体		137	6.6	0.12	0.0	0.00	8.0	0.09	30.7	1.95	5.8	0.09	
10年平均			7.9	0.13	0.0	0.00	3.7	0.07	41.5	2.58	10.7	0.28	

※畦畔、のり面、休耕地等における20回振りすくい取り調査

定点園場(または畦畔、のり面)における病害虫発生状況(2020年6月)

地区	調査場所	薬いもち		ほらい落とし調査(虫数/10株)					イネドロオイムシ		イネクロカメムシ		その他病害虫 (見取り調査および園場内(または畦畔、のり面)すくい取り虫数)
		発病度	発病 程度	セジロウシ カ成虫	ヒメトビウ シ成虫	ツマグロヨコバ イ成虫	イネミズ ゾウムシ 幼虫	被害度	発生 程度	成虫数 (/25株)	被害株 率(%)		
桑名	いなべ市北勢町阿下喜	0	無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
四日市 鈴鹿	四日市市下海老町	0	無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	アカスジカスミカメ成虫(3)、イネゾウムシ被害
	菟野町竹成	0	無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	アカスジカスミカメ成虫(2)
	鈴鹿市矢橋	0	無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	鈴鹿市御薮町	0	無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	亀山市山下町	0	無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	アカスジカスミカメ成虫(6)
津	津市安東町	0	無	0	0	0	0	1	0	0	0	0	イネミズゾウムシ成虫(1)、ニカメイガ被害
	津市安濃町草生	0	無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	イナゴ類幼虫(1)
	津市一志町井生	0	無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
松阪	松阪市美濃田町	0	無	0	0	0	0	2	0	0	0	0	イネミズゾウムシ成虫(2)
	多気町克国	0	無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	明和町坂本	0	無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	アカスジカスミカメ成虫(3)
伊勢 志摩	伊勢市円座町	0	無	0	0	0	0	2	0	0	0	0	イネミズゾウムシ成虫(1)
	玉城町蚊野	0	無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	イネゾウムシ成虫(2)、
	志摩市磯部町下之郷	0	無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	アカスジカスミカメ成虫(2)、イナゴ類幼虫(1)
伊賀	伊賀市大野木	0	無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	伊賀市甲野	0	無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	イナゴ類幼虫(5)
紀州	紀北町赤羽	0	無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	熊野市飛鳥町	0	無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
県庁農園	農業研究所	0	無	0	0	1	0	0	0	0	0	0	アカスジカスミカメ成虫(1)、イナゴ類幼虫(5)、イネゾウムシ成虫(1)、イネゾウムシ被害

薬いもち発病度(発病程度):0(無)、1-20(少)、21-40(中)、41-70(多)、71以上(甚)。イネドロオイムシ被害度(発生程度):0(無)、1-20(少)、21-50(中)、51-70(多)、71以上(甚)

スクミリンゴガイによる被害の発生状況(過去7年)

地区	調査月日 (2020年)	調査 圃場数	スクミリンゴガイの被害発生ほ場率(%)						
			2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
桑名	6/9	32	0	2.8	3.1	9.4	12.5	9.4	12.5
四日市鈴鹿	6/10	48	0	0	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2
津	6/10	36	0	2.3	5.6	5.6	8.3	11.1	8.3
松阪	6/4,6/5,6/11	36	0	0	8.3	5.6	5.6	27.8	16.7
伊勢志摩	6/4,6/8	40	0	0	0	2.5	2.5	0	0
伊賀	6/11	28	0	0	0	0	0	0	0
紀州	6/5	16	0	0	0	25.0	25.0	25.0	25.0
県全体		236	0.0	0.6	3.4	5.9	6.8	9.7	8.1

d 7月データ

水稲病害発生状況(2020年7月)

地区	調査 月日	調査 圃場 数	葉いもち								紋枯病		
			程度別発生圃場率(%)					発生 無	発病度	発病 株率 (%)	上位葉 進展率 (発病株 に対する 割合%)	発生 圃場率 (%)	発病 株率 (%)
			計	甚	多	中	少						
桑名	7/9	32	15.6	0	0	0	15.6	84.4	0.34	1.4	9.1	0	0
四日市鈴鹿	7/6,7	48	2.1	0	0	0	2.1	97.9	0.10	0.4	0	0	0
津	7/3,9	36	2.8	0	0	0	2.8	97.2	0.06	0.2	0	0	0
松阪	7/2,9	36	5.6	0	0	0	5.6	94.4	0.08	0.3	0	0	0
伊勢志摩	7/2,6,7	40	15.0	0	0	7.5	7.5	85.0	2.25	7.9	2.5	0	0
伊賀	7/3	28	0	0	0	0	0	100.0	0	0	0	0	0
紀州	7/2,10	16	6.3	0	0	6.3	0	93.8	1.56	5.8	0	0	0
県全体		236	6.8	0.0	0.0	1.7	5.1	93.2	0.58	2.1	2.4	0	0
平年(10年平均)			15.2	0.0	0.0	1.5	13.6	84.8	1.02	3.9	3.9	4.2	0.4

水稲害虫発生状況(2020年7月)

地区	調査 月日	調査 圃場 数	ほらい落とし調査(10株当たり)										見取り調査								
			セジロウムカ		トビイロウムカ		ヒメビウムカ		ツマグロヨコバイ		イネミズゾウムシ		フタオビコヤガ		イネクロカメムシ		ニカメイガ		イネヨトウ		コブノメイガ
			発生圃場率(%)	成虫数	発生圃場率(%)	成虫数	発生圃場率(%)	成虫数	発生圃場率(%)	成虫数	幼虫数	発生圃場率(%)	成虫数	発生圃場率(%)	成虫数	被害発生圃場率(%)	被害株率(%)	被害発生圃場率(%)	被害発生圃場率(%)	被害発生圃場率(%)	被害発生圃場率(%)
桑名	7/9	32	0	0	0	0	6.3	0.28	21.9	0.19	1.53	0	0	0	0	3.1	0.1	0	0	0	0
四日市鈴鹿	7/6,7	48	0	0	0	0	33.3	1.00	10.4	0.13	0.00	12.5	0.27	0	0	0	0	6.3	0	0	0
津	7/3,9	36	0	0	0	0	13.9	0.28	11.1	0.14	0.06	0	0	0	0	0	0	16.7	0	0	0
松阪	7/2,9	36	0	0	0	0	13.9	0.19	5.6	0.06	0.00	0	0	0	0	5.6	0.4	11.1	0	0	0
伊勢志摩	7/2,6,7	40	0	0	0	0	27.5	0.75	17.5	0.23	0.03	0	0	0	0	2.5	0.1	5.0	0	0	0
伊賀	7/3	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.6	0.07	0	0	0	0	0	0	0	0
紀州	7/2,10	16	0	0	0	0	25.0	0.38	43.8	0.31	0.69	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県全体		236	0	0	0	0	18.2	0.47	13.6	0.14	0.27	3.0	0.06	0	0	1.7	0.1	6.4	0.0	0	0
平年(10年平均)			1.8	0.024	0.04	0.001	11.4	0.17	27.1	0.21	0.98	5.8	0.08	5.0	0.07	16.1	1.6	11.9	1.4	2.8	0

虫数は調査圃場あたり

定点圃場における水稲病害虫発生状況(2020年7月)

地区	調査場所	葉いもち			紋枯病			すくい取り20回調査				すくい取り調査・斑点米カメムシ類 (見取り調査・その他病害虫)	
		発病 株率(%)	発病度	発病 程度	発病株 率(%)	発病度	発病 程度	ヒメビウ ムカ	セジロ ウムカ	トビイロ ウムカ	ツマグロヨコバイ 成虫		幼虫
桑名	いなべ市北勢町阿下喜	0	0	無	0	0	無	0	0	0	1	0	
	四日市市下海老町	0	0	無	0	0	無	0	0	0	0	0	
四日市 鈴鹿	菰野町竹成	0	0	無	0	0	無	0	0	0	0	0	
	鈴鹿市矢橋町	0	0	無	0	0	無	1	0	0	4	0	ミナミアオカメムシ(1)
	鈴鹿市御菌町	0	0	無	0	0	無	1	0	0	0	0	クモヘリカメムシ(6)
	亀山市山下町	0	0	無	0	0	無	4	0	0	0	0	
津	津市安東町	0	0	無	0	0	無	0	0	0	0	0	イネクロカメムシ(1)
	津市安濃町草生	0	0	無	0	0	無	0	0	0	0	0	
	津市一志町井生	8	2	少	0	0	無	0	0	0	0	0	
松阪	松阪市美濃田町	0	0	無	0	0	無	0	0	0	0	0	クモヘリカメムシ(1)
	多気町兄国	0	0	無	0	0	無	3	0	0	0	0	トゲシラホシカメムシ(1)
	明和町坂本	0	0	無	0	0	無	0	0	0	0	0	
伊勢 志摩	伊勢市円座町	0	0	無	0	0	無	0	0	0	0	0	
	玉城町蚊野	100	27	中	0	0	無	0	0	0	0	0	アサシノカスミカメ(26)
	志摩市磯部町下之郷	0	0	無	0	0	無	0	0	0	0	0	
伊賀	伊賀市大野木	0	0	無	0	0	無	0	0	0	0	0	クモヘリカメムシ(1)
	伊賀市甲野	0	0	無	0	0	無	0	0	0	0	0	
紀州	紀北町赤羽	0	0	無	0	0	無	0	0	0	0	0	
	熊野市飛鳥町	0	0	無	0	0	無	0	0	0	0	0	
県予察圃	農業研究所(無防除)	0	0	無	0	0	無	0	0	0	0	0	

葉いもちおよび紋枯病発病度(発病程度);0(無)、1~20(少)、21~40(中)、41~70(多)、71以上(甚)

斑点米カメムシ類の発生状況(20回振りすくい取り)(2020年7月)

地区	調査月日	調査地点数	ホソハリカメムシ 成幼虫		クモヘリカメムシ 成幼虫		シラホシカメムシ類 成幼虫		アカスジカスミカメ 成虫		アカヒゲホソミドリカ スミカメ成虫		ミナミアオカメムシ 成幼虫		その他 斑点米 カメムシ類
			発生 地点率(%)	虫数	発生 地点率(%)	虫数	発生 地点率(%)	虫数	発生 地点率(%)	虫数	発生 地点率(%)	虫数	発生 地点率(%)	虫数	
桑名	7/9	17	11.8	0.1	23.5	0.4	0	0	5.9	0.2	0	0	0	0	
四日市鈴鹿	7/6,7	29	10.3	0.2	20.7	2.3	0	0	13.8	0.5	6.9	0.2	3.4	0.28	
津	7/3,9	23	4.3	0.04	4.3	0.04	0	0	8.7	0.1	0	0	0	0	
松阪	7/2,9	21	19.0	0.5	23.8	1.3	4.8	0.05	4.8	0.05	0	0	0	0	県全域でなし
伊勢志摩	7/2,6,7	23	0	0	4.3	0.7	0	0	8.7	1.3	0	0	0	0	
伊賀	7/3	16	6.3	0.1	18.8	0.3	0	0	6.3	0.1	0	0	0	0	
紀州	7/2,10	10	10.0	0.1	20.0	0.2	10.0	0.1	10.0	0.2	0	0	0	0	
県全体		139	8.6	0.2	15.8	0.9	1.4	0.0	8.6	0.4	1.4	0.1	0.7	0.06	-
平年(10年平均)			20.4	0.5	6.4	0.4	10.0	0.1	37.7	4.2	11.4	0.4	2.4	0.06	

定点ほ場以外の畦畔、のり面等で調査したもの。

畦畔および圃場内における、斑点米カメムシ類(中型種成虫)の発生状況・広域病害虫防除員による調査(2020年7月)

地区	調査月日	調査場所	ホソハリカメムシ 成虫数	クモヘリカメムシ 成虫数	シラホシカメムシ類 成虫数	備考
桑員	7/1~2	桑名市上ノ輪	0	0	0	出穂前、アオカメムシ0.2頭、スクミリンゴガイ被害多
		桑名市長島町下坂手	0	0	0	出穂前雑草、アサギ、カキ、ミヅウリ、カキワイ
		いなべ市北勢町畑毛	0	0	0	出穂前、生育良好、ヒエの発生
鈴亀	7/12	鈴鹿市池田町	1.6	0	0.2	除草徹底、病気はなし
		鈴鹿市算所	0	0	0	出穂前、アカシカメムシ0.2頭
		鈴鹿市西宮町	0.6	0.4	0.2	出穂前、除草徹底も再伸長、イネカメムシ0.4頭、アカシカメムシ2.0頭、病気はなし
津市	7/2	津市森町	0.2	0.4	0	アカシカメムシ1.2頭、イネカメムシ0.2頭、イナゴ
		津市一志町井生	0	0	0.2	ササキ
		津市白山町川口	0	0.4	0	アカシカメムシ0.2頭、イナゴ
松阪飯多	7/4	松阪市美濃田町内浦	0.6	1.6	0	1/5圃場でスクミリンゴガイ多、ヒエ多、4/5圃場で畦畔除草
		松阪市岩内町東出	0.2	1.6	0	1/5圃場でスクミリンゴガイ卵塊、4/5圃場で畦畔除草
		松阪市小野町字草	0	0.2	0	2/5圃場でスクミリンゴガイ多、全圃場畦畔除草
伊勢	7/9	伊勢市上地町	0	0	0	出穂前
		玉城町上田辺	0	0	0	出穂前、3/5圃場は除草済、
		度会町大野木	0	0	0	イナゴ5.2頭、1圃場で10%出穂、他は出穂前
伊賀	7/1	伊賀市猪田	0	0	0	中干前、生育あり有、イナゴ1.8頭
		伊賀市森寺	0.6	0.8	0	中干前、一部雑草多、イナゴ19頭
		伊賀市下部	0	0	0	中干終了、イナゴ3.4頭、イネカメムシ
東紀州	7/9	熊野市金山	0.4	0	0	出穂済 0頭の圃でも穂先にホソハリカメムシ数匹
		御浜町下市木	0	0	0	出穂済
		紀宝町井内	0	0.8	0	出穂済
県全体			0.20	0.30	0.03	-
平年値(10年平均)			0.43	0.50	0.08	-

すくいとり調査(各調査場所において、5ほ場×20回振り)、成虫数は1ほ場当りの頭数

スクミリンゴガイの発生状況(2020年7月)

地区	調査月日	調査圃場数	スクミリンゴガイ またはその卵を 確認したほ場の数	スクミリンゴガイまたは その卵を確認した 圃場の割合(%)
桑名	7/9	32	2	6.3
四日市鈴鹿	7/6,7	48	4	8.3
津	7/3,9	36	4	11.1
松阪	7/2,9	36	8	22.2
伊勢志摩	7/2,6,7	40	0	0.0
伊賀	7/3	28	0	0.0
紀州	7/2,10	16	4	25.0
県全体		236	22	9.3

スクミリンゴガイの発生状況の推移(7月)

地区	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
桑名	18.8	12.5	12.5	6.3
四日市鈴鹿	8.3	8.3	6.3	8.3
津	11.1	11.1	11.1	11.1
松阪	11.1	11.1	27.8	22.2
伊勢志摩	0	0.0	0.0	0.0
伊賀	0	0.0	0.0	0.0
紀州	25	25.0	25.0	25.0
県全体	9.3	8.5	10.6	9.3

e 8月データ

水稻病害発生状況(2020年8月)

地区	調査 月日	調査 圃場 数	葉いもち			穂いもち			紋枯病					発病 度	発病 株率 (%)	白葉枯 病 発生圃 場率(%)	ごま葉枯 病 発生圃 場率(%)
			発生 圃場率 (%)	発病 株率 (%)	上位葉 進展率 (発病株 に対する 割合%)	発生 圃場率 (%)	発病 株率 (%)	発病 穂率 (%)	程度別発生圃場率(%)								
									計	甚	多	中	少				
桑名	7/30	32	12.5	4.3	0.3	3.1	0.13	0.006	25.0	0	0	3.1	21.9	1.2	4.8	0	0
四日市鈴鹿	7/31,8/3	48	8.3	1.1	0.1	0	0	0	35.4	0	0	0	35.4	2.3	8.3	0	0
津	8/3,6	36	5.6	0.3	0	0	0	0	44.4	0	0	0	44.4	0.9	3.0	0	0
松阪	7/31,8/5	37	5.4	0.2	0	5.4	0.22	0.011	59.5	0	0	0	59.5	2.4	8.3	0	0
伊勢志摩	7/31,8/4	41	14.6	7.5	0	0	0	0	29.3	0	0	0	29.3	0.9	2.9	0	0
伊賀	7/30	28	14.3	2.4	0.3	0	0	0	3.6	0	0	0	3.6	0.1	0.1	0	0
紀州	7/31,8/6	16	25.0	2.0	12.5	0	0	0	37.5	0	0	0	37.5	0.9	3.8	0	0
県全体		236	11.0	2.6	4.0	1.3	0.05	0.003	35.2	0	0	0.4	34.7	1.3	4.9	0	0
平年値(10年平均)			13.3	2.6	25.8	7.7	1.35	0.076	27.8	0	0.03	1.3	26.5	1.5	4.3	0.2	2.6

穂いもち発生状況・広域病害虫防除員による調査(2020年8月)

地区	調査 月日	調査場所	発病 株率(%)*	発病穂率(%)			備考
				計	穂首*	枝穂*	
桑員	8/4	桑名市上ノ輪	0	0	0	0	キヌヒカリ、出穂始め
		桑名市長島町下坂手	6.40	0.24	0.24	0	一部でヒエ多
		いなべ市北勢町畑毛	0	0	0	0	8月上旬穂ぞろい、一部カメムシ類多、紋枯病発生
鈴鹿	8/4	鈴鹿市算所	0.80	0.02	0.02	0.00	褐変もみ多、一部葉いもちの痕跡(1~2株)
		鈴鹿市西富田	1.60	0.07	0.03	0.03	褐変もみ多、一部畦畔雑草多、ニカメイチュウ(1株)
		鈴鹿市一ノ宮	2.40	0.10	0.10	0.00	一部褐変もみ多、一部食害痕、ニカメイチュウの可能性大
津市	8/2	一志町井生	1.60	0.08	0	0.08	傾穂期~乳熟期、イナゴ一部発生
		一志町八太	0	0	0	0	傾穂期、イナゴ微発生
		白山町川口	1.60	0.07	0.04	0.04	乳熟期、イナゴの食害多い
松阪 飯多	8/6	松阪市岩内町東出	0	0	0	0	イナゴ多発、一部で畦畔雑草未処理
		松阪市小野町車	0	0	0	0	一部でイナゴ多発
		松阪市美濃田町内浦	0	0	0	0	一部でイナゴ多発、ヒエ・雑草多
伊勢	8/3	伊勢市上地町	0	0	0	0	
		度会郡度会町大野木	11.20	0.64	0.28	0.37	
		度会郡玉城町上田辺	0	0	0	0	
伊賀	8/2	伊賀市猪田地区	0	0	0	0	ホソハリカメムシ、イナゴ発生
		伊賀市森寺地区	9.60	0.38	0.32	0.06	ホソハリカメムシ発生
		伊賀市比叡岐地区	14.40	0.62	0.35	0.28	ラジヘリ防除により、いもち病は感染拡大が止まっている
東紀州	8/6	熊野市金山	0	0	0	0	イナゴ多数
		御浜町下市木	3.20	0.10	0.08	0.03	穂首いもち発生は数株のみ
		紀宝町井内	2.40	0.11	0.00	0.11	イナゴ多数
県全体			2.63	0.12	0.07	0.05	
平年値(10年平均)			3.54	0.33	0.15	0.19	

水稻害虫発生状況(2020年8月)

地区	10株払い落とし調査										見取り調査による被害発生圃場率(%)												
	セジロウンカ		トビイロウンカ		ヒメトビウンカ		ウンカ類幼虫		ツマグロヨコバイ		イネズノウムシ		フタオビコヤガ		イネ ヨトウ	ニカ メイガ	イチ モンジ セセリ	アワ ヨトウ	コブノ メイガ	イネク ロカメ ムシ	ササ キリ 類	イナゴ 類	
	発生 圃場 率(%)	成虫 数	発生 圃場 率(%)	成虫 数	発生 圃場 率(%)	成虫 数	発生 圃場 率(%)	幼虫 数	発生 圃場 率(%)	成虫 数	発生 圃場 率(%)	成虫 数	発生 圃場 率(%)	成虫 数									
桑名	0	0	0	0	40.6	0.47	21.9	0.31	28.1	2.41	1.00	12.5	0.31	0	0	0	3.1	3.1	3.1	0	0.0	0	25.0
四日市鈴鹿	0	0	0	0	31.3	0.65	25.0	1.15	29.2	0.63	0.46	0	0	10.4	0.15	0	0	4.2	0	6.3	2.1	0	20.8
津	0	0	0	0	30.6	0.64	11.1	0.19	30.6	0.50	0.11	5.6	0.11	13.9	0.19	0	30.6	0	0	8.3	2.8	0	47.2
松阪	0	0	0	0	48.6	1.46	35.1	0.62	13.5	0.11	0.03	5.4	0.19	5.4	0.05	0	0	0	0	10.8	0	0	2.7
伊勢志摩	0	0	0	0	29.3	0.61	7.3	0.20	4.9	0.10	0.15	9.8	0.12	9.8	0.10	0	9.8	0	0	12.2	0	0	4.9
伊賀	0	0	0	0	7.1	0.1	0	0	28.6	0.50	0.14	0	0	0	0	0	0	0	0	17.9	0	0	85.7
紀州	0	0	0	0	25.0	0.50	0	0	6.3	0.13	0	0	0	6.3	0.06	0	0	0	0	50.0	0	0	31.3
県全体	0	0	0	0	33.5	0.70	17.8	0.55	21.2	0.63	0.29	5.5	0.11	7.6	0.09	0	6.8	1.3	0.4	11.9	0.8	0	28.4
平年値(10年平均)	5.9	0.10	0.0	0.00	23.6	0.44	49.8	2.87	37.4	1.03	2.57	10.0	0.19	17.4	0.42	1.2	14.1	0.5	4.9	7.5	2.3	9.6	16.5

圃場内の斑点米カメムシ類の発生状況(2020年8月、20回振りすくい取り調査)

地区	調査月日	調査圃場数	斑点米カメムシ類 発生程度別発生圃場率(%)					ホソハリカメムシ 成幼虫		クモヘリカメムシ 成幼虫		シラホシカメムシ類 成幼虫		アカスジカスミカメ 成虫		ミナミアオカメムシ 成幼虫		イネカメムシ 成幼虫		その他 斑点米カメムシ類
			計	甚	多	中	少	発生圃場率(%)	虫数	発生圃場率(%)	虫数	発生圃場率(%)	虫数	発生圃場率(%)	虫数	発生圃場率(%)	虫数	発生圃場率(%)	虫数	
桑名	7/30	32	43.8	0	0	12.5	31.3	0	0	12.5	0.25	0	0	12.5	0.63	6.3	0.06	18.8	0.25	
四日市鈴鹿	7/29,8/5	48	58.3	2.1	2.1	10.4	43.8	20.8	0.21	12.5	0.94	12.5	0.19	33.3	0.75	6.3	0.17	0.0	0.00	
津	8/2,5	36	75.0	0	0	16.7	58.3	5.6	0.06	33.3	0.42	13.9	0.19	33.3	0.69	0	0	14	0	アカヒゲホソドリカスミカメ
松阪	7/31,8/1,2	36	55.6	0	11.1	13.9	30.6	22.2	0.39	33.3	2.17	0	0	13.9	0.17	0	0	6	0	アカヒゲホソドリカスミカメ
伊勢志摩	7/29,30,31	40	27.5	0	5.0	7.5	15.0	2.5	0.03	20.0	1.53	0	0	7.5	0.15	0	0	0	0	アカヒゲホソドリカスミカメ
伊賀	8/1	28	57.1	0	7.1	21.4	28.6	25.0	0.46	28.6	1.11	21.4	0.25	14.3	0.25	3.6	0.18	28.6	0.57	アカヒゲホソドリカスミカメ
紀州	7/31,8/2	16	62.5	0	0	62.5	25.0	0.31	6.3	0.06	31.3	0.31	6.3	0.06	6.3	0.06	0.0	0.00		
県全体		236	53.4	0.4	3.8	12.3	36.9	13.6	0.19	21.6	1.01	9.3	0.12	19.1	0.43	3.0	0.07	8.9	0.14	
平年値(10年平均)			40.8	0.4	1.4	7.8	31.2	16.5	0.27	11.1	0.92	5.8	0.08	19.0	0.46	1.7	0.04	3.0	0.02	

発生程度別基準・すくい取り虫数(20回振): (甚)31以上、(多)11~30、(中)4~10、(少)1~3、(無)0

定点圃場における水稲病害虫発生状況(2020年8月)

地区	調査場所	穂いもち				紋枯病				すくい取り虫数(20回)				斑点米カメムシ類ほか	その他病害虫 (払落し、見取り)
		発病 穂率(%)	発病 程度	発病 程度	発病 程度	セジロ ウナカ	トビイロ ウナカ	ヒメビ ウナカ	ウナカ類 幼虫	ツマグロヨコバイ 成虫	ツマグロヨコバイ 幼虫	発生圃場率(%)			
桑名	いなべ市北勢町阿下喜	0	無	0	無	0	0	0	0	0	0	0	0		ヒトヒウカ、イネズウムシ、イナゴ類
四日市 鈴鹿	四日市市下海老町	0	無	0	無	0	0	6	169	1	0	0	0	トゲシラホシカメムシ	ウナカ類幼虫
	菰野町竹成	0	無	0	無	0	0	5	10	0	0	0	0		ツマグロヨコバイ、コブノメイガ、イナゴ類
	鈴鹿市矢橋町	0	無	0	無	0	0	2	0	0	0	0	0		
	鈴鹿市御園町	0	無	1	少	0	0	1	0	0	0	0	0		
津	亀山市山下町	0	無	0	無	0	0	1	0	2	0	0	0	クモヘリカメムシ、アカスジカスミカメ	クモヘリカメムシ、シラホシカメムシ、アカスジカスミカメ、コブノメイガ、イナゴ類
	津市安東町	0	無	0	無	0	0	2	0	1	0	0	0	アカスジカスミカメ	イナゴ類
	津市安濃町草生	0	無	2	少	0	0	1	0	0	0	0	0	トゲシラホシカメムシ	アカヒゲホソドリカスミカメ、イネズウムシ、イナゴ類
	津市一志町井生	0	無	1	少	0	0	1	3	0	0	0	0	クモヘリカメムシ、イネカメムシ	ホハリカメムシ、クモヘリカメムシ、アオビヨコバガ
松阪	松阪市美濃田町	0	無	7	少	0	0	0	0	0	0	0	0		ヒトヒウカ
	多気町兎園	0	無	3	少	0	0	2	0	1	0	0	0		ヒトヒウカ、ツマグロヨコバイ、コブノメイガ
	明和町坂本	0.2	少	1	無	0	0	0	0	0	0	0	0	アカヒゲホソドリカスミカメ	アカスジカスミカメ
伊勢 志摩	伊勢市円座町	0	無	0	無	0	0	1	0	0	0	0	0		コブノメイガ
	玉城町蚊野	0	無	0	無	0	0	0	0	0	0	0	0		コブノメイガ
	志摩市磯部町下之郷	0	無	0	無	0	0	0	0	0	0	0	0		ヒトヒウカ
伊賀	伊賀市大野木	0	無	0	無	0	0	0	0	0	0	0	0	クモヘリカメムシ、トゲシラホシカメムシ、イネカメムシ	トゲシラホシカメムシ、イナゴ類
	伊賀市甲野	0	無	0	無	0	0	0	0	0	0	0	0	イネカメムシ、クモヘリカメムシ、アカスジカスミカメ	ツマグロヨコバイ、クモヘリカメムシ、イネカメムシ、イナゴ類
紀州	紀北町赤羽	0	無	0	無	0	0	0	0	0	0	0	0		
	熊野市飛鳥町	0	無	1	少	0	0	0	0	0	0	0	0	トゲシラホシカメムシ	ヒトヒウカ
平均		0.01		0.8		0	0	1.2	9.6	0.3	0				
平年値(10年平均)		0.1		1.7		0.7	0	2.8	9.3	7.6	4.5				
泉子寮園	農業研究所(無防除)	0		2.3		0	0	1	0	0	0	0	0	クモヘリカメムシ、アカスジカスミカメ	トゲシラホシカメムシ、イネカメムシ、

穂いもち発病穂率(発病程度);0(無)、1-10(少)、11-30(中)、31-60(多)、61以上(甚) 紋枯病発病度(発病程度);0(無)、1-20(少)、21-40(中)、41-70(多)、71以上(甚)

# f 9月データ

水稲(普通期)病害発生状況(2020年9月)

地区	調査 月日	調査 圃場数	穂いもち		紋枯病		ごま葉枯病		白葉枯病	稲こうじ病
			発生 圃場率 (%)	発病 穂率 (%)	発生 圃場率 (%)	発病 度 (%)	発生 圃場率 (%)	発病 率 (%)	発生 圃場率 (%)	発生 圃場率 (%)
桑名	9/9	4	0	0	25.0	0.3	1.0	0	0	0
四日市鈴鹿	9/3	1	0	0	0	0	0	0	0	0
津	9/4	4	0	0	0	0	0	0	0	0
伊勢志摩	9/9	2	0	0	0	0	0	0	0	0
県全体			0	0	9.1	0.1	0.4	0	0	0
10年平均			8.9	0.1	47.6	4.5	12.5	37.8	4.6	4.7

圃場内の斑点米カメムシ類の発生状況(2020年9月、20回振りすくい取り調査)

地区	調査 圃場 数	ホソハリカメムシ 成幼虫		クモヘリカメムシ 成幼虫		シラホシカメムシ類 成幼虫		アカスジカスミカメ 成虫		ミナミアオカメムシ 成幼虫		イネカメムシ 成幼虫	
		発生 圃場率 (%)	虫数	発生 圃場率 (%)	虫数	発生 圃場率 (%)	虫数	発生 圃場率 (%)	虫数	発生 圃場率 (%)	虫数	発生 圃場率 (%)	虫数
桑名	4	25.0	0.3	75.0	3.5	0	0	0	0	25.0	0.8	50.0	0.5
四日市鈴鹿	1	0	0	0	0	0	0	100	3.0	0	0	0	0
津	4	25.0	0.3	50.0	1.0	25.0	0.3	25.0	0.8	0	0	0	0
伊勢志摩	2	50.0	1.0	100	7.5	0	0	0	0	100	1.5	50.0	0.5
県全体	11	27.3	0.4	63.6	3.0	9.1	0.1	18.2	0.5	9.1	0.5	18.2	0.3
10年平均		24.9	0.5	31.1	1.8	10.2	0.1	12.2	0.3	26.5	0.6	9.2	0.3

水稲(普通期)害虫発生状況(2020年9月)

地区	調査 月日	調査 圃場 数	10株払い落とし調査										見取り調査による被害発生圃場率(%)								
			セジロウンカ		トビイロウンカ		ヒメヒウンカ		ウンカ類幼虫		ツマグロヨコバイ		フタオビコヤガ		イネヨトウ	ニカメイ	ササキリ	イナゴ	アワヨトウ	イチモンジセリ	コブノメ
桑名	9/9	4	0	0	0	0	25.0	2.0	0	0	50.0	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
四日市鈴鹿	9/3	1	0	0	0	0	0	0	0	100	53.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
津	9/4	4	0	0	0	0	0	0	0	75.0	1.0	1.0	0	0	0	0	0	0	0	0	25.0
伊勢志摩	9/9	2	0	0	0	0	50.0	3.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県全体	11	0	0	0	0	18.2	1.3	0	0	54.5	5.4	0.4	0	0	0	0	0	0	0	0	9.1
10年平均		12.6	0.2	0	0	25.3	1.0	46.8	3.7	66.2	4.9	2.3	4.9	0.1	1.6	23.8	21.1	30.9	8.6	0.6	11.1

2020年 巡回調査結果・作物(水稲)

定点圃場における斑点米および斑点米カメムシ類発生状況(2020年)

地区	調査場所	品種	移植日	採取 日	斑点米発生率(%)					斑点米カメムシ類(8月) 20回振りすくいとり虫数
					精玄米調査(1.85mm)					
					カメムシ被 害粒 発生率	斑紋型変 色	くさび型 加害	頂部の黒 変	側部加害・ 鈎合部の 黒点	
桑名	いなべ市北勢町阿下喜	ヤマヒカリ	5/13	8/31	0.25	0.05	0.05	0.15	0	
	四日市市下海老町	シネノイーン	5/9	8/31	0.30	0.05	0.05	0.10	0.10	トゲシラホシカメムシ成虫1
	菰野町竹成	コシヒカリ	4/12	欠測	-	-	-	-	-	
四日市 鈴鹿	鈴鹿市矢橋町	コシヒカリ	5/15	9/1	1.55	0.05	0.20	0.90	0.40	
	鈴鹿市御園町	コシヒカリ	4/25	8/17	0.45	0	0.20	0.10	0.15	アカスジカスミカメ成虫2
	亀山市山下町	コシヒカリ	4/20	8/17	0.85	0.10	0.20	0.25	0.30	クモヘリカメムシ成虫1幼虫2、アカスジカスミカメ成虫2
	津市安東町	コシヒカリ	4/24	8/17	0.20	0.20	0	0	0	アカスジカスミカメ成虫1
津	津市安濃町草生	コシヒカリ	4/29	8/17	0.60	0.05	0.05	0.25	0.25	トゲシラホシカメムシ成虫1
	津市一志町井生	コシヒカリ	4/26	8/17	0.90	0.40	0.05	0.45	0	クモヘリカメムシ幼虫2、イネカメムシ成虫1
	松阪市美濃田町	コシヒカリ	5/2	8/17	0.25	0.15	0	0.10	0	
松阪	多気町元国	コシヒカリ	4/28	8/17	0.35	0.10	0.10	0.15	0	
	明和町坂本	コシヒカリ	5/8	8/27	0.35	0.20	0.00	0.10	0.05	アカヒゲホトトリカスミカメ成虫1
	伊勢市円座町	コシヒカリ	5/5	8/20	0.45	0.25	0.05	0.10	0.05	
伊勢志摩	玉城町蚊野	ホシジロシ	5/28	9/8	1.05	0.50	0.20	0.25	0.10	
	志摩市磯部町下之郷	コシヒカリ	4/18	8/13	0.15	0.05	0.05	0	0.05	
伊賀	伊賀市大野木	コシヒカリ	5/3	8/25	0.35	0.25	0	0	0.10	クモヘリカメムシ成虫2、トゲシラホシカメムシ成虫1、イネカメムシ成虫3
	伊賀市甲野	コシヒカリ	5/6	8/25	1.30	1.10	0	0.15	0.05	クモヘリカメムシ成虫2、アカスジカスミカメ成虫1、イネカメムシ成虫2
紀州	紀北町赤羽	コシヒカリ	5/4	8/21	9.00	8.80	0	0.20	0	
	熊野市飛鳥町	コシヒカリ	4/29	欠測	-	-	-	-	-	トゲシラホシカメムシ成虫1
県予察圃	松阪市纏野川北町・無防除	コシヒカリ	4/24	8/17	2.35	2.05	0	0.25	0.05	クモヘリカメムシ幼虫2、イネカメムシ成虫1
	定点平均		-	-	1.08	0.72	0.07	0.19	0.09	斑点米カメムシ類成虫数・定点平均1.3頭
	平年値(10年平均)		-	-	0.49	0.24	0.08	0.11	0.06	同平年1.5頭

## (2) 麦類

コムギ病害虫の発生状況(2020年4月)

地区	調査地点	調査日	さび病類 発病程度	うどんこ病 発病程度	黒節病 発病率(%)	縞萎縮病 発病率(%)	アブラ ムシ類 寄生程度	ハモグリ バエ類 寄生率(%)	品種	生育状況
桑名	いなべ市大安町片樋	4/6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	あやひかり	草丈83cm(昨年60cm)、出穂期、イネトウ幼虫確認
四日市 鈴鹿	四日市市江村	4/3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	あやひかり	草丈75cm(昨年50cm)、出穂期
	鈴鹿市下大久保		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	あやひかり	草丈62cm(昨年70cm)、出穂始まり
津	津市殿村	4/6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	あやひかり	草丈78cm(昨年65cm)、出穂期
松阪	松阪市藤之木	4/9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	あやひかり	草丈79cm(昨年65cm)、出穂期
	多気町兄国		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	ニシノカオリ	草丈75cm(昨年75cm)、出穂期
伊勢志摩	伊勢市西豊浜	4/3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	ニシノカオリ	草丈80cm(昨年45cm)、出穂期
伊賀	伊賀市西之澤	4/8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	タマイズミR	草丈51cm(昨年37cm)、出穂前、湿害(縞萎縮病の疑い)
	伊賀市畑村		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	タマイズミR	草丈58cm(昨年55cm)、出穂前、湿害あり
県全体			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		-
平年(10年平均)			0.2	0.0	0.4	1.0 1.6(伊賀タマイズミ)	0.1	0.3		-

各地点4圃場において、1圃場あたり25茎を調査。

コムギ病害虫の発生状況(2020年5月)

地区	調査地点	調査日	さび病類 発病程度	うどんこ病 発病程度	黒節病 発病率 (%)	アブラムシ 類 寄生程度	ムギアカ タマバエ 寄生率 (%)	赤かび病		品種	備考
								発生 圃場率 (%)	発病 穂率(%)		
桑名	いなべ市大安町片樋	5/11	0	0	0	0	0	0	0	あやひかり	
四日市 鈴鹿	四日市市江村	5/8	0	0	0	1.3	0	0	0	あやひかり	黒節病確認
	鈴鹿市下大久保	5/7	0	0	0	0	0	0	0	あやひかり	区外で赤かび病
津	津市殿村	4/30	0	0	0	0	0	0	0	あやひかり	
松阪	松阪市藤之木	5/7	0	0	0	0	0	0	0	あやひかり	区外でアブラムシ類
	多気町兄国	5/7	0	0	0	0	0	0	0	ニシノカオリ	区外でアブラムシ類
伊勢志摩	伊勢市西豊浜	5/1	0	0	0	0	0	0	0	ニシノカオリ	
伊賀	伊賀市西之澤	5/8	0	0	0	1.0	0	0	0	タマイズミR	
	伊賀市畑村		0	0	0	0	0	0	0	タマイズミR	イネトウ幼虫確認
県全体			0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.00	-	-
平年値(10年平均)			0.1	0.2	0.0	0.8	0.0	32.6	0.37	-	-

各地点4圃場を調査。赤かび病:50m見取り調査。平年値は追加調査時の最終結果を示す。

1圃場あたり25茎調査。

コムギ巡回調査圃場における赤かび病の発生状況(2020年、発生率(%))

地区	調査地点	品種	5月第2週	5月第4週	備考
桑名	いなべ市大安町片樋	あやひかり	0.000	0.017	5月20日晴れ
四日市 鈴鹿	四日市市江村	あやひかり	0.000	0.000	5月20日晴れ
	鈴鹿市下大久保	あやひかり	0.000	0.003	5月20日くもり
津	津市殿村	あやひかり	0.000	0.000	5月21日くもり
松阪	松阪市藤之木	あやひかり	0.000	0.000	5月21日くもり
	多気町兄国	ニシノカオリ	0.000	0.000	5月21日くもり
伊勢志摩	伊勢市西豊浜	ニシノカオリ	0.000	0.000	5月21日晴れ
伊賀	伊賀市西之澤	タマイズミR	0.000	0.000	5月20日晴れ
	伊賀市畑村	タマイズミR	0.000	0.000	5月20日晴れ
県全体	-	-	0.000	0.002	
平年値	-	-	-	0.370	

各地点4圃場において50m見取り調査。(サーモンピンクの胞子が確認された穂のみカウント)

コムギを指標作物とした、斑点米カメシ類の発生状況(1圃場あたりのすくい取り成虫数)(2020年5月)

地区	調査地点	ミナミアオカメシ	アオクサ カメシ	ホソホシ カメシ	シラホシ カメシ類	アカスジ カメシ	アカヒゲホ ソドリカメ シ	備考
桑名	いなべ市大安町片樋	0.00	0.00	0.00	0.00	4.75	0.00	
四日市 鈴鹿	四日市市江村	0.00	0.00	0.25	0.00	1.00	0.00	
	鈴鹿市下大久保	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	
津	津市殿村	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	
松阪	松阪市藤之木	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	多気町兄国	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	
伊勢志摩	伊勢市西豊浜	0.00	0.00	0.00	0.00	53.25	0.00	
伊賀	伊賀市西之澤	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	伊賀市畑村	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
県全体	発生圃場率(%)	0.00	0.00	2.78	0.00	33.33	0.00	
	すくい取り成虫数	0.00	0.00	0.03	0.00	6.64	0.00	
7年平均	発生圃場率(%)	5.01	0.00	10.40	0.95	44.00	0.79	
	すくい取り成虫数	0.08	0.00	0.18	0.01	1.82	0.01	

すくい取り成虫数(頭/20回振・圃場)、各地点4圃場において調査。

コムギ縞萎縮病の発生状況(2021年3月)

地区	調査地点	調査日	被害率(%)	品種	草丈(cm)	備考
桑名	いなべ市大安町片樋	3/10	0	あやひかり	42	(45cm)
四日市 鈴鹿	菟野町竹成	3/5	0	あやひかり	39	(57cm)
	鈴鹿市下大久保		0	ニシノカオリ	37	(47cm) 黄斑病を確認
津	津市殿村	3/8	0	あやひかり	25	(40cm)
松阪	松阪市藤之木	3/4	0	あやひかり	41	(46cm)
	多気町兄国		0	ニシノカオリ	41	(44cm)
伊勢志摩	伊勢市西豊浜	3/9	0	ニシノカオリ	31	(40cm)
伊賀	伊賀市西之澤	3/10	0	タマイズミR	18	(25cm)
	伊賀市畑村		0	タマイズミR	21	(33cm)
平均			0	伊賀タマイズミ・平均0.0%		
前年平均			0	伊賀タマイズミ・前年平均0.0%		
平年値(10年平均)			1.1	伊賀タマイズミ・平年値0.7%		

各地点4圃場にて、1圃場当たり25茎を調査。



### (3) 大豆

ダイズ虫害発生状況(2020年8月)

地区	調査地点	調査 月日	アブラムシ類		ハスモンヨトウ・ シロイチモジヨトウ		コガネムシ類	カメムシ類	草丈および備考
			寄生株率(%)	葉食害度	白変か所数(1/a)	葉食害度	寄生虫数(25株)		
桑名	いなべ市大安町大井田	7/30	-	-	-	-	0	未播種	
四日市	四日市市江村町	8/3	0	0	0	0	0	草丈：20cm、マルカメムシ確認	
鈴鹿	鈴鹿市下大久保	7/31	-	-	-	-	0	未播種	
津	津市白山町川口	8/3	-	-	-	-	0	未播種	
松阪	松阪市藤之木町	8/6	-	-	-	-	0	未発芽	
	松阪市六根町	8/5	0	0	0	0	0	草丈：20cm	
伊賀	伊賀市木興	7/30	-	-	-	-	0	未播種	
	伊賀市千戸		-	-	-	-	0	未播種	
県全体			-	0.0	0.0	0.0	0.0		
平年値(10年平均)			-	0.0	0.2	0.4	0.7	0.0	

ダイズ病害虫発生状況(2020年9月)

地区	調査地点	調査 月日	ダイズ アブラムシ 発生程度	ハスモンヨトウ・シロイチモジヨトウ			コガネムシ類		吸食性カメムシ類		その他 病害虫
				白変か所数 (a当たり)	葉 食害度	葉食害度	寄生株率 (%)	寄生虫数 (頭/25株)	種類		
桑名	いなべ市大安町大井田	9/9	0	1.8	1.3	0.3	2.0	0.5	ミナミアオカメムシ	草高50cm	オオタバコガ、ハモグリバエ
四日市	四日市市江村町	9/4	0	1.1	0.5	0	1.0	0.3	ミナミアオカメムシ	草高90cm	
	鈴鹿市下大久保	9/3	0	0.7	0.5	0	0	0		草高20cm	ヨモギエダシヤク、ハモグリバエ
津	津市白山町川口	9/5	0	1.4	0.5	0.3	0	0		草高50cm	
松阪	松阪市藤之木町	9/8	0	1.1	1.0	0	0	0		草高30cm	オオタバコガ
	松阪市六根町		0	2.5	0.8	0	0	0		草高60cm	
伊賀	伊賀市木興	9/3	0	7.9	7.5	0.3	0	0		草高25cm	べと病、イナゴ
	伊賀市千戸		0	0.0	0.3	0.5	1.0	0.3		草高50cm	べと病、イナゴ
県全体			0	2.1	1.5	0.2	0.5	0.1	-	-	-
10年平均			0.2	0.9	3.0	0.2	2.6	1.6	-	-	-

ハスモンヨトウ発生状況・広域病害虫防除員による調査(2020年9月)

地区	調査 月日	調査場所	白変か所数 (a当たり)	備考
桑名	9/3	桑名市志知	8.0	生育ステージ30～35cm、雑草多い
桑員	9/3	いなべ市員弁町大泉	5.4	生育ステージ35cm、一部でつる草、マメハンミョウが見られた
		いなべ市員弁町治田外面	3.6	生育ステージ30～50cm、雑草多い
鈴鹿	9/9	鈴鹿市林崎	2.8	5葉期程度の生育、ほとんどの株に食害痕があり
		鈴鹿市算所町	0	さや付きあり、雑草の繁茂がひどい、白変葉は認められず、褐変葉あり
		鈴鹿市西富田町	1.4	生育不良が甚大、下位葉の黄化が散見される、2～3葉期
津市	9/1	津市南河路	0	3～4葉期、食害は少ない
		津市一志町其村	0	4～5葉期、食害は少ない、一部除草剤による枯死が見られる
		津市安濃町荒木	0.4	4～6葉期、白変はしていないが、ハスモンヨトウの食害あり
松阪 飯多	9/3	松阪市小阿坂町	4.0	カメムシ見られた、イナゴが多発していた
		松阪市美濃田町	5.0	
		松阪市深長町	5.8	イナゴ多発生(畦畔)、カメムシ見られた
伊勢	9/8	伊勢市西豊浜	0	草高45～55cmで生育は良く揃っている、開花初期
		伊勢市小俣町	0	草高40～50cmで生育は良く揃っている、開花初期、ハスモンヨトウの食害痕が散見されるが被害程度は小さい
		玉城町原	0	草高30～40cmで生育不揃い、開花前、ハスモンヨトウの食害痕が散見される
伊賀	9/1	伊賀市猪田	0.2	生育は良い、中耕培土作業中
		伊賀市依那具	0.2	過繁茂ぎみのほ場もある、バッタが多発
		伊賀市比自岐	0	雑草多い、生育遅れ(播種遅れ)、開花期
県全体			2.0	
10年平均			2.5	

ダイズ病害虫発生状況(2020年10月)

地区	調査地点	調査月日	ダイズアブラムシ発生程度	ハスモンヨトウ・シロイチモジヨトウ		寄生株率(%)		寄生虫数(/25株)		吸実性カメムシ類種類	その他
				白変か所数(a当たり)	葉食害度※	寄生株率(%)	寄生虫数(/25株)				
桑名	いなべ市大安町大井田	10/7	0.0	0.0	0.0	4.0	2.5	ミナミアオ成幼、ホソヘリ成、イチモンジ成		べと病、マメドクガ確認	
四日市	四日市市江村町	10/6	0.0	0.0	0.0	3.0	8.8	ミナミアオ成幼		べと病確認	
鈴鹿	鈴鹿市下大久保	10/6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-		11ほ場雑草多	
津	津市白山町川口	10/1	0.0	3.2	0.0	0.0	0.0	-		べと病、マメドクガ確認	
松阪	松阪市阿形町	10/2	0.0	2.5	0.8	1.0	1.8	ミナミアオ成			
	松阪市六根町		0.0	2.5	0.5	1.0	1.5	ミナミアオ成			
伊賀	伊賀市木興	10/7	0.0	1.8	1.8	0.0	0.0	-		べと病確認	
	伊賀市千戸		0.0	3.6	2.3	2.0	2.0	ミナミアオ幼		べと病確認	
県全体			0.0	1.7	0.7	1.4	2.1	-			
10年平均			1.7	1.4	3.2	13.4	9.3	-			

ダイズ成熟期における莢および子実の被害発生状況(2020年12月)

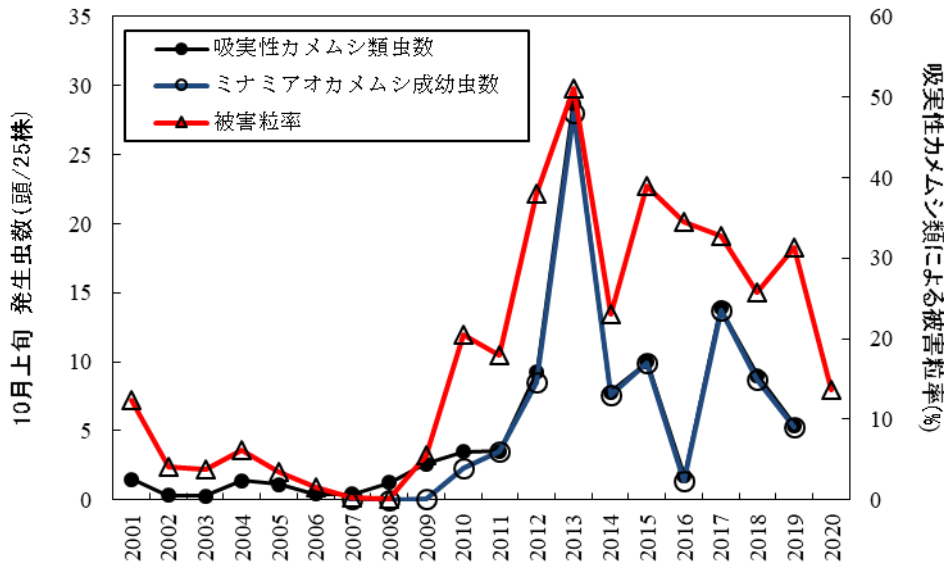
地区	調査地点	採取月日	*莢調査被害率(%)		被害粒調査(著しい未熟粒を除く)								その他被害粒(腐敗粒)(%)						
			虫害1	虫害2	フタスジヒメハムシ				吸実性カメムシ類										
					紫斑粒率(%)	褐斑粒率(%)	黒斑粒率(%)	腐敗粒率(%)	被害粒率(%)										
										9月		10月							
										合計	萎縮粒(しぼみ粒)	変形粒(へこみ粒)	変色粒(しみ粒)	寄生株率(%)	寄生虫数(/25株)	寄生株率(%)	寄生虫数(/25株)		
桑名	いなべ市大安町大井田	11/17	0	1.3	0	0.5	3.3	0.3	19.5	2.0	1.8	15.8	2.0	0.5	4.0	2.5	0	0	
四日市	四日市市江村町	11/17	0.7	1.8	0	1.6	3.5	0.8	30.6	3.2	2.4	25.0	1.0	0	3.0	8.8	0	0	
鈴鹿	鈴鹿市下大久保	11/17	0	1.5	0.8	0	1.0	1.3	14.1	1.3	3.5	9.3	0	0	0	0	0	0	
津	津市白山町川口	11/16	0	0.5	0	0	2.2	1.4	9.9	1.7	0.7	7.5	0	0	0	0	0	0	
松阪	松阪市藤の木	11/16	0.2	0.3	0	0	0.2	0	3.1	0	0	3.1	0	0	1.0	1.8	0	0	
	松阪市六根町	11/16	0	1.0	0	0	2.4	1.6	24.7	2.2	4.1	18.5	0	0	1.0	1.5	0	0	
伊賀	伊賀市木興	12/1	0	3.3	0	1.2	0.7	0.9	6.4	1.4	0.2	4.7	0	0	0	0	0	0	
	伊賀市千戸	12/1	0.3	2.0	0	0	1.8	0.3	1.0	0.3	0.3	0.5	1.0	0	2.0	2.0	0	0	
県全体平均			0.1	1.4	0.1	0.5	1.9	0.8	13.6	1.5	1.6	10.5	0.5	0.1	1.4	2.1	0.0	0.0	
10年平均			0.9	1.2	0.3	0.2	1.9	0.5	31.4	3.3	13.2	16.1	2.6	1.6	13.4	9.3	2.9	0.0	

1地点あたり4圃場を調査。1圃場あたり任意の10株を選定し、それぞれ上位5莢ずつを採取(200莢)。

\*被害率率はフタスジヒメハムシ被害莢を含まず集計

虫害1: 莢外部からの食害および被害、タバコガ類等。

虫害2: 莢内部における食害、シロイチモジマダラメイガ、ダイズサヤムシガ、マメシクイガ等。



10月上旬のダイズ圃場における吸実性カメムシ類発生状況と、ダイズ被害粒発生状況の推移(2001~2020年・病害虫防除所巡回調査)

県予察圃(カンキツ・紀南果樹研究室)における発消長

そうか病発病率 葉

	初発	4月		5月			6月			7月		
		中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年	4月16日	1.7	21.6	55.3	69.4	77.2	79.6	81.9	83.5	84.0	84.5	84.9
2020年	4月18日	0.0	2.0	22.0	28.3	32.6	40.2	44.4	46.5	51.6	56.3	65.9

そうか病発病率 果実

	初発	5月		6月			7月			8月		
		中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年	5月16日	8.5	48.3	69.0	85.8	92.9	95.7	97.0	98.3	98.5	100.0	99.8
2020年	5月23日	0.0	16.7	62.5	73.3	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

黒点病発病率

	初発	6月			7月			8月			9月			10月		
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年発病果率	平年	25.2	54.0	86.6	97.9	99.3	99.5	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
2020年発病果率	5月25日	20.8	31.7	88.3	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
平年果実発病度	2019年	3.9	13.1	25.4	35.8	45.8	50.7	61.1	69.0	73.9	74.4	76.5	79.7	80.7	85.3	88.5
2020年果実発病度	5月23日	3.0	4.5	17.9	43.6	64.8	63.3	68.8	64.3	82.9	90.2	91.2	94.8	94.8	96.4	98.1

かいよう病発病率 葉

	初発	5月		6月			7月			8月		
		中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年	5月16日	0.0	0.5	1.6	2.3	2.7	2.9	3.2	3.5	3.8	3.8	4.0
2020年	5月23日	0.0	0.5	1.3	2.2	2.8	2.8	2.8	3.5	3.5	4.1	4.1

かいよう病発病率 果実

	初発	5月			6月			7月			8月			9月			10月		
		下	中	上	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年	6月11日	0.0	0.2	0.4	0.3	2.5	7.8	15.5	21.6	21.8	19.5	18.9	20.4	21.1	22.8	22.5	21.8		
2020年	7月3日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.8	8.3	25.8	44.2	56.7	70.0	55.0	55.8	27.5	42.5	33.3		

果実外観調査

無防除区	そうか病		黒点病		かいよう病		慣行防除区	そうか病		黒点病		かいよう病	
	発病率(%)	発病度	発病率(%)	発病度	発病率(%)	発病度		発病率(%)	発病度	発病率(%)	発病度	発病率(%)	発病度
平年	93.2	60.2	100.0	80.9	15.7	8.4	平年	0.7	0.1	65.8	16.5	8.5	2.1
2020年	98.8	75.7	100.0	80.5	0.0	0.0	2020年	0.0	0.0	39.8	6.9	0.0	0.0

ハダニ発消長調査結果(無防除区・雌成虫100葉当たり寄生虫数) ※6月上旬調査から新葉による調査

	4月			5月			6月			7月			8月			9月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年	28.9	31.9	50.8	19.0	26.7	24.6	59.2	53.9	44.1	10.3	3.4	3.7	6.2	7.2	21.9	21.6	25.4	23.1
2020年	8.9	4.4	0.0	10.0	28.9	25.6	156.7	167.8	97.8	23.3	7.8	0.0	5.6	0.0	1.1	0.0	23.3	71.1
	10月			11月			12月			1月			2月			3月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年	21.6	20.6	26.3	18.5	9.4	18.6	15.4	18.6	17.5	20.1	21.7	—	23.1	31.8	—	18.0	22.8	—
2020年	73.3	7.8	0.0	6.7	2.2	0.0	0.0	0.0	7.8	11.1	4.4	—	0.0	0.0	—	2.2	2.2	—

ハダニ発消長調査結果(慣行防除区・雌成虫100葉当たり寄生虫数)

	4月			5月			6月			7月			8月			9月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年	3.4	0.4	0.7	1.6	1.1	3.6	20.8	14.8	5.2	8.3	7.3	15.3	29.9	80.0	16.7	141.7	54.3	59.2
2020年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	11.1	10.0	12.2	0.0	4.4	0.0	11.1	0.0	1.1	0.0	12.2	104.4
	10月			11月			12月			1月			2月			3月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年	28.4	79.9	186.3	81.3	61.8	52.3	62.2	72.2	52.2	6.6	5.4	—	4.7	1.9	—	0.8	0.3	—
2020年	386.7	7.8	2.2	1.1	2.2	7.8	1.1	0.0	1.1	4.4	0.0	—	0.0	0.0	—	3.3	0	—

チャバネアオカメムシ発生消長調査結果 予察灯誘殺数

	4月			5月			6月			7月			8月			9月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年	4.9	18.3	98.6	453.3	4758.6	5115.6	933.6	1059.7	2187.0	3214.6	8930.1	3367.8	1255.1	815.7	562.1	626.4	906.8	1800.6
2020年	0.0	1.0	4.0	80.0	96.0	42.0	71.0	217.0	544.0	266.0	96.0	88.0	64.0	124.0	365.0	235.0	114.0	95.0
	10月			11月														
	上	中	下	上	中	下												
平年	1864.5	115.0	14.0	2.2	0.0	0.2												
2020年	32.0	18.0	1.0	1.0	1.0	0.0												

ツヤアオカメムシ発生消長 予察灯誘殺数

	4月			5月			6月			7月			8月			9月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年	30.7	91.2	456.9	1091.0	795.7	408.1	97.7	93.3	64.3	19.7	12.8	18.5	20.3	38.3	68.0	126.1	502.7	1558.3
2020年	0.0	71.0	137.0	4556.0	1205.0	111.0	72.0	97.0	17.0	8.0	7.0	10.0	19.0	18.0	47.0	23.0	169.0	459.0
	10月			11月														
	上	中	下	上	中	下												
平年	3627.0	1135.3	286.8	82.9	6.5	5.7												
2020年	191.0	78.0	120.0	27.0	10.0	2.0												

チャノキイロアザミウマ発生消長調査結果 100果実あたり寄生数調査

	6月			7月			8月			9月			10月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年	1.6	0.4	3.2	4.6	10.6	12.0	5.7	9.7	3.4	6.5	7.3	9.5	5.1	2.4	0.8
2020年	0.0	1.7	12.5	8.3	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0

チャノキイロアザミウマ発生消長調査結果 黄色粘着板誘殺数

	5月			6月			7月			8月			9月			10月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年	0.9	1.6	0.9	2.7	2.8	2.0	2.0	2.9	6.7	10.1	12.3	12.0	13.2	13.5	9.2	4.9	1.7	0.6
2020年	0.1	1.0	0.2	0.9	7.4	12.3	1.0	2.4	3.7	7.7	18.6	25.8	10.4	7.1	6.0	3.7	1.7	0.3

県予察圃(ナシ・農業研究所)における発生消長

ナシヒメシシクイ

月・半旬	トラップ誘殺数	
	平年	2020年
4月.1	34.0	0
2	27.7	12
3	21.4	8
4	31.1	3
5	17.0	1
6	8.9	0
5月.1	10.1	4
2	6.7	0
3	4.3	1
4	4.9	0
5	8.3	2
6	17.7	1
6月.1	17.2	7
2	24.2	18
3	15.8	13
4	9.7	8
5	7.9	7
6	6.2	5
7月.1	12.4	4
2	26.8	4
3	30.0	13
4	31.8	19
5	25.7	12
6	28.5	9
8月.1	35.9	7
2	39.3	12
3	33.5	5
4	25.6	19
5	23.9	17
6	39.4	5
9月.1	32.5	6
2	46.6	18
3	60.7	13
4	33.3	9
5	21.9	16
6	13.5	17
10月.1	7.4	6
2	5.1	4
3	1.8	5
4	1.1	3
5	0.5	0
6	0.5	0
11月.1	0.0	0
2	0.0	0
3	0.3	0
4	0.2	0
5	0.1	1
6	0.0	0

チャハマキ

月・半旬	トラップ誘殺数	
	平年	2020年
4月.1	0.6	0
2	3.5	2
3	3.1	2
4	5.5	0
5	5.2	8
6	4.1	18
5月.1	8.7	12
2	5.5	4
3	5.5	7
4	3.0	1
5	1.5	6
6	0.7	1
6月.1	1.3	0
2	0.9	0
3	2.2	5
4	3.2	3
5	2.7	1
6	3.3	0
7月.1	5.2	1
2	6.0	0
3	1.6	0
4	2.7	0
5	0.9	0
6	1.7	0
8月.1	1.8	0
2	2.0	1
3	0.7	0
4	0.8	1
5	1.2	0
6	1.1	0
9月.1	1.7	0
2	1.4	0
3	1.2	0
4	1.7	0
5	1.5	0
6	0.7	0
10月.1	2.7	1
2	5.2	5
3	6.6	1
4	4.1	2
5	4.7	0
6	2.1	0
11月.1	1.3	0
2	1.3	1
3	1.4	2
4	1.0	1
5	0.4	1
6	0.7	1

チャノコカクモンハマキ

月・半旬	トラップ誘殺数	
	平年	2020年
4月.1	4.9	0
2	7.4	1
3	13.7	3
4	27.6	4
5	43.9	20
6	40.7	28
5月.1	46.7	29
2	27.8	12
3	19.9	2
4	7.5	5
5	5.4	2
6	5.2	1
6月.1	15.0	0
2	19.9	3
3	38.0	12
4	36.2	12
5	37.8	8
6	23.7	11
7月.1	13.3	2
2	10.1	1
3	5.3	0
4	7.5	1
5	9.2	1
6	11.7	5
8月.1	10.7	1
2	6.8	6
3	5.1	1
4	4.0	3
5	2.0	1
6	2.3	1
9月.1	1.9	0
2	6.0	2
3	8.5	2
4	12.4	4
5	13.7	2
6	11.7	2
10月.1	13.3	3
2	23.3	5
3	26.3	7
4	15.4	2
5	16.8	7
6	10.0	17
11月.1	10.0	8
2	8.6	11
3	4.3	6
4	3.7	2
5	2.0	0
6	2.9	0
12月.1	2.2	0
2	0.8	0
3	1.0	2
4	0.7	0
5	0.3	0
6	0.0	0

予察灯(畑・農業研究所)における発生消長

チャバネアオカメムシ

月・半旬	予察灯誘殺数	
	平年	2020年
4月.1	0.0	0
2	0.0	0
3	0.0	0
4	0.4	0
5	1.8	0
6	0.6	0
5月.1	13.1	81
2	36.1	13
3	435.0	461
4	111.6	109
5	351.5	3684
6	505.8	280
6月.1	184.3	1079
2	117.8	116
3	78.3	583
4	297.7	66
5	106.9	119
6	89.0	155
7月.1	129.6	311
2	131.1	325
3	233.5	142
4	236.4	212
5	265.3	115
6	185.4	394
8月.1	114.7	183
2	103.0	207
3	239.1	258
4	185.5	94
5	356.7	70
6	357.3	123
9月.1	200.8	43
2	257.6	18
3	130.1	46
4	165.2	32
5	109.1	8
6	87.4	4
10月.1	44.0	14
2	113.2	0
3	27.1	3
4	0.2	0
5	0.2	0
6	0.0	0

ツヤアオカメムシ

月・半旬	予察灯誘殺数	
	平年	2020年
4月.1	0.0	0
2	0.0	0
3	0.0	1
4	0.1	1
5	0.6	0
6	0.2	0
5月.1	2.3	47
2	2.5	53
3	15.4	76
4	12.0	141
5	23.1	168
6	34.8	69
6月.1	19.2	217
2	36.6	187
3	41.2	748
4	151.8	60
5	57.2	76
6	83.8	207
7月.1	86.8	95
2	21.4	96
3	26.5	79
4	19.0	174
5	13.7	60
6	17.0	194
8月.1	9.1	54
2	9.0	60
3	17.7	78
4	18.3	68
5	14.9	25
6	24.2	14
9月.1	18.6	16
2	25.4	0
3	37.4	31
4	44.7	17
5	91.9	13
6	67.6	2
10月.1	60.2	15
2	83.9	8
3	63.5	2
4	21.4	0
5	38.7	1
6	16.4	1

クサギカメムシ

月・半旬	予察灯誘殺数	
	平年	2020年
4月.1	0.0	0
2	0.0	0
3	0.0	0
4	0.0	0
5	0.0	0
6	0.0	0
5月.1	0.1	0
2	0.0	0
3	0.1	0
4	0.0	0
5	0.6	2
6	2.3	0
6月.1	0.5	0
2	1.3	1
3	2.3	3
4	5.1	0
5	5.9	4
6	13.3	40
7月.1	13.6	64
2	32.0	102
3	71.7	75
4	106.7	152
5	140.8	118
6	119.7	437
8月.1	42.7	178
2	24.4	77
3	26.7	32
4	24.7	11
5	19.2	6
6	11.2	5
9月.1	4.8	4
2	3.0	4
3	1.6	6
4	0.7	1
5	0.6	1
6	0.4	0
10月.1	0.0	0
2	0.3	0
3	0.0	0
4	0.0	1
5	0.0	0
6	0.0	0



5月

地区	調査場所	調査月日	そうか病		かいよう病		品種	
			旧葉 発病度	新葉 発病度	温州(旧葉) 発病率(%)	中晩柑(旧葉) 発病率(%)		
桑名	桑名市多度町小山	5月11日	0	0	0	0	早生温州	
	津市大里窪田	4月30日	0	0	2	0.4	早生温州	
松阪	多気町五桂(定)	5月7日	0	0	0	0	早生温州	
	松阪市小阿坂町	5月11日	0	0	0	0	普通温州	
伊勢志摩	南伊勢町船越(定)	5月1日	0	0	0	0	普通温州	
	南伊勢町泉	5月1日	0	0	—	—	セミノール	
	南伊勢町五方所浦	5月1日	0	0	—	—	カラ	
	紀北町道瀬	4月30日	0	0	—	—	新甘夏	
紀州	熊野市久生屋	4月30日	0	0	0	0	早生温州	
	御浜町下市木	4月30日	0	0	—	—	カラ	
	御浜町阿田和	4月30日	0	0	0	0	早生温州	
	御浜町中立	4月30日	0	0	—	—	新甘夏	
	紀宝町大里	4月30日	0	0	—	—	セミノール	
	平均		0	0	0.3	0.06	2.7	1.1
平年(10年平均)			0.02	0.006	0.1	0.02	7.0	2.4

(5月続き)

地区	調査場所	調査月日	ミカンハダニ		ヤブカイガラムシ		カメムシ類 叩き落とし 虫数	カイガラムシ類 寄生枝率(%)	品種	生育状況等
			旧葉 寄生率(%)	新葉 寄生率(%)	旧葉 寄生率(%)	新葉 寄生率(%)				
桑名	桑名市多度町小山	5月11日	2	0	0	0	2	0	早生温州	着花数多 春葉6cm
	津市大里窪田	4月30日	0	0	0	0	0	0	早生温州	区外にミカンハダニあり
松阪	多気町五桂(定)	5月7日	6	0	0	0	0	0	早生温州	着花数多 春葉5cm
	松阪市小阿坂町	5月11日	0	0	0	0	0	0	普通温州	区外の旧葉にそうか病とミカンハダニあり
伊勢志摩	南伊勢町船越(定)	5月1日	0	0	0	0	0	0	普通温州	
	南伊勢町泉	5月1日	0	0	0	0	0	0	セミノール	旧葉に黒点病多発
	南伊勢町五方所浦	5月1日	0	0	0	0	0	0	カラ	春葉1cm つぼみ1cm 着花数多
	紀北町道瀬	4月30日	4	0	0	0	0	0	新甘夏	開花直前
紀州	熊野市久生屋	4月30日	4	0	0	0	0	0	早生温州	開花始め 春葉5cm
	御浜町下市木	4月30日	2	0	0	0	0	0	カラ	春葉6cm つぼみ1cm 着花数多
	御浜町阿田和	4月30日	0	0	0	0	0	0	早生温州	開花始め 春葉5cm つぼみ2cm 着花数多
	御浜町中立	4月30日	0	0	0	0	0	0	新甘夏	春葉8.5cm つぼみ1.5cm
紀宝町大里	4月30日	0	0	0	0	0	0	セミノール	春葉1cm つぼみ1cm 着花数少	
平均		1.4	0.02	0	0	0.2	0.2	0.2		
平年(10年平均)			7.6	0.76	0.18	0.05	0.2	1.3		







8月

地区	調査場所	調査月日	かいよう病(糖葉)				かいよう病(果実)				黒点病 果実発病度	
			温州		中晩柑		温州		中晩柑			
			発病率(%)	発病度	発病率(%)	発病度	発病率(%)	発病度	発病率(%)	発病度		
津	桑名市多度町小山	7月30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	津市大里窪田町	8月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
松阪	多気町五桂(定)	8月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8.0
	松阪市小阿坂町	8月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伊勢志摩	南伊勢町船越(定)	8月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.8
	南伊勢町泉	8月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.4
紀州	南伊勢町五ヶ所浦	8月4日	0	0	0	4	2.4	0	3.6	0	0	0
	紀北町道瀬	7月31日	0	0	0	4	0.8	0	2.8	0.4	0.4	0
紀州	熊野市久生屋町	8月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	御浜町下市木	8月6日	0	0	0	6	2.8	0	2.4	0	0	0
紀州	御浜町阿田和	8月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	御浜町中立	8月6日	0	0	0	0	0	0	0.4	0	0	0
紀州	紀宝町大里	8月6日	0	0	0	4	0.8	0	0.4	0.4	0.4	0
平均			0	0	0	3.0	1.1	0	1.6	0.8	0.8	0
平年(10年平均)			0.06	0.2	0.05	8.8	3.4	0	0.006	4.0	3.3	0

(8月続き)

地区	調査場所	調査月日	ミカンハダニ		チャヤネイロ		アカイガムシ		アマガムシ		アカイガムシ		ハヤギムシ類 被害果率(%)	品 種	備 考	
			寄生葉率(%)	寄生虫数/葉	寄生率(%)	被害果率(%)	寄生率(%)	被害果率(%)	寄生率(%)	被害果率(%)	寄生率(%)	被害果率(%)				
津	桑名市多度町小山	7月30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	津市大里窪田町	8月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
松阪	多気町五桂(定)	8月5日	50	2.96	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	松阪市小阿坂町	8月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伊勢志摩	南伊勢町船越(定)	8月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	南伊勢町泉	8月4日	6	0.10	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
紀州	南伊勢町五ヶ所浦	8月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	紀北町道瀬	7月31日	10	0.12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
紀州	熊野市久生屋町	8月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	御浜町下市木	8月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
紀州	御浜町阿田和	8月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	御浜町中立	8月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
紀州	紀宝町大里	8月6日	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平均			5.1	0.24	0.8	8.0	0.08	0	0.2	0	0	0	0	0	0	0
平年(10年平均)			6.1	0.34	0.8	38.1	0.008	0.2	0.08	0	0	0	0	0	0	0

9月

地区	調査場所	調査月日	かぶら病(春葉)		かぶら病(果実)		黒点病	褐色腐敗病	品 種
			温州	中晩柑	温州	中晩柑			
桑名	津	多度町小山	発病率(%)	発病度	発病率(%)	発病度	0	0	0
		9月9日	0	0	0	0	0	0	0
		9月4日	0	0	0	0	0	0	0
		9月10日	0	0	0	0	11.6	0	0
		9月10日	0	0	0	0	0	0	0
		9月10日	0	0	0	0	12.0	0	0
		9月10日	0	0	0	0	16.8	0	0
		9月10日	0	0	0	0	2.4	0.4	0
		9月8日	0	0	0	0	38.8	0	0
		9月8日	0	0	0	0	0.8	0	0
		9月8日	0	0	0	0	7.2	0	0
		9月8日	0	0	0	0	0.8	0	0
		9月8日	0	0	0	0	5.6	0	0
		9月8日	0	0	0	0	0.4	0.4	0
		平均	0.3	0.2	2.5	0	4.2	6.3	0
		平年(10年平均)	0.3	0.2	5.3	0.05	5.1	6.0	0

(9月続き)

地区	調査場所	調査月日	ミカンハダニ		チャキキイロ		ミカンモブリガ		カイガラムシ類		ヤノネカイガラムシ		アカマル		品 種	生育状況等
			寄生果率(%)	寄生虫数/葉	アザミウマ	被害果率(%)	被害新梢率(%)	叩き落とし虫数	カイガラムシ類	寄生率(%)	寄生率(%)	寄生率(%)	寄生率(%)	寄生率(%)		
桑名	津	多度町小山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		9月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		9月4日	0	0	0	0	40	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		9月10日	6	0.06	6	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		9月10日	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		9月10日	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		9月10日	0	0	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		9月10日	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		9月8日	0	0	4	86	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		9月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		9月8日	8	0.22	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		9月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		9月8日	4	0.06	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		9月8日	20	0.52	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		平均	2.9	0.07	1.8	10.6	0	0	0	0.2	0	0	0	0	0	0
		平年(10年平均)	7.1	0.19	1.3	37.4	0.03	0.3	0.05	0.1	0	0	0	0	0	0

10月

地区	調査場所	調査月日	かみょう病(春葉)				かいよう病(果実)				黒点病		品 種
			温州		中晩柑		温州		中晩柑		果実発病度	発病果率	
			発病率(%)	発病度	発病率(%)	発病度	発病率(%)	発病度	発病率(%)	発病度			
桑名	桑名市多度町小山	10月7日	0	0	—	—	0	0	—	—	8.8	0	早生温州
津	津市大里窪田	10月1日	0	0	—	—	0	0	—	—	0	0	早生温州
松阪	多気町五桂(定)	10月1日	0	0	—	—	0	0	—	—	17.2	0	早生温州
	松阪市小阿坂町	10月1日	0	0	—	—	0	0	—	—	10.0	0	普通温州
	南伊勢町船越(定)	10月1日	0	0	—	—	0	0	—	—	16.0	0	普通温州
伊勢 志摩	南伊勢町泉	10月1日	—	—	0	0	—	—	0	0	44.8	0	セミノール
	南伊勢町五カ所浦	10月1日	—	—	—	20	8.8	—	—	8.0	0.8	0	カラ
	紀北町道瀬	10月5日	—	—	—	12	7.2	—	—	2.4	26.0	0	新甘夏
紀州	熊野市久生屋	10月5日	0	0	—	—	0	0	—	—	0	0	早生温州
	御浜町下市木	10月5日	—	—	8	4.8	—	—	5.2	6.8	0	0	カラ
	御浜町阿田和	10月5日	0	0	—	—	0	0	—	—	0.8	0	早生温州
	御浜町中立	10月5日	—	—	0	0	—	—	2.4	1.2	0	0	新甘夏
	紀宝町大里	10月5日	—	—	2	2.0	—	—	0.4	2.0	0	0	セミノール
平 均		0	0	0	0	3.8	0	0	3.1	10.3	0		
平年(10年平均)			0.1	0.02	10.9	5.4	0.06	0	5.8	10.6	0		

(10月続き)

地区	調査場所	調査月日	ミカンハダニ		チャノキイロ		カメムシ類		カイガラムシ類		アノネカイガラムシ		アカマル		品 種	生育状況等
			寄生率(%)	寄生虫数/葉	アザノア	被害果率(%)	叩き落とし	虫数	寄生率(%)	寄生率(%)	寄生率(%)	寄生率(%)	寄生率(%)	寄生率(%)		
			アザノア	被害果率(%)	寄生率(%)	寄生率(%)	寄生率(%)	寄生率(%)	寄生率(%)	寄生率(%)	寄生率(%)	寄生率(%)	寄生率(%)			
桑名	桑名市多度町小山	10月7日	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	
津	津市大里窪田	10月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	
松阪	多気町五桂(定)	10月1日	48	0.86	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	果実径6cm
	松阪市小阿坂町	10月1日	2	0.02	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	普通温州	果実径7.5cm
伊勢 志摩	南伊勢町船越(定)	10月1日	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	普通温州	夏秋梢数少
	南伊勢町泉	10月1日	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	セミノール	果実径6cm
	南伊勢町五カ所浦	10月1日	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	カラ	果実径6~7cm 夏秋梢数多
紀州	紀北町道瀬	10月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	新甘夏	果実径8cm
	熊野市久生屋	10月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	果実径7cm
	御浜町下市木	10月5日	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	カラ	果実径6.5cm
	御浜町阿田和	10月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	果実径6cm 区外にアカマルカイガラムシあり
	御浜町中立	10月5日	28	0.60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	新甘夏	果実径9cm
紀宝町大里	10月5日	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	セミノール	果実径6cm	
平 均		6.0	0.11	3.1	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
平年(10年平均)			4.8	0.14	1.6	0.06	0.7	0.1	0.2	0.2	0.1	0.2	0.1	0.2		

3月

地区	調査場所	調査月日	その病		かきょう病		ミカンハダニ		カイガラムシ類		ヤノネカイガラムシ		品 種	生育状況等
			旧薬発病度	温州(旧薬)	発病度	発病率(%)	中晩柑(旧薬)	発病度	寄生薬率(%)	寄生虫数/葉	寄生枝率(%)	寄生薬率(%)		
桑名	桑名市多度町小山	3月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	
	津市大里窪田	3月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	
松坂	多気町五桂(定)	3月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	
	松坂市小阿坂町	3月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	普通温州	
伊勢 志摩	南伊勢町船越(定)	3月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	普通温州	
	南伊勢町泉	3月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	セミノール	
	南伊勢町五ヶ所浦	3月4日	0	0	0	0	4	0.8	0	0	0	0	カラ	
	紀北町道瀬	3月10日	0	0	0	0	4	2.4	68	3.90	0	0	新甘夏	
紀州	熊野市久生屋	3月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	
	御浜町下市木	3月10日	0	0	0	0	6	2.8	0	0	0	0	カラ	
	御浜町阿田和	3月10日	0	0	0	0	0	0	4	0.12	2	0	早生温州	
	御浜町中立	3月10日	0	0	0	0	0	0	10	0.10	0	0	新甘夏	旧薬にかいよう病徴発生
	紀宝町大里	3月10日	0	0	0	0	2	0.4	0	0	0	0	セミノール	
平 均		0	0	0	0	2.7	1.1	6.3	0.32	0.2	0	0		
前年		0.03	0.9	0.4	5.3	2.7	5.8	0.28	0.6	0	0	0		
前年(10年平均)		0.006	0.2	0.06	7.4	3.5	4.7	0.16	1.2	0.2	0.2	0		

ナシ巡回調査結果

4月

地区	調査場所	調査月日	黒星病		赤星病		ハダニ類		アブラムシ類		品 種	生育状況等
			発病率(%)	発病率(%)	発病率(%)	寄生虫数/葉	寄生枝率(%)	寄生枝率(%)				
四日市 鈴鹿	四日市市下海老	4月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水	開花始期 未展葉
	津市久居小野辺町(定)	4月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水	
津	津市香良洲町(定)	4月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水	
	松坂市燗野川北町	4月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水	
伊勢志摩	玉城町富岡(定)	4月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水	開花始期
	伊賀市羽根1	4月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水	
伊賀	伊賀市羽根2	4月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水	
	平 均		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
平 年(10年平均)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.2	
												(7年平均) (7年平均) (9年平均)

## 5月

地区	調査場所	調査月日	黒星病		ハダニ類		アブラムシ類		生育状況等
			発病葉率(%)	赤星病 発病葉率(%)	寄生葉率(%)	寄生虫数/葉	寄生枝率(%)	品 種	
四日市 鈴鹿	四日市市下海老	5月8日	0	0	0	0	0	0	幸水 区外にアブラムシあり。果実縦径2cm。
津	津市久居小野辺町(定)	4月30日	0	0	0	0	0	0	幸水 落弁期
	津市香良洲町(定)	4月30日	0	0	0	0	0	0	幸水 落弁期
松阪	松阪市礪野川北町(場内)	5月7日	0	0	0	0	2	2	幸水 幼果期(摘果済)
	玉城町富岡(定)	5月1日	0	0	0	0	0	0	幸水 摘果前
伊賀	伊賀市羽根1	5月8日	0	0	0	0	0	0	幸水 幼果期
	伊賀市羽根2	5月8日	0	0	0	0	0	0	幸水 幼果期(摘果済)
平 均			0	0	0	0	0.3		
平年(10年平均)			0.4	0.7	0.04	0.0004	1.2		

## 6月

地区	調査場所	調査月日	黒星病		ハダニ類		アブラムシ類		カメムシ類 見取り虫数	品 種	生育状況等
			発病葉率(%)	赤星病 発病葉率(%)	寄生葉率(%)	寄生虫数/葉	寄生枝率(%)	見取り虫数			
四日市 鈴鹿	四日市市下海老	6月10日	0	0	0	0	0	6	0	幸水	区外にハダニあり
津	津市久居小野辺町(定)	6月10日	0	0	0	0	0	2	0	幸水	果実4.0cm
	津市香良洲町(定)	6月10日	0	0	0	0	0	0	0	幸水	果実3.5cm
松阪	松阪市礪野川北町	6月10日	0	0	2	0	0	0	0	幸水	
	玉城町富岡(定)	6月8日	0	0	0	0	0	2	0	幸水	果実3.5cm
伊賀	伊賀市羽根1	6月11日	0	0	0	0	0	2	0	幸水	果実4.0cm
	伊賀市羽根2	6月11日	0	0	0	0	0	0	0	幸水	果実3.5cm
平 均			0	0.3	0.4	0	0	1.7	0		
平年(10年平均)			1.9	0.4	0.08	0.0005	2.7	0.0003			

7月

地区	調査場所	調査月日	黒星病		うどんこ病		ハダニ類		アブラムシ類		カメムシ類		品 種	生育状況等
			発病率(%)	発病葉率(%)	発病率(%)	発病葉率(%)	寄生率(%)	寄生虫数/葉	寄生率(%)	寄生虫数/葉	被害率(%)	見取り虫数		
四日市	鈴鹿	7月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水 袋掛け
	津市久居小野辺町(定)	7月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水
	津市香良洲町(定)	7月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水 区外にハダニあり
	松阪市磯野川北町	7月2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水 袋掛け
	伊勢志摩 玉城町富岡(定)	7月7日	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水 黒星病果実散見、徒長枝にサビダニ被害痕あり
	伊賀市羽根1	7月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水 果実径6cm
	伊賀市羽根2	7月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水 果実径5.5cm、徒長枝にサビダニ被害痕あり
	平均		0.6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	平年(10年平均)		1.9	0.1	1.9	0.07	0.1	0.04	0	0	0	0	0	

8月

地区	調査場所	調査月日	黒星病		うどんこ病		疫病		ハダニ類		アブラムシ類		カメムシ類		品 種	備 考
			発病率(%)	発病葉率(%)	発病率(%)	発病葉率(%)	寄生率(%)	寄生虫数/葉	寄生率(%)	寄生虫数/葉	被害率(%)	見取り虫数	被害率(%)	見取り虫数		
四日市	鈴鹿	8月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水(有袋)	
	津市久居小野辺町(定)	8月3日	0	0	0	0	0	0	10	0.38	0	0	0	0	幸水(有袋)	
	津市香良洲町(定)	8月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水(有袋)	
	松阪市磯野川北町	8月3日	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	幸水(有袋)	
	伊勢志摩 玉城町富岡(定)	8月4日	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水(無袋)	果実8cm 区外の葉に黒星病あり
	伊賀市羽根1	7月30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水(無袋)	果実9cm 区外に黒星病による葉集あり
	伊賀市羽根2	7月30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水(無袋)	果実7cm
	平均		0	0.3	0.3	0	0	0	1.4	0.05	0	0	0	0.1		
	平年(10年平均)		1.4	1.1	0.6	0.6	0	3.0	0.16	0.1	1.3	0	0			

9月

地区	調査場所	調査月日	黒星病		うどんこ病		疫病		ハダニ類		アブラムシ類		カメムシ類		品 種	生育状況等
			発病率(%)	発病葉率(%)	発病率(%)	発病葉率(%)	寄生率(%)	寄生虫数/葉	寄生率(%)	寄生虫数/葉	被害率(%)	見取り虫数	被害率(%)	見取り虫数		
四日市	鈴鹿	9月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水(有袋)
	津市久居小野辺町(定)	9月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水(有袋) 収穫終了 ハダニ被害痕あり
	津市香良洲町(定)	9月4日	0	0	0	0	0	0	10	0.64	0	0	0	0	0	幸水(有袋) 収穫終了
	松阪市磯野川北町	9月10日	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水(有袋) 収穫終了 ハダニ被害痕あり
	伊勢志摩 玉城町富岡(定)	9月9日	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水 収穫前 果実径9cm
	伊賀市羽根1	9月3日	0	0	0	0	0	0	16	1.92	0	0	0	0	0	幸水(無袋) 収穫終了 赤星病あり
	伊賀市羽根2	9月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水(無袋) 収穫中
	平均		0	0.3	0.3	0	0	0	3.7	0.37	0	0	0	0	0	
	平年(10年平均)		0.8	1.2	4.8	0	0	0.02	3.2	0.13	0.4	0.2	0.1			

カキ巡回調査結果

4月

地区	調査場所	調査月日	炭疽病 発病枝率(%)	備考
松阪	松阪市嬉野川北町(定)	4月8日	0	
	松阪市嬉野川北町1	4月8日	0	
伊勢志摩	玉城町蚊野(定)	4月3日	0	
	玉城町蚊野1	4月3日	0	
平均			0	
平年(10年平均)			0	(9年平均)

5月

地区	調査場所	調査月日	炭疽病		生育状況等
			うどんこ病 発病葉率(%)	発病新梢率(%)	
松阪	松阪市嬉野川北町(定)	5月7日	2	0	0
	松阪市嬉野川北町1	5月7日	0	0	0
伊勢志摩	玉城町蚊野(定)	5月1日	0	0	0
	玉城町蚊野1	5月1日	0	0	0
平均			0.5	0	0
平年(10年平均)			0	0.05	0.0005



## 6月

地区	調査場所	調査月日	うどんこ病		炭疽病		カメムシ類		生育状況等
			発病葉率(%)	発病新梢率(%)	発病率(%)	被害果率(%)	叩き落とし虫数	叩き落とし虫数	
松阪	松阪市嬉野川北町(定)	6月10日	4	0	0	0	0	0	
	松阪市嬉野川北町1	6月10日	2	0	0	0	0	0	
伊勢志摩	玉城町敢野(定)	6月8日	0	0	0	0	0	0	果実横径2.0cm
	玉城町敢野1	6月8日	0	0	0	0	0	0	果実横径2.0cm 区外の新葉にうどんこ病あり
平均			1.5	0	0	0	0	0	
平年(10年平均)			1.6	0.05	0.05	0.1	0.1	0.1	

## 7月

地区	調査場所	調査月日	うどんこ病		炭疽病		カメムシ類		生育状況等
			発病葉率(%)	発病新梢率(%)	発病率(%)	被害果率(%)	叩き落とし虫数	叩き落とし虫数	
松阪	松阪市嬉野川北町(定)	7月2日	2	0	0	0	0	0	
	松阪市嬉野川北町1	7月2日	4	0	0	0	0	0	
伊勢志摩	玉城町敢野(定)	7月7日	0	0	0	0	0	0	0 果実5cm、区外の葉にうどんこ病あり
	玉城町敢野1	7月7日	0	0	0	0	0	0	0 果実5.5cm、区外の葉にうどんこ病あり
平均			1.5	0	0	0	0	0	
平年(10年平均)			8.6	0	0	0	0.4	0.8	0

## 8月

地区	調査場所	調査月日	うどんこ病		炭疽病		カメムシ類		備考
			発病葉率(%)	発病新梢率(%)	発病率(%)	被害果率(%)	叩き落とし虫数	被害果率(%)	
松阪	松阪市嬉野川北町(定)	8月3日	2	0	0	0	0	0	0 果実6cm 区外にカキノヘタムシガ被害果あり
	松阪市嬉野川北町1	8月3日	8	0	0	0	0	0	0
伊勢	玉城町敢野(定)	8月4日	0	0	0	0	0	0	0 果実5~6cm
	玉城町敢野1	8月4日	0	0	0	0	0	0	0 果実5~6cm
平均			2.5	0	0	0	0	0	
平年(10年平均)			7.3	0	0	0	0.7	0.03	0.05

9月

地区	調査場所	調査月日	うどんこ病		炭疽病		カメムシ類		カキノヘタムシガ		生育状況等
			発病葉率(%)	発病新梢率(%)	発病果率(%)	被害果率(%)	見取り虫数	被害果率(%)	被害果率(%)		
松阪	松阪市嬉野川北町(定)	9月10日	2	0	0	0	0	0	0	0	0 果実径7cm カイガラムシあり
	松阪市嬉野川北町1	9月10日	8	0	0	0	0	0	0	0	2 果実径7cm
伊勢	玉城町蚊野(定)	9月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0 果実径7cm 日焼け果多 区外の果実に炭疽病の疑いあり
	玉城町蚊野1	9月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0 果実径7cm
平均			2.5	0	0	0	0	0	0	0	0.5
平年(10年平均)			14.1	0	0	0	1.8	0	0	0	1.1

10月

地区	調査場所	調査月日	うどんこ病		炭疽病		カメムシ類		カキノヘタムシガ		生育状況等
			発病葉率(%)	発病果率(%)	発病果率(%)	被害果率(%)	見取り虫数	被害果率(%)			
松阪	松阪市嬉野川北町(定)	10月1日	2	0	0	0	0	0	0	0	0 果実7.5cm
	松阪市嬉野川北町1	10月1日	70	0	0	4	0	0	0	0	0 果実径8cm カイガラムシ吸汁痕あり
伊勢志摩	玉城町蚊野(定)	10月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0 果実径7~8cm
	玉城町蚊野1	10月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0 果実径8cm 落葉病散見
平均			18.0	0	0	1.0	0	0	0	0	0
平年(10年平均)			13.7	0.2	0.2	6.2	0	0	0	0	0.5

ブドウ巡回調査結果

5月

地区	調査場所	調査月日	べと病 発病葉率(%)	黒とう病 発病葉率(%)	ハダニ類		生育状況等
					寄生葉率(%)	寄生虫数/葉	
津	津市久居明神町	4月30日	0	0	0	0	区内にハダニあり 展葉7枚
	伊勢志摩 玉城町勝田	5月1日	0	0	0	0	展葉6枚
伊賀	伊賀市森寺(定)	5月8日	0	0	0	0	展葉4枚
	伊賀市森寺1	5月8日	0	0	0	0	展葉4枚
	伊賀市上ノ庄(定)	5月8日	0	0	0	0	巨峰
	伊賀市予野	5月8日	0	0	0	0	巨峰
	名張市下小波田1	5月8日	0	0	0	0	安芸クイーン 展葉5枚
	名張市下小波田2	5月8日	0	0	0	0	デラウェア 展葉7枚
平均			0	0	0	0	巨峰 展葉7.5枚
平年(10年平均)			0	0.9	0.03	0.003	

6月

地区	調査場所	調査月日	べと病 発病葉率(%)	黒とう病 発病葉率(%)	ハダニ類		生育状況等
					寄生葉率(%)	寄生虫数/葉	
津	津市久居明神町	6月10日	0	0	0	0	安芸クイーン
	伊勢志摩 玉城町勝田	6月8日	0	0	0	0	デラウェア
伊賀	伊賀市森寺(定)	6月11日	0	0	0	0	安芸クイーン
	伊賀市森寺1	6月11日	0	0	0	0	巨峰
	伊賀市上ノ庄(定)	6月11日	0	0	0	0	巨峰
	伊賀市予野	6月11日	0	0	0	0	安芸クイーン
	名張市下小波田1	6月11日	0	0	0	0	デラウェア
	名張市下小波田2	6月11日	0	0	0	0	巨峰
平均			0	0	0	0	
平年(10年平均)			0.05	1.5	0.06	0.0006	

7月

地区	調査場所	調査月日	べと病		黒とう病		ハダニ類		生育状況等
			発病葉率(%)	発病葉率(%)	発病葉率(%)	発病葉率(%)	寄生葉率(%)	寄生虫数/葉	
津	津市久居明神町	7月3日	0	0	0	0	0	0	安芸クイーン
	伊勢志摩 玉城町勝田	7月7日	0	0	0	0	0	0	デラウエア
伊賀	伊賀市森寺(定)	7月3日	0	0	0	0	0	0	安芸クイーン
	伊賀市森寺1	7月3日	0	10	0	0	0	0	巨峰
	伊賀市上ノ庄(定)	7月3日	0	0	0	0	0	0	巨峰
	伊賀市子野	7月3日	20	0	0	0	0	0	安芸クイーン
	名張市下小波田1	7月3日	0	0	0	0	0	0	デラウエア
	名張市下小波田2	7月3日	0	0	0	0	0	0	巨峰
平均			2.5	1.3	0	0	0		
平年(10年平均)			3.9	1.5	1.0	0.02			

8月

地区	調査場所	調査月日	べと病		黒とう病		ハダニ類		カメムシ類 寄生率(%)	品種	備考 生育状況等
			発病葉率(%)	発病葉率(%)	発病葉率(%)	発病葉率(%)	寄生葉率(%)	寄生虫数/葉			
津	津市久居明神町	8月3日	0	0	0	0	0	0	0	安芸クイーン	
	伊勢志摩 玉城町勝田	8月4日	0	0	0	0	0	0	0	デラウエア	褐斑病散見
伊賀	伊賀市森寺(定)	7月30日	0	0	0	0	0	0	0	安芸クイーン	
	伊賀市森寺1	7月30日	10	0	0	0	0	0	0	巨峰	褐斑病散見
	伊賀市上ノ庄(定)	7月30日	0	0	0	0	0	0	0	巨峰	
	伊賀市子野	7月30日	70	0	0	26	0	0	0	安芸クイーン	
	名張市下小波田1	7月30日	0	0	0	0	0	0	0	デラウエア	褐斑病散見
	名張市下小波田2	7月30日	0	0	0	0	0	0	0	巨峰	
平均			10.0	0	3.5	0	0	0	0		
平年(10年平均)			7.9	1.6	10.0	2.6	0.10	4.7	0.1		
					(8年平均)	(6年平均)	(8年平均)				

9月

地区	調査場所	調査月日	べと病		黒とう病		ハダニ類		チャノキイロ アザミウマ		品種	生育状況等
			発病率(%)	寄生率(%)	発病率(%)	寄生率(%)	寄生虫数(葉)	寄生率(%)	被害率(%)	寄生虫数(頭/葉)		
津	津市久居明神町	9月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	安芸クイーン	収穫前
	玉城町勝田	9月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	デラウェア	収穫後 褐斑病散見
伊賀	伊賀市森寺(定)	9月3日	2	0	0	0	0	0	0	0	安芸クイーン	褐斑病散見
	伊賀市森寺1	9月3日	2	0	0	0	0	0	0	0	巨峰	べと病による落葉あり
	伊賀市上ノ庄(定)	9月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	巨峰	晩腐病散見 樹勢弱
	伊賀市予野	9月3日	2	0	0	0	0	0	0	0	安芸クイーン	べと病による落葉あり
	名張市下小波田1	9月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	デラウェア	収穫後 褐斑病散見
	名張市下小波田2	9月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	巨峰	晩腐病散見
平均		0.8	0	0	0	0	0	0	0	0		
平年(10年平均)			4.8	1.6	0.5	0.01	20.5	(4年平均)				

10月

地区	調査場所	調査月日	べと病		黒とう病		ハダニ類		品種	生育状況等	
			発病率(%)	寄生率(%)	発病率(%)	寄生率(%)	寄生虫数(頭/葉)	寄生率(%)			
津	津市久居明神町	10月1日	2	0	0	0	0	0	0	安芸クイーン	
伊勢志摩	玉城町勝田	10月1日	0	0	0	0	0	0	0	デラウェア	褐斑病散見
	伊賀市森寺(定)	10月7日	0	0	0	0	0	0	0	安芸クイーン	
伊賀	伊賀市森寺1	10月7日	0	0	0	0	0	0	0	巨峰	褐斑病散見
	伊賀市上ノ庄(定)	10月7日	0	0	0	0	0	0	0	巨峰	
	伊賀市予野	10月7日	16	0	0	0	0	0	0	安芸クイーン	落葉多
	名張市下小波田1	10月7日	0	0	0	0	0	0	0	デラウェア	
	名張市下小波田2	10月7日	0	0	0	0	0	0	0	巨峰	
	平均		2.3	0	0	0	0	0	0	0	
平年(10年平均)			8.0	0.2	0.8	0.02					

ウメ巡回調査結果

4月

地区	調査場所	調査月日	黒星病		かみょう病		アブラムシ類		ウメシロカイガラムシ		生育状況等
			果実発病度	葉発病度	果実発病度	葉発病度	葉発病度	寄生枝率(%)	寄生枝率(%)	寄生枝率(%)	
津	津市片田中町	4月7日	0	0	0	0	0	0	12	白加賀	
伊勢志摩	南伊勢町五ヶ所浦	4月9日	0	0	0	0	0	0	0	五ヶ所小梅	果実縦径1.5cm
紀州	御浜町中立	4月6日	0	0	0	0	0	0	0	南高	区外の果実に黒星病有り
	紀宝町大里	4月6日	0	0	0	0	0	0	0	南高	果実縦径2~2.5cm
平均			0	0	0	0	0	0	3.0		
平年(10年平均)			0	0.06	0.02	0.02	0	0	12.6		
			(9年平均)								

5月

地区	調査場所	調査月日	黒星病		かみょう病		アブラムシ類		ウメシロカイガラムシ		生育状況等
			果実発病度	葉発病度	果実発病度	葉発病度	葉発病度	寄生枝率(%)	寄生枝率(%)	寄生枝率(%)	
津	津市片田中町	4月30日	0	0	0	0	0	0	20	白加賀	果実肥大期
伊勢志摩	南伊勢町五ヶ所浦	5月1日	0	0	0	0	0	0	2	五ヶ所小梅	果実縦径2.5cm
紀州	御浜町中立	4月30日	0	0	0	0	0	0	0	南高	果実縦径4cm
	紀宝町大里	4月30日	0	0	0	0	0	0	0	南高	果実縦径3cm
平均			0	0	0	0	0	0	5.5		
平年(10年平均)			2.1	0.2	0.1	0	0.3	9.7			

6月

地区	調査場所	調査月日	黒星病		かみょう病		アブラムシ類		ウメシロカイガラムシ		生育状況等	
			果実発病度	葉発病度	果実発病度	葉発病度	葉発病度	寄生枝率(%)	寄生枝率(%)	寄生枝率(%)		
津	津市片田中町	6月10日	0.3	0	0	0	0	0	0	2	白加賀	收穫済
伊勢志摩	南伊勢町五ヶ所浦	6月8日	0	0	0	0	0.7	4	0	0	五ヶ所小梅	收穫済
紀州	御浜町中立	6月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	南高	收穫前
	紀宝町大里	6月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	南高	收穫前
平均			0.07	0	0	0.2	1.0	0.5				
平年(10年平均)			10.7	1.1	0.02	0.4	5.7					

## 果樹カメシ類越冬個体数調査

### a. チャバナネアオカメシ越冬冬量調査

調査年	単位:頭											
	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	10年平均
津市白山町二本木	0	1	0	1	1	0	0	5	2	1	0	1.1
津市白山町川口(スギ、ヒノキ林)	0	17	1	13	9	0	0	3	0	1	0	4.4
松阪市大阿坂町(広葉樹林)	0	4	1	27	1	0	1	14	1	0	0	4.9
松阪市小阿坂町(ヒノキ林)	3	2	2	36	28	0	6	11	0	1	0	8.9
松阪市嬉野川北町	0	2	0	3	0	0	7	3	1	0	0	1.6
平均	0.6	5.2	0.8	16.0	7.8	0.0	2.8	7.2	0.8	0.6	0.0	4.2
採集地点率(%)	20	100	60	100	80	0	60	100	60	60	0	64.0

※1地点あたり1㎡範囲内の落葉を3カ所採取し(計3㎡)、捕獲した数を計測。

※調査地点は津市白山町二本木、津市白山町川口、松阪市大阿坂町、松阪市小阿坂町の4地点。

※調査は、2017年までは1月～3月に実施。2018、2019年は12月に実施。

### b. クサギカメシ越冬冬量調査

調査年	単位:頭											
	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	10年平均
津市白山町二本木	3	17	1	12	9	7	4	4	6	9	6	7.1
津市白山町川口(スギ、ヒノキ林)	23	294	8	658	543	46	38	38	50	152	10	169.1
南伊勢町船越(カンキツ園)	0	5	0	55	5	4	30	30	1	2	0	12.0
御浜町志原(カンキツ園)	0	1	0	3	10	1	0	0	0	0	1	1.5
平均	6.5	79.3	2.3	182.0	141.8	14.5	18.0	18.0	14.3	40.8	4.3	51.7
採集地点率(%)	50	100	50	100	100	100	75	75	75	75	75	79.5

※越冬小屋(0.6m×0.6m×1m)に入った数を計測。

※例年小屋の設置は10月上旬。1月～2月に回収調査を実施。

※調査地点は津市白山町二本木、津市白山町川口、南伊勢町船越、御浜町志原の4地点。

※2008年までは志摩市磯部町堀切で調査。以降は、南伊勢町船越に、設置場所を西へ約7km移動して調査。

広域病害虫防除員調査結果  
カンキョウ 6月

地区	調査地点	品種	そうか病		かいよう病		黒点病		ミカンハダニ		生育状況等	調査日	
			発病葉数	発病率	発病葉数	発病率	発病葉数	発病率	寄生葉率	虫数/葉			
伊勢	南伊勢町切原1	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	○切原(粘着) 新梢やや多、花芽やや少。 開花期5月上旬～下旬、最盛期は5月中旬、一次生理落果期。 1・2・3: 山の中の圃であるが、生育状況は海岸部と同程度。 病害虫の発生は見られない。	6月9日	
	南伊勢町切原2	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0		6月9日	
	南伊勢町切原3	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	○五ヶ所浦 新梢やや多、花芽やや少。 開花期5月上旬～下旬、最盛期は5月中旬、一次生理落花中。	6月9日	
	南伊勢町五ヶ所1	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0		6月9日	
	南伊勢町五ヶ所2	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	1・2: 新梢多、果実少。 3: 新梢並、花芽多。	6月9日	
	南伊勢町五ヶ所3	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	1・2の圃は海岸部、3の圃は山の中。	6月9日	
	平均		0	0	0	0	0	0	0	0			
	過去の平均値 (データ数)		0.6 10	1.2 10	0.4 8	0.7 8	0.1 10	0.1 10	0.0 8	1.5 10	0.19 10		
	熊野市金山町1	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0.40	早生温州:樹勢弱、着果多 早生温州:樹勢並、着果多 不知火:樹勢弱	6月10日
	熊野市金山町2	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00		6月10日
熊野市金山町3	不知火	0	0	0	0	0	0	0	0	0.12		6月10日	
御浜町志原1	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0.04		6月10日	
御浜町志原2	不知火	0	0	0	0	0	0	0	0	0.08		6月10日	
御浜町志原3	甘夏	0	0	0	0	6	12	0	0	2.88		6月10日	
御浜町下市木1	極早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	極早生温州:樹勢並、着果やや多 カラ:樹勢良、着果並 セミノール:樹勢並、着果少	6月10日	
御浜町下市木2	カラ	0	0	0	0	0	0	0	0	0.16		6月10日	
御浜町下市木3	セミノール	0	0	0	0	0	0	0	0	0.22		6月10日	
御浜町阿田和1	極早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	極早生温州:樹勢並、着果多、肥大良 甘夏:樹勢良、着果やや少 セミノール:樹勢並、着果少、新梢多	6月10日	
御浜町阿田和2	甘夏	0	0	0	0	1	2	0	0	0.00		6月10日	
御浜町阿田和3	セミノール	0	0	0	0	0	0	0	0	0.10		6月10日	
紀宝町井田1	極早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0.02		6月10日	
紀宝町井田2	早生温州	0	0	0	0	1	2	0	0	0.06	極早生温州:樹勢並、着果並 早生温州:樹勢良、着果少 不知火:樹勢並、生理落果多	6月10日	
紀宝町井田3	不知火	0	0	0	0	1	2	0	0	0.00		6月10日	
平均		0	0	0	0	1	1	0	0	0.27			
過去の平均値 (データ数)		0.3 10	0.7 10	0.0 8	0.0 8	1.1 10	2.1 10	0.0 8	0.0 8	14.1 10	0.70 10		

※いずれも50葉または50果調査。過去の平均値は、平成23年までは5月の調査結果。



広域病害虫防除員調査結果  
カンキツ 8月

地区	調査地点	品種	そうか病			かいよう病			黒点病		ミカンハダニ		生育状況等	調査日	
			発病葉数	発病葉率	発病果数	発病葉率	発病果数	発病葉率	発病果数	発病葉率	発病果数	発生葉率			虫数/葉
伊勢	南伊勢町船越1(切原)	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	果実横径35~45mm 着果数やや多	8月4日	
	南伊勢町船越2(切原)	早生温州	0	0	2	4	0	0	0	0	0	0.00	現在摘果作業中 カクツムリ、ナメジの被害果が見られるが、摘果で除去可能	8月4日	
	南伊勢町船越3(切原)	早生温州	1	2	1	2	0	0	0	0	0	0.00		8月4日	
	南伊勢町五ヶ所1	早生温州	3	6	6	12	0	0	0	0	0	0.00	果実横径35~45mm 1,2は海岸側 3は山中のほ場	8月4日	
	南伊勢町五ヶ所2	早生温州	1	2	5	10	0	0	0	0	0	0.00	1,2のほ場は着果数やや少 果実のそうか病やや多	8月4日	
	南伊勢町五ヶ所3	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	最終摘果で除去可能	8月4日	
	平均		0.8	1.7	2.3	4.7	0	0	0	0	0	0			
	過去の平均値 (データ数)		0.1 10	0.2 10	0.2 10	0.4 10	0.4 10	0.6 10	1.1 10	0.7 10	1.4 10	1.6 10.0	0.05 10		
	熊野市金山町1	早生温州	1	2	0	0	0	0	0	0	0	36.0	1.02	早生温州:マルチ栽培 果実にあカマルカイガラムシ発生あり 不知火: 管理不足	8月7日
	熊野市金山町2	早生温州	0	0	0	0	0	0	2	4	4	0.0	0.00		8月7日
熊野市金山町3	不知火	0	0	0	0	0	0	5	10	16	2.0	0.02		8月7日	
御浜町志原1	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0.0	0.00	早生温州:マルチ栽培 日焼け果散見 甘夏: 落葉有り	8月7日	
御浜町志原2	不知火	0	0	0	0	0	0	7	14	0	0.0	0.00		8月7日	
御浜町志原3	甘夏	0	0	0	0	12	24	9	18	1	2	0.00		8月7日	
御浜町下市木1	極早生温州	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.00		8月7日	
御浜町下市木2	カラ	10	20	2	4	16	32	24	48	0	0	0.00	極早生温州:マルチ栽培 セミノール:夏秋梢にあブララムシ大量発生	8月7日	
御浜町下市木3	セミノール	0	0	0	0	6	12	6	12	0	0	0.00		8月7日	
御浜町阿田和1	極早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00		8月7日		
御浜町阿田和2	セミノール	0	0	0	0	6	12	6	12	6	2.0	0.04	極早生温州:マルチ栽培	8月7日	
御浜町阿田和3	甘夏	0	0	0	0	0	0	1	2	2	4	12.0	0.30		8月7日
紀宝町井田1	極早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	6	12	6.0	0.10	極早生温州:マルチ栽培 アザミウマ被害多発	8月7日
紀宝町井田2	早生温州	1	2	0	0	0	0	0	0	15	30	2.0	0.02	不知火: 遅れ花の果実多	8月7日
紀宝町井田3	不知火	0	0	0	0	7	14	9	18	0	0	0.00		8月7日	
平均		0.9	1.7	0	0	3.1	6.3	4.6	9.2	3.4	6.8	4.0	0.10		
過去の平均値 (データ数)		0.2 10	0.4 10	0.0 10	0.0 10	1.0 10	1.9 10	1.2 10	2.4 10	3.9 10	7.9 10	10.2 10.0	0.72 10		

※いずれも50葉または50果調査。過去の平均値は、平成23年までは7月の調査結果。

広域病害虫防除員調査結果  
カンギン 10月

地区	調査地点	品種	そうか病		かいよう病		黒点病		ミカンハダニ		生育状況等	調査日	
			発病葉数	発病果数	発病葉率	発病果率	発病葉数	発病果数	発病葉率	発病果率			寄生葉率
伊勢	南伊勢町切原1	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10月6日
	南伊勢町切原2	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10月6日
	南伊勢町切原3	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10月6日
	南伊勢町五ヶ所浦1	早生温州	2	3	4	6	0	0	0	0	0	0	10月6日
	南伊勢町五ヶ所浦2	早生温州	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	10月6日
	南伊勢町五ヶ所浦3	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10月6日
	平均		0.5	0.8	0.7	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00	
	過去の平均値 (データ数)		0.2	0.2	0.5	0.5	0.2	0.6	1.3	1.3	0.3	0.02	
			10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	
東紀州	熊野市金山町1	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10月7日
	熊野市金山町2	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10月7日
	熊野市金山町3	不知火	0	0	0	0	4	7	14	9	0	0	10月7日
	御浜町志原1	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	10月7日
	御浜町志原2	甘夏	0	0	0	0	4	12	24	0	0	0	10月7日
	御浜町志原3	不知火	0	0	0	0	0	7	14	0	0	0	10月7日
	御浜町下市木1	極早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.04	10月7日
	御浜町下市木2	セミノール	0	0	0	0	0	3	6	5	4	0.10	10月7日
	御浜町下市木3	カラ	4	0	8	0	9	16	32	0	0	0	10月7日
	御浜町阿田和1	極早生温州	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	10月7日
	御浜町阿田和2	セミノール	0	0	0	0	2	4	0	12	0	0	10月7日
	御浜町阿田和3	甘夏	0	0	0	0	0	1	2	8	16	2.34	10月7日
	紀宝町井田1	極早生温州	0	0	0	0	0	0	0	18	4	0.08	10月7日
	紀宝町井田2	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	6	2	0.02	10月7日
	紀宝町井田3	不知火	0	0	0	0	9	11	22	3	2	0.04	10月7日
平均		0.3	0.5	0.5	0.0	1.9	3.7	7.6	4.9	9.7	4.4	0.17	
過去の平均値 (データ数)		0.3	0.5	0.0	0.0	1.5	2.9	5.2	8.4	16.7	5.3	0.24	
		10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	

※いずれも50葉または50果調査。過去の平均値は、平成23年までは9月の調査結果。

広域病害虫防除員調査結果  
ブドウ 7月

地区	調査地点	品種	べと病		晩腐病		生育状況等	調査日
			発病葉数	発病葉率	発病房数	発病房率		
伊賀	伊賀市湯屋谷1	巨峰	0	0%	0	0%	一筋で連霧の影響で生育むらが見られる。現在、生育状況は良好。	7月1日
	伊賀市湯屋谷2	安芸クイーン	0	0%	0	0%		7月1日
	伊賀市子野1	巨峰	0	0%	0	0%		7月1日
	伊賀市子野2	シャインマスカット	0	0%	0	0%		7月1日
	名張市美旗中村	巨峰	3	6%	0	0%	名張市美旗中村でスリップス発生少。	7月1日
	平均		0.6	1.2%	0	0%		
	過去の平均値 (データ数)		1.6 (4)	2.9% (4)	0.8 (4)	1.7% (4)		

※べと病は1圃場当り50葉、晩腐病は1圃場当り50房調査。

広域病害虫防除員調査結果  
ブドウ 8月

地区	調査地点	品種	べと病		晩腐病		生育状況等	調査日
			発病葉数	発病葉率	発病房数	発病房率		
伊賀	伊賀市湯屋谷1	巨峰	0	0%	0	0%	生育良好 間もなく収穫開始	8月3日
	伊賀市湯屋谷2	安芸クイーン	0	0%	0	0%		8月3日
	伊賀市子野1	巨峰	0	0%	3	6%		8月3日
	伊賀市子野2	シャインマスカット	3	6%	0	0%		8月3日
	伊賀市美旗中村	巨峰	4	8%	0	0%		8月3日
	平均		1	3%	1	1%		
	過去の平均値 (データ数)		3.7 (4)	6.8% (4)	3.2 (4)	6.2% (4)	※昨年度より調査地点変更	

※べと病は1圃場当り50葉、晩腐病は1圃場当り50房調査。

広域病害虫防除員調査結果  
ブドウ 9月

地区	調査地点	品種	べと病		晩腐病		生育状況等	調査日
			発病葉数	発病葉率	発病房数	発病房率		
伊賀	伊賀市湯屋谷1	巨峰	0	0%	0	0%	生育良好	9月1日
	伊賀市湯屋谷2	安芸クイーン	0	0%	0	0%	湯屋谷：発生はほぼ無し 子野：巨峰の残果実で晩腐病あり	9月1日
	伊賀市子野1	巨峰	0	0%	0	0%	シャインマスカットは収穫終了	9月1日
	伊賀市子野2	シャインマスカット	0	0%	0	0%		9月1日
	伊賀市美旗中村	巨峰	0	0%	0	0%	美旗中村：晩腐病は一部で発生	9月1日
	平均		0.0	0.0%	0.0	0.0%		
	過去の平均値 (データ数)		7.7 (4)	15.7% (4)	14.2 (4)	20.6% (4)		

※べと病は1圃場当り50葉、晩腐病は1圃場当り50房調査。

(5) 茶

茶巡回調査結果(2020年4月)

地区	調査場所	炭疽病		カンザワハダニ		チャノミドリ		チャノキイロ		ハマキムシ類		クアシロカイ		チャトゲコナジラミ		備考
		旧葉発 病枚数 /㎡	旧葉寄 生率(%)	旧葉寄 生虫数 /葉	たたき落と し虫数	たたき落と した虫数	たたき落と した虫数	アザミウマ	ハダニ	幼虫数 (頭/葉)	巻葉数 /㎡	雌成虫寄 生率(%)	寄生率 (%)	寄生度	発生程度	
四日市市	水沢町(定)	2	0	0	0	0	0	0	0	3	0	24	66	22.0	少	4月7日 萌芽期
四日市市	水沢町1	1	10	0.28	0	0	0	0	0	2	0	28	54	18.0	少	4月7日 0.5葉期
四日市市	水沢町2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40	58	19.3	少	4月7日 萌芽期
鈴鹿市	山本町(定)	0	14	0.42	0	0	0	0	0	10	1	36	60	20.0	少	4月7日 萌芽期
四日市	鈴鹿市山本町1	0	6	0.06	0	0	0	0	0	105	2	40	58	19.3	少	4月7日 萌芽期
鈴鹿	鈴鹿市山本町2	0	4	0.10	0	0	0	0	0	21	1	28	36	12.0	少	4月7日 萌芽期
	鈴鹿市山本町3	0	0	0	0	0	0	0	0	49	0	26	54	18.0	少	4月7日 0.5葉期
	亀山市太森町1	0	16	1.02	0	0	0	0	0	2	0	20	80	26.7	少	4月7日 0.5葉期
	亀山市太森町2	0	2	0.02	1	0	0	0	0	0	0	12	72	24.0	少	4月7日 萌芽前
	亀山市太森町3	0	2	0.02	0	0	0	0	0	0	0	24	58	20.7	少	4月7日 萌芽期
	松阪市飯南町粥見1	19	2	0.24	0	0	0	0	0	0	0	10	50	16.7	少	4月8日 萌芽期
	松阪市飯南町粥見2	7	4	0.64	0	0	1	0	0	1	0	16	60	21.3	少	4月8日 萌芽期
	松阪市飯南町粥見3	21	2	0.02	0	0	0	0	0	0	0	12	62	21.3	少	4月8日 萌芽期
松阪	大台町栃原(定)	3	6	0.16	0	0	0	0	0	0	0	16	40	14.7	少	4月8日 萌芽前
	大台町栃原1	7	22	0.84	0	0	0	0	0	0	0	10	34	11.3	少	4月8日 萌芽前
	大台町栃原2	6	22	1.56	0	0	0	0	0	0	0	8	52	17.3	少	4月8日 萌芽前
伊勢	度会町棚橋	20	6	0.56	0	0	0	0	0	2	0	10	12	4.0	少	4月8日 萌芽前
志摩	度会町牧戸	9	6	0.94	0	0	0	0	0	3	0	24	70	24.7	少	4月8日 萌芽前
	平均	5.3	6.9	0.38	0.06	0.06	0	11.0	0.2	21.3	54.2	18.4	少			
	前年(2019年)	0.5	5.9	0.50	0.2	0.06	0.3	0	4.3	26.6	9.4					
	平年(10年平均)	2.0	4.9	0.22	0.3	1.6	0.5	0.1	13.2	41.6	16.8					
	平年値計算データ数	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10		

※チャトゲコナジラミ寄生率(%) =  $\frac{A \times 3 + B \times 2 + C \times 1}{3 \times (\text{調査葉数})} \times 100$   
 寄生度 =  $\frac{A \times 3 + B \times 2 + C \times 1}{3 \times (\text{調査葉数})} \times 100$   
 発生程度のランク分けは右表による

チャトゲコナジラミ	
寄生度	発生程度
81以上	甚
61~80	多
41~60	中
1~40	少
0	無

茶巡回調査結果(2020年5月)

地区	調査場所	炭疽病		カンザワハダニ		チャノミドリ ヒメコノバイ		チャノキイロ アザミウマ		チャノホソガ		ハマキムシ類		クワシロカ イガラシ		チャトゲコナジラミ幼虫		備考	
		もち病 新葉発病 枚数/㎡	新葉発病 枚数/㎡	寄生率 (%)	寄生虫数 /葉	たたき数 /葉	たたき落とし 虫数	たたき落とし 虫数	たたき落とし 虫数	巻葉数/ ㎡	幼虫数/ ㎡	巻葉数/ ㎡	雌成虫寄 生株率(%)	寄生率%	寄生程度	発生度	調査月日		
四日市	四日市市水沢町(定)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5月11日 被覆中		
	四日市市水沢町1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	24	8.0	少	5月11日 摘採後	
	四日市市水沢町2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5月11日 被覆中	
鈴鹿市	鈴鹿市山本町(定)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5月11日 被覆中	
	鈴鹿市山本町1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5月11日 被覆中	
	鈴鹿市山本町2	0	0	4	0.04	2	0	0	0	0	0	0	0	36	30	12.0	少	5月11日 摘採前	
亀山市	鈴鹿市山本町3	0	0	4	0.08	0	0	0	0	0	0	4	44	38	14.0	少	5月11日 摘採後		
	亀山市太森町1	0	0	6	0.08	0	0	0	0	0	0	0	28	60	22.0	少	5月7日 摘採後		
	亀山市太森町2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	20	20	6.7	少	5月7日 摘採前		
松阪市	亀山市太森町3	0	0	4	0.04	0	0	0	0	0	0	0	30	68	28.0	少	5月7日 摘採前		
	松阪市飯南町粥見1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	14	4.7	少	5月11日 摘採前、中切りにつき周辺茶園		
	松阪市飯南町粥見2	0	0	4	0.04	0	0	0	0	0	0	0	16	56	20.7	少	5月11日 摘採後		
大台町	松阪市飯南町粥見3	0	0	0	0.30	0	0	0	0	0	0	0	10	68	29.3	少	5月11日 摘採後、中切りにつき周辺茶園		
	大台町柳原(定)	0	0	6	0.10	0	0	0	0	0	0	0	6	74	24.7	少	5月11日 摘採後		
	大台町柳原1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	6	24	8.0	少	5月11日 摘採後		
伊勢志摩	大台町柳原2	0	0	22	0.48	0	0	0	0	0	0	0	4	18	6.0	少	5月11日 摘採後		
	度会町牧戸1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	66	24.0	少	5月11日 摘採後		
	度会町牧戸2	0	0	6	0.20	1	0	0	0	0	0	0	10	60	21.3	少	5月11日 摘採後		
平均		0	0	5.4	0.10	0.3	0	0.07	0.07	0.1	0.07	0.3	19.3	44.3	16.4	少			
前年(2019年)		0	0	6.6	0.15	0.4	0.07	0.1	0.07	0.1	0.07	0.7	4.1	20.9	7.8				
10年平均		0.04	0	4.1	0.09	0.8	2.0	0.6	0.5	0.1	12.0	38.8	17.8						
データ数		10	10	10	10	10	10	9	7	10	10	10	10	10	10				

発生度	発生程度
8以上	甚
61~80	多
41~60	中
1~40	少
0	無

※炭疽病、もち病、ハマキムシ類、チャノホソガについては、株調査(1/8㎡×8ヶ所=1㎡)による。  
 ※チャトゲコナジラミ稚葉巻幼虫寄生程度：A:51頭以上、B:26頭~50頭、C:1頭~25頭、E:0頭  
 寄生率=((A×3)+(B×2)+(C×1))/(3×(調査葉数))×100  
 発生程度のランク分けは右表による。

茶巡回調査結果(2020年6月)

地区	調査場所	炭疽病	もち病	カンザワハダニ	チャノミドリ ヒメコバイ	チャノキイロ アザミウマ	ハマキ ムシ類	チャノ ホソガ	ツマグロア オカスミカ メ	クワシロ カイガラムシ	チャイトゴコノゾシラミ		調査日	備考		
											発病枚 数/㎡	発生率(%)			寄生葉 数/㎡	寄生度
	四日市市水沢町(定)	0	0	2	0.04	1	0	1	0	0	4	24	38	12.7	少	6月4日 萌芽前
	四日市市水沢町1	0	0	0	0	5	0	1	0	0	6	28	2	0.7	少	6月4日 1.5葉期
	四日市市水沢町2	0	0	0	0	8	0	2	0	1	8	28	38	14.0	少	6月4日 萌芽期
	鈴鹿市山本町(定)	0	0	2	0.22	0	0	0	0	1	16	26	50	16.7	少	6月4日 萌芽期
	四日市 鈴鹿市山本町1	0	0	2	0.16	10	0	21	0	0	4	46	0	0	無	6月4日 萌芽期
	鈴鹿市山本町2	0	0	0	0	0	0	6	0	0	10	24	42	14.0	少	6月4日 萌芽前
	鈴鹿市山本町3	0	0	18	0.50	0	0	12	0	1	20	28	16	6.7	少	6月4日 1.0葉期
	亀山市太森町1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6月4日 中刈で調査不可
	亀山市太森町2	0	0	0	0	0	0	15	6	1	18	16	22	8.7	少	6月4日 萌芽期
	亀山市太森町3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6月4日 中刈で調査不可
	松阪市飯南町粥見1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	6	8	2.7	少	6月4日 中刈のため隣接茶園調査
	松阪市飯南町粥見2	0	0	4	0.04	1	0	0	0	0	26	28	26	8.7	少	6月4日 萌芽期
	松阪市飯南町粥見3	0	0	4	0.04	2	0	1	0	0	12	6	46	20.7	少	6月4日 1.5葉期 中刈のため隣接茶園調査
	大台町栢原(定)	0	0	0	0	4	0	0	0	0	10	2	12	4.0	少	6月4日 2.5葉期
	大台町栢原1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	2	12	4.0	少	6月4日 1.5葉期
	大台町栢原2	0	0	12	0.14	0	0	0	0	0	2	6	22	7.3	少	6月4日 1.5葉期
	伊勢 度会町牧戸1	0	0	8	0.08	2	0	8	0	0	22	6	20	6.7	少	6月4日 萌芽期
	志摩 度会町牧戸2	0	0	4	0.04	4	0	17	0	0	68	6	26	8.7	少	6月4日 萌芽期
	平均	0	0	3.5	0.08	2.3	0	5.3	0.4	0.3	16.6	17.6	23.8	8.5	少	
	前年(2019年)	0.1	0	11.1	0.36	1.6	1.7	0.4	0.3	1.4	1.1	1.4	12.8	4.4		
	平年(10年平均)	0.2	0.01	4.1	0.10	2.1	9.3	0.6	0.2	2.1	7.2	6.3	24.4	9.2		
	データ数	10	10	10	10	10	10	10	10	9	10	10	9	9		

※炭疽病、もち病、チャノホソガ、ハマキムシ類、ツマグロアオカスミカメは、株調査(1㎡)による。  
 ※チャイトゴコノゾシラミ寄生度: A:51頭以上、B:26頭~50頭、C:1頭~25頭、E:0頭  
 寄生度=(A×3)+(B×2)+(C×1)/(3×(調査葉数))×100  
 発生度のランク分けは右表による。

チャイトゴコノゾシラミ幼虫	寄生度	発生程度
	81以上	甚
	61~80	多
	41~60	中
	1~40	少
	0	無

茶巡回調査結果(2020年7月)

地区	調査場所	炭疽病		もたら病		輪斑病		カンザワハダニ		チャバシロヒメ		チャバシロア		ハマキム		チャヤホ		ツマグロカ		クワシロカイガラムシ		チャトゴコナジラミ		備考
		発病枚数 (新葉・残葉)/㎡	発病枚数 (新葉・残葉)/㎡	寄生率 (%)	寄生虫 数/葉	たたき落し 虫数	たたき落し 虫数	たたき落し 虫数	たたき落し 虫数	巻葉数 /㎡	巻葉数 /㎡	巻葉数 /㎡	被芽数 /㎡	雄マユ寄生 株率(%)	雌成虫寄生 株率(%)	寄生率 (%)	寄生率 (%)	発生程 度	発生程 度	調査月日	発生程 度			
四日市	四日市市水沢町(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	16	14	4.7	少	少	7月10日	整枝後				
	四日市市水沢町1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	6	16	5.3	少	少	7月10日	二番茶摘採後				
	四日市市水沢町2	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	12	68	26.7	少	少	7月10日	整枝後				
	鈴鹿市山本町(定)	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	58	66	68	26.0	少	少	7月10日	整枝後				
	鈴鹿市山本町1	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	38	50	52	17.3	少	少	7月10日	整枝後				
	鈴鹿市山本町2	2	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	30	60	66	23.3	少	少	7月10日	二番茶摘採後				
	鈴鹿市山本町3	4	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	22	48	68	24.0	少	少	7月10日	二番茶摘採後				
	亀山市太森町1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4	6	28	6	2.7	少	少	7月10日	整枝後				
	亀山市太森町2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	20	26	10.7	少	少	7月10日	二番茶摘採後				
	亀山市太森町3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	24	10	4.0	少	少	7月10日	中刈り後生育中			
松阪	松阪市飯南町粥見1	0	0	2	0.02	2	0	0	0	0	0	0	56	44	60	20.0	少	少	7月2日	剪枝後				
	松阪市飯南町粥見2	0	0	2	0	3	0	0	0	0	0	0	54	32	56	18.7	少	少	7月2日	二番茶摘採後				
	松阪市飯南町粥見3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	14	68	27.3	少	少	7月2日	二番茶摘採後				
	大台町栃原(定)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	26	16	34	12.7	少	少	7月2日	二番茶摘採後				
	大台町栃原1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7月2日	整枝作業中、調査できず				
	大台町栃原2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24	8	62	21.3	少	少	7月2日	二番茶摘採後				
	伊勢	2	0	0	2	0.02	0	0	0	0	0	2	0	24	14	66	23.3	少	少	7月2日	整枝後			
	志摩	1	0	0	2	0.20	1	0	0	0	0	0	76	40	72	28.0	少	少	7月2日	整枝後				
	平均	1.2	0	0.8	0.4	0.01	0.4	0.06	0.2	0.9	0.2	0.2	27.5	29.2	47.8	17.4	少	少						
	前年(2019年)	0.1	0.1	0.06	0.6	0.007	3.5	0.3	0.2	0.2	0.2	0.8	3.6	4.1	28.8	11.1								
平年(10年平均)	1.2	0.02	1.2	1.2	0.07	2.3	14.6	0.2	0.5	0.8	10.9	14.0	39.8	16.0										

(8年平均)

チャトゴコナジラミ	
寄生率	発生程度
8以上	甚
61~80	多
41~60	中
1~40	少
0	無

※炭疽病、輪斑病、ホウガ、ハマキムシ類については、桿菌(1㎡)による。  
 ※クワシロカイガラムシ寄生程度: A: 株の1/2以上かつ齢に露状、B: 株の1/4以上又は枝幹の一部に露状、  
 C: 枝幹に露状、D: 寄生なし、寄生率=[(A×3)+(B×2)+(C×1)]/(3×(調査株数))×100  
 ※チャトゴコナジラミ一葉当たり寄生程度: A: 5以上、B: 26~50頭、C: 1~25頭(福葉当年春葉~前年最終葉)、  
 寄生率=[(A×3)+(B×2)+(C×1)]/(3×(調査葉数))×100

茶巡回調査結果(2020年8月)

地区	調査場所	炭疽病		輪斑病		カンザワハダニ		チャノバシロ		チャノバシロ		ハマキム		ツマグロ		ツマグロ		ヨモギ		ダシヤク		クワシロカイガラムシ		チャノゲコナジラミ		発生程度	備考
		新発病 病葉数/㎡	新発病 病葉数/㎡	新発病 病葉数/㎡	新発病 病葉数/㎡	寄生率 (%)	寄生率 (%)	寄生率 (%)	寄生率 (%)	寄生率 (%)	寄生率 (%)	寄生率 (%)	寄生率 (%)	寄生率 (%)	寄生率 (%)	寄生率 (%)	寄生率 (%)	寄生率 (%)	寄生率 (%)	寄生率 (%)	寄生率 (%)	寄生率 (%)	寄生率 (%)	寄生率 (%)	寄生率 (%)		
四日市市	水沢町(定)	0	0	0	0	0	0	1	16	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	88	40.7	少	8月5日 4~5薬期
四日市市	水沢町1	1	0	18	0	0	0	0	2	1	2	1	2	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	2.7	少	8月5日 9~10薬期
四日市市	水沢町2	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	92	33.3	少	8月5日 4~5薬期	
鈴鹿市	山本町(定)	0	0	0	0	0	0	2	11	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	58	24	72	28.7	少	8月5日 5~6薬期
四日市市	鈴鹿市山本町1	0	0	2	0	0	0	0	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	28	50	17.3	少	8月5日 5~7薬期
鈴鹿市	山本町2	0	0	0	0	0	0	0	14	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	58	38	62	22.0	少	8月5日 8~9薬期
鈴鹿市	山本町3	0	0	0	0	0	0	2	4	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	14	62	24.7	少	8月5日 5~6薬期	
亀山市	大森町1	0	0	14	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	46	2	18	6.7	少	8月5日 摘採後
亀山市	太森町2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	44	16.0	少	8月5日 5~6薬期
亀山市	大森町3	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	56	0	0	0	0	0	0	6	0	6	2.0	少	8月5日 9~10薬期	
松阪市	飯南町粥見1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	0	40	13.3	少	7月30日 5~6薬期	
松阪市	飯南町粥見2	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	0	72	31.3	少	7月30日 3~4薬期	
松阪市	飯南町粥見3	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	20	6	62	21.3	少	7月30日 5~6薬期	
松阪市	大台町柳原(定)	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	2	42	15.3	少	7月30日 整枝直後	
大台町	柳原1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32	11.3	少	7月30日 5~6薬期	
大台町	柳原2	2	0	0	0	0	0	2	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	2	54	18.0	少	7月30日 3~4薬期	
伊勢	度会町牧戸1	0	0	5	0	0	0	0	0	0	2	0	0	3	0	0	0	0	0	0	14	16	84	28.0	少	7月30日 5~6薬期	
志摩	度会町牧戸2	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	6	4	98	46.0	中	7月30日 6~7薬期	
平均		0.2	0	2.4	0.1	0.001	1.1	3.8	4.8	0.1	3.7	1.5	0.3	0.06	0.3	0.06	0.3	0.06	0.3	0.06	17.4	7.8	54.8	21.0	少		
前年(2019年)		0.06	0	0.2	0.1	0.001	1.1	3.8	1.1	0.6	0.2	1.1	0.04	0.3	0.06	0.3	0.06	0.3	0.06	0.3	2.9	2.8	34.4	11.8			
10年平均		1.2	0.07	3.1	1.0	0.02	1.4	7.3	0.6	0.2	1.1	0.04	0.3	0.06	0.3	0.06	0.3	0.06	0.3	0.06	5.4	7.6	25.7	10.2			

※炭疽病、もち病、輪斑病、ハマキムシ類、チャノバシロ、ツマグロアオカミカス、ヨモギエダシヤクについては、枠調査(1㎡)による。  
 ※チャノゲコナジラミ:一葉当たり寄生程度(病害当年春葉):A:51頭以上、B:26~50頭、C:1~25頭、E:0頭  
 寄生度=[(A×3)+(B×2)+(C×1)]/(3×(調査葉数))×100、発生程度は右表によりランク分け

※8年平均		※9年平均		※8年平均		※9年平均	
寄生度	発生程度	寄生度	発生程度	寄生度	発生程度	寄生度	発生程度
81以上	甚	81以上	甚	81以上	甚	81以上	甚
61~80	多	61~80	多	61~80	多	61~80	多
41~60	中	41~60	中	41~60	中	41~60	中
1~40	少	1~40	少	1~40	少	1~40	少
0	無	0	無	0	無	0	無



茶巡回調査結果(2020年9月)

地区	調査場所	炭疽病		カンザウハダニ	チャノミドリヒメヨロバイ		チャノキイロアザミウマ	ハマキムシ類	チャノボソガ	クワンソカイガラムシ		チャトケコナジラミ幼虫		備考	
		新葉発病葉数/m <sup>2</sup>	輪斑病新葉発病葉数/m <sup>2</sup>		寄生虫数(頭/葉)	たたき落とし虫数(頭)				たたき落とし虫数(頭)	雄寄生株率(%)	雌成虫寄生株率(%)	寄生葉率(%)		寄生度
	四日市市水沢町(定)	0	0	2	0.02	0	0	37	1	0	0	14	6.0	少	三番茶硬化期(5~6葉)
	四日市市水沢町1	0	0	0	0	1	0	0	0	8	2	8	2.7	少	三番茶硬化期(5~6葉)
	四日市市水沢町2	0	0	0	0	0	0	4	0	0	2	22	8.0	少	三番茶硬化期(5~6葉)
	鈴鹿市山本町(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	36	20	10	3.3	少	三番茶硬化期(5~6葉)
	鈴鹿市山本町1	1	3	0	0	0	0	1	0	6	10	6	2.0	少	三番茶硬化期(4~5葉)
	鈴鹿市山本町2	0	0	2	0.02	0	0	2	0	64	28	20	7.3	少	三番茶硬化期(4~5葉)
	鈴鹿市山本町3	0	3	0	0	0	2	3	1	24	10	26	8.7	少	三番茶硬化期(4~5葉)
	亀山市太森町1	0	0	0	0	0	0	1	1	12	18	46	15.3	少	三番茶硬化期(4~5葉)
	亀山市太森町2	1	4	0	0	0	2	1	0	8	10	18	6.7	少	三番茶硬化期(4~5葉)
	亀山市太森町3	0	0	0	0	0	0	3	4	10	30	10	3.3	少	硬化期(整枝後)
	松阪市飯南町粥見1	0	0	16	0.50	0	2	4	0	28	42	28	15.3	少	硬化期(整枝後)
	松阪市飯南町粥見2	0	0	16	0.40	0	0	2	0	70	32	20	6.7	少	三番茶硬化期(5~6葉)
	松阪市飯南町粥見3	0	0	0	0	0	0	0	0	8	2	54	24.0	少	三番茶硬化期(5~6葉)
松阪	大台町栃原(定)	0	1	0	0	0	1	0	0	12	10	10	3.3	少	三番茶硬化期(6葉)
	大台町栃原1	2	4	0	0	1	0	0	0	6	2	22	7.3	少	三番茶硬化期(5~6葉)
	大台町栃原2	0	0	26	0.42	7	0	0	0	2	2	32	10.7	少	三番茶硬化期(5~6葉)
伊勢	度会町牧戸1	0	0	28	0.54	0	1	0	0	4	2	10	3.3	少	三番茶硬化期(5~6葉)
志摩	度会町牧戸2	2	0	16	0.36	1	0	0	0	4	4	32	10.7	少	三番茶硬化期(5~6葉)
	平均	0.3	0.8	5.9	0.13	0.6	0.4	3.2	0.4	16.8	11.8	22.3	8.0	少	
	前年(2019年)	0.6	2.8	0.2	0.006	2.2	1.4	0.8	0.5	5.7	6.9	16.2	5.7		
	平年(10年平均)	1.4	3.5	1.8	0.03	1.7	5.3	1.4	0.9	4.2	5.6	15.8	6.4		

※炭疽病、もち病、輪斑病、ハマキムシ類、ホソガは、枠調査(1m<sup>2</sup>)による。

※輪斑病は新梢枯死症を含む。

※チャトケコナジラミ: 寄生程度: 裾葉当年春葉~前年最終葉一葉当たり: A: 51頭以上、B: 26~50頭、C: 1~25頭、E: 0頭、

寄生度=(A×3)+(B×2)+(C×1)/(3×(調査葉数))×100

発生程度: 右表による。

チャトケコナジラミ	
寄生度	発生程度
81以上	甚
61~80	多
41~60	中
1~40	少
0	無

茶巡回調査結果(2020年10月)

地区	調査場所	炭疽病	輪斑病	カンザワハダニ	チャノミドリ メヨコバエ	チャノキイロ アザミウマ	ハマキムシ類	チャノホソガ	ツマノアオ カスミカメ	クワシロカイガラムシ	チャノグロコナジラミ幼虫	調査月日	備考				
		発病枚 数/m <sup>2</sup>	発病枚 数/m <sup>2</sup>	寄生葉 率(%)	寄生虫 数/葉	叩き落し虫 数	叩き落し虫 数	寄生虫 数/葉	被害葉数/m <sup>2</sup>	雌成虫寄生 率(%)	寄生率 (%)	発生程 度					
四日市市	水沢町(定)	0	0	0	0	1	0	0	0	4	2	54	21.3	少	10月2日	摘採前	
四日市市	水沢町1	30	0	0	0	0	0	0	1	12	0	22	7.3	少	10月2日	摘採前	
四日市市	水沢町2	0	0	0	0	0	0	0	0	18	0	58	21.3	少	10月2日	摘採前	
鈴鹿市	山本町(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	3	10	16	5.3	少	10月2日	摘採前	
四日市市	鈴鹿市山本町1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	18	10	3.3	少	10月2日	摘採後
鈴鹿市	山本町2	22	0	0	0	0	0	0	1	36	38	22	7.3	少	10月2日	摘採前	
鈴鹿市	山本町3	0	1	0	0	0	0	0	1	12	28	26	10.7	少	10月2日	摘採後	
亀山市	大森町1	0	3	0	0	0	0	1	0	50	32	74	24.7	少	10月2日	摘採前	
亀山市	大森町2	2	1	2	0.02	0	0	1	0	6	10	26	9.3	少	10月2日	摘採前	
亀山市	大森町3	0	1	0	0	0	0	1	0	12	10	14	4.7	少	10月2日	摘採前	
松阪市	飯南町粥見1	8	0	0	0	1	0	0	0	30	6	86	29.3	少	10月6日	摘採前	
松阪市	飯南町粥見2	0	0	0	0	0	0	0	0	62	4	42	14.7	少	10月6日	摘採後	
松阪市	飯南町粥見3	0	0	6	0.24	0	0	0	0	10	2	88	35.3	少	10月6日	摘採前、チャノグロコナジラミ成虫多、すす病	
大台町	栃原(定)	0	0	0	0	0	0	0	1	4	6	50	16.7	少	10月6日	摘採前	
大台町	栃原1	3	1	0	0	0	0	0	0	6	2	46	15.3	少	10月6日	摘採前	
大台町	栃原2	0	0	4	0.04	0	0	0	0	4	0	50	16.7	少	10月6日	摘採後	
伊勢	度会町牧戸1	13	9	0	0	0	0	2	0	5	0	52	17.3	少	10月6日	摘採前	
志摩	度会町牧戸2	6	1	4	0.06	0	0	0	0	3	0	46	15.3	少	10月6日	摘採前	
平均		4.7	0.9	0.9	0.02	0.1	0.1	0.4	0	3.8	13.9	10.4	43.4	15.3	少		
前年(2019年)		2.1	1.4	3.4	0.07	2.4	0.3	0.1	0.06	0.2	0.4	5.4	20.4	7.0			
前年(10年平均)		2.1	2.2	1.4	0.03	1.4	2.4	0.1	0.02	1.5	0.6	3.2	18.2	6.8			

※炭疽病、輪斑病、ハマキムシ類、チャノホソガについては、検調査(1m<sup>2</sup>)による。

※チャノグロコナジラミ：寄生程度；罹病当年春葉～前年最終葉一葉当たり；A:51頭以上、B:26～50頭、C:1～25頭、E:0頭、

寄生率=(A×3)+(B×2)+(C×1)/(13×(調査葉数))×100

発生程度：右表による。

チャノグロコナジラミ	
寄生率	発生程度
8以上	甚
61～80	多
41～60	中
1～40	少
0	無

茶巡回調査結果<2021年3月>

地区	調査場所	カンザワハダニ		クワシロカイガラムシ		チャトゲコナジラミ幼虫		調査月日	備考
		寄生葉率 (%)	寄生虫数/葉	雌成虫寄生株率 (%)	寄生率 (%)	寄生度	発生程度		
四日市	四日市市水沢町(定)	4	0.08	16	60	21.3	少	3月9日	
	四日市市水沢町1	10	0.18	8	18	6.0	少	3月9日	
	四日市市水沢町2	2	0.02	6	94	37.3	少	3月9日	
鈴鹿	鈴鹿市山本町(定)	0	0	26	44	15.3	少	3月9日	
	鈴鹿市山本町1	0	0	16	44	14.7	少	3月9日	
	鈴鹿市山本町2	0	0	34	34	12.0	少	3月9日	
亀山市	鈴鹿市山本町3	8	0.22	52	34	12.0	少	3月9日	
	亀山市太森町1	0	0	60	78	26.7	少	3月9日	クワシロカイガラムシ雄繭確認
	亀山市太森町2	0	0	36	60	20.7	少	3月9日	
松阪市	亀山市太森町3	0	0	52	34	11.3	少	3月9日	
	松阪市飯南町粥見1	0	0	28	68	22.7	少	3月4日	クワシロカイガラムシ雄繭確認
	松阪市飯南町粥見2	0	0	10	46	15.3	少	3月4日	クワシロカイガラムシ雄繭確認
松阪市	松阪市飯南町粥見3	4	0.06	10	80	36.7	少	3月4日	
	大台町栃原(定)	0	0	8	52	18.0	少	3月4日	クワシロカイガラムシ雄繭確認
	大台町栃原1	0	0	8	68	24.7	少	3月4日	
伊勢	大台町栃原2	0	0	14	34	11.3	少	3月4日	
	度会町牧戸1	0	0	14	60	23.3	少	3月4日	
	志摩 度会町牧戸2	2	0.02	6	52	18.0	少	3月4日	
平均		1.7	0.03	22.4	53.3	19.3	少		
前年		4.9	0.13	17.2	32.0	10.7			
平年(10年平均)		2.0	0.06	11.6	35.9	13.5			

チャトゲコナジラミ	
寄生度	発生程度
81以上	甚
61~80	多
41~60	中
1~40	少
0	無

※チャトゲコナジラミ裾葉裏幼虫寄生程度;  
A:51頭以上、B:26頭~50頭、C:1頭~25頭、E:0頭  
寄生度 =  $\{(3 \times NA + 2 \times NB + 1 \times NC) / 3N\} \times 100$   
発生程度のランク分けは右表による。

## 広域防除員報告(茶)

### 調査方法

1圃場あたり炭疽病は1㎡を調査(1/8㎡枠調査×10カ所)

カンザワハダニは50葉の寄生葉率、寄生頭数を調査。

新葉がない場合は、旧葉を調査する。

生育状況、特記事項等を記録する。

### 調査結果

調査地点:松阪市飯南町粥見藤ヶ瀬 榎田川左岸下流(魚瀬橋付近)10圃場

調査日	令和1年5月8日						調査日	令和1年7月4日							
対象 病害 虫	カンザワハダニ					炭疽病	備 考	対象 病害 虫	カンザワハダニ					炭疽病	備 考
	圃場 NO.	寄生 虫数	頭数/ 葉	寄生 葉数	寄生 葉率 (%)				発病葉 数(枚 /㎡)	圃場 NO.	寄生 虫数	頭数/ 葉	寄生 葉数		
	1	1	0.02	1	2	0		1	0	0	0	0	9		
	2	2	0.04	1	2	0		2	0	0	0	0	0	クワシロ多	
	3	0	0	0	0	0		3	0	0	0	0	6		
	4	0	0	0	0	0		4	0	0	0	0	6		
	5	0	0	0	0	0		5	0	0	0	0	3		
	6	0	0	0	0	0		6	0	0	0	0	0		
	7	0	0	0	0	0		7	0	0	0	0	0		
	8	0	0	0	0	0		8	0	0	0	0	0		
	9	0	0	0	0	0		9	0	0	0	0	3		
	10	0	0	0	0	0		10	0	0	0	0	0		
平均	0.3	0.01	0.2	0.4	0		平均	0	0	0	0	2.7			
7年平均	1.7	0.0	0.7	1.3	0.0		7年平均	0.9	0.0	0.5	1.0	13.4			
生育状況等 生育遅れぎみ 圃場によりチャトゲコナジラミ少々発生。							生育状況等 天候不安定のため二番茶刈取り遅れ気味、生育もやや遅い。								

# (6)野菜

## 1. イチゴ

イチゴ《2020年4月》

地区	調査場所	調査月日	灰色かび病		うどんこ病		ハダニ類		アブラムシ類		アザミウマ類	コナジラミ類		備考					
			葉 発病株率(%)	発病果率(%)	葉 発病株率(%)	発病果率(%)	寄生株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	発生程度		寄生花率(%)	成虫寄生株率(%)	若虫寄生株率(%)	品種	栽培形式	その他		
津	津市荻漕町	4月7日	0	0	0	0	0	0	40	12.5	0	0	0	0	0	0	かがり野	土耕	
	津市雲出長常町	4月7日	0	0.5	0	0	6	2.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かがり野	ハンチ
松阪	松阪市曾原町	4月9日	0	0	0	0	80	30.0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	ハンチ	栽培終了
	松阪市堀野権現前町	4月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	章姫	ハンチ	キノコ(ハダニ類)確認。ヒラズハナアザミウマ
	松阪市藤之木町	4月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	章姫	土耕	ヒラズハナアザミウマ
	松阪市新開町	4月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かがり野	土耕	
伊勢	玉城町岩出	4月3日	2	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	かがり野	ハンチ	ヒラズハナアザミウマ
	伊勢市小俣町	4月3日	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かがり野	ハンチ	
	玉城町勝田	4月3日	0	1.0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	章姫	ハンチ	ヒラズハナアザミウマ
志摩	伊勢市二見町	4月3日	0	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	ハンチ	区外：コナジラミ類確認
	志摩市磯部町栗木広	4月9日	0	0	0	0	72	44.5	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	ハンチ	
	平均		0.4	0.2	0	0	14.4	7.0	3.6	1.1	0.7	0	0	0	0	0			
	平年(10年平均)		2.8	0.9	0.5	0.7	14.0	7.5	1.9	0.7	12.0	0.8	0.07	(6年平均)	(5年平均)				

イチゴ(親株)《2020年6月》

地区	調査場所	調査月日	炭疽病発病株率(%)	うどんこ病発病株率(%)	萎黄病発病株率(%)	ハダニ類		アブラムシ類		備考			
						寄生株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	発生程度				
津	津市荻漕町	6月10日	0	0	0	0	0	50	17.5	かがり野	育苗期	露地	
	津市雲出長常町	6月10日	0	0	0	0	0	0	0	かがり野	育苗期	露地	区外：アブラムシ類確認
松阪	松阪市曾原町	6月5日	0	0	0	0	0	2	1.0	章姫	育苗期	露地	区外：ハダニ類、カキヒメコバエ確認
	松阪市堀野権現前町	6月5日	0	0	0	0	0	2	0.5	章姫	育苗期	露地	
	松阪市藤之木町	6月5日	0	0	0	0	0	0	0	章姫	育苗期	ハウス	
	松阪市新開町	6月5日	0	0	0	0	0	2	0.5	かがり野	育苗期	ハウス	
伊勢	伊勢市小俣町	6月8日	0	0	0	2	0.5	2	0.5	かがり野	育苗期	露地	
	玉城町岩出	6月8日	0	0	0	0	0	0	0	かがり野	育苗期	露地	
	玉城町勝田	6月8日	0	0	0	0	0	0	0	章姫	育苗期	ハウス	
志摩	伊勢市二見町	6月8日	0	0	0	0	0	0	0	章姫	育苗期	露地	コナジラミ類確認
	志摩市磯部町栗木広	6月8日	0	0	0	10	2.5	0	0	章姫	育苗期	ハウス	
	平均		0	0	0	1.1	0.3	5.3	1.8				
	平年(10年平均)		0	5.4	0	7.7	3.0	4.4	1.3	(5年平均)			

イチゴ(親株)《2020年7月》

地区	調査場所	調査月日	炭疽病発病株率(%)	うどんこ病発病株率(%)	萎黄病発病株率(%)	ハダニ類		アブラムシ類		備考			
						寄生株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	発生程度				
津	津市荻漕町	7月3日	0	0	0	0	0	2	0.5	かがり野	育苗期	露地・ハンチ	カキヒメコバエ確認
	津市雲出長常町	7月3日	0	0	0	2	0.5	0	0	かがり野	育苗期	露地・ハンチ	
松阪	松阪市曾原町	7月2日	0	0	0	0	0	0	0	章姫	育苗期	露地・ハンチ	カキヒメコバエ確認
	松阪市堀野権現前町	7月9日	0	0	0	0	0	0	0	章姫	育苗期	露地・ハンチ	
	松阪市藤之木町	7月9日	0	0	0	0	0	0	0	章姫	育苗期	露地・ハンチ	区外：萎黄病疑い確認
	松阪市新開町	7月2日	0	0	0	0	0	0	0	かがり野	育苗期	ハウス・地床	
伊勢	玉城町岩出	7月6日	0	0	0	0	0	0	0	かがり野	育苗期	露地・ハンチ	
	伊勢市小俣町	7月6日	0	0	0	0	0	0	0	かがり野	育苗期	露地・ハンチ	
	玉城町勝田	7月6日	0	0	0	0	0	0	0	章姫	育苗期	ハウス・ハンチ	
志摩	伊勢市二見町	7月6日	0	0	0	0	0	0	0	章姫	育苗期	露地・地床	
	志摩市磯部町	7月6日	0	0	0	4	1.0	0	0	章姫	育苗期	ハウス・ハンチ	
	平均		0	0	0	0.5	0.1	0.2	0.4				
	平年(10年平均)		0.10	3.2	0.1	6.7	2.3	1.5	0.4	(6年平均)			



イチゴ《2020年12月》

地区	調査場所	調査月日	灰色かび病		うどんこ病		ハダニ類		アブラムシ類		コナジラミ類		備考		
			葉発病株率(%)	発病果率(%)	葉発病株率(%)	発病果率(%)	寄生株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	発生程度	成虫寄生株率(%)	蛹寄生株率(%)	品種	栽培形式	その他
津	津市荻瀬町椋本	12月9日	0	0	0	0	0	0	50	17.5	0	0	0	0	かおり野 土耕 区外:コナジラミ類
	津市雲出長常町	12月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野 ベンチ 菌核病確認、区外:ハダニ類
松阪	松阪市曾原町	12月3日	0	0	0	0	30	8.0	0	0	0	0	0	0	章姫 ベンチ
	松阪市嬉野権現前町	12月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫 ベンチ
	松阪市藤之木町	12月3日	0	0	0	0	8	2.5	0	0	0	0	0	0	章姫 土耕
	松阪市新開町	12月3日	0	0	0	0	30	7.5	0	0	0	0	0	0	かおり野 土耕
伊勢志摩	伊勢市小俣町相合	12月7日	0	0	0	0	8	2.5	0	0	0	0	0	0	かおり野 ベンチ
	伊勢市二見町	12月7日	0	0	0	0	14	7.5	0	0	0	0	0	0	章姫 ベンチ コナジラミ類成虫確認、株枯れ散見
	玉城町藤田	12月7日	0	0	0	0	20	5.0	0	0	0	0	0	0	章姫 ベンチ
	玉城町岩出	12月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野 ベンチ 区外:アブラムシ類、菌核病確認
	志摩市磯部町栗木広	12月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫 ベンチ 区外:ハダニ類、アブラムシ類
平均		0	0	0	0	10.0	3.0	4.5	1.59	0	0				
平年(10年平均)		0.3	0.3	0.2	0.008	13.7	5.9	1.9	0.6	0.08(5年平均)	0.03(5年平均)				

イチゴ《2021年1月》

地区	調査場所	調査月日	灰色かび病		うどんこ病		ハダニ類		アブラムシ類		コナジラミ類		備考		
			葉発病株率(%)	発病果率(%)	葉発病株率(%)	発病果率(%)	寄生株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	発生程度	成虫寄生株率(%)	蛹寄生株率(%)	品種	栽培形式	その他
津	津市荻瀬町椋本	1月7日	0	0	0	0	0	0	2	0.5	0	0	0	0	かおり野 土耕
	津市雲出長常町	1月7日	0	0	0	0	6	2.0	0	0	0	0	0	0	かおり野 ベンチ
松阪	松阪市曾原町	1月8日	0	0	0	0	2	0.5	0	0	0	0	0	0	章姫 ベンチ ハダニ類天敵確認
	松阪市嬉野権現前町	1月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫 ベンチ 区外:ハダニ類(越冬型)、アブラムシ類、コナジラミ類(成虫)
	松阪市藤之木町	1月8日	0	0	0	0	2	0.5	0	0	0	0	0	0	章姫 土耕
	松阪市新開町	1月8日	0	0	0	0	10	3.5	0	0	0	0	0	0	かおり野 土耕
伊勢志摩	伊勢市小俣町相合	1月14日	0	0	0	0	10	4.5	0	0	0	0	0	0	かおり野 ベンチ ハダニ類天敵確認、菌核病、うどんこ病確認
	伊勢市二見町	1月13日	0	0	0	0	60	27.5	0	0	0	0	0	0	章姫 ベンチ
	玉城町藤田	1月13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫 ベンチ 萎黄病確認
	玉城町岩出	1月13日	0	0	0	0	2	1.0	0	0	0	0	0	0	かおり野 ベンチ ハダニ類天敵確認
	志摩市磯部町栗木広	1月13日	0	0	0	0	2	0.5	0	0	0	0	0	0	章姫 ベンチ
平均		0	0	0	0	8.5	3.6	0.2	0.05	0	0				
平年(10年平均)		0.9	0.5	0.08	0.009	17.4	8.7	0.3	0.09	0.1(5年平均)	0.09(5年平均)				

イチゴ《2021年2月》

地区	調査場所	調査月日	灰色かび病		うどんこ病		ハダニ類		アブラムシ類		コナジラミ類		備考		
			葉発病株率(%)	発病果率(%)	葉発病株率(%)	発病果率(%)	寄生株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	発生程度	成虫寄生株率(%)	蛹寄生株率(%)	品種	栽培形式	その他
津	津市荻瀬町椋本	2月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野 土耕 微発生:灰色かび病
	津市雲出長常町	2月12日	0	0	0	0	10.0	3.0	0	0	0	0	0	0	かおり野 ベンチ
松阪	松阪市曾原町	2月12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫 ベンチ
	松阪市嬉野権現前町	2月12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫 ベンチ
	松阪市藤之木町	2月12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫 土耕 微発生:ハダニ類、ハダニ類天敵確認
	松阪市新開町	2月12日	0	0	0	0	2.0	0.5	0	0	0	0	0	0	かおり野 土耕 萎黄病確認
伊勢志摩	伊勢市小俣町	2月9日	0	0	0	0	4.0	1.5	0	0	0	0	0	0	かおり野 ベンチ ハダニ類天敵確認
	伊勢市二見町	2月9日	0	0	0	0	50.0	17.5	0	0	0	0	0	0	章姫 ベンチ
	玉城町藤田	2月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫 ベンチ 炭そ病、クロバネキノコ(ハダニ)幼虫確認
	玉城町岩出	2月9日	0	0	0	0	6.0	2.0	0	0	0	0	0	0	かおり野 ベンチ
	志摩市磯部町栗木広	2月9日	0	0	0	0	14.0	5.5	0	0	0	0	0	0	章姫 ベンチ
平均		0	0	0	0	7.8	2.7	0	0	0	0				
平年(10年平均)		1.2	0.7	0.02	0.02	17.8	7.8	0.7	0.2	0.4(6年平均)	0.1(6年平均)				

イチゴ《2021年3月》

地区	調査場所	調査月日	灰色かび病		うどんこ病		ハダニ類		アブラムシ類		コナジラミ類		アザミウマ類		備考	
			葉発病株率(%)	発病果率(%)	葉発病株率(%)	発病果率(%)	寄生株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	発生程度	成虫寄生株率(%)	蛹寄生株率(%)	寄生花率(%)	品種	栽培形式	その他
津	津市荻瀬町椋本	3月8日	0	0	0	0	2	0.5	4	1.0	2	0	0	0	かおり野 土耕 微発生:灰色かび病、ハダニ類:カンザワハダニ	
	津市雲出長常町	3月8日	0	0	0	0	8	5.0	0	0	0	0	0	0	かおり野 ベンチ ハダニ類天敵確認	
松阪	松阪市曾原町	3月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫 ベンチ	
	松阪市嬉野権現前町	3月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫 ベンチ 微発生:ヒラズハナアザミウマ	
	松阪市藤之木町	3月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫 土耕	
	松阪市新開町	3月4日	0	0	0	0	60	30.5	0	0	0	0	1	0	かおり野 土耕 ヒラズハナアザミウマ	
伊勢志摩	伊勢市小俣町	3月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野 ベンチ 微発生:アブラムシ類、ヒラズハナアザミウマ	
	伊勢市二見町	3月9日	0	0	0	0	2	0.5	0	0	0	0	0	0	章姫 ベンチ	
	玉城町藤田	3月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫 ベンチ 微発生:アブラムシ類、ヒラズハナアザミウマ	
	玉城町岩出	3月9日	0	0	0	0	4	1.0	0	0	0	0	0	0	かおり野 ベンチ ハダニ類天敵確認	
	志摩市磯部町栗木広	3月9日	0	0	0	0	10.0	3.0	0	0	0	0	0	0	章姫 ベンチ	
平均		0	0	0	0	7.8	3.7	0.4	0.09	0.2	0	0.09				
前年		0.2	0.3	0	0	7.5	4.1	0	0	0.2	0.2	0.2	0.09			
平年(10年平均)		3.1	0.8	0	0.04	14.4	6.8	0.6	0.2	0.3(6年平均)	0.1(6年平均)	2.6				

## 2. トマト

トマト《2020年4月》

地区	調査場所	調査月日	疫病 発病株率 (%)	葉かび病 発病株率 (%)	すすかび病 発病株率 (%)	黄化葉巻病 発病株率 (%)	灰色かび病		オンシツ コナジラミ 雌寄生 率率(%)	タハコ コナジラミ 雌寄生 率率(%)	ハモグリ ハエ類 被害株率 (%)	アブラ ムシ類 寄生株率 (%)	備考		
							葉 発病 株率 (%)	果実 発病 株率 (%)					品種	定植時期	その他
桑名	木曽町源線中	4月6日	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	8月10日	
	木曽町見入	4月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	CFハウス桃太郎	8月16日	うどんこ病確認
	桑名市長島町	4月6日	0	0	0	10	0	0	0	2	0	0	りんか409	10月20日	黄化病疑い確認
四日市	四日市市貝家町	4月3日	0	0	20	0	0	0	0	0	0	0	TYみそ586	8月下旬	
松阪	松阪市堀野一志町	4月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	ハウス桃太郎	12月中旬	ミツコビナシハダニ発生疑い
	明和町佐田	4月9日	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	ごほうび	1月上旬	
伊勢	伊勢市小俣町	4月3日	0	2	0	0	0	0	0	4	0	0	ハウス桃太郎	9月2日	うどんこ病確認
	平均		0	0.9	2.9	1.4	0	0.3	0	0.9	0.3	0			
	平年(10年平均)		0	2.3	0.1	0.3	8.0	1.0	0.7	0.2	0.3	0.03			

トマト《2020年5月》

地区	調査場所	調査月日	疫病 発病株率 (%)	葉かび病 発病株率 (%)	すすかび病 発病株率 (%)	黄化葉巻病 発病株率 (%)	灰色かび病		オンシツ コナジラミ 雌寄生 率率(%)	タハコ コナジラミ 雌寄生 率率(%)	ハモグリ ハエ類 被害株率 (%)	アブラ ムシ類 寄生株率 (%)	備考		
							葉 発病 株率 (%)	果実 発病 株率 (%)					品種	定植時期	その他
桑名	木曽町源線中	5月11日	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	ハウス桃太郎	8月10日	
	木曽町見入	5月11日	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	CFハウス桃太郎	8月16日	うどんこ病確認
	桑名市長島町	5月11日	0	0	0	10	0	0	0	2	0	0	りんか409	10月20日	黄化病疑い確認
四日市	四日市市貝家町	5月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	TYみそ586	8月下旬	うどんこ病確認、コナジラミ類成虫確認
松阪	松阪市堀野一志町	5月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	ハウス桃太郎	12月中旬	
	明和町佐田	5月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ごほうび	1月上旬	
伊勢	伊勢市小俣町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ハウス桃太郎	9月2日	収穫終了
	平均		0	0	0	1.7	1.0	0	0	0.3	0.7	0.3			
	平年(10年平均)		0	3.2	0.9	0.2	7.9	1.9	0.03	0.7	1.4	0.1			

トマト《2020年9月》

地区	調査場所	調査月日	疫病 発病株率 (%)	葉かび病 発病株率 (%)	すすかび病 発病株率 (%)	黄化葉巻病 発病株率 (%)	アブラ ムシ類 寄生株率 (%)	オンシツ コナジラミ 雌寄生 率率(%)	タハコ コナジラミ 雌寄生 率率(%)	ハモグリ ハエ類 被害株率 (%)	ハスモンヨトウ 寄生株率 (%)	オオタ ハコガ 被害株率 (%)	備考		
													品種	定植時期	その他
桑名	木曽町源線中	9月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	TYみそ109	8月12日	ほ場変更
	木曽町見入	9月9日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	みそ586	未定植	ほ場変更
	桑名市長島町	9月9日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	桃太郎プレミアム	未定植	
四日市	四日市市貝家町	9月4日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	はれぞら	未定植	土壌消毒中
松阪	松阪市堀野一志町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ハウス桃太郎	未定植	
	明和町佐田	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ごほうび	未定植	
伊勢	伊勢市小俣町相合	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ハウス桃太郎	9月1日	定植直後
	平均		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	平年(10年平均)		0	0	0.9	0	0	0	0	0.08 (7年平均)	0.10 (7年平均)	0.1	0		

トマト《2020年10月》

地区	調査場所	調査月日	疫病 発病株率 (%)	葉かび病 発病株率 (%)	すすかび病 発病株率 (%)	黄化葉巻病 発病株率 (%)	アブラ ムシ類 寄生株率 (%)	オンシツ コナジラミ 雌寄生 率率(%)	タハコ コナジラミ 雌寄生 率率(%)	ハモグリ ハエ類 被害株率 (%)	ハスモン ヨトウ 寄生株率 (%)	オオタ ハコガ 被害株率 (%)	備考		
													品種	定植時期	その他
桑名	木曽町源線中	10月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	みそ564	8月10日	タハココナジラミ成虫確認
	木曽町和泉	10月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	みそ5	9月10日	タハココナジラミ成虫確認
	桑名市長島町	10月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	りんか409	9月30日	黄色粘着板：コナジラミ類確認
四日市	四日市市貝家町	10月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かん	9月18日	オンシツコナジラミ成虫確認
松阪	松阪市堀野一志町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ハウス桃太郎	未定植	12月定植予定
	明和町佐田	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ごほうび	未定植	1月定植予定
伊勢志摩	伊勢市小俣町相合	10月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	9月1日	
	平均		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	平年(10年平均)		0	0	0.8	2.0	0	0.05	0.5	0.3	0	0.04	0.1		



トマト 《2020年11月》

地区	調査場所	調査月日	疫病 発病株率 (%)	葉かび病 発病株率 (%)	すすかび病 発病株率 (%)	黄化葉巻病 発病株率 (%)	灰色かび病		オンシツ コナジラミ 雌寄生 率率 (%)	タバコ コナジラミ 雌寄生 率率 (%)	ハモグリ ハエ類 被害株率 (%)	ハスモンヨトウ		オオタ ハコガ 被害株率 (%)	備考			
							葉 発病 株率 (%)	果実 発病 株率 (%)				品種	定植時期		その他			
桑名	木曾岬町源線輪中	11月2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	TYみそら 109	8月10日	
	木曾岬町和泉	11月2日	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	TYみそら 109	9月10日	コナジラミ類成虫確認、区外コナジラミ類、黄化病疑い
	桑名市長島町	11月2日	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	りんか409	9月30日	
四日市	四日市市貝家町	11月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かれん	9月18日	
松阪	松阪市堀野一志町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ハウス桃太郎	未定植	
	明和町佐田	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ごほうび	未定植	
伊勢志摩	伊勢市小俣町相合	11月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	9月1日	コナジラミ類成虫確認
	平均		0	0	0	0.8	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	平年(10年平均)		0	0.1	0.9	1.2	0.09	0.06	0	0.03	2.0	0.9	0	0.09	0.10		(6年平均)	

トマト 《2020年12月》

地区	調査場所	調査月日	疫病 発病株率 (%)	葉かび病 発病株率 (%)	すすかび病 発病株率 (%)	黄化葉巻病 発病株率 (%)	灰色かび病		オンシツ コナジラミ 雌寄生 率率 (%)	タバコ コナジラミ 雌寄生 率率 (%)	ハモグリ ハエ類 被害株率 (%)	備考		
							葉 発病 株率 (%)	果実 発病 株率 (%)				品種	定植時期	その他
桑名	木曾岬町源線輪中	12月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	TYみそら 109	8月10日	不明病害(調査中)
	木曾岬町和泉	12月8日	0	0	0	0	0	0	2	0	0	TYみそら 109	9月10日	コナジラミ類成虫確認、黄化病疑い
	桑名市長島町	12月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	りんか409	9月30日	
四日市 鈴鹿	四日市市貝家町	12月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かれん	9月18日	コナジラミ類成虫確認
松阪	松阪市堀野一志町	12月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	未定植	育苗中
	明和町佐田	12月3日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ごほうび	未定植	
伊勢志摩	伊勢市小俣町相合	12月7日	0	0	0	0	0	0	2	0	0	ハウス桃太郎	9月1日	コナジラミ類成虫確認
	平均		0	0	0	0	0	0	0.7	0				
	平年(10年平均)		0	0.2	8.9	1.8	1.2	0.03	0.09	0.3	0.5			

トマト 《2021年1月》

地区	調査場所	調査月日	疫病 発病株率 (%)	葉かび病 発病株率 (%)	すすかび病 発病株率 (%)	黄化葉巻病 発病株率 (%)	灰色かび病		オンシツ コナジラミ 雌寄生 率率 (%)	タバコ コナジラミ 雌寄生 率率 (%)	ハモグリ ハエ類 被害株率 (%)	備考		
							葉 発病 株率 (%)	果実 発病 株率 (%)				品種	定植時期	その他
桑名	木曾岬町源線輪中	1月12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	TYみそら 109	8月10日	コナジラミ類成虫確認
	木曾岬町見入	1月12日	0	0	0	0	0	0	0	2	0	TYみそら 109	9月10日	コナジラミ類成虫確認、黄化病疑い
	桑名市長島町	1月12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	りんか409	9月30日	
四日市 鈴鹿	四日市市貝家町	1月6日	0	0	2	0	4	0	0	2	2	かれん	9月18日	
松阪	松阪市堀野一志町	1月12日	0	0	0	0	0	0	0	0	2	ハウス桃太郎	12月中旬	
	明和町佐田	1月13日	0	0	0	0	0	0	0	0	2	ごほうび	1月7日	
伊勢志摩	伊勢市小俣町相合	1月13日	0	0	0	0	0	0	4	10	0	ハウス桃太郎	9月1日	区外:ハモグリハエ類、うどんこ病
	平均		0	0	0.3	0	0.6	0	0.6	2.0	0.9			
	平年(10年平均)		0.1	2.3	6.8	0.5	1.8	0.06	0.03	0.8	0.4			

トマト 《2021年2月》

地区	調査場所	調査月日	疫病 発病株率 (%)	葉かび病 発病株率 (%)	すすかび病 発病株率 (%)	黄化葉巻病 発病株率 (%)	灰色かび病		オンシツ コナジラミ 雌寄生 率率 (%)	タバコ コナジラミ 雌寄生 率率 (%)	ハモグリ ハエ類 被害株率 (%)	備考		
							葉 発病 株率 (%)	果実 発病 株率 (%)				品種	定植時期	その他
桑名	木曾岬町源線輪中	2月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	TYみそら 109	8月10日	微発生:灰色かび病、ばら色かび病確認
	木曾岬町和泉	2月8日	0	0	0	0	2.0	0	0	0	0	TYみそら 109	9月10日	黄化病疑い
	桑名市長島町	2月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	りんか409	9月30日	うどんこ病確認
四日市 鈴鹿	四日市市貝家町	2月8日	0	0	0	0	0	0	0	2.0	かれん	9月18日		
松阪	松阪市堀野一志町	2月12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	12月10日	微発生:ハモグリハエ類、青枯病疑い
	明和町佐田	2月12日	0	0	0	0	0	0	0	0	10.0	ごほうび	1月7日	
伊勢志摩	伊勢市小俣町相合	2月9日	0	0	0	0	0	0	4.0	0	0	ハウス桃太郎	9月1日	
	平均		0	0	0	0	0.3	0	0	0.6	1.7			
	平年(10年平均)		0.03	1.7	5.2	0.2	3.5	0.4	0.03	0.7	0.9			

トマト《2021年3月》

地区	調査場所	調査月日	疫病				灰色かび病		オンシツコナジラミ	タバココナジラミ	ハモグリバエ類	品種	定植時期	備考	その他
			発病株率(%)	発病株率(%)	発病株率(%)	発病株率(%)	葉発病株率(%)	果実発病株率(%)	寄生率(%)	寄生率(%)	被害率(%)				
桑名	木曾岬町露線輪中	3月10日	0	0	0	0	2	0	0	0	TYみそら109	8月10日	炭化病疑い確認		
	木曾岬町和泉	3月10日	0	0	0	0	4	0	0	0	TYみそら109	9月10日	炭化病疑い確認、発生:炭化葉巻病		
	桑名市長島町	3月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	りんか409	9月30日	発生:葉かび病、うどんこ病		
四日市鈴鹿	四日市市員家町	3月5日	0	0	0	0	2	0	0	0	かれん	9月18日	コナジラミ類成虫確認		
松阪	松阪市瑞野一志町	3月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	12月10日	株枯れ確認		
	明和町佐田	3月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	ごほうび	1月7日			
伊勢志摩	伊勢市小保町相合	3月9日	0	0	0	0	0	2	30.0	0	ハウス桃太郎	9月1日			
平均			0	0	0	0	0.9	0.3	0.3	4.3	0				
前年			0	0	0	0	1.4	0	0	0.9	0				
平年(10年平均)			0.05	2.5	0.6	0.09	2.8	0.3	0.06	0.5	0.03				

3. ハクサイ

ハクサイ《2020年10月》

地区	調査場所	調査月日	軟腐病		白根病		へと病	アブラムシ類	コナガ	ヨトウガ	ハスモンヨトウ	モンシロチョウ	備考					
			発病株率(%)	発病度	発病株率(%)	発病度	発病株率(%)	寄生株率(%)	寄生株率(%)	株当たり虫数(頭/株)	寄生株率(%)	寄生株率(%)	被害株率(%)	寄生株率(%)	品種	定植時期	生育状況	その他
四日市鈴鹿	四日市市水沢町1	10月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	結福055	9月16日	生育期		
	四日市市水沢町2	10月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	結福055	9月18日	生育期		
	四日市市下海老町	10月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生大福	9月2日	生育期		
	四日市市平尾町	10月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生大福	9月10日	生育期		
	鈴鹿市石薬師町1	10月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	黄ごころ90	9月16日	生育期		
	鈴鹿市石薬師町2	10月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	THH195	9月16日	生育期		
津	津市一志町高野1	10月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	黄ごころ80	9月15日	生育期		
	津市一志町高野2	10月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	秋めき	9月8日	生育期		
松阪	明和町金剛坂	10月2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	黄ごころ85	9月中旬	生育期	区外:ハスモンヨトウ確認	
	多気町丹生	10月2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	黄ごころ90	9月中旬	生育期		
平均			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
平年(10年平均)			0.06	0.03	1.7	0.5	0	1.5	0.1	0.001	0.07	0.6	0.2	0.09				
県予察任	松阪市瑞野川北町(場内)	10月2日	0	0	0	0	0	6	0	0	10	64	0	黄ごころ85	9月23日	生育期		

ハクサイ《2020年11月》

地区	調査場所	調査月日	軟腐病		白根病		へと病	アブラムシ類	コナガ	ヨトウガ	ハスモンヨトウ	モンシロチョウ	備考					
			発病株率(%)	発病度	発病株率(%)	発病度	発病株率(%)	寄生株率(%)	寄生株率(%)	株当たり虫数(頭/株)	寄生株率(%)	寄生株率(%)	被害株率(%)	寄生株率(%)	品種	定植時期	生育状況	その他
四日市鈴鹿	四日市市水沢町1	11月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	結福055	9月16日	生育期		
	四日市市水沢町2	11月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	結福055	9月18日	生育期		
	四日市市下海老町	11月4日	2	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生大福	9月2日	収穫期		
	四日市市平尾町	11月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生大福	9月10日	生育期		
	鈴鹿市石薬師町1	11月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	黄ごころ90	9月16日	生育期		
	鈴鹿市石薬師町2	11月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	THH195	9月16日	生育期		
津	津市一志町高野1	11月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	黄ごころ80	9月15日	生育期		
	津市一志町高野2	11月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	秋めき	9月8日	生育期	雑草多	
松阪	明和町金剛坂	11月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	黄ごころ85	9月中旬	生育期		
	多気町丹生	11月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	黄ごころ90	9月中旬	生育期		
平均			0.2	0.05	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
平年(10年平均)			1.9	0.7	7.1	1.9	0	2.3	0.06	0.0006	0.09	0.4	0	0.02				
県予察任	松阪市瑞野川北町(場内)	11月6日	0	0	0	0	0	50	0	0	0	0	0	黄ごころ85	9月23日	生育期		

ハクサイ《2020年12月》

地区	調査場所	調査月日	軟腐病		白根病		へと病	コナガ	ヨトウガ	ハスモンヨトウ	備考							
			発病株率(%)	発病度	発病株率(%)	発病度	発病株率(%)	寄生株率(%)	寄生株率(%)	株当たり虫数(頭/株)	寄生株率(%)	被害株率(%)	品種	定植時期	生育状況	その他		
四日市鈴鹿	四日市市水沢町1	12月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	結福055	9月16日	生育期		
	四日市市水沢町2	12月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	結福055	9月18日	生育期		
	四日市市下海老町	12月4日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	早生大福	9月2日	収穫終了		
	四日市市平尾町	12月4日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	早生大福	9月10日	収穫終了		
	鈴鹿市石薬師町1	12月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	黄ごころ90	9月16日	生育期		
	鈴鹿市石薬師町2	12月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	THH195	9月16日	生育期		
津	津市一志町高野1	12月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	黄ごころ80	9月15日	生育期		
	津市一志町高野2	12月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	秋めき	9月8日	生育期	菌核病確認	
松阪	明和町金剛坂	12月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	黄ごころ85	9月中旬	生育期	不明病害(調査中)	
	多気町丹生	12月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	黄ごころ90	9月中旬	生育期		
平均			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
平年(10年平均)			1.6	0.5	8.6	2.5	1.1	0	0	0	0	0	0	0				
県予察任	松阪市瑞野川北町(場内)	12月8日	0	0	0	0	0	0	0	0.02	0.02	0	0	黄ごころ85	9月23日	生育期	ダイコンハムシ確認	

#### 4. 冬キャベツ

##### 冬キャベツ 《2020年9月》

地区	調査場所	調査月日	黒腐病		アブラムシ類		コナガ		モンシロチョウ		ヨトウガ		ハスモンヨトウ		備考			
			発病株率 (%)	発病度	寄生株率 (%)	寄生度	寄生株率 (%)	株当たり虫数 (頭/株)	寄生株率 (%)	寄生度	寄生株率 (%)	株当たり虫数 (頭/株)	寄生株率 (%)	被害株率 (%)		品種	定植時期	生育状況
四日市 鈴鹿	四日市市平尾町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植		
	四日市市下海老町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植		
	菟野町千草	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植		
	鈴鹿市国府町1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植		
	鈴鹿市国府町2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植		
津	津市荻瀬町松本	9月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	松波	8月末	5-6葉期
	津市北河路町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植		
	津市久屋野口町	9月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	未定植		
	津市新家町	9月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	未定植		
松阪	松阪市福野森本町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植		
伊勢	玉城町岡出	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植		
平均			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
平年 (10年平均)			0	0	2.7 (9年平均)	2.7	0.08	0.001	0.1	0.001	0.3	0.1	0.10 (6年平均)					
果予察係	松阪市福野川北町(場内)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植		

##### 冬キャベツ 《2020年10月》

地区	調査場所	調査月日	黒腐病		アブラムシ類		コナガ		モンシロチョウ		ヨトウガ		ハスモンヨトウ		備考				
			発病株率 (%)	発病度	寄生株率 (%)	寄生度	寄生株率 (%)	株当たり虫数 (頭/株)	寄生株率 (%)	寄生度	寄生株率 (%)	株当たり虫数 (頭/株)	寄生株率 (%)	被害株率 (%)		品種	定植時期	生育状況	その他
四日市 鈴鹿	四日市市平尾町	10月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	夢舞台	9月15日	生育期	
	四日市市下海老町1	10月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	冬のぼり	9月20日	生育期	モンシロチョウ卵確認(多)
	四日市市下海老町2	10月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	夢舞台	9月10日	生育期	
	鈴鹿市国府町1	10月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	冬藍	9月13日	生育期	
	鈴鹿市国府町2	10月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	冬藍	9月13日	生育期	
津	津市荻瀬町松本	10月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	松波	8月下旬	生育期	モンシロチョウ卵確認、ウハバ類確認
	津市北河路町	10月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	松波	9月上旬	生育期	モンシロチョウ卵確認
	津市久屋野口町	10月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	松波	9月下旬	生育期	
	津市新家町	10月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	輝みさき	9月上旬	生育期	区外：ハスモンヨトウ、シロイモシトウ確認
松阪	松阪市福野森本町	10月2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	冬藍	9月中旬	生育期	
伊勢志摩	玉城町岡出	10月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	TCA-517	8月中旬	生育期	区外：タノコガ類確認
平均			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.3	0					
平年 (10年平均)			0.4	0.10	4.2	1.4	1.0	0.01	1.7	0.02	0.8	3.8	1.4 (6年平均)						
果予察係	松阪市福野川北町(場内)	10月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	50	0	0	夢ころも	9月23日	生育期	

##### 冬キャベツ 《2020年11月》

地区	調査場所	調査月日	黒腐病		菌核病		アブラムシ類		コナガ		モンシロチョウ		ヨトウガ		ハスモンヨトウ		備考			
			発病株率 (%)	発病度	発病株率 (%)	寄生株率 (%)	寄生度	寄生株率 (%)	株当たり虫数 (頭/株)	寄生株率 (%)	寄生度	寄生株率 (%)	株当たり虫数 (頭/株)	寄生株率 (%)	被害株率 (%)	品種		定植時期	生育状況	その他
四日市 鈴鹿	四日市市平尾町	11月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	夢舞台	9月15日	生育期	
	四日市市下海老町1	11月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	冬のぼり	9月20日	生育期	
	四日市市下海老町2	11月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	夢舞台	9月10日	生育期	
	鈴鹿市国府町1	11月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	冬藍	9月13日	生育期	
	鈴鹿市国府町2	11月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	冬藍	9月13日	生育期	
津	津市北河路町	11月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	松波	8月中旬	生育期	区外：モンシロチョウ
	津市荻瀬町松本	11月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	0	松波	8月下旬	生育期	シロイモシトウ確認
	津市久屋野口町	11月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	松波	9月下旬	生育期	雑草多
	津市新家町	11月6日	10	2.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	輝みさき	9月上旬	生育期	
松阪	松阪市福野森本町	11月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	冬藍	9月中旬	生育期	
伊勢志摩	玉城町岡出	11月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	TCA-517	8月中旬	生育期	
平均			0.9	0.2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.4	0.4					
平年 (10年平均)			6.8	1.9	0.3	5.1	1.9	0.5	0.007	1.2	0.01	0.6	0.9	0.2 (6年平均)						
果予察係	松阪市福野川北町(場内)	11月6日	0	0	0	40	10.0	0	0	10	0.1	0	0	0	0	0	夢ころも	9月23日	生育期	

##### 冬キャベツ 《2020年12月》

地区	調査場所	調査月日	黒腐病		菌核病		コナガ		アブラムシ類		根こぶ病		備考						
			発病株率 (%)	発病度	発病株率 (%)	寄生株率 (%)	寄生度	寄生株率 (%)	寄生度	発病株率 (%)	品種	定植時期		生育状況	その他				
四日市 鈴鹿	四日市市平尾町	12月4日	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	夢舞台	9月15日	生育期	区外：コナガ		
	四日市市下海老町1	12月4日	2	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	冬のぼり	9月20日	生育期			
	四日市市下海老町2	12月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	夢舞台	9月10日	生育期			
	鈴鹿市国府町1	12月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	冬藍	9月13日	生育期			
	鈴鹿市国府町2	12月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	冬藍	9月13日	生育期			
津	津市北河路町	12月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	松波	8月中旬	収穫期	区外：コナガ、菌核病		
	津市荻瀬町松本	12月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	松波	8月下旬	生育期			
	津市久屋野口町	12月9日	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	松波	9月下旬	生育期			
	津市新家町	12月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	輝みさき	9月上旬	生育期			
松阪	松阪市福野森本町	12月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	冬藍	9月中旬	生育期			
伊勢志摩	玉城町岡出	12月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	TCA-517	8月中旬	生育期	
平均			0.2	0.05	0.7	0	0	0	0	0	0	0							
平年 (10年平均)			8.0	2.4	0.9	0.3	0.005 (5年平均)	0.3 (5年平均)	0.1 (5年平均)	1.0									

冬キャベツ《2020年度 根こぶ病調査》

地区	調査場所	調査月日	根こぶ病			備考		
			発病株率 (%)	品種	定植時期	生育状況	その他	
四日市	四日市市下海老町1	1月7日	0	夢舞台	9月15日			
	四日市市下海老町2	1月7日	0	冬のぼり	9月20日			
	四日市市下海老町3	2月8日	0	夢舞台	9月10日			
	鈴鹿市国府町1	3月5日	-	冬藍	9月13日	生育期		
	鈴鹿市国府町2	3月5日	-	冬藍	9月13日	生育期		
津	津市北河路町	3月8日	25	松波	8月中旬			
	津市芸濃町橋本	1月7日	0	松波	8月下旬			
	津市久居野口町	3月8日	0	松波	9月下旬		菌核病:多	
	津市新家町	12月9日	0	輝みさき	9月上旬			
松阪	松阪市瑞野森本町	2月12日	10	冬藍	9月中旬			
伊勢志摩	玉城町岡出	12月7日	0	TCA-517	8月中旬			
平均			3.9					
前年			0					
平年(10年平均)			1.2					
県予察ほ	松阪市瑞野川北町(場内)	1月10日	0	夢ころも	9月23日		(無防除)	

5.春キャベツ

春キャベツ《2020年4月》

地区	調査場所	調査月日	菌核病		アブラムシ類		コナガ		モンシロチョウ		備考			
			発病株率 (%)	寄生株率 (%)	発生程度	寄生株率 (%)	株当たり虫数 (頭/株)	寄生株率 (%)	株当たり虫数 (頭/株)	品種	定植時期	生育状況	その他	
四日市	四日市市平尾町	4月3日	4	0	0	0	0	0	0	0	若女荷	11月下旬	生育期	
	鈴鹿 四日市市下海老町	4月3日	18	0	0	0	0	0	0	0	若女荷	11月下旬	生育期	
津	津市川方町1(久居)	4月7日	2	0	0	0	0	0	0	0	味春	12月上旬	生育期	
	津市川方町2(久居)	4月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	味春	12月上旬	生育期	
	津市新家町1(久居)	4月7日	-	-	-	-	-	-	-	-	味春	11月中旬	収穫終了	すき込み済み
	津市新家町2(久居)	4月7日	20	0	0	0	0	0	0	0	若女荷	11月下旬	収穫期	
	平均		8.8	0	0	0	0	0	0	0				
平年(10年平均)			2.0	3.2	0.9	0.3	0.003	0.1	0.001					
県予察ほ	松阪市瑞野川北町(場内)	4月8日	2	0	0	0	0	0	0	0.02	味春	11月20日	生育期	

春キャベツ《2020年5月》

地区	調査場所	調査月日	根こぶ病			備考		
			発病株率 (%)	品種	定植時期	生育状況	その他	
四日市	四日市市下海老町	5月8日	-	若女荷	11月下旬	耕起済み		
	鈴鹿 四日市市赤水町	5月8日	-	若女荷	11月下旬	耕起済み		
津	津市川方町1(久居)	4月30日	-	味春	12月上旬	収穫中		
	津市川方町2(久居)	4月30日	-	味春	12月上旬	生育期		
	津市新家町1(久居)	4月30日	-	味春	11月中旬	耕起済み		
	津市新家町2(久居)	4月30日	-	若女荷	11月下旬	耕起済み		
平均			-					
平年(10年平均)			0					
県予察ほ	松阪市瑞野川北町(場内)	5月7日	0	味春	11月14日	生育期		

春キャベツ《2020年12月》

地区	調査場所	調査月日	アブラムシ類		コナガ		備考			
			寄生株率 (%)	寄生度	寄生株率 (%)	株当たり虫数 (頭/株)	品種	定植時期	生育状況	その他
四日市	四日市市平尾町	12月4日	-	-	-	-	若女荷	11月下旬	定植直後	
	鈴鹿 四日市市下海老町	12月4日	-	-	-	-	若女荷	-	未定植	
津	津市川方町1(久居)	12月9日	2	1.5	0	0	味春	12月上旬	生育期	
	津市川方町2(久居)	12月9日	-	-	-	-	味春	-	定植直後	
	津市新家町1(久居)	12月9日	0	0	4	0.04	味春	11月中旬	生育期	
	津市新家町2(久居)	12月9日	0	0	0	0	若女荷	11月下旬	生育期	
平均			0.7	0.5	1.3	0.01				
平年(10年平均)			2.0	0.5	0.1	0.001				
県予察ほ	松阪市瑞野川北町(場内)	12月8日	30	7.5	0	0	味春	11月10日	生育期	

春キャベツ《2021年1月》

地区	調査場所	調査月日	菌核病			アブラムシ類		コナガ			備考	
			発病株率 (%)	寄生株率 (%)	寄生度	寄生株率 (%)	株当たり虫数 (頭/株)	品種	定植時期	生育状況	その他	
四日市鈴鹿	四日市市平尾町	1月6日	0	0	0	0	0	若女将	11月下旬	生育期		
	四日市市下海老町	1月6日	-	-	-	-	-	-	未定植	-		
津	津市川方町1	1月7日	0	0	0	0	0	味春	12月上旬	生育期	区外:アブラムシ類	
	津市川方町2	1月7日	0	0	0	0	0	味春	12月中旬	生育期		
	津市新家町1	1月7日	0	0	0	0	0	味春	11月中旬	生育期	区外:アブラムシ類、コナガ	
	津市新家町2	1月7日	0	0	0	0	0	若女将	11月下旬	生育期		
	平均		0	0	0	0	0					
平年(10年平均)		0	0.8	0.2	0.1	0.001						
県予察ほ	松阪市壱野川北町(場内)	1月12日	0	0	0	0	0	味春	11月10日	生育期	モンシロチョウ幼虫確認	
平年(10年平均)		0	2.4	6.6	0	0.002						

春キャベツ《2021年2月》

地区	調査場所	調査月日	菌核病			アブラムシ類		コナガ			備考	
			発病株率 (%)	寄生株率 (%)	寄生度	寄生株率 (%)	株当たり虫数 (頭/株)	品種	定植時期	生育状況	その他	
四日市鈴鹿	四日市市平尾町	2月8日	0	0	0	0	0	若女将	11月下旬	生育期		
	四日市市下海老町	2月8日	-	-	-	-	-	若女将	未定植	-		
津	津市川方町1	2月10日	0	2.0	0.5	0	0	味春	12月上旬	生育期		
	津市川方町2	2月10日	0	0	0	0	0	味春	12月中旬	生育期		
	津市新家町1	2月10日	0	0	0	0	0	味春	11月中旬	生育期		
	津市新家町2	2月10日	0	0	0	0	0	若女将	11月下旬	生育期		
	平均		0	0.4	0.1	0	0					
平年(10年平均)		0	2.8	0.7	0.1	0.002						
県予察ほ	松阪市壱野川北町(場内)	2月12日	0	0	0	0	0	味春	11月10日	生育期		

春キャベツ《2021年3月》

地区	調査場所	調査月日	菌核病			アブラムシ類		コナガ			備考	
			発病株率 (%)	寄生株率 (%)	寄生度	寄生株率 (%)	株当たり虫数 (頭/株)	品種	定植時期	生育状況	その他	
四日市鈴鹿	四日市市平尾町	3月5日	0	0	0	0	0	若女将	11月下旬	生育期		
	四日市市下海老町	3月5日	-	-	-	-	-	-	未定植	-		
津	津市川方町1	3月8日	0	0	0	2	0.02	味春	12月上旬	生育期		
	津市川方町2	3月8日	0	0	0	2	0.02	味春	12月中旬	生育期		
	津市新家町1	3月8日	0	0	0	0	0	味春	11月中旬	生育期		
	津市新家町2	3月8日	0	0	0	0	0	若女将	11月下旬	生育期	微発生:菌核病	
	平均		0	0	0	0.8	0.008					
前年		1	0	0	0	0						
平年(10年平均)		1.1	1.1	0.3	0.03	0.001						
県予察ほ	松阪市壱野川北町(場内)	3月4日	0	0	0	0	0	味春	11月10日	生育期	(無防除)	

6. 青ネギ

青ネギ《2020年4月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類	ネギコガ	シロイチ	ネギハモ	ネギアザ	備考	
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	寄生株率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	草丈	その他
松阪	松阪市柿木原町		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	収穫終了
伊勢	伊勢市東豊浜町	4月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40cm	黒斑病確認
	伊勢市小俣町1	4月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40cm	
	伊勢市小俣町2	4月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40cm	
平均		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
平年(10年平均)		0.05	0.01	3.5	1.0	1.5	0.4	0.1	0.1	0	0.1	1.3			
県予察ほ	松阪市壱野川北町(場内)	4月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	38cm	

青ネギ 《2020年5月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		へと病		アブラムシ類 寄生株率 (%)	ネギコガ 被害率 (%)	シロイチ モシトウ 被害率 (%)	ネギハモ クリハエ 被害率 (%)	ネギアザ ミウマ 被害率 (%)	草丈	備考 その他
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度							
松阪	松阪市柿木原町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	収穫終了
	伊勢市東豊浜町	5月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50cm	クロハネキノコバエ類確認
伊勢	伊勢市小俣町1	5月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30cm	
	伊勢市小俣町2	5月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20cm	
	平均		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.4
	平年(10年平均)		0	0	1.6	0.4	0.2	0.4	0	0.02	0.03	6.2	21.7		
							(4年平均)	(4年平均)							
県予察係	松阪市綿野川北町(場内)	5月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10.0	50cm	

青ネギ 《2020年6月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		へと病		アブラムシ類 寄生株率 (%)	ネギコガ 被害率 (%)	シロイチ モシトウ 被害率 (%)	ネギハモ クリハエ 被害率 (%)	ネギアザ ミウマ 被害率 (%)	草丈	備考 その他
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度							
	伊勢市東豊浜町	6月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6.7	90.0	30cm	
伊勢	伊勢市小俣町1	6月8日	0	0	2	0.5	0	0	0	0	0	0	90.0	30cm	
	伊勢市小俣町2	6月8日	0	0	2	0.5	0	0	0	0	0	0	90.0	20cm	
	平均		0	0	1.3	0.3	0	0	0	0	0	2.2	90.0		
	平年(10年平均)		0	0	4.0	1.4	0	0	0.05	0.1	0	6.7	33.4		
県予察係	松阪市綿野川北町(場内)	6月10日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定値
	平年(10年平均)		0	0.07	1.3	3.6	0	0	7.4	3.1	0.2	7.1	83.7		

青ネギ 《2020年7月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		へと病		アブラムシ類 寄生株率 (%)	ネギコガ 被害率 (%)	シロイチ モシトウ 被害率 (%)	ネギハモ クリハエ 被害率 (%)	ネギアザ ミウマ 被害率 (%)	草丈	備考 その他
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度							
	伊勢市東豊浜町1	7月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	2.0	30.0	40cm		
伊勢	伊勢市小俣町1	7月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	2.0	2.0	30cm		
	伊勢市小俣町2	7月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	2.0	6.7	40cm		
	平均		0	0	0	0	0	0	0	0	2.0	12.9			
	平年(10年平均)		0.8	0.9	1.0	0.6	0	0	1.6	0.1	5.6	24.0			
県予察係	松阪市綿野川北町(場内)	7月2日	0	0	0	0	0	0	2.0	0	2.0	66.7	34cm		
	平年(10年平均)		2.0	0.5	0.5	0.2	0	0	10.6	7.2	0	9.9	67.4		

青ネギ 《2020年8月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		へと病		アブラムシ類 寄生株率 (%)	ネギコガ 被害率 (%)	シロイチ モシトウ 被害率 (%)	ネギハモ クリハエ 被害率 (%)	ネギアザ ミウマ 被害率 (%)	ハスモンヨトウ 被害率 (%)	草丈	備考 その他
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度								
	伊勢市東豊浜町	8月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0.7	0.7	0	0	40cm	生育不揃い
伊勢	伊勢市小俣町1	8月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30cm	
	伊勢市小俣町2	8月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50cm	
	平均		0	0	0	0	0	0	0	0	0.2	0.2	0	0		
	平年(10年平均)		0	0	0	0	0.2	0.04	0	0.04	0.7	9.7	23.2	0.2	0.2	
							(4年平均)	(4年平均)					(6年平均)	(6年平均)		
県予察係	松阪市綿野川北町(場内)	8月3日	0	0	0	0	0	0	3.3	0	0	66.7	0	0	55cm	(菌地・無防除)
	平年(10年平均)		0.7	0.2	0	0	0	0	10.0	0	10.4	64.1	0	0		
							(4年平均)	(4年平均)					(6年平均)	(6年平均)		

青ネギ 《2020年9月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		へと病		アブラムシ類 寄生株率 (%)	ネギコガ 被害率 (%)	シロイチ モシトウ 被害率 (%)	ネギハモ クリハエ 被害率 (%)	ネギアザ ミウマ 被害率 (%)	ハスモンヨトウ 被害率 (%)	草丈	備考 その他
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度								
松阪	松阪市柿木原町	9月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	66.7	0	0	0	30cm	
	伊勢市東豊浜町	9月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	6.7	0	0	0	20cm	カメムシ類幼虫確認
伊勢	伊勢市小俣町1	9月9日	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	40cm	
	伊勢市小俣町2	9月9日	0	0	0	0	0	0	0	1	0.7	0	0	0	25cm	
	平均		0	0	0	0	0	0	0	0.3	18.5	0	0	0		
	平年(10年平均)		0.03	0.008	0	0	0	0	0.02	0.1	3.1	22.0	12.3	0.2	0.2	
							(4年平均)	(4年平均)					(6年平均)	(6年平均)		
県予察係	松阪市綿野川北町(場内)	9月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	16.7	66.7	0	0	35cm	
	平年(10年平均)		1.0	0.3	0	0	0	0	0.4	0.07	33.7	47.5	0	0		

青ネギ《2020年10月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類 寄生株率 (%)	ネギコガ 被害率 (%)	シロイチ モシトウ 被害率 (%)	ネギハモ グリハ工 被害率 (%)	ネギアザ ミウマ 被害率 (%)	ハスモシトウ		備考	
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度						寄生株率 (%)	被害率 (%)		草丈
松阪	松阪市柿木原町	10月2日	0	0	0	0	0	0	0	1	1	100	3	2	0	60cm	ネギハモグリハ工別系統疑い
	伊勢市東豊浜町	10月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	30cm	腐敗病確認
	伊勢市小俣町1	10月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	5	10	0	0	0	40cm	腐敗病確認
	伊勢市小俣町2	10月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	10	3	0	0	0	60cm	腐敗病確認
	平均		0	0	0	0	0	0	0	0.2	4.0	28.5	0.8	0.5	0		
県予察係	松阪市瑞野川北町(場内)	10月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	1	47	100	0	0	55cm	
県予察係	平年(10年平均)		0.3	0.08	0	0	0	0	0	0.2	5.8	30.9	15.1	2.3 (6年平均)	2.6 (6年平均)		

青ネギ《2020年11月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類 寄生株率 (%)	ネギコガ 被害率 (%)	シロイチ モシトウ 被害率 (%)	ネギハモ グリハ工 被害率 (%)	ネギアザ ミウマ 被害率 (%)	ハスモシトウ		備考	
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度						寄生株率 (%)	被害率 (%)		草丈
松阪	松阪市柿木原町	11月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.3	50.0	0	0	40cm	
	伊勢市東豊浜町	11月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.7	0	0	0	10cm	
	伊勢市小俣町1	11月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.3	3.3	0	0	50cm	細菌性病害の疑い
	伊勢市小俣町2	11月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0.7	0.7	0	0	0	30cm	
	平均		0	0	0	0	0	0	0	0	0.2	1.5	13.3	0	0		
県予察係	松阪市瑞野川北町(場内)	11月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26.7	66.7	0	0	50cm	無防除
県予察係	平年(10年平均)		0.2	0.06	0	0	0	0	0	0.09	0.8	6.5	9.4	0.06 (6年平均)	0.2 (6年平均)		

青ネギ《2020年12月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類 寄生株率 (%)	ネギコガ 被害率 (%)	シロイチ モシトウ 被害率 (%)	ネギハモ グリハ工 被害率 (%)	ネギアザ ミウマ 被害率 (%)	ハスモシトウ		備考	
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度						寄生株率 (%)	被害率 (%)		草丈
松阪	松阪市柿木原町	12月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0.7	0	80.0	0	0	50cm	ネギアザミウマ成虫：多
	伊勢市東豊浜町	12月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20cm	
	伊勢市小俣町1	12月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0.7	0	0	0	0	40cm	
	伊勢市小俣町2	12月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40cm	
	平均		0	0	0	0	0	0	0	0	0.3	0	20.0	0	0		
県予察係	松阪市瑞野川北町(場内)	12月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50.0	0	0	40cm	
県予察係	平年(10年平均)		0.3	0.09	0.07	0.02	0	0	0	0.1	0.1	1.2	5.0	0.06 (5年平均)	0.06 (5年平均)		

青ネギ《2021年1月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類 寄生株率 (%)	ネギコガ 被害率 (%)	シロイチ モシトウ 被害率 (%)	ネギアザ ミウマ 被害率 (%)	草丈	備考
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度						
松阪	松阪市柿木原町	1月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	50.0	50cm		
	伊勢市東豊浜町	1月13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30cm		
	伊勢市小俣町1	1月13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40cm		
	伊勢市小俣町2	1月13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50cm		
	平均		0	0	0	0	0	0	0	0	12.5			
県予察係	松阪市瑞野川北町(場内)	1月12日	0	0	0	0	0	0	0	41.3	40cm			
県予察係	平年(10年平均)		0.07	0.02	0.4	0.1	0	0	0	1.9				

青ネギ《2021年2月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類 寄生株率 (%)	ネギコガ 被害率 (%)	シロイチ モシトウ 被害率 (%)	ネギアザ ミウマ 被害率 (%)	草丈	備考
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度						
松阪	松阪市柿木原町	2月12日	0	0	0	0	0	0	0	9.3	60cm		アザミウマ類成虫：多	
	伊勢市東豊浜町	2月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	30cm			
	伊勢市小俣町1	2月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	30cm			
	伊勢市小俣町2	2月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	60cm			
	平均		0	0	0	0	0	0	0	2.3				
県予察係	松阪市瑞野川北町(場内)	2月12日	0	0	0	0	0	0	0	10.7	40cm			
県予察係	平年(10年平均)		0	0	0.08	0.02	0	0	1.3					

青ネギ《2021年3月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類	ネギコガ	シロイチモジトウ	ネギハモグリハエ	ネギアザミウマ	備考	
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	寄生株率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	草丈	その他
松阪	松阪市柿木原町	3月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50.0	50cm	微発生：シロイチモジトウ、ネギアザミウマ成虫確認
	伊勢市東豊浜町	3月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50cm	ネギアザミウマ成虫確認
伊勢志摩	伊勢市小俣町1	3月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	55cm	
	伊勢市小俣町2	3月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50cm	微発生：シロイチモジトウ
	平均		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12.5		
	前年		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.2	
	平年(10年平均)		0	0	0.2	0.1	0	0	0	0	0	0	0	0.4	
							(4年平均)	(4年平均)							
県予察ほ	松阪市瑞野川北町(場内)	3月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10.0	50cm	(無防除)
	平年(10年平均)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.7	

7.白ネギ

白ネギ《2020年6月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類	ネギコガ	シロイチモジトウ	ネギハモグリハエ	ネギアザミウマ	備考		
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	寄生株率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	草丈	定植日	品種
鈴鹿	鈴鹿市橋一宮町	6月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.7	90.0	30cm		
	鈴鹿市岸田町	6月9日	0	0	0	0	0	0	0	0.7	0	0.7	80.0	40cm		
松阪	明和町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植	
	多気町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植	
	平均		0	0	0	0	0	0	0	0.3	0	0.7	85.0			
	平年(3年平均)		0	0	0	0	0	0	2.2	0	0.6	23.0				
県予察ほ	松阪市瑞野川北町(場内)	6月10日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植	石倉一本太
	平年(3年平均)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50			

白ネギ《2020年7月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類	ネギコガ	シロイチモジトウ	ネギハモグリハエ	ネギアザミウマ	備考	
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	寄生株率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	草丈	その他
鈴鹿	鈴鹿市橋一宮町	7月7日	2	5.0	0	0	0	0	0	0	0	0.7	40.0	50cm	品種：照光
	鈴鹿市深溝町	7月7日	4	10.0	0	0	0	0	0	0	0	0	30.0	60cm	品種：夏扇
松阪	明和町佐田	7月2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	70.0	25cm	品種：元蔵
	多気町兄田	7月2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20cm	品種：龍月	
	平均		1.5	3.8	0	0	0	0	0	0	0	0.2	35.0		
	平年(3年平均)		1.0	2.4	0.5	1.2	0	0	0	5.1	0	1.5	26.3		
県予察ほ	松阪市瑞野川北町(場内)	7月2日	0	0	30	75.0	0	0	0	2.0	0	2.0	66.7	37cm	品種：石倉一本太
	平年(3年平均)		0.7	0.7	0	0	0	0	0	4.0	0	13.3	83.3		

白ネギ《2020年8月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類	ネギコガ	シロイチモジトウ	ネギハモグリハエ	ネギアザミウマ	ハスモンヨトウ	備考			
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	寄生株率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	寄生株率 (%)	被害率 (%)	草丈	品種	その他
鈴鹿	鈴鹿市橋一宮町	7月31日	8.0	20.0	0	0	0	0	0	0	0	0.7	60.0	0	0	50cm	照光	
	鈴鹿市深溝町	7月31日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16.7	0	0	70cm	夏扇	白絹病確認
松阪	明和町佐田	8月5日	2.0	5.0	0	0	0	0	0	0	0	0	20.0	0	0	30cm	元蔵	生育不揃い、下葉の白化あり
	多気町兄田	8月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20cm	龍月	雑草多
	平均		2.5	6.3	0	0	0	0	0	0	0	0.2	24.2	0	0			
県下全域	平年(3年平均)		2.4	6.0	0	0	0	0	0.2	0	0.4	5.7	18.4	0	0			
県予察ほ	松阪市瑞野川北町(場内)	8月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	80.0	0	0	47cm	石倉一本太	(露地・無防除)
	平年(3年平均)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	45.0	0	0			

白ネギ《2020年9月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類	ネギコガ	シロイチモジトウ	ネギハモグリハエ	ネギアザミウマ	ハスモンヨトウ	備考			
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	寄生株率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	寄生株率 (%)	被害率 (%)	草丈	品種	その他
鈴鹿	鈴鹿市橋一宮町	9月3日	10	25	0	0	0	0	0	0	0	6.7	1.3	0	0	50cm	照光	
	鈴鹿市深溝町	9月3日	12	30	0	0	0	0	0	0	0	4.7	0	0	0	70cm	夏扇	白絹病確認
松阪	明和町佐田	9月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13.3	93.3	0	0	50cm	元蔵	雑草多
	多気町兄田	9月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.7	0	0	0	20cm	龍月	雑草多
	平均		5.5	13.75	0	0	0	0	0	0	0.0	6.3	23.7	0	0			
	平年(3年平均)		0.8	2.0	0	0	0	0	0	6.0	0	42.0	30.7	0	0			
県予察ほ	松阪市瑞野川北町(場内)	9月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6.7	53.3	0	0	50cm	石倉一本太	
	平年(3年平均)		1.0	2.5	0	0	0	0	0	3.3	0	34.0	76.7	0	0			



白ネギ 《2020年10月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類 寄生株率 (%)	ネギコガ 被害率 (%)	シロイチ モシトウ 被害率 (%)	ネギハモ グリハエ 被害率 (%)	ネギアザ ミウマ 被害率 (%)	ハスモンヨトウ		備考	
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度						寄生株率 (%)	被害率 (%)		草丈
四日市鈴鹿	鈴鹿市椿一宮町	10月6日	10	25	0	0	0	0	0	0	0	40	0	0	0	60cm	
	鈴鹿市深溝町	10月6日	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60cm	
松阪	明和町佐田	10月2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	100	0	0	50cm	ネギハモグリハエ別系統疑い
	多気町三足田	10月2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	0	0	0	30cm	ネギハモグリハエ別系統疑い
	平均		3	7.5	0	0	0	0	0	0	0	40	25	0	0	-	
	平年(3年平均)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	40	6.7	0	0	0	
県予察ほ	松阪市福野川北町(場内)	10月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	51.3	93.3	0	0	50cm	
	平年(3年平均)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	66.7	30.0	0	0	0	

白ネギ 《2020年11月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類 寄生株率 (%)	ネギコガ 被害率 (%)	シロイチ モシトウ 被害率 (%)	ネギハモ グリハエ 被害率 (%)	ネギアザ ミウマ 被害率 (%)	ハスモンヨトウ		備考	
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度						寄生株率 (%)	被害率 (%)		草丈
四日市鈴鹿	鈴鹿市椿一宮町	11月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.7	0	0	0	60cm	
	鈴鹿市深溝町	11月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	60cm	
松阪	明和町佐田	11月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30.0	32.0	0	0	50cm	
	多気町三足田	11月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	40cm	
	平均		0	0	0	0	0	0	0	0	0	7.7	8.0	0	0	-	
	平年(3年平均)		1.8	0.5	0	0	0	0	0	0.8	0.5	8.7	48.5	0	0	0	
県予察ほ	松阪市福野川北町(場内)	11月6日	0	0	0	0	0	0	0	0.7	0	20.0	33.3	0	0	60cm	無防線
	平年(3年平均)		0.7	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.2	38.9	0.0	0.0		

白ネギ 《2020年12月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類 寄生株率 (%)	ネギコガ 被害率 (%)	シロイチ モシトウ 被害率 (%)	ネギハモ グリハエ 被害率 (%)	ネギアザ ミウマ 被害率 (%)	ハスモンヨトウ		備考	
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度						寄生株率 (%)	被害率 (%)		草丈
四日市鈴鹿	鈴鹿市椿一宮町	12月4日	20.0	50.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.7	0	60	関羽一本太
	鈴鹿市深溝町	12月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	70	関羽一本太
松阪	明和町佐田	12月3日	2.0	5.0	0	0	0	0	0	0	0	0.7	3.3	0	0	60	元蔵
	多気町三足田	12月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.7	6.7	0	0	50	龍翔
	平均		5.5	13.8	0	0	0	0	0	0	0	0.3	2.7	0	0	0	
	平年(2年平均)		7.9	19.8	0	0	0	0	0	0	0	4.3	9.6	0	0	0	
県予察ほ	松阪市福野川北町(場内)	12月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20.0	0	0	50	石倉一本太
	平年(2年平均)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.1	11.1	0	0	0	

白ネギ 《2021年1月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		ネギアザ ミウマ 被害率 (%)	草丈	品種	備考
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度				
四日市鈴鹿	鈴鹿市椿一宮町	1月6日	2	5	0	0	0	0	0	50	関羽一本太	黒斑病:胎子未確認
	鈴鹿市深溝町	1月6日	0	0	0	0	0	0	0	60	関羽一本太	
松阪	明和町佐田	1月6日	0	0	0	0	0	0	0	70	元蔵	
	多気町三足田	1月8日	0	0	0	0	0	0	0	50	龍翔	
	平均		0.5	1.25	0	0	0	0	0	0		
	平年(2年平均)		0	0	0	0	0	0	5.7			
県予察ほ	松阪市福野川北町(場内)	1月12日	0	0	0	0	0	0	41	50	石倉一本太	
	平年(2年平均)		0	0	0	0	0	0	2.2			

白ネギ 《2021年2月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		ネギアザ ミウマ 被害率 (%)	草丈	品種	備考
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度				
四日市鈴鹿	鈴鹿市椿一宮町	2月10日	-	-	-	-	-	-	-	-	関羽一本太	収穫終了
	鈴鹿市深溝町	2月10日	0	0	0	0	0	0	0	60cm	関羽一本太	
松阪	明和町佐田	2月12日	0	0	0	0	0	0	0	60cm	元蔵	
	多気町三足田	2月12日	0	0	0	0	0	0	0	50cm	龍翔	
	平均		0	0	0	0	0	0	0	0		
	平年(3年平均)		0	0	0	0	0	0	1.1			
県予察ほ	松阪市福野川北町(場内)	2月12日	0	0	0	0	0	0	13.3	50cm	石倉一本太	アザミウマ類成虫:多
	平年(3年平均)		0	0	0	0	0	0	0			

広域防除員聞き取り調査結果（野菜）

作物名：トマト  
2020年10月

地区	圃場	調査日	調査地点	品種名	病害虫発生状況（平年比）					生育状況等
					疫病	灰色かび病	黄化葉巻病	ハスモンヨトウ	アブラムシ類	
桑名	1	10月6日	木曾岬町 加路戸	TYみそら 109	無	無	無	無	無	作型：抑制、定植日：8月21日 開花段数：5段目、生育良好、2本仕立て 着果数：4果、収穫予定10月20日ごろ～ 抵抗性品種に変えたため黄化葉巻病が出ない 今年は夏の高温のため1～2段不良果多い
	2	10月6日	木曾岬町 外平喜	TYみそら 109	無	無	少 (前年比)	無	無	作型：促成、定植日：9月7日 開花段数：2段、着果数：4果 収穫予定：11月20日頃～ 樹勢は良好、2本仕立て
	3	10月6日	木曾岬町 小和泉	みそら64	無	無	やや多 (前年比)	無	無	作型：抑制栽培、定植日：8月10日 開花段数：6段目、着果数：3～4果 収穫段数：1段目 樹勢は良好、ロックウール栽培
	4	10月6日	木曾岬町 下和泉	ハウス桃 太郎	無	無	無	無	無	小玉傾向で全体的に今年の夏の暑さが影響している 作型：抑制栽培、定植日：8月6日 開花段数：5段目、着果数：3～4果 収穫予定：10月中旬～一部1段目収穫 今年度より樹勢が中～弱 2本仕立て
	5	10月6日	木曾岬町 見入	TYみそら 109	無	無	無	無	無	作型：抑制栽培、定植日：8月10日 開花段数：6段目、収穫段数：1段目 着果数：1～2段目 今年度より2本仕立て、樹勢は中 下段は(1～2段目)は暑さで着果しなかった

地区	圃場	調査日	調査地点	品種名	病害虫発生状況（平年比）				生育状況等
					疫病	灰色かび病	黄化 葉巻病	ハスモン ヨトウ	

作物名：トマト

2021年2月

地区	圃場	調査日	調査地点	品種名	病害虫発生状況（平年比）					生育状況等
					疫病	灰色かび病	黄化 葉巻病	ハスモン ヨトウ	アブラ ムシ類	
桑名	1	2月4日	木曾岬町 加路戸	みそら TY109	無	少	無	少	無	作型：半促成、定植日：11/10 開花段数：5段目、収穫段数：1段目 着果数：4～5果 耐病性品種、樹勢強い
	2	2月4日	木曾岬町 外平喜	みそら TY109	無	無	少	無	無	作型：促成、定植日：9/7 収穫段数：6段目、収穫終了 後作3月5日、みそらTY109定植予定
	3	2月4日	木曾岬町 小和泉	CFハウス 桃太郎	無	無	少	無	無	作型：促成長期、定植日：9/10 開花段数：10段目、収穫段数：5段目、 着果数：4～5果
	4	2月4日	木曾岬町 下和泉	ハウス桃 太郎	無	多	多	無	無	作型：抑制、定植日：8/6 収穫段数：10段目、開花段数：14～15段目 着果数：3～4果 ビニールシートが破れたことや、誘引方法により薬剤が かからなかったことで病害虫が増加した。
	5	2月4日	木曾岬町 見入	ハルゾラ	無	少	無	並	無	作型：抑制、定植日：8/10 収穫段数：6段目 2月下旬、半促成、みそらTY109を定植予定

### 3. 気象データ

#### (1) 気象概況(津地方気象台)

月	旬	気温	降水量	日照時間	備 考
2020 1	上	●	□	□	天気は周期的に変化も気圧の谷などで曇りの日が多かった
	中	●	□	□	天気は周期的に変化。
	下	●	○	▲	天気は周期的に変化も湿った空気で雨の日が多かった。
2	上	○	▲	●	冬型の気圧配置になった日が多かった。
	中	●	□	△	天気は周期的に変化。16日に春一番を記録。
	下	○	□	○	天気は周期的に変化。平均気温が平年より高かった。
3	上	●	●	□	天気は周期的に変化したが雨の日が多かった。
	中	○	△	●	天気は周期的に変化したが晴れの日が多かった。
	下	○	□	□	前半は晴天が多く、後半は雨の日が多かった。
4	上	□	□	●	前半は雨の日が多く、その後晴天が多かった。
	中	△	●	△	天気は周期的に変化。雨の日が多かった。
	下	▲	▲	●	曇りの日が多かったが、後半は晴天が多かった。
5	上	○	△	□	天気は周期的に変化したが降水量少なく気温は高かった。
	中	●	○	●	晴天が多かったが後半は雨の日が多い。気温は高かった。
	下	○	△	□	気温が高く、湿った空気が流れたが、雨は少なかった。
6	上	●	△	○	天気は周期的に変化したが晴れの日が多く気温高かった。
	中	●	●	△	曇りや雨の日が多く、まとまった雨量。気温は高かった。
	下	○	□	○	曇りや雨の日が多かったが日照時間も多く気温は高かった
7	上	△	●	▲	雨の日が多く、降水量が多く、日照時間は少なかった。
	中	△	□	△	曇りや雨の日が多く、平均気温は低く、日照時間は少ない。
	下	△	○	▲	雨の日が多く、気温が低く、降水量は多、日照時間は少。
8	上	○	▲	○	晴天の日が多く、気温は高く、日照時間が多かった
	中	●	▲	●	晴天の日が多く、気温は高く、日照時間が多かった
	下	●	○	○	晴天の日が多く、気温は高く、日照時間が多かった
9	上	○	○	△	曇りや雨の日が多かった。
	中	□	□	△	曇りや雨の日が多かった。
	下	○	□	○	天気は周期的に変化した。
10	上	□	●	△	前半は晴天が多く、後半は台風14号の接近で降水量が多
	中	□	□	○	前半は晴天が多く、後半は雨の日が多かった。
	下	△	●	●	晴天が多かったがまとまった降雨もあった。日照時間は多い
11	上	△	□	□	天気は周期的に変化した。
	中	●	□	○	晴天が多く、平均気温は平年よりかなり高かった。
	下	○	▲	□	晴天が多く平均気温は平年より高く、降水量は少なかった。
12	上	○	▲	●	晴天の日が多く、降水量は少なく、日照時間は多かった
	中	□	▲	□	冬型の気圧配置となり、降水量は少なかった。
	下	□	□	□	晴天もあったが、寒気が流入し雪や雨が降った所もあった。

気 温： ▲かなり低い    △低い    □平年並    ○高い    ●かなり高い

降 水 量： ▲かなり少ない    △少ない    □平年並    ○多い    ●かなり多い

日 照： ▲かなり少ない    △少ない    □平年並    ○多い    ●かなり多い

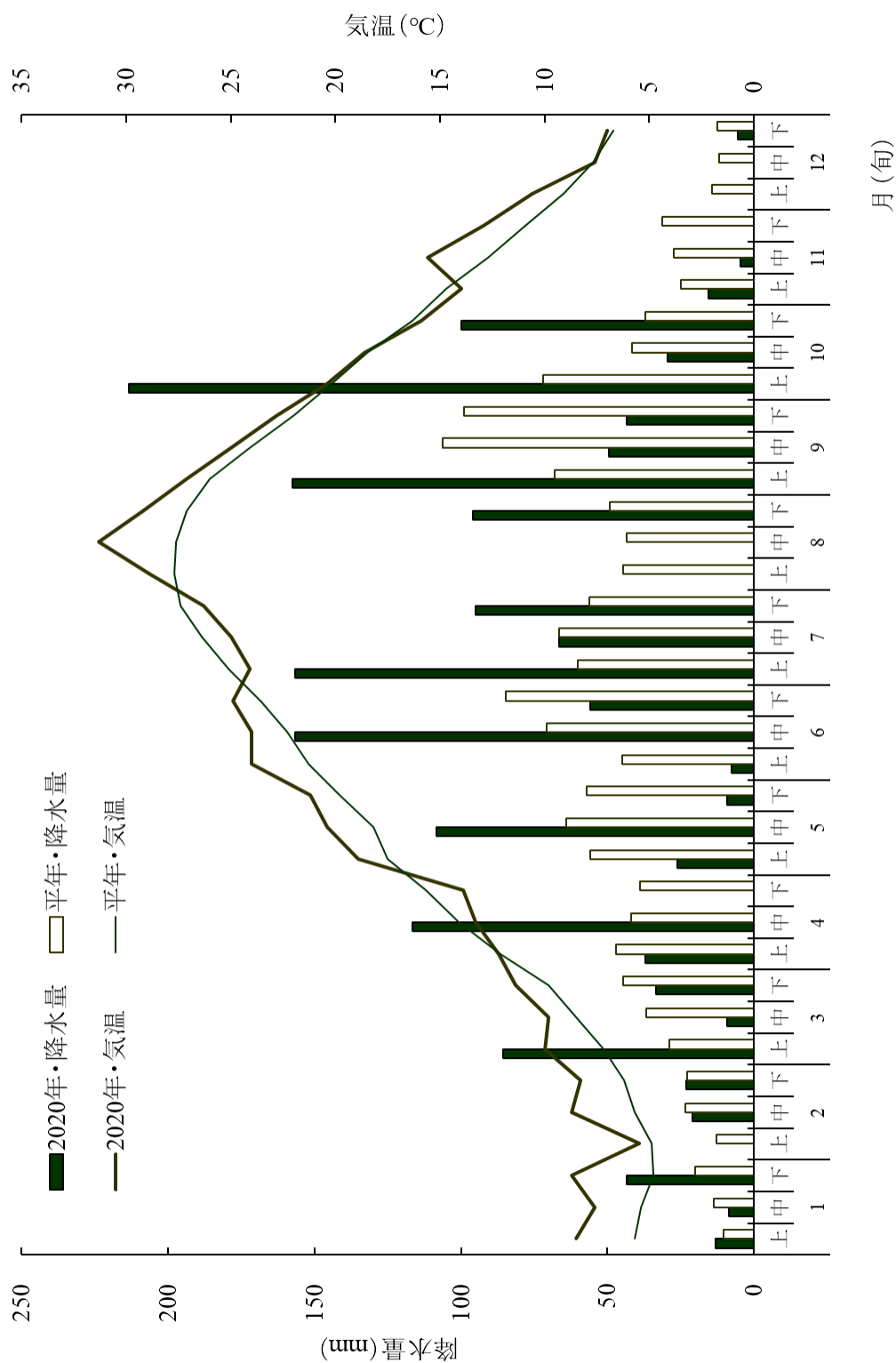
## (2) 旬別気象表(津地方気象台)

月	旬	平均気温(°C)		降水量(mm)		日照時間(h)	
		2020年	平年	2020年	平年	2020年	平年
1	上	8.5	5.7	13.0	10.3	53.7	53.7
	中	7.6	5.4	8.5	13.7	54.8	53.6
	下	8.7	4.8	43.5	19.9	29.6	59.2
2	上	5.5	4.9	0.0	12.7	69.0	52.1
	中	8.7	5.7	21.0	23.5	45.5	50.0
	下	8.3	6.2	23.0	22.9	51.3	43.9
3	上	10.0	7.2	85.5	28.8	55.0	59.1
	中	9.8	8.5	9.0	36.6	77.6	59.1
	下	11.4	9.8	33.5	44.6	63.8	61.1
4	上	12.2	12.1	37.0	47.0	94.5	60.1
	中	13.3	14.1	116.5	41.9	52.3	63.2
	下	13.9	15.7	0.0	38.9	89.3	65.8
5	上	18.9	17.5	26.0	55.9	64.1	58.2
	中	20.4	18.2	108.5	64.1	80.1	54.7
	下	21.2	19.8	9.0	57.2	69.4	72.4
6	上	24.0	21.3	7.5	44.9	69.9	59.1
	中	24.0	22.3	156.5	70.8	36.0	47.1
	下	24.9	23.6	56.0	84.8	51.2	36.5
7	上	24.1	25.1	156.5	60.0	17.1	52.7
	中	25.0	26.4	66.5	66.6	38.1	54.2
	下	26.3	27.4	95.0	56.2	30.9	81.9
8	上	28.9	27.7	0.0	44.5	88.8	72.8
	中	31.3	27.6	0.0	43.4	104.0	69.6
	下	29.2	27.1	96.0	49.1	96.2	72.4
9	上	27.1	26.0	157.5	67.9	41.1	66.0
	中	25.0	24.1	49.5	106.1	40.6	54.6
	下	22.8	22.0	43.5	99.1	53.1	48.2
10	上	20.4	20.2	213.5	71.9	39.9	47.7
	中	18.6	18.5	29.5	41.7	68.7	55.0
	下	15.9	16.3	100.0	37.1	79.6	62.1
11	上	14.0	14.7	15.5	24.8	50.4	54.8
	中	15.6	12.7	4.5	27.4	69.6	53.0
	下	12.9	10.9	0.0	31.4	62.1	55.6
12	上	10.6	9.1	0.0	14.4	75.7	58.9
	中	7.6	7.7	0.0	11.9	54.7	58.3
	下	7.0	6.7	5.5	12.3	56.8	62.7

※平年値は、1981年から2010年までの30年間による地上気象観測での値。

※気象庁発表「気象統計情報」より作成。

### (3) 気象グラフ



令和2年 旬別気温と降水量(津地方気象台・地上気象観測)

## 令和 2 年度植物防疫年報

発行 2022 年 2 月 1 日  
三重県病虫害防除所

〒515-2316

三重県松阪市嬉野川北町 530

Tel 0598-42-6365

Fax 0598-42-7568